

労働力調査特定調査票を用いた労働力状態間移行のハザード分析

A Duration Model Analysis of Labor Market Status Transitions
with Special Surveys of Labor Force Surveys

大森 義明

統計研修所客員教授

横浜国立大学経済学部教授

OMORI Yoshiakii

SRTI Guest Professor

Professor, Faculty of Economics, Yokohama National University

平成 23 年 1 月

January 2011

総務省統計研修所

Statistical Research and Training Institute (SRTI)
Ministry of Internal Affairs and Communications

論文受理日：平成 22 年 11 月 16 日

- ・ 本ペーパーは、「労働力調査を用いた就業状態、労働時間に関する時系列分析」（永瀬伸子、大森義明、縄田和満、水落正明）をテーマとして行った研究の成果の一部をとりまとめたものである。

本研究では、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 32 条の規定に基づき、労働力調査及び労働力特別調査に係る調査票情報を使用した。

- ・ 本ペーパーは、総務省統計研修所の客員教授が、その責任において行った統計研究の成果を取りまとめたものであり、その内容については、総務省統計局又は統計研修所の見解を表したものである。

目 次

労働力調査特定調査票を用いた労働力状態間移行のハザード分析

1. はじめに	1
2. 労働力調査から得られる労働力状態に関する情報	2
2.1 スtockサンプル	2
2.2 フローサンプル	4
2.3 ダブルストックサンプル	4
3. 計量モデル	6
3.1 スtockサンプルモデル	6
3.2 フローサンプリングモデル	9
3.3 ダブルストックサンプリングモデル	11
4. データ	11
4.1 スtockサンプル	11
4.2 疑似フローサンプル	12
4.3 ダブルストックサンプル	13
5. 記述統計	14
6. 推定結果	15
6.1 スtockサンプリングモデル	15
6.2 フローサンプリングモデル	16
6.3 モデル間の比較	17
7. 結論	19
補論	22

1. はじめに

近年、労働力調査のパネル構造を利用し、異時点間で個人が（就業、失業、非労働力などの）労働力状態間をどのように移行するかを分析する研究が行われるようになった。本研究の目的は、同じ労働力調査を用いても、サンプリング方法や分析の仮定により分析結果が大きく異なることを示すことである。具体的には、本研究は、労働力調査を利用した先行研究のサンプリング方法と暗黙的仮定について議論し、異なるサンプリング方法と仮定に基づく2種類の新たな分析を行う。

太田・照山（2003a）、大田・照山（2003b）、永瀬・水落（2009a）は、労働力調査のパネル構造を利用し、異時点間の個人の労働力状態間の移行（失業から就業、失業から非労働力、非労働力から就業、非労働力から失業、就業から失業、就業から非労働力、非労働力から労働力への移行）を分析する。また、永瀬・水落（2009b）は、個人の異時点間の雇用状態間の移行（非正規雇用・無業から正規雇用への移行）を分析する。

これらの先行研究は、初期時点である状態にある労働者をサンプリングし、彼らの将来時点での状態と比較する。2時点間の状態が同じである場合には、移行はなかったと暗黙的に仮定する。

類似のサンプリング方法と暗黙的仮定を設ける分析は少なくない。労働力調査を用いた最近の分析に限っても、大田・玄田（2008）が労働力調査特別調査と労働力調査の回顧情報を用い、調査時点から1年前と調査時点の間の正規・非正規・就業・失業・非労働力間の移行を分析する。

後述するように、この種の分析から真の移行確率が得られるには、少なくとも2つの厳しい仮定が必要である。第一に、移行がある特定の離散時点でのみ生じると仮定する必要がある。第二に、移行のハザード率はスペルの長さによらず（少なくとも説明変数を一定に保った後で）一定であると仮定する必要がある。

本研究は、先行研究では用いられることのなかった、特定調査票で調査されている労働力状態間の移行に関する情報を用い、先行研究とは異なる仮定の下で労働力状態間の移行の連続時間ハザード分析を行う。第一に、特定調査票で調査されている、調査時点で進行中の個人の労働力状態のスペルの（調査時点までの）長さに関する情報を用いた分析を行う。その際、労働力状態のスペルが調査時点でストックサンプリングされている事実と長さの情報がカテゴリーで与えられている事実を考慮する。第二に、調査時点の13か月前以降に前職を離職した個人について得られる、離職以降の非就業のスペルの長さの情報をを用いた分析を行う。その際、労働力調査の同一個人の基礎票と特定調査票の記録をマッチさせ、時間と共に変化する説明変数と観察不可能なスペルの属性を考慮する。

本研究の構成は以下のとおりである。2節では、労働力調査から得られる労働力状態に関する情報、本研究で用いるストックサンプリング、フローサンプリング、慣例的（ダブルストック）サンプリングを説明する。詳細な議論は補論で行う。3節では、ストックサンプル用とフローサンプル用の2つの計量モデルと仮定を説明する。4節では、ストックサンプル、フローサンプル、ダブルストックサンプルの構築を説明する。5節では記述統計を、6節では推定結果を紹介する。7節で結論を述べる。

2. 労働力調査から得られる労働力状態に関する情報

2002 年以降の労働力調査は、同一住居に住む世帯を 4 つの異なる時点で調査する。第 2 期の調査は第 1 期の調査の 1 か月後、第 3 期の調査は第 2 期の調査の 11 か月後（あるいは、同じことだが第 1 期の調査の 12 か月後）、そして第 4 期の調査は第 3 期の調査の 1 か月後（あるいは同じことだが、第 1 期の調査の 13 か月後）に行われる。第 1 期、第 2 期、第 3 期に基礎調査、第 4 期に特定調査が行われる。基礎調査は、調査日の前週の実際の労働力状態に関して調査する。特定調査は、過去の労働力状態に関する情報や学歴等の個人属性も調査する。

2.1 スtockサンプル

特定調査票は、調査時点 0 と呼ぶことにする）から遡って過去 3 年間の労働力状態に関する部分的な情報を提供する。特に、調査時点 0 での労働力状態、及び、その労働力状態のスペルの調査時点 0 での長さがわかる。つまり、サバイバル分析の技術的用語を用いると、調査時点 0 でストックサンプリングされた労働力状態のスペルの（調査時点 0 までの）長さがわかる。

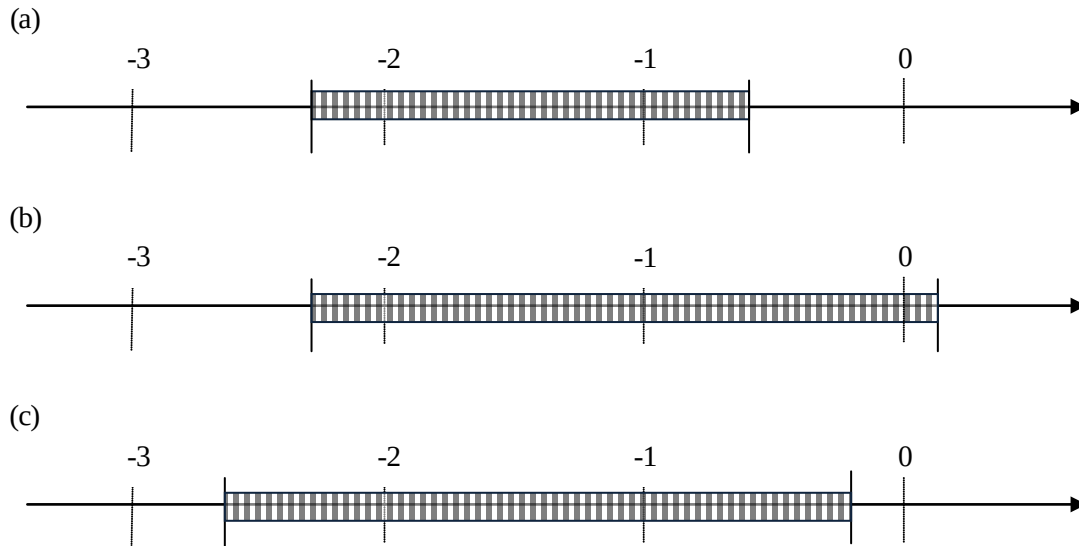
調査時点 0 でストックサンプリングされた労働力状態のスペルの長さはグループ化されたデータ（grouped duration data）で与えられる。就業を E、仕事を J、失業を U、非労働力を O、非就業を N（U または O）と呼ぶことにする。第一に、現職の（調査時点 0 で進行中の）J スペルについては、現職の開始時点が（「〇年△月□日」といった連続時間データではない）「〇年△月」といったグループ化されたデータで与えられるので、それを基に計算される（調査時点 0 で進行中の）J スペルの調査時点 0 での長さもグループ化されたデータとなる。第二に、現在の（調査時点 0 で進行中の）E スペルについては、調査時点 0 での長さが現職の J スペルの長さ以上となる。第三に、現在の（調査時点 0 で進行中の）U スペルと O スペルについては、調査時点 0 での長さが「〇か月未満」、「〇か月以上、△か月未満」、「〇年以上」といった形のグループ化されたデータで与えられる。最後に、（調査時点 0 で進行中の）N スペルについては、調査時点 0 での長さが現在の U スペル、現在の O スペルの長さ以上となる。

しかし、以上の情報を特定調査から得られる、前職の有無、前職の離職時期、年齢、学歴の情報と組み合わせると、E スペル、J スペル、U スペル、O スペル、N スペルのいずれについても、調査時点 0 での長さをより詳細にグループ化できるケースがある。補論はそれを説明する。

次に、特定調査票から得られる調査時点 0 でストックサンプリングされるスペルの長さのデータの特性を説明する。初めに、Heckman and Singer (1986)に従い、以下で使用する記号を定義しておく。カレンダー時間軸を考え、調査時点 0、1 年前を -1、2 年前を -2、3 年前を -3 とする。また、母集団のスペルの真の（潜在的）長さを確率変数 T で表す。調査時点 0 で進行中のスペルは、母集団のスペルの一部に過ぎない。調査時点 0 で進行中の（ストックサンプリングされる）スペルの開始時点から調査時点 0 までの長さを確率変数 T_b で表わす。また、このスペルの開始時点から終了時点までの長さを確率変数 T_c 、このスペルの調査時点 0 から終了時点までの長さを T_a で表す。説明を単純化するため、本節では、まず、 T 、 T_b 、 T_c 、 T_a はグループ化されていない、連続時間データで与えられるとする。

下の図は、J スペルを例に、 T と T_b の関係を示す。縦線入りの太線は調査時点 0 より前に開始す

る J スペルの真の長さ T_j を示す。(a)と(b)の間では J スペルの開始時点が同じ, (b)と(c)の間では J スペルの長さが同じである。ただし, (a)では(b)と比べ, J スペルの長さが短く, (c)では(b)と比べ, J スペルの開始時点が早い。サンプリングと観察は調査時点 0 で行うので, (a)と(c)では J スペルはサンプリングされず, 長さも観察されないが, (b)では J スペルがサンプリングされ, 調査時点 0 までの J スペルの長さが観察される。



これら 3 つのケースを比較すると, 以下がわかる。第一に, ジョブの開始時点をもととすると, 短いスペルよりも長いスペルがサンプリングされる傾向がある。(a)のように, 短い J スペルは調査時点 0 よりも前の時点で終了し, (b) のように, 長い J スペルは調査時点 0 以降に終了する傾向がある。第二に, 長さをもととすると, 開始時点の早いスペルよりも遅いスペルがサンプリングされる傾向がある。(c) のように, 開始時点の早い J スペルは調査時点 0 より前に終了し, (b) のように開始時点の遅い J スペルは調査時点 0 以降に終了する傾向がある。

(後述する) 斉時性の仮定の下では, T , T_b , T_c , T_a の期待値について以下を含むいくつかの事実が知られている (Heckman and Singer 1986)。第一に, T と T_c は異なる分布に従う。第二に, T_b と T_a は同一の分布に従うが, T の分布, T_c の分布のいずれとも異なる。ただし, T が指数分布に従うとき, T_b と T_a は同一の指数分布に従う。第三に, T_c の期待値は T の期待値を上回る。この事実はレングスバイアス (length bias) として知られる。第四に, T の母集団ハザード率がスペルの進行に伴い上昇する場合 (positive duration dependence) には, T_b と T_a の期待値は T の期待値を上回り, T の母集団ハザード率がスペルの進行に伴い下降する場合 (negative duration dependence) には, T_b と T_a の期待値は T の期待値を下回る。

労働力状態間移行の分析の目的は, T の母集団分布を推定することであるが, 特定調査票から得られるのは(b)の T_b のデータのみである。推定に用いる計量モデルは 3.1 節で説明する。

2.2 フローサンプル

特定調査票では、N スペルに限りフローサンプリングができる。特定調査票には、調査時点から遡って3年前以降に前職を離職する場合に限り、前職の終了時点に関する情報がある。従って、調査時点から遡って3年前移行に前職を離職する場合に限り、N スペルの開始時点がわかり、それらのN スペルのフローサンプリングができる。

後述するように、特定調査票と基礎調査票の同一個人の記録を連結することにより、特定調査時点から遡って13か月前以降に離職する場合には、時間を追って変化する個人の属性に関する情報を説明変数として用いることができる。このため、本研究は、調査時点から遡って13か月前以降に前職を離職した個人の「前職離職後のN スペル」をフローサンプリングする。

しかし、このフローサンプリングは、真のフローサンプリングではない。真のフローサンプリングでは、スペルのフローサンプリングを開始する時点（特定調査時点から遡り13か月前）以降に開始するスペルをランダムにサンプリングする。これに対し、本研究のフローサンプリングでは、スペルのフローサンプリングを開始する時点から観察終了時点（特定調査時点）までの間にスペルの開始が観察されなければスペルはサンプリングされない。真のフローサンプリングと比べ、比較的最近開始したスペル、従って、比較的短いスペルがより高い頻度でサンプリングされる。後述するように、観察期間を3年間から13か月間に短縮することによるバイアスは深刻である。以下では、真のフローサンプルと区別するため、このフローサンプルを「擬似フローサンプル」と呼ぶ。

擬似フローサンプリングによるバイアスを弱めるため、フローサンプリング開始時点进行调查時点から遡って3年前とする擬似フローサンプルも用いる。ただし、説明変数はコントロールできない。

2.3 ダブルストックサンプル

第1期、第2期、第3期の基礎調査票と第4期の特定調査票の同一個人の記録を結合すれば、最大4時点の労働力状態に関するパネルデータを構築できる。労働力調査の個票データを用いた労働力状態間移行に関する先行研究は、労働力状態を異時点間で比較し、労働力状態間の移行を分析する。ただし、基礎調査票ではジョブを識別できないので、分析はJを含まない。

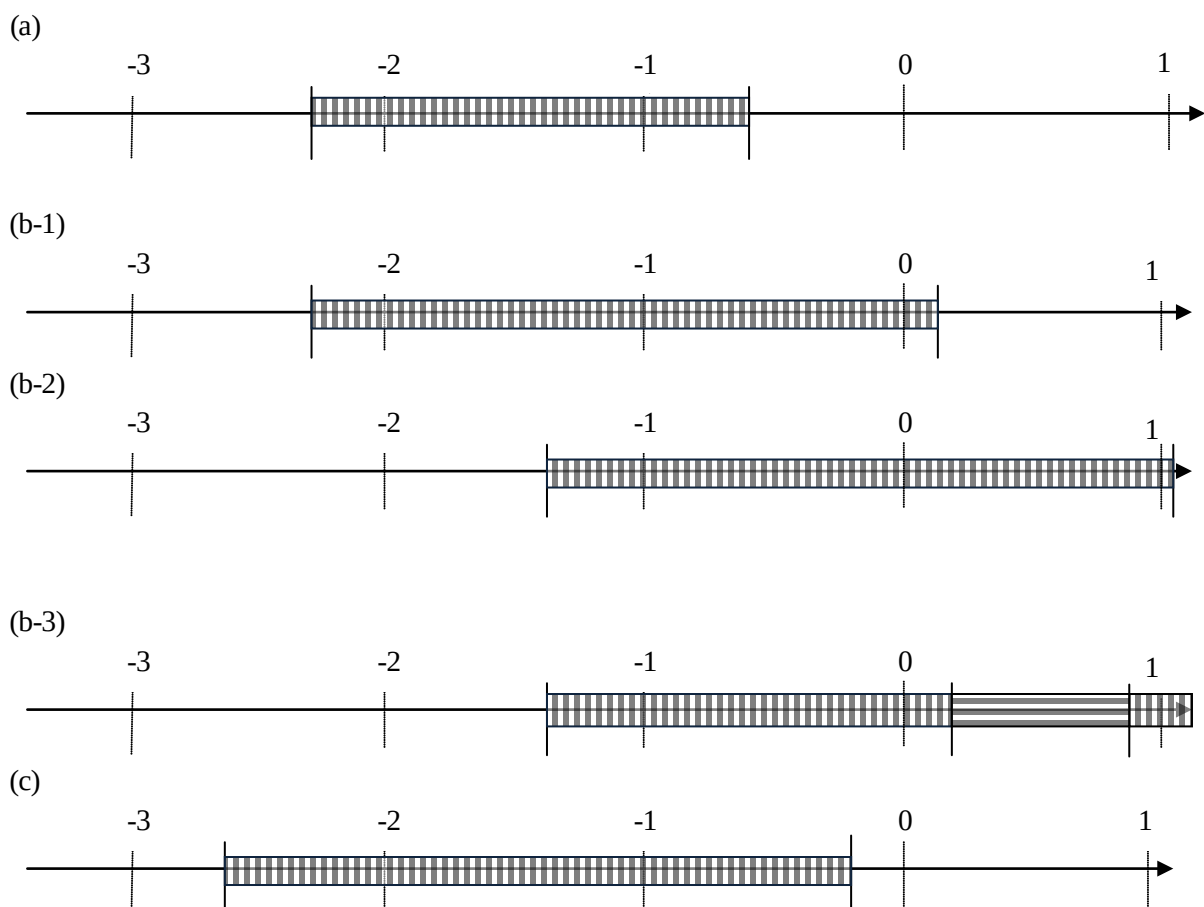
基礎調査票からは各期の調査時点（一週間）での労働力状態のみがわかり、調査時点間の労働力状態はわからない。これによる問題を理解するために、第2期と第3期の2時点パネルを考える。下の図の0は第2期の調査時点、また、1は第3期の調査時点を示す。

労働力調査に限らず、日本の個票データを用いた労働力状態間の移行分析では、次の手法が慣例的に用いられる。労働力調査を用いたEからU、EからOへの移行の分析を例にこれを説明する。調査時点0で（例えば、第2期の1週間に）Eであると観察された個人をサンプリングし、彼らが将来の調査時点1で（例えば第3期の1週間に）EであればEスペルが継続するとみなし、UであればEからUへの移行が（1回）生じたとみなし、OであればEからOへの移行が（1回）生じたとみなす。つまり、調査時点0で特定の種類のスペル（例えばE）をストックサンプリングし、将来の調査時点1で再びストックサンプリングした同一個人のスペルが同一種類か否か（例えばEかUかOか）を分析する。具体的には、調査時点0の状態がEである労働者のサンプル

を用い、調査時点 1 の状態が E であれば 0、そうでなければ 1 の値をとる従属変数を構築し、(調査時点 0 の状態が E である労働者の) 調査時点 1 の状態が E でない確率をプロビットモデルやロジットモデルで推定する。

慣例的手法のサンプリング方法は複雑である。まず、調査時点 0 で進行中のスペルのストックサンプリングを行う。この結果、特定調査票の 1 時点ストックサンプリングと同様に、(a)と(c)が分析から排除される。特定調査票のストックサンプリングと異なり、調査時点 1 で再びストックサンプリングを行う。以下では、これを「ダブルストックサンプリング」と呼ぶ。

基礎調査票のパネルデータでは調査時点間の労働力状態はわからないので、調査時点間の状態の「差異」を移行と解釈すべきでない。2 時点でストックサンプリングされるスペルが同一種類であっても、同一スペルであるとは限らない。例えば、下の図の(b-2)と(b-3)のようなケースを識別できない。(b-2)では調査時点 0 の状態が E であると観察される原因となった J スペルが調査時点 1 以降まで続く。(b-3)では調査時点 0 の状態が E であると観察される原因となった J スペルが調査時点 1 より前に終了し、U または O のスペル(非就労 N のスペル、横線入りの太線の部分)が開始したが、次の J スペルが調査時点 1 より前に開始し、調査時点 1 以降まで続く。離散時間データでは、(b-2)と(b-3)のいずれの場合も、調査時点 0 と調査時点 1 で労働者の状態は E であり、両者を区別できない。以下では、真の移行と区別するために、「差異」に基づく移行を「移行」と呼ぶ。



慣例的な「移行」分析から真の移行確率が得られるには、少なくとも 2 つの厳しい仮定が必要で

ある。 仮定が満たされないときのバイアスは自明ではない。

第一に、移行がある特定の時点でのみ生じると仮定する必要がある。例えば、E から U, O への年間移行を分析する際には、移行は 1 年後にのみ生じると仮定する必要がある。 現在と 1 年後にストックサンプリングされたスペルが同一種類（例えば E）であったときに、これらが同一スペルであることを保証するためである。

第二に、移行のハザード率はスペルの長さによらず（少なくとも説明変数を一定に保った後で）一定であると仮定する必要がある。例えば、E から U, O への年間移行を分析する際には、E から U, O への移行（離散）ハザード率は、E のスペルの長さによらず一定であると仮定する必要がある。スペルのストックサンプリングによるバイアスがないことを保証するためである。

複数種類のスペルに関する分析では、第二の仮定は斉時性（当該スペルへの移行のハザード率が一定である）を意味する。例えば、E, U, O 間の移行を分析する際には、第二の仮定は U から E, U から O, O から E, O から U への移行（離散）ハザード率もスペルの長さによらず一定であることを意味する。これは、E スペルへの移行が一定であることを意味する。

3. 計量モデル

本節では、ストックサンプルと（真の）フローサンプルの各々の分析に適したハザードモデルを説明する。 また、擬似フローサンプルやダブルストックサンプルの分析に適したハザードモデルの構築の難しさを指摘する。

3.1 スtockサンプリングモデル

調査時点 0 でのストックサンプリングが引き起こす問題は選択肢別抽出標本（choice-based sampling）の問題と類似する。 調査時点 0 で進行中のスペルは、母集団のスペルと比べ、①（開始から終了までの）長さが長い、②最近開始したという 2 つの特徴を持っているので、調査時点 0 で進行中のスペルの観察された長さだけでなく、母集団のスペルが調査時点 0 で進行中である確率（サンプルに入る確率）をも考慮した推定が必要となる（Heckman and Singer 1986）。 ①はレンジスバイアス・サンプリング（length bias sampling）としてよく知られている。 ②については開始時点のモデルを構築する必要があるが、他の応用分析と同様に、本研究は単純化のため斉時性（time homogeneous environment）を仮定する。

Heckman and Singer (1986)に従い、特定調査票から得られる T_b^0 のデータのみを用い、次のように T の母集団分布を推定する。 まず、 $k(-t_b^0)$ をインテーク率（intake rate）とする。つまり、調査時点 0 の t_b 期間前に母集団のスペルの $k(-t_b)$ の比率のスペルが $\tau = -t_b$ の時点で分析対象の状態（J など）に入るとする。ここでは議論を一般化するため、変数に状態を示す添え字を付けない。

斉時性の仮定は次を意味する。

$$k(-t_b) = k, \quad \forall t_b$$

母集団の T の密度関数を $g(t) = h(t) \exp(-\int_0^t h(u)du)$ とする。ここで、 $h(t)$ はハザード関数である。

サバイバル関数は $S(t) = 1 - G(t) = \exp(-\int_0^t h(u)du)$ である。

母集団の労働者の中で調査時点 ($\tau = 0$) で分析対象のスペルを経験している労働者の比率 P_0 は各コーホートからのサバイバル確率を積分することで得られる。

$$P_0 = \int_0^\infty k(-t_b)(1-G(t_b))dt_b = \int_0^\infty k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)dt_b$$

従って、調査時点 0 で進行中のスペルの真の（調査時点 0 での）長さ t_b の確率密度は t_b 期間前に開始したスペルの内で進行中のスペルがこの全ストックに占める比率で与えられる。

$$f(t_b) = \frac{k(-t_b)(1-G(t_b))}{P_0} = \frac{k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)}{P_0}$$

ここで、斉時性と $m = \int_0^\infty xg(x)dx < \infty$ を仮定し、上式の分母を部分積分すれば、

$$f(t_b) = \frac{(1-G(t_b))}{m} = \frac{S(t_b)}{m} = \frac{\exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)}{m}$$

となり、対数尤度関数は $\ell = \ln \sum_{i=1}^n \ln f(t_{b,i})$ で与えられる。

しかし、特定調査票では長さのデータは連続時間データではなく、グループ化されたデータであるので、尤度関数の調整が必要である。例えば、調査時点 0 で進行中のスペルの真の（調査時点 0 での）長さ t_b が $t_b < \underline{t_b}$, $\underline{t_b} < t_b < \bar{t_b}$, $\bar{t_b} < t_b$ の 3 つのグループ化されたデータで与えられている

としよう。 t_b が $\underline{t_b}$ から $\bar{t_b}$ の間である確率は次式で与えられる。

$$p(\underline{t_b} < t_b < \bar{t_b}) = \frac{\int_{\underline{t_b}}^{\bar{t_b}} k(-t_b)(1-G(t_b))dt_b}{P_0} = \frac{\int_{\underline{t_b}}^{\bar{t_b}} k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)dt_b}{P_0}$$

ここで斉時性と $m = \int_0^\infty xg(x)dx < \infty$ を仮定すると、上式は次式となる。

$$\begin{aligned}
p(\underline{t}_b < t_b < \bar{t}_b) &= \frac{\int_{\underline{t}_b}^{\bar{t}_b} k(-t_b)(1-G(t_b))dt_b}{P_0} = \frac{\int_{\underline{t}_b}^{\bar{t}_b} k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)dt_b}{P_0} \\
&= \frac{1}{m} \left[\bar{t}_b(1-G(\bar{t}_b)) - \underline{t}_b(1-G(\underline{t}_b)) + \int_{\underline{t}_b}^{\bar{t}_b} t_b g(t_b)dt_b \right]
\end{aligned}$$

同様に、他の2つのグループ化された t_b のデータの確率は次の2式で与えられる。

$$\begin{aligned}
p(\bar{t}_b < t_b) &= \frac{\int_{\underline{t}_b}^{\infty} k(-t_b)(1-G(t_b))dt_b}{P_0} = \frac{\int_{\underline{t}_b}^{\infty} k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)dt_b}{P_0} \\
&= \frac{1}{m} \left[-\underline{t}_b(1-G(\underline{t}_b)) + \int_{\underline{t}_b}^{\infty} t_b g(t_b)dt_b \right]
\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
p(t_b < \underline{t}_b) &= \frac{\int_0^{\underline{t}_b} k(-t_b)(1-G(t_b))dt_b}{P_0} = \frac{\int_0^{\underline{t}_b} k(-t_b) \exp(-\int_0^{t_b} h(u)du)dt_b}{P_0} \\
&= \frac{1}{m} \left[\bar{t}_b(1-G(\bar{t}_b)) + \int_0^{\underline{t}_b} t_b g(t_b)dt_b \right]
\end{aligned}$$

従って、対数尤度関数は次式で与えられる。

$$\ell = \ln \sum_{i=1}^n 1(t_{b,i} < \underline{t}_b) \ln p(t_{b,i} < \underline{t}_b) + 1(\underline{t}_b < t_{b,i} < \bar{t}_b) \ln p(\underline{t}_b < t_{b,i} < \bar{t}_b) + (1 - 1(t_{b,i} < \underline{t}_b) - 1(\underline{t}_b < t_{b,i} < \bar{t}_b)) \ln p(\bar{t}_b < t_{b,i})$$

ここで、 $1(\cdot)$ はインデックス関数である。

一般に、推定には $h(t)$ のみならず、 $k(\tau)$ の定式化が必要となるが、データ制約のため、多くの先行研究と同様に斉時性の仮定を設ける。

推定に際しては、単純化のため、 T が対数ロジスティック (Log Logistic) 分布に従うと仮定する。

すわち、ハザード関数が次式で与えられるとする。

$$h(t) = \frac{\gamma \alpha t^{\alpha-1}}{1 + \gamma t^\alpha}$$

ストックサンプリングモデルは、E, J, U, O, N の全てのスペルのハザードに応用できる。後述するように、労働力調査からは E, J, U, O, N の全てのスペルをストックサンプリングできるが、フローサンプリングできるのは N スペルのみである。

ストックサンプリングモデルでは、斉時性の仮定なしの推定、（時間を追って変化する）説明変数や観察不可能なスペルの属性を考慮した推定、スペルの長さに関する分布の仮定なしでの推定が困難である。斉時性の仮定なしの推定と（時間を追って変化する）説明変数を考慮した推定が困難なのは、データ制約による。後述するように、時間を追って変化する説明変数は、基礎調査票と特定調査票に属する同一個人の記録を連結しても、限られた期間（最長 13 か月間）しか観察されない。従って、インテーク率、ハザード率のいずれも時間を追って変化する変数の関数として特定化できない。本研究では、サンプルを誕生年代×性別×学歴で定義される各コーホートに区分し、コーホート毎に説明変数を含めずにモデル推定を行い、インテーク率とハザード率を誕生年代、性別、学歴に依存させ、この制約を緩和する。観察不可能な属性を考慮した推定とスペルの長さに関する分布の仮定なしの推定は、理論的には可能であるが、本研究は厳しいコンピューター資源の制約下で行われなければならない、達成できない。

ストックサンプリングモデルは、1970 年代以降生まれのコーホートの分析、特に長いスペルの分析、学歴間の比較には適さない。例えば、1970 年代生まれのコーホートに含まれる 1979 年 12 月生まれの大卒者のスペルは 6 年 8 か月以下になるという厳しい制約を受ける。標準修業年数を仮定すると、彼らが労働市場に参入するのは 2002 年 4 月であるが、データ上で彼らの労働力状態が観察されるのは 2002 年 4 月から 2008 年 12 月のいずれかの時点であるからである。一方、1970 年代生まれのコーホートに含まれる 1970 年 1 月生まれの高卒者は、1988 年 4 月に労働市場に参入するので、彼らのスペルは 20 年 8 か月以下になるという緩い制約しか受けない。

最後に、調査時点 0 で進行中のスペルの調査時点以降の長さ（確率変数 T_a で表す）のデータのみを用いても、 T の母集団分布を推定でき、斉時性の仮定の下では確率変数 T_a の確率密度は確率変数 T_b のそれと同一である（Heckman and Singer 1986）。しかし、後述するように、基礎調査、特定調査のいずれからでも確率変数 T_a に関する情報は得られない。

3.2 フローサンプリングモデル

T_i をカレンダー時間 τ に開始した個人のスペル i の真の長さを表わす確率変数であるとする。スペルの現在の長さ t におけるハザード率を次式のとおりに定式化する。

$$\begin{aligned}\lambda(t | x_i(\tau+t), v_i) &\equiv \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\text{prob}[t+h > T_i > t | x_i(\tau+t), v_i]}{h} \\ &\equiv \lambda_0(t) \exp[\beta x_i(\tau+t)] v_i \\ &= \lambda_0(t) \exp[\beta_1 x_{1,i} + \beta_2 x_{2,i}(\tau+t) + \beta_3 x_3(\tau+t) + \ln v_i] \quad (1)\end{aligned}$$

ここで、 $\lambda_0(t)$ は未知のベースラインハザード関数の t における値、 $x_{1,i}$ は（学歴などの）時間を追って変化しない個人のスペル i の属性、 $x_{2,i}(\tau+t)$ は時間を追って変化する個人のスペル i の属性のカレンダー時刻 $\tau+t$ における値、 $x_3(\tau+t)$ は時間を追って変化する全ての個人のスペルに共通する環境のカレンダー時刻 $\tau+t$ における値、 β は各変数ベクトルに対応する未知の係数ベクトルを表わす。また、 $\ln v_i$ は、（個人の余暇に対する選考、時間選好、能力などの）時間を追って変化しない観察不可能な個人のスペル i の属性を示し、標準正規分布に従うと仮定する。

特定調査票でフローサンプリングされるのは非就労 (N) スペルのみであり、長さは連続時間データではなく、1 か月単位でグループ化されたデータである。 スペルの長さを測る軸を等しい長さ L (1 か月) の区間、 $(0, L], (L, 2L], (2L, 3L], \dots$, のように区分する。従って、 k 番目の区間は $((k-1)L, kL]$ であり、以下が成り立つ。

$$k = \text{INT}[t / L] + 1.$$

説明変数 $x_i(\tau+t)$ の値は各区間 (カレンダー時刻 $\tau+t$ から $\tau+t+L$ までの間、 $t=0, L, 2L, \dots$) で一定であると仮定する。

カレンダー時刻 $\tau+t$ まで存続したスペルが少なくとも $\tau+t+L$ まで生存する確率は次式で与えられる。

$$\begin{aligned} \text{prob}[T_i > t+L \mid T_i > t, x_i(\tau+t), v_i] &= \exp\left[-\int_t^{t+L} \lambda(u \mid x_i(\tau+u), v_i) du\right] \\ &= \exp\left[-\exp(\beta x_i(\tau+t)) v_i \int_t^{t+L} \lambda_0(u) du\right] \\ &\equiv \exp\left[-\exp(\beta x_{i,\tau}(k) + \delta(k) + \ln v_i)\right], \end{aligned}$$

ここで、

$$x_{i,\tau}(k) \equiv x_i(\tau+t),$$

である。 また、

$$\delta(k) \equiv \ln \int_{(k-1)L}^{kL} \lambda_0(u) du = \ln \int_t^{t+L} \lambda_0(u) du$$

であり、これは、自由なパラメーターとして扱うこともできるが (Meyer 1990) , ここでは次式のよう、 k の柔軟な関数として定式化する。

$$\delta(k) = \sum_{p=0}^{N_p} \alpha_p k^p \text{ or } \delta(k) = \ln a_0 + \sum_{p=1}^{N_p} \alpha_p k^p .$$

ストックサンプリングモデルの場合と同様に斉時性を仮定すると、フローサンプリングされた N 人のシングルスペルから成るサンプルの尤度関数は次式で与えられる。

$$\mathcal{L}(\alpha, \beta, \gamma, \delta) = \prod_{i=1}^N \left\{ \int_{-\infty}^{\infty} (1 - \exp[-\exp(\beta x_{i,j}(K_{i,j}) + \delta(K_{i,j}) + \ln v)])^{D_{i,j}} \prod_{k=1}^{K_{i,j}-1} [\exp[-\exp(\beta x_{i,\tau}(k) + \delta(k) + \ln v)]] \varphi(\ln v) d \ln v \right\}$$

ここで、 C_i はスペル間で異なり得る右センサリングまでの時間、 $D_i = 1$ if $T_i \leq C_i$ and $D_i = 0$

otherwise, $K_i = \min[T_i, C_i] / L + 1$, つまり、 K_i はグループ化された (1 か月単位で測られた) スペルの長さである。 $\delta = [\delta(1), \delta(2), \dots] \delta K$ であり、分析者はデータで観察される K_i の最大値以下に K を設定する。 φ は標準正規分布の p.d.f. である。

フローサンプリングモデルでは、時間を追って変化する説明変数、観察不可能な属性を考慮した推定、スペルの長さに関する分布の仮定なしの推定が比較的容易である。

斉時性の仮定を要する点では、フローサンプリングモデルはストックサンプリングモデルと変わらない。本来ならば、 N スペルのハザードを E スペルのハザードと同時推定することができれば、

斉時性の仮定を緩和できるが、特定調査票では、同一個人の E スペルのフローサンプリングができない。斉時性の仮定を緩和するには、キャリアの開始から長期にわたり個人を観察したパネルデータが必要である。

フローサンプリングモデルは、N スペルにしか応用できない。後述するように、フローサンプリングできるのは N スペルのみであるからである。

フローサンプリングモデルは真のフローサンプルを前提とし、擬似フローサンプルには完全対応しない。擬似フローサンプリングに完全対応させるには、擬似フローサンプリングによるセクションを考慮し、尤度関数を調整する必要がある。これは将来の課題とする。

3.3 ダブルストックサンプリングモデル

ダブルストックサンプルの複数時点の労働力状態のデータのみから T の母集団分布を推定するのは困難である。調査時点以前の長さ (T_b) がわかる特定調査票のストックサンプルとは異なり、基礎調査票の各期のストックサンプルではスペルの各期の調査時点以前の長さ (T_b) や調査時点以降の長さ (T_a) に関する情報が得られないからである。例えば、第 2 期と第 3 期の 11 か月間パネルからは、第 2 期の調査時点と第 3 期の調査時点の労働力状態を知ることができるが、第 2 期と第 3 期の間の労働力状態は知ることができない。もし知ることができたならば、第 2 期の調査時点でストックサンプリングされたスペルの調査時点以降の長さ (T_a) のデータか第 3 期の調査時点でストックサンプリングされたスペルの調査時点以前の長さ (T_b) のデータを用い、ストックサンプリングモデルを推定できる。

ダブルストックサンプリングされたサンプルの複数時点の労働力状態のデータのみから T の母集団分布を推定するのは困難であることが知られている。米国の CPS(Current Population Survey) でも全く同じ問題が生じる。Coleman (1989) によるサーベイが詳しい。

4. データ

本節では、分析サンプルの構築を説明する。本分析では、E, J, N, U, O の各スペルのストックサンプルと N スペルの擬似フローサンプルの 2 つを用いる。4.1 節では、特定調査票からのストックサンプルの構築を説明する。スペルの長さについては、補論で詳細に説明する。4.2 節では、特定調査票と基礎調査票を連結したデータからの擬似フローサンプルの構築を説明する。4.3 節では、ダブルストックサンプルの構築を説明する。このサンプルは他の 2 つのサンプルの分析との比較に用いる。

4.1 スtockサンプル

ストックサンプルの構築に用いるデータは、2002 年 1 月から 2008 年 12 月の各月の特定調査票の個票データ（プールドクロスセクショナルデータ）であり、総計 1,822,289（人×月）の観察値を含む。同一個人に対する特定調査は 1 回限りであるので、この数は人数でもある。

オリジナルサンプルから調査時点で在学中の個人と 65 歳以上の個人をサンプルから除く。誕生年月と最終学歴から判断して調査時点で在学中と判断される個人も除く。学歴が「小学校・中学校・高校卒業」の場合は高校卒業と仮定し、「大学・大学院卒業」の場合は、大学卒業と仮定する。最終学校を卒業・修了し得た最古の 4 月 1 日をキャリアの開始時点と定義する。在学中の個人（214,652 人）を除き、更に、65 歳以上の個人（452,342 人）を除くと、1,155,295 人について調査時点での労働力状態が観察される。

補論で詳しく説明する方法により各調査時点で進行中の E, J, N, U, O の各スペルをストックサンプリングし、2002 年から 2008 年までのデータを積み上げる。スペルの長さが欠損値であるものは除く。1155,295 人の内、調査時点で就業しており、かつ、就業スペルの長さが欠損値でないものに限ると、751,300 人の就業スペルが観察される。同様に、各労働力状態のスペルの長さが欠損値でないものに限ると、752,100 人のジョブスペル、271,985 人の非就業（失業、または、非労働力化）スペル、43,157 人の失業スペル、229,981 人の非労働力スペルが観察される。就業スペルとジョブスペルについては、職業が自営業、自営業の手伝い、内職、不詳の者を除く。

このようにして得られる各労働力状態のスペルのサンプルを誕生年代（1940 年代、1950 年代、1960 年代、1970 年代、1980 年代）×学歴（高卒、短大卒、大卒）×性別により 30 のサンプルに区分し、サンプル毎に推定を行う。サンプルサイズは表 1 のとおりである。いずれも各個人について 1 つのスペルが観察されるシングル・スペル・データであり、観察単位は個人、かつ、スペルである。

4.2 擬似フローサンプル

擬似フローサンプルの構築は、2002 年 1 月から 2008 年 12 月の各月の基礎調査票と特定調査票を用い、同一個人の第 1, 2, 3, 4 期の記録を連結することから始める。その際、ID、性別、生年月が一致する個人を同一個人とみなす。第 4 期の記録がない個人を除く。

ストックサンプルとの比較を可能とするため、結合サンプルの期間を 2002 年 1 月から 2008 年 12 月とする。第 1 期、第 2 期、第 3 期の基礎調査票と第 4 期の特定調査票を結合するので、2002 年 1 月から 2008 年 12 月の各月の基礎調査票と 2003 年 2 月から 2008 年 12 月の特定調査票を用いる。基礎調査票は、総計 7,458,559（個人×月）の観察値を含む。特定調査票は、総計 1,523,920（個人×月、個人）の観察値を含む。

ストックサンプルの場合と同様に、在学中の個人、及び、調査時点で 65 歳以上の個人をサンプルから除き、学歴が「小学校・中学校・高校卒業」の場合は高校卒業と仮定し、「大学・大学院卒業」の場合は、大学卒業と仮定し、最終学校を卒業・修了し得た最古の 4 月 1 日をキャリアの開始時点と定義する。「在学中」と回答していなくとも、誕生年月から判断したときに特定調査時点で最終学校を標準年数で卒業・修了できないはずの個人はサンプルから除く。2003 年 1 月から 2008 年 12 月までの特定調査票と連結できたサンプルから在学中の個人（179,426 人、または 11.8%）、65 歳以上の個人（381,131 人、または 25.0%）、誕生日から判断して特定調査時点で在学中であると疑われる個人（3,539 人、または 0.2%）を除くと、960,000 人となる。

特定調査時点から遡り 3 年前以降に前職を離職する場合に限り、前職からの離職年月がわかる。2003 年 3 月から 2008 年 12 月の各月の特定調査時点から遡り 3 年前以降に開始する N スペルを擬似フローサンプリングし、2003 年から 2008 年までのデータを積み上げる。その際、観察されるスペルの開始時点、終了（またはセンサリング）時点が不明なスペルを除く。このようにして、96,733

のスペルが得られる。この内、38,525 スペル (39.8%) が男性、58,208 スペル (60.2%) が女性のスペルであり、62,553 スペル (64.7%) が高卒、19,090 スペル (19.7%) が短大卒、15,090 スペル (15.6%) が大卒のスペルである。誕生年代のコホートで見ると、1930 年代生まれが 560 スペル (0.6%)、1940 年代生まれが 23,060 スペル (23.8%)、1950 年代生まれが 15,986 スペル (16.5%)、1960 年代生まれが 16,249 スペル (16.8%)、1970 年代生まれが 27,533 スペル (28.5%)、1980 年代生まれが 13,336 スペル (13.8%)、1990 年代生まれが 9 スペル (0.01%) である。1930 年代生まれと 1990 年代生まれを除く。このようにして得られるサンプルを誕生年代×学歴×性別により 30 のサンプルに区分する。表 2 の左のカラムはこの擬似フローサンプルに含まれるスペルの数を示す。

時間と共に変化する説明変数の構築が可能なのは、特定調査時点から遡って 13 か月前以降のみである。特定調査票の各個人の記録は、過去 3 回 (13 か月前、12 か月前、1 か月前) の基礎調査票の同一個人の記録のみと連結できるからである。従って、上のサンプルから特定調査時点から遡り 13 か月よりも前に開始した N スペルを除く。表 2 の中央のカラムは、このフローサンプルに含まれるスペルの数を示す。

36 か月前以降に開始が観察されるスペルからなるサンプルと比べ、13 か月前以降に開始が観察されるスペルに限定されたサンプルでは、13 か月前より前に開始した長いスペルが体系的にサンプルから除外されてしまっている。スペルの観察された長さの平均は、前者のサンプルでは 11.95 か月であるのに対し、後者では 6.16 か月に過ぎない。

興味深いことに、N スペルの開始時点は、36 か月の間、ほぼ一様である。この事実は、36 か月の間のスペルの開始時点がランダムであるという、ストックサンプリングモデルの分析で設けられる斉時性の仮説と整合的である。例えば、特定調査時点から遡って 3 年前以降に開始が観察されるスペルの総数 96,164 に対し、13 か月前以降に開始が観察されるスペルの総数は 33,094 であり、34.4%に相当する。13 か月は 36 か月の 36.1%に相当し、34.4%と大差ない。

スペルの長さを 1 か月め、2 か月め、3 か月めのように月単位に区分し、月を観察単位としたときのこれらのサンプルのサイズは表 2 の右のカラムのとおりである。いずれも各個人について 1 つのスペルが観察されるシングルスペルデータであり、観察単位はスペルの長さを月単位に区分したときの月である。

4.3 ダブルストックサンプル

擬似フローサンプルの構築段階で構築される基礎調査 1 期 2 期 3 期と特定調査第 4 期の連結サンプルの 960,000 人から、第 1・2 期間の労働力状態の月間「移行」と第 3・4 期間の労働力状態の月間「移行」のいずれもが不明である 155,293 人を除くと、804,707 人に関して第 1・2 期間の労働力状態の月間「移行」、または、第 3・4 期間の労働力状態の月間「移行」、あるいは、両方がわかる。このサンプルは 1,608,439 の月間「移行」の観察値を含む。

同様に、基礎調査 1 期 2 期 3 期と特定調査第 4 期の連結サンプルの 960,000 人から、第 2・3 期間の労働力状態の 11 か月間「移行」が不明である 156,146 人を除くと、803,854 人に関して第 2・3 期間の労働力状態の 11 か月間「移行」がわかる。このサンプルは 803,854 の 11 か月間「移行」の観察値を含む。

5. 記述統計

ダブルストックサンプルを用い、第2期から第3期への11か月間「移行」確率、第1期から第2期、または第3期から第4期への月間「移行」確率を求める。学歴別の集計もするため第4期の記録を含む観察値を用いる。

表3は、第2期から第3期への11か月間「移行」確率を示す。同様に、表4は、第1期から第2期、または第3期から第4期への月間「移行」確率を示す。各セルは期間中の特定の「移行」を示す。例えば、表3のU-Eのセルは、第2期にU、第3期にEの状態で観察される（慣例的手法の）「移行」に対応する。第2期と第3期の間にOスペルが含まれる可能性やEスペルとUのスペルが含まれる可能性がある。慣例的手法は、同一状態への「移行」を生存とみなすが、本研究ではこれを「生存」と呼び、真の生存と区別する。

ダブルストックサンプルの「移行」確率の特徴は、同一状態の「生存」確率が高いことである。表3と表4の各セルの上段の数値は観測値の数、中段は行内の相対頻度（%）、下段は列内の相対頻度（%）を示す。11か月間のEE「生存」確率は94.7%、UU「生存」確率は37.9%、OO「生存」確率は83.3%である。月間確率は11か月間の確率より高く、月間EE「生存」確率は98.6%、UU「生存」確率は77.8%、OO「生存」確率は95.1%である。

慣例型の「生存」確率から真の生存確率を識別できるためには、移行確率が一定であり、かつ、期間を通して他の状態から期首状態への流入がない必要がある。例えば、11か月間EE「生存」確率が真の11か月間EE移行確率であるためには、真のEE移行確率が一定であり、11か月間を通してU、OからEへの流入がない必要がある。

しかし、これらの条件は（少なくとも説明変数の値を所与とする以前は）満たされない。これらの条件が満たされるならば、ある状態から同一状態への11か月間「生存」確率は月間「生存」確率の10乗に等しくなければならないが、実際には異なる。例えば、11か月間EE「生存」確率は、月間EE「生存」確率の10乗に等しくなければならないが、実際には異なる。以下、これを詳細に見て行く。

表5はE、U、O、Nの各状態の月間「生存」確率、月間「生存」確率の10乗、11か月間「生存」確率を示す。2つの条件が満たされるならば、月間「生存」確率の10乗と11か月間「生存」確率両者はほぼ等しいはずであるが、E、U、O、Nのどれを見ても、前者は後者を下回り、U、O、Nに関しては両者に大きな隔たりがある。Eの月間「生存」確率の10乗は86.67%であり、11か月間「生存」確率の94.64%を7.97%ポイント下回る。Uに関しては、これらの数値は8.17%対37.87%であり、29.7%ポイントの差があり、Oに関しては、これらの数値は60.38%対83.39%であり、23.01%ポイントの差があり、Nに関しては、これらの数値は62.57%対81.69%であり、19.12%ポイントの差がある。

このことは、サンプルを誕生年代×性別×学歴で定義される各コーホート毎についても見出される。表6E、6U、6O、6Nは、男女の各コーホート毎の表である。誕生年代、性別、学歴をコントロールしても、月間確率の10乗と11か月間確率の差はなくなる。男性について見ると、月間「生存」確率の10乗と11か月間「生存」確率との平均的な差は、Eで5.79%ポイント、Uで29.08%ポイント、Oで31.71%ポイント、Nで19.77%ポイントである。女性について同じ数値を見ると、Eで11.14%ポイント、Uで22.58%ポイント、Oで19.21%ポイント、Nで16.61%ポイントである。

6. 推定結果

前節は、ダブルストックサンプルデータを用いた慣例型分析の 2 つの暗黙的仮定が現実には満たされないことを示す。本節では、グループ化された連続時間データを用いた分析を行う。最初に、ストックサンプルによる分析を行い、次に擬似フローサンプルによる分析を行う。最後に、慣例型分析も含めた比較を行う。

6.1 スtockサンプリングモデル

N, U, O, E, J の 5 種類のスペルのストックサンプルを用い、誕生年代×性別×学歴で定義されるコーホート毎にストックサンプリングモデルを推定する。表 7E, 7J, 7U, 7O, 7N は、それぞれ、E, J, U, O, N のスペルの対数ロジスティック・ハザード・モデルの 2 つのパラメータである α と γ の推定結果を示す。ただし、1940 年代生まれの高卒男性、大卒女性の U スペル、短大卒男性、大卒男性の O スペル、1960 年代生まれの短大卒男性の O スペルについては、モデルの推定値が得られない。

表 8E, 8J, 8U, 8O, 8N は、それぞれ、E, J, U, O, N のスペルの生存確率の推定結果を示す。スペースの都合上、表では生存確率を 12 か月目までは 1 か月おきに、12 か月目以降は 12 か月おきに 120 か月目まで示す。括弧内の数値は標準誤差である。生存確率と標準誤差は、 α と γ の推定値、及び、共分散行列の推定値から推定される。

図 1-E, 1-J, 1-U, 1-O, 1-N は、生存確率をグラフで表す。図 2-E, 2-J, 2-U, 2-O, 2-N は、それぞれ、E, J, U, O, N のスペルの月間ハザード率（1 か月間の区間累積ハザード率）をグラフで示す。¹ MH は高卒男性、MJC は短大卒男性、MC は大卒男性、FH は高卒女性、FJC は短大卒女性、FC は大卒女性を示す。

1960 年代以前生まれは、性別・学歴に関わらず、E スペルの 120 か月生存確率が 80% を超える。例えば、1960 年代生まれの 120 か月生存確率は、96%（高卒男性）、93%（短大卒男性）、91%（大卒男性）、88%（高卒女性）、83%（短大卒女性）、91%（大卒女性）であり、差は統計的に有意である。

1960 年代以前生まれと比べ、1970 年代以降生まれの E スペルの生存確率は低い。例えば、1970 年代生まれの 120 か月生存確率は 17%（大卒女性）から 75%（高卒男性）、1980 年代生まれの 120 か月生存確率は 3%（大卒男性）未満である。

しかし、おそらくこれはコーホート効果を示すものではない。前述したように、ストックサンプリングモデルは、1970 年代以降生まれの分析（特に、比較的に長いスペルの分析や学歴間の比較）には適していない。実際、1960 年代以前のいずれのコーホートでも E スペルの生存確率は高い。また、1970 年代以降のコーホートでは、理論の予測に反し、高卒が同一性の短大卒よりも生存確率が高く、短大卒が同一性の大卒よりも生存確率が高い。

男性と大卒女性の E スペルの高い生存確率は、同一企業での長期勤続を反映し、短大卒女性と高卒女性の E スペルの高い生存確率は、転職による長期就労を反映する。1960 年代以前生まれにつ

¹ スペースの都合上、月間ハザード率と標準誤差の表は示さないが、著者から入手できる。

いて見ると、男性と大卒女性の E スペルの生存確率は J スペルの生存確率に近いのに対し、短大卒女性と高卒女性の E スペルの生存確率は J スペルの生存確率を上回る。例えば、1960 年代生まれの E スペルの 120 か月生存確率は、96% (高卒男性)、93% (短大卒男性)、91% (大卒男性)、88% (高卒女性)、83% (短大卒女性)、91% (大卒女性) であるが、対応する J スペルの生存確率は、それぞれ、90%、92%、93%、32%、56%、87% である。

学歴に関わらず、女性の N スペルの生存確率は男性より高く、男性の中では、高卒の N スペルの生存確率は短大卒、大卒より高い。例えば、1960 年代生まれの 120 か月生存確率は、23% (高卒男性)、6% (短大卒男性)、8% (大卒男性)、71% (高卒女性)、69% (短大卒女性)、69% (大卒女性) である。

1960 年代以前生まれと比べ、1970 年代以降生まれの N スペルの生存確率は低い、前述した理由から少なくとも (N スペルの生存確率の高い) 女性についてはおそらくコーホート効果を示すものではない。

U スペルと O スペルの生存確率は低く、N スペルの高い生存確率と整合的に見えない。例えば、1960 年代生まれの U スペルの 120 か月生存確率は性別、学歴に関わらず 0% であり、O スペルの生存確率は 1% (高卒男性)、4% (大卒男性)、1% (高卒女性、短大卒女性、大卒女性) である。

これは、特定調査票では長期の U スペル、O スペルの情報が得られないことによる。U スペルの (調査時点 0 での) 長さは、「(0 か月～) 1 か月未満」、「1 か月～3 か月未満」、「3 か月～6 か月未満」、「6 か月～1 年未満」、「1 年から 2 年未満」、「2 年以上」の 6 つのグループ化されたデータで与えられる。O スペルの (調査時点 0 での) 長さは、「(0 か月超) 1 か月以下」、「1 か月超、1 年以下」、「1 年超」の 3 つのグループ化されたデータで与えられる。

6.2 フローサンプリングモデル

N スペルの擬似フローサンプルを用い、誕生年代×性別×学歴で定義されるコーホート毎にフローサンプリングモデルを推定する。ストックサンプリングモデルとの比較を容易にするために、まず、説明変数と観察不可能な属性を含まないモデルを推定し、次に、説明変数と観察不可能な属性を含むモデルを推定する。前者をフローサンプリングモデル 1、後者をフローサンプリングモデル 2 と呼ぶ。ストックサンプリングモデルと異なり、フローサンプリングモデルは 1970 年代以降生まれのコーホートの分析にも適する。

6.2.1 説明変数と観察不可能な属性を含まないモデル

まず、ストックサンプリングモデルと同様に、説明変数と観察不可能な属性をコントロールしていないフローサンプリングモデル 1 の推定結果を見る。表 9 はハザードモデルの係数パラメータの推定結果を示す。表 10 は、N スペルの生存確率の推定結果を示す。生存確率と標準誤差は、表 9 のパラメータ推定値、及び、共分散行列の推定値から推定される。図 3-N は、生存確率を、また、図 4-N は、月間ハザード率をグラフで示す。²

² スペースの都合上、月間ハザード率と標準誤差の表は示さないが、著者から入手できる。

女性の N スペルの生存確率は同一学歴の男性より高い傾向がある。例えば、1960 年代生まれの 12 か月生存確率は、31%（高卒男性）、28%（短大卒男性）、28%（大卒男性）、42%（高卒女性）、43%（短大卒女性）、50%（大卒女性）である。また、（2002 年～2008 年のサンプル期間中に 23 歳～32 歳となる）1970 年代生まれのコホートではこの傾向が前後のコホートよりも強い。

ストックサンプリングモデルは、男性の中では、高卒の N スペルの生存確率は短大卒、大卒より高いことを示すが、フローサンプリングモデル 1 では大きな差は見られない。例えば、ストックサンプリングモデルに基づく 1960 年代生まれの 12 か月生存確率は、99%（高卒男性）、92%（短大卒男性）、96%（大卒男性）であるが、対応する（13 か月間擬似フローサンプルを用いた）フローサンプリングモデル 1 に基づく 12 か月生存確率は 23%、22%、22%である。

6.2.2. 説明変数と観察不可能な属性を含むモデル

次に、説明変数と観察不可能な属性を含むフローサンプリングモデル 2 を推定する。説明変数は、年齢、年齢 2 乗、婚姻状態（独身が基準）、配偶者の年齢、配偶者の年齢 2 乗、配偶者の学歴（高卒が基準）、年齢区分別子ども数、前職の勤めか自営かの区別（正規の職員・従業員が基準）、前職の産業（製造業が基準）、前職の職業（製造・製作作業者が基準）、前職の従業者規模（30～99 人が基準）、前職の離職理由（より良い条件の仕事を探すための基準）、年齢区分別子ども数×都道府県別保育所待機児童数、年齢区分別子どもの有無×都道府県別保育所待機児童数、都道府県別有効求人倍率、年（2002 年が基準）、地域（7 大都市以外の人口集中地域が基準）、都道府県（東京都が基準）である。

表 11 は、ハザードモデルの未知の係数パラメーターの推定結果を示す。括弧内の数値は t 値である。ただし、1940 年代コホートの高卒女性については、モデルの推定値が得られない。

表 12 は、N スペルの生存確率の推定結果を示す。生存確率と標準誤差は、表 11 のパラメーター推定値、及び、共分散行列の推定値から推定され、生存確率は、コホートの N スペル開始時点の平均初期年齢、独身、子どもなし、前職が正社員、製造業、製造職種、従業員数 30 人の企業、より良い仕事が見つかったことによる離職、コホートの N スペルのサンプルの平均有効求人倍率、2002 年、都市部人口集中地区、東京都で評価される。年齢については、スペルの進行と共に増加させる。従って、説明変数と観察不可能な属性を含まないモデルとの比較には注意を要する。図 7N は生存確率を、また、図 6-N は月間ハザード率をグラフで示す。³

説明変数と観察不可能な属性をコントロールすると、N スペルの生存確率の男女差が逆転する。説明変数と観察不可能な属性を一定に保つと、女性の N スペルの生存確率は同一学歴の男性より低い傾向がある。例えば、1960 年代生まれの 12 か月生存確率は、60%（高卒男性）、78%（短大卒男性）、10%（大卒男性）、12%（高卒女性）、42%（短大卒女性）、56%（大卒女性）である。

6.3 モデル間の比較

表 13 は、N スペルの生存確率をダブルストックサンプリング（慣例型分析）、ストックサンプリングモデル、3 つのフローサンプリングモデルの間で比較する。フローサンプリングモデル 2 では、

³ スペースの都合上、月間ハザード率と標準誤差の表は示さないが、著者から入手できる。

生存確率を推定するに際し、他のモデルと異なる属性で評価する点に注意したい。

慣例型分析の 11 か月生存確率は、誕生年代コーホート、性別、学歴に関わらず、ストックサンプリングモデルより低く、フローサンプリングモデル 1 より高い。ストックサンプリングモデルによる分析が適さない 1970 年代以降生まれのコーホートを除いても同じことが言える。例えば、1960 年代生まれの高卒男性の 11 か月生存確率は、0.715（慣例型分析）、0.986（ストックサンプリングモデル）、0.313（フローサンプリングモデル 1）である。

ダブルストックサンプリングによる慣例型分析、ストックサンプリングモデル、フローサンプリングモデルは大きく異なる生存確率を示す。概して、ストックサンプリングモデル、ダブルストックサンプリングによる慣例型分析、フローサンプリングモデルの順に生存確率は高い。

ダブルストックサンプリングによる慣例型分析の「生存」確率がストックサンプリングモデルの生存確率より低いのは、直観的に理解しやすい。慣例型分析は、ダブルストックサンプルを用い、ある時点でストックサンプルされたスペルのその後の長さ (T_a) を不完全ながらも（その時点での労働力状態と将来の時点での労働力状態とを比べることにより）追う。ストックサンプリングされるスペルの T_b と T_a は同一の分布を持つ。また、 T の母集団ハザード率がスペルの進行に伴い下降する場合には、 T_b と T_a の期待値は T の期待値を下回る。従って、 T の母集団ハザード率がスペルの進行に伴い下降する場合には、ストックサンプリングを考慮するストックサンプリングモデルと比べ、それを考慮しない慣例型分析が低い生存確率を示すとしても不思議ではない。ただし、図 2-N が示すように、ストックサンプリングモデルの N スペルの月間ハザード率は上昇した後には下降する。

ストックサンプリングモデルの推定結果と比べ、フローサンプリングモデル 1 は低い生存確率を示す。ストックサンプリングモデルによる分析が適さない 1970 年代以降生まれのコーホート以外のコーホートに限ってもこの傾向が顕著である。例えば、1960 年代生まれの 12 か月生存確率は、31%（高卒男性）、28%（短大卒男性）、28%（大卒男性）、42%（高卒女性）、43%（短大卒女性）、50%（大卒女性）である。対応するストックサンプリングモデルの 12 か月生存確率は、99%、92%、96%、100%、100%、100%である。

この違いは、フローサンプリングモデルが真のフローサンプルを前提とするにも関わらず、擬似フローサンプルを用いることによると考えられる。真のフローサンプルと比べ、擬似フローサンプルは、比較的最近開始したスペル、従って、比較的短いスペルをより高い頻度でサンプリングする。擬似フローサンプリングによるバイアスを弱めるため、擬似フローサンプリング開始時点を調査時点から遡って 3 年前とする擬似フローサンプルも用い、フローサンプリングモデル 1 を推定し直す。これをフローサンプリングモデル 1A と呼ぶ。

擬似フローサンプリング開始時点を早めるに従い、擬似フローサンプルの生存確率が高くなるとは限らない。擬似フローサンプリング開始時点を十分に早めると（キャリアの開始時点により左トランケートされた）短いスペルをサンプリングするからである。1970 年代以降生まれの個人については、調査時点から遡って 13 か月前の時点がキャリアの開始時点以降であり、調査時点

から遡って3年前の時点がキャリアの開始時点より前になることがある。1960年代以前生まれについては、真のフローサンプルの生存確率は擬似フローサンプルの生存確率よりも高いと考えられる。

13か月間擬似フローサンプルと比べ、3年間擬似フローサンプルの生存確率は概ね高い。図3A-Nは、生存確率を、また、図4A-Nは、月間ハザード率をグラフで示す。⁴ 例えば、前者のサンプルの12か月生存確率は31%（高卒男性）、28%（短大卒男性）、28%（大卒男性）、41%（高卒女性）、42%（短大卒女性）、49%（大卒女性）であるが、後者のサンプルの対応する数値は31%、28%、36%、48%、53%、61%である。1980年代生まれの短大卒女性と大卒女性の生存確率については、13か月間擬似フローサンプルと比べ、3年間擬似フローサンプルの生存確率は低い。

11か月生存確率の性別×学歴間格差はモデル間で大きく異なる。例えば、1960年代生まれのコーホートの11か月生存確率は、慣例型分析とフローサンプリングモデル1では大卒女性、短大卒女性、高卒女性、高卒男性、大卒男性、短大卒男性の順に高いのに対し、フローサンプリングモデル2では短大卒男性、高卒男性、大卒女性、短大卒女性、高卒女性、大卒男性の順に高い。

7. 結論

ダブルストックサンプルを用いる慣例型の「移行」分析から真の移行確率が得られるには、少なくとも2つの厳しい仮定が必要である。第一に、移行がある特定の時点でのみ生じると仮定する必要がある。第二に、移行のハザード率はスペルの長さによらず（少なくとも説明変数を一定に保った後で）一定であると仮定する必要がある。複数種類のスペルを分析するとき、この仮定は、斉時性（初期状態への移行のハザード率が一定である）の仮定をも意味する。仮定が満たされないときに生じる「生存」確率のバイアスの理論的方向は自明ではない。

本研究は、労働力調査から得られる同一スペルのデータを用い、上記2つの仮定を要さない2種類のハザードモデルによる分析を行う。第一に、特定調査票から得られるストックサンプリングされたスペルの調査時点までの長さのデータを用い、ストックサンプリングを考慮したハザード分析を行う。第二に、3回の基礎調査票と特定調査票の同一個人の結合データから得られる擬似フローサンプリングされたスペルの長さのデータを用い、時間を追って変化する説明変数と観察不可能なスペルの属性を考慮したハザード分析を行う。いずれの分析も長さのデータが（例えば、「1か月未満」といったように）グループ化されたデータであることを考慮する。

慣例型分析、ストックサンプリングモデル、フローサンプリングモデルは大きく異なるNスペル生存確率を示す。概して、ストックサンプリングモデル、慣例型分析、フローサンプリングモデルの順に生存確率は高い。

コンピューター資源やデータ制約から未達成の課題が残る。第一に、説明変数と観察不可能な属性の無視がストックサンプリングモデルの生存確率に正のバイアスをもたらす可能性がある。第二に、擬似フローサンプリングによるセレクションを考慮し、フローサンプリングモデルの尤度関数を調整する必要がある。第三に、斉時性の仮定を緩める必要がある。斉時性の仮定を緩めるには、スペルの長さの連続時間データを含むパネルデータを用い、全種類のスペル（例えば、

⁴ スペースの都合上、パラメータ、生存確率、月間ハザード率、標準誤差の表は示さないが、著者から入手できる。

E,U,O のスペル) の (競合リスク) ハザードモデルを同時推定する必要がある。労働力調査による労働力状態間以降の分析にはこの点で限界がある。

謝辞

総務省統計研修所の皆様には大変お世話になった。特に、孕石真浩氏の強力なサポートなしでは本研究は不可能であった。心よりお礼を申し上げる。永瀬伸子氏（お茶の水女子大学人間文化創生科学研究科教授）からは原データの読み込みプログラムを、また、水落正明氏（三重大学人文学部准教授）からは都道府県別有効求人倍率のプログラムを使わせていただいた。永瀬氏との度重なる議論は有益であり、本研究へのインセンティブとなった。本稿の執筆に際し、RA の渡邊智美氏（横浜国立大学国際社会科学研究科博士課程後期）には、表の整理、確認など、迅速で正確な仕事をしていただいた。

参考文献

大田聡一・照山博司(2003a)「労働力フローデータによる就業および失業の分析」経済社会総合研究所編『経済分析：雇用創出と失業に関する実証研究』第 168 号, pp.125-189.

大田聡一・照山博司(2003b)「フローデータから見た日本の失業－1980-2000」『日本労働研究雑誌』第 516 号, pp.24-41.

大田聡一・玄田有史(2008)「労働力状態の移行に対する労働市場需給の影響」総務省統計研修所リサーチペーパー第 15 号.

永瀬伸子・水落正明(2009a)「労働力調査のパネル構造を用いた失業・就業からの推移分析」総務省統計研修所リサーチペーパー第 19 号.

永瀬伸子・水落正明(2009b)「若年層は経済回復期に安定雇用に移行できたのか」総務省統計研修所リサーチペーパー第 17 号

Coleman, Thomas S (1989) “Unemployment Behavior: Evidence from the CPS Work Experience Survey” *Journal of Human Resources*, Winter 1989, v. 24, iss. 1, pp. 1-38.

Heckman, James J. and Burton Singer (1986) “Econometric Analysis of Longitudinal Data” in Z. Griliches and M.D Intriligator (eds). *Handbook of Econometrics, Volume III*, Elsevier Science Publishers, pp.1689-1763.

Meyer, Bruce D. (1990) “Unemployment Insurance and Unemployment Spells” *Econometrica*, July 1990, v. 58, iss. 4, pp. 757-82.

補論

調査時点, キャリアの開始時点

特定調査票から得られる各スペルの長さの情報を前職の有無, 前職の離職時期, 年齢に関する情報と組み合わせると, E スペル, U スペル, O スペル, N スペルのいずれについても, 調査時点 0 での長さが (調査票の質問項目に対する回答から直接得られる「○か月未満」, 「○か月以上, △か月未満」, 「○年以上」といった形のグループ化されたデータよりも) 「○年△か月間」といった情報量の多いグループ化されたデータで与えられ得るケースがある。これを詳細に説明するのが補論の目標である。

詳細な説明に先立ち, 調査時点 0 とキャリアの開始時点に関するデータを説明しておく。まず, 調査時点 0 は, 「●年▲月」といったグループ化されたデータでわかる。真の調査時点 0 は「●年▲月 1 日」と「●年▲月 31 日」の間の 1 か月間にあり, 「●年▲月 31 日」を「最新の潜在的調査時点」, 「●年▲月 1 日」を「最古の潜在的調査時点」と呼ぶことにする。通常, 「最古の潜在的調査時点」は真の調査時点 0 よりも前になり, 「最新の潜在的調査時点」は真の調査時点 0 よりも後になる。前者を $-\underline{0}$ で, また, 後者を $\bar{0}$ で表す。

次に, 分析対象とするキャリアの開始時点として, 就労が認められる 15 歳の誕生日, 成人となる 20 歳の誕生日, 学校を卒業・修了・中退した年月などを考えることができる。順に, $(-\tau_{15})$, $(-\tau_{20})$, $(-\tau_s)$ で表わす。誕生日は「●年▲月」といったグループ化されたデータでわかる。例えば, 15 歳の誕生日の場合には「最古の 15 歳の誕生日」を $(-\underline{\tau_{15}})$ で, 最新の 15 歳の誕生日」を $(-\tau_{15})$ で表わす。学歴は, 「在学中 (小学・中学・高校)」, 「在学中 (短大・高専)」, 「大学・大学院」, 「卒業 (小学・中学・高校・旧中)」, 「卒業 (短大・高専)」, 「大学・大学院」の 6 つのグループ化されたデータでわかる。最終学歴を標準年数で達成すると仮定すれば, 学年は 3 月末で終わるので, 「卒業」の場合には, 「最古の潜在的卒業時点」 $(-\underline{\tau_s})$ と「最新の潜在的卒業時点」 $(-\tau_s)$ を定めることができる。以下の説明では, キャリアの開始時点として 15 歳の誕生日を用いるが, 他の開始時点を用いても良い。実証分析では, 学校を卒業・修了・中退した年月を用いる。

現職の開始時点, 前職の終了時点, 失業の長さ, 非労働力の長さに関するデータもグループ化されたデータであるが, これらについては, 以下で詳細に説明する。

以下では, 主に調査時点 0 で進行中の各スペル (J, E, U, O, N) の真の (調査時点 0 での) 長さ T_b と左センサリング, または, グループ化の状況に焦点を当てる。定義により T_b は調査時点 0 でストックサンプリングされているスペルの調査時点 0 までの長さである。スペルは常に右センサリングされているが, それについては以下では繰り返さない。なお, 今回の分析には利用しないが, 他のスペルについて得られる情報についても触れて行く。

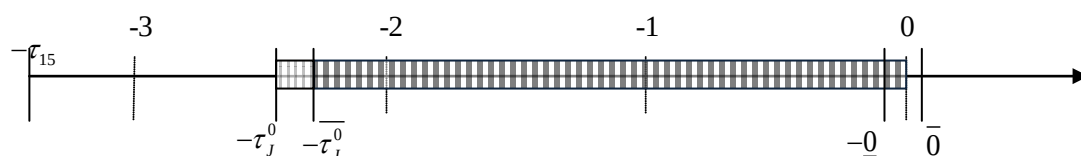
以下の詳細な説明では図を使用するが、その際、パターンでスペルの種類等を区別する。J スペルを縦線、U スペルを右上がり対角線、O スペルを右下がり対角線、N スペルを横線のパターンで示すことにする。J スペルはE スペルの一部であり、U スペルと O スペルは N スペルの一部である。同じ種類の異なるスペルは太さの異なる線のパターンで示すことにする。また、場合によっては同じスペルの長さの内、確実な部分を太線のパターンで、不確実な部分を細線のパターンで表わすことにする。色とパターンの使い分けはその都度、説明する。

スペルの開始時点と種類を表わすために、いくつかの記号を用いる。スペルの開始時点をもとに $-\tau$ で表す。諸変数の下添え字 (J, E, U, O, N) はスペルの種類を表す。また、上添え字の 0 は調査時点で進行中のスペルを、上添え字の -1 は調査時点以前に終了した直近のスペルを表す。例えば、現職の開始時点は $-\tau_J^0$ である。

1. 調査時点で E/J の場合

(質問項目 A3 から) 現職の開始時点 ($-\tau_J^0$) がわかる。ただし、「○年△月」といったグループ化されたデータでわかる。真の開始時点は「○年△月 1 日」と「○年△月 31 日」の間の 1 か月間にあり、「○年△月 1 日」が「最古の潜在的開始時点」, 「○年△月 31 日」が「最新の潜在的開始時点」である。前者を $-\tau_J^0$ で、また、後者を $-\tau_J^0$ で表す。下の図で、太い縦線のパターンは現職の J スペルの長さの内、確実である部分を、また、細い縦線のパターンは不確実である部分を表わす。また、スペースの都合上、最古の 15 歳の誕生日 ($-\tau_{15}$) と最新の 15 歳の誕生日 ($-\tau_{15}$) を示していないが、前者は真の 15 歳の誕生日 ($-\tau_{15}$) の少し前に、また、後者は少し後に位置する。

現職の開始時点 ($-\tau_J^0$) のグループ化されたデータ「○年△月」と調査時点 0 に関するグループ化されたデータ「●年▲月」を組み合わせることにより、①現在の J スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,J}^0$ が $\min[-\bar{0} - (-\tau_J^0), -\bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\bar{0} - (-\tau_J^0), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。この区間の長さは、(キャリアの開始時点 ($-\tau_{15}$) の後に現職の開始時点 ($-\tau_J^0$) が来る通常の場合には) 2 か月である。

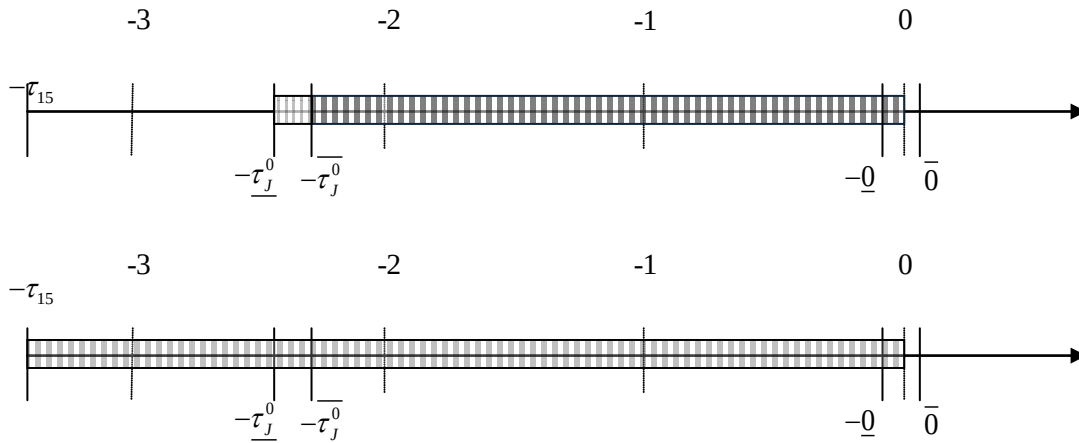


1.1 現職への就職が調査日から遡って3年前より後の場合

1.1.1 前職があり、前職から離職していない場合

下の図が示すように、既知の現職の開始時点 ($-\tau_J^0 \in [-\tau_J^0, -\tau_J^0]$) で複数の仕事への就業 (複数の仕事への就業) が始まっていることになるので、①現職と前職は同一の E スペルに属し、E スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

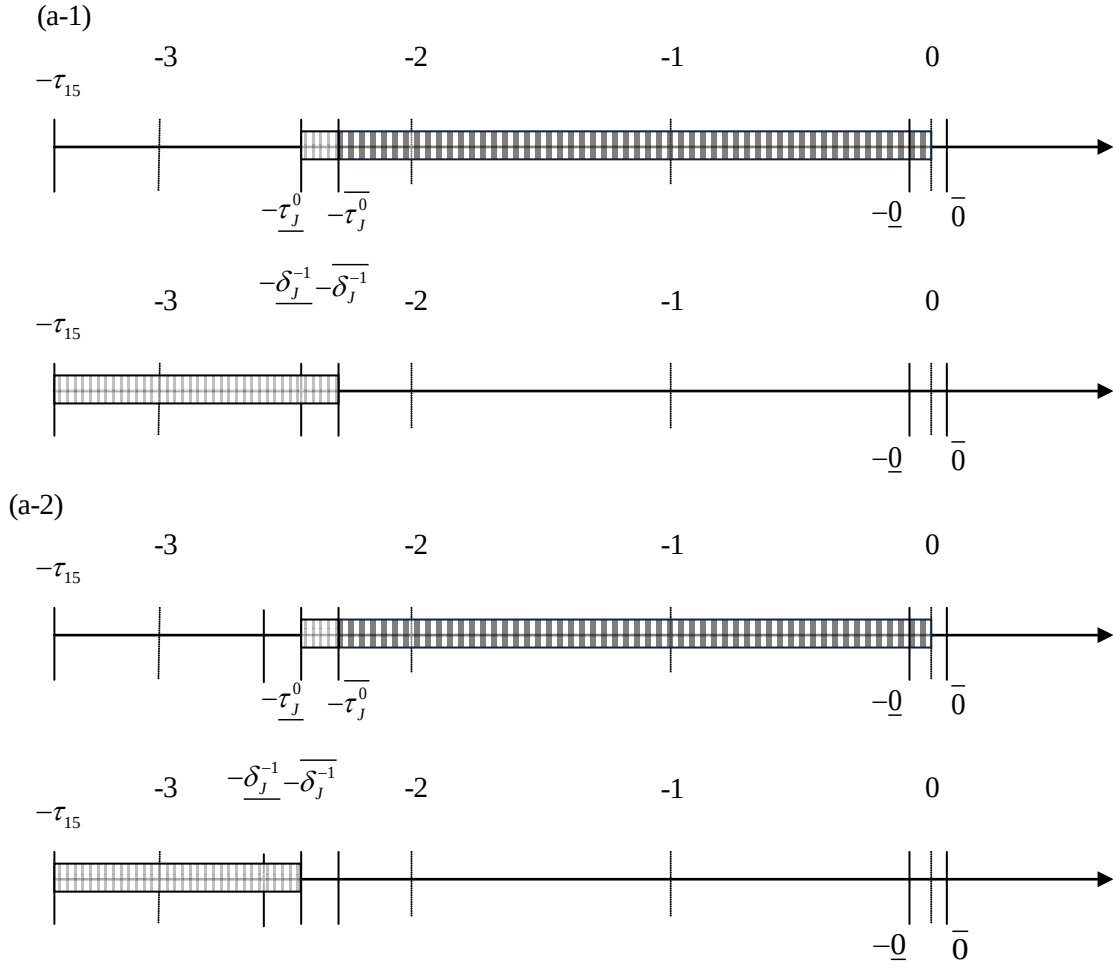
下の最初の図は現職の J スペルを、また、2 番目の図は前職の J スペルを示す。太線のパターンは長さの内、確実な部分を、また、細線のパターンは不確実な部分を示す。前職の開始時点は不明である。



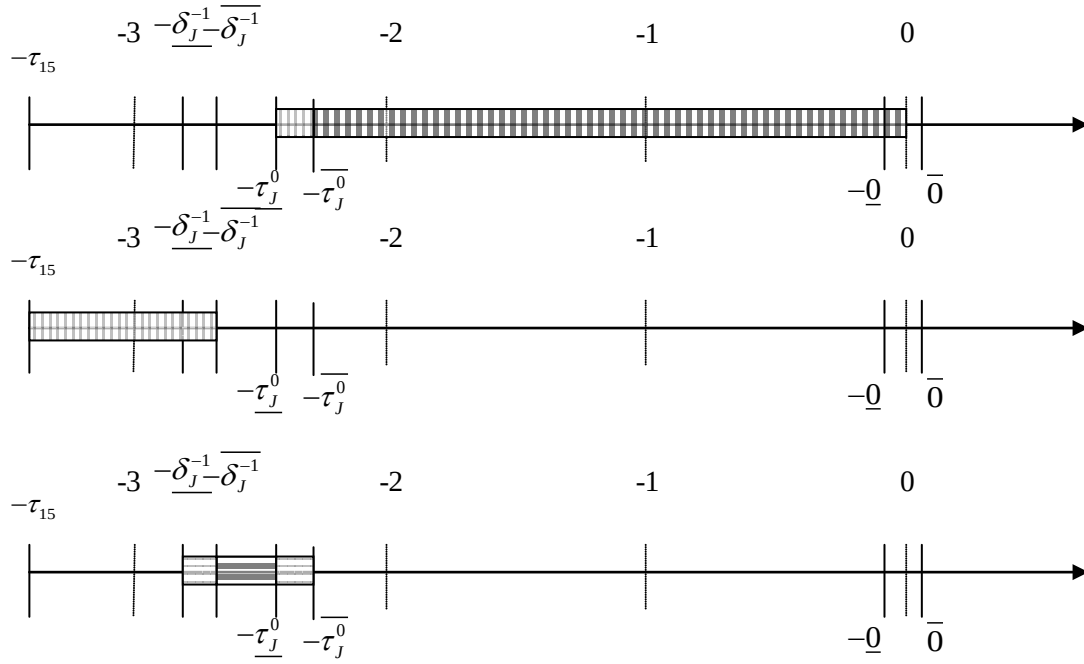
1.1.2 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より後の場合

(質問項目 D1 から) 前職の終了時点 ($= -\delta_J^{-1}$) がわかる。ただし、「〇年△月」といったグループ化されたデータでわかる。真の終了時点は「〇年△月 1 日」と「〇年△月 31 日」の間の 1 か月間にあり、「〇年△月 1 日」が「最古の潜在的終了時点」, 「〇年△月 31 日」が「最新の潜在的終了時点」である。前者を $-\delta_J^{-1}$ で、また、後者を $-\delta_J^{-1}$ で表すことにする。

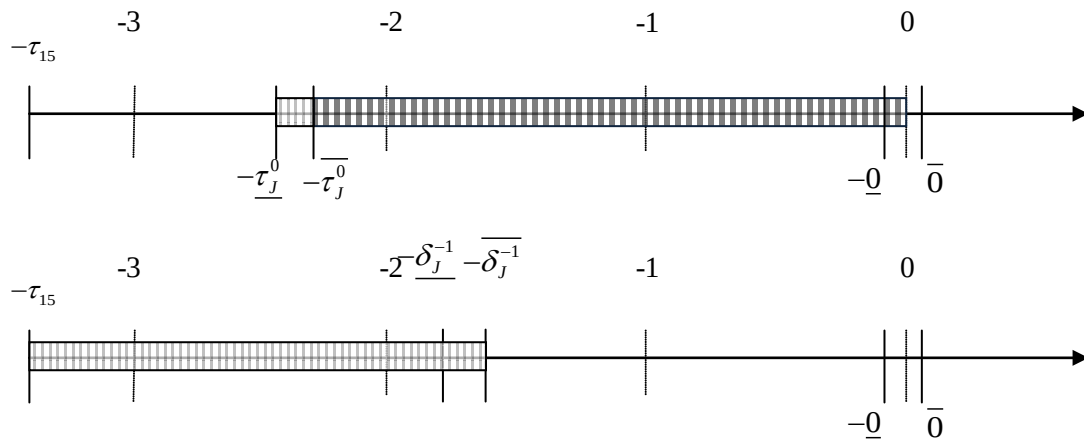
(a)下の図(a-1)が示すように、前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現職の既知の開始時点 $[-\tau_J^0, -\tau_J^0]$ が一致する (前職の終了年月が現職の開始年月と一致する), または、下の図(a-2)が示すように、隣接する (前職の終了年月の翌月が現職の開始年月と一致する) 場合には、N スペルを経ずに J-J 移行があったとみなす。①現職と前職が同一の E スペルに属し、現職 (+ 前職) の E スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



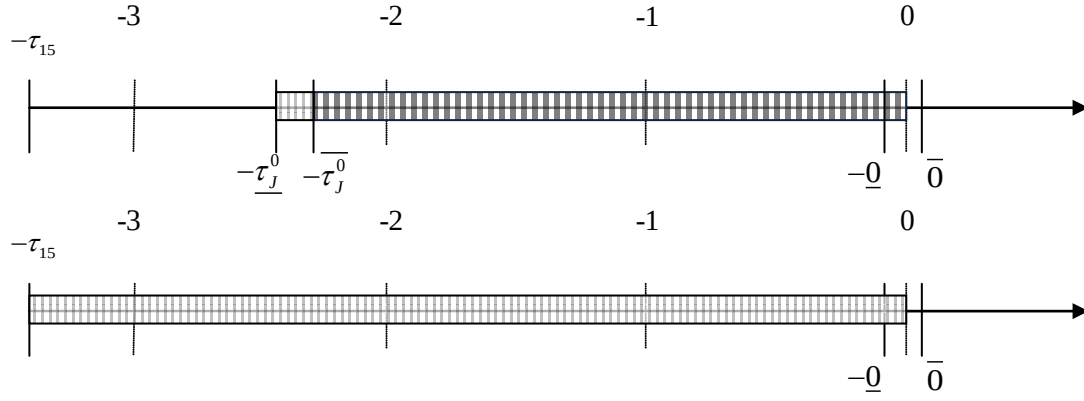
(b)下の図が示すように、前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ の後に現職の既知の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ が来る場合には、前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ でJN移行とEN移行があり、前職と現職は異なるEスペルに属することになるので、①前職のEスペルの長さ T_E^{-1} は $\min[-\underline{\delta}_J^{-1} - (-3), -\underline{\delta}_J^{-1} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $(-\overline{\delta}_J^{-1} - (-\tau_{15}))$ 以下であること、②現職のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\overline{0} - (-\tau_J^0), \overline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、③2つのE/Jスペルを中断したNスペルの長さ T_N^{-1} は $\max[\min[-\tau_J^0 - (-\overline{\delta}_J^{-1}), -\tau_J^0 - (-\tau_{15})], 0]$ 以上、 $\max[\min[-\overline{\tau}_J^0 - (-\underline{\delta}_J^{-1}), -\overline{\tau}_J^0 - (-\tau_{15})], 0]$ 以下であることがわかる。



(c)下の図が示すように、現職の既知の開始時点 $[-\tau_J^0, -\tau_J^0]$ の後に前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ が来る場合には、前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ で複数の仕事への就業が終わっていることになる。現職の開始時点 $[-\tau_J^0, -\tau_J^0]$ の直前に N スペルがあるか、前職の J スペルがあるかはわからないので、①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\tau_{15})$ 以下（または、先述の仮定の下では $\overline{0} - (-\tau_s)$ 以下）であることがわかる。

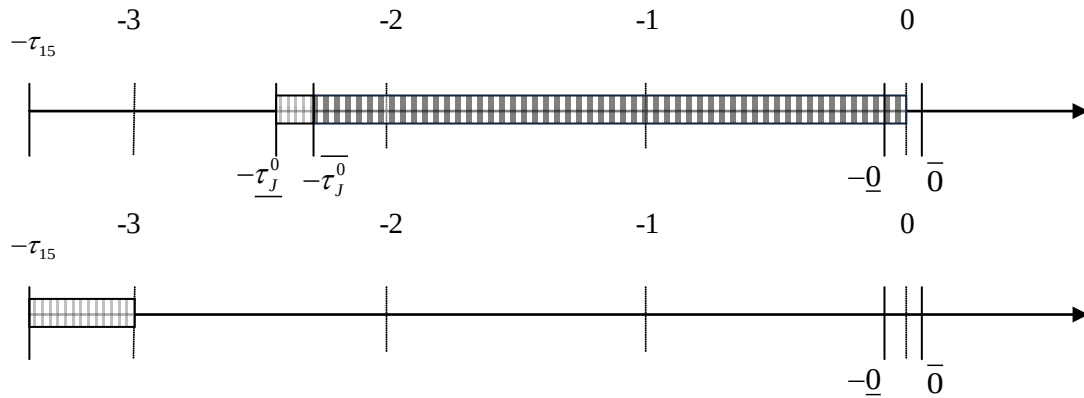


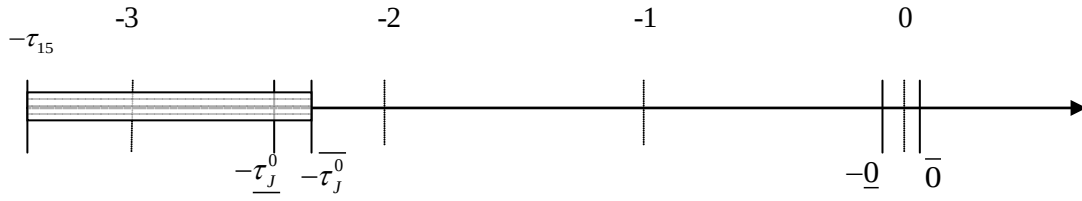
(d) 前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、現職の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ の直前に N スペルがあるか、前職の J スペルがあるかがわからないので、①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\underline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



1.1.3 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より前の場合

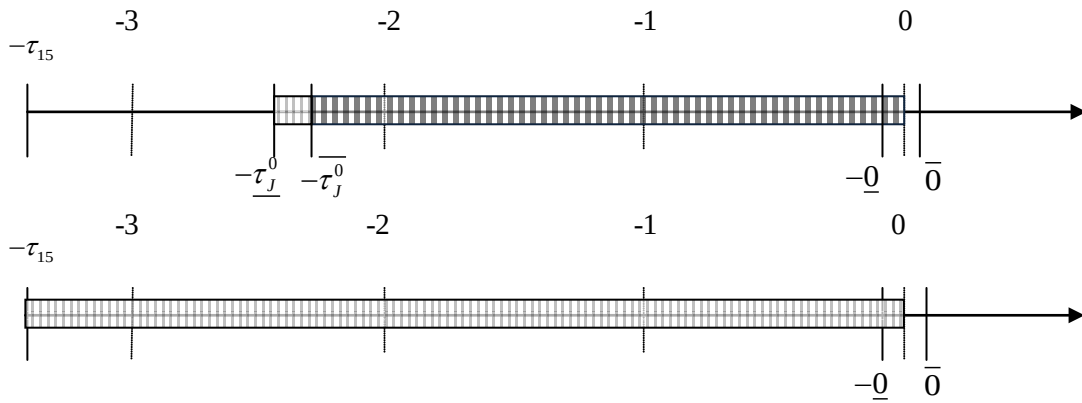
前職の終了時点 $(= -\delta_J^{-1})$ はわからない。下の図が示すように、前職の不明の終了時点 $(= -\delta_J^{-1})$ で JN 移行と EN 移行があり、前職と現職は異なる E スペルに属することになるので、①前職の E スペルの長さ T_E^{-1} は $\max[-3 - (-\underline{\tau}_{15}), 0]$ 以下であること、②現職の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\underline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\min[\overline{0} - (-\underline{\tau}_J^0), \overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下であること、③2つの E/J スペルを中断した N スペルの長さ T_N^{-1} は $\max[\min[-\underline{\tau}_J^0 - (-3), -\underline{\tau}_J^0 - (-\underline{\tau}_{15})], 0]$ 以上、 $\max[-\overline{\tau}_J^0 - (-\underline{\tau}_{15}), 0]$ 以下であることがわかる。





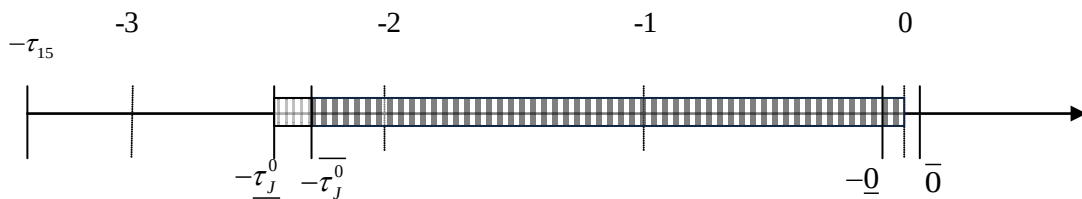
1.1.4 前職があり，前職からの離職が調査日から遡って3年前より前か後か不明の場合

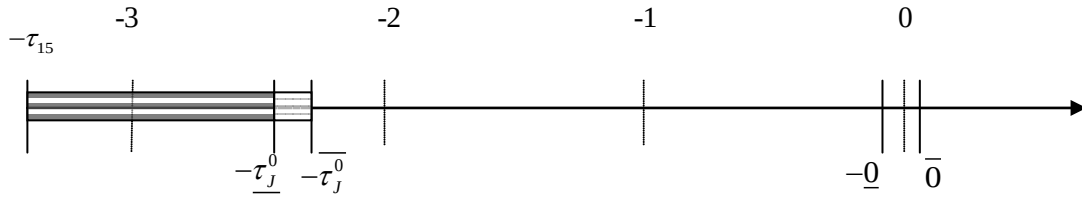
前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ が3年前より前か後かが不明の場合には，下の図が示すように，現職の開始時点 $[-\tau_J^0, -\tau_J^0]$ の直前にNスペルがあるか，前職のJスペルがあるかがわからないので，
 ①現職（と前職）のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上，
 $\overline{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



1.1.5 前職がない場合

下の図が示すように，キャリア開始時点である，既知の15歳の誕生日 $(-\tau_{15})$ にNスペルが始まり，現職の既知の開始時点 $[-\tau_J^0, -\tau_J^0]$ まで続いていたことになるので，①現職のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ が $\min[-\underline{0} - (-\tau_J^0), -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上， $\min[\overline{0} - (-\tau_J^0), \overline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること，②Nスペルの長さ T_N^{-1} が $\max[-\tau_J^0 - (-\tau_{15}), 0]$ 以上， $\max[-\tau_J^0 - (-\tau_{15}), 0]$ 以下であることがわかる。

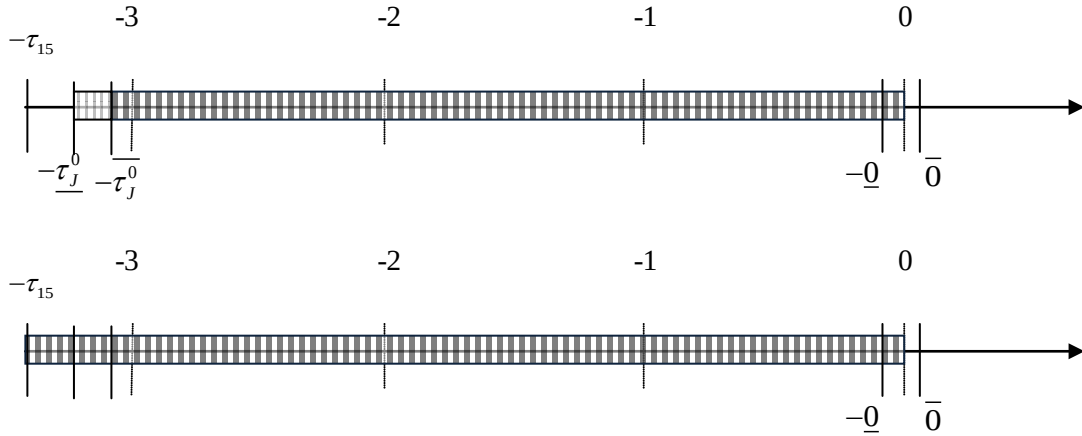




1.2 現職への就職が調査日から遡って3年前より前の場合

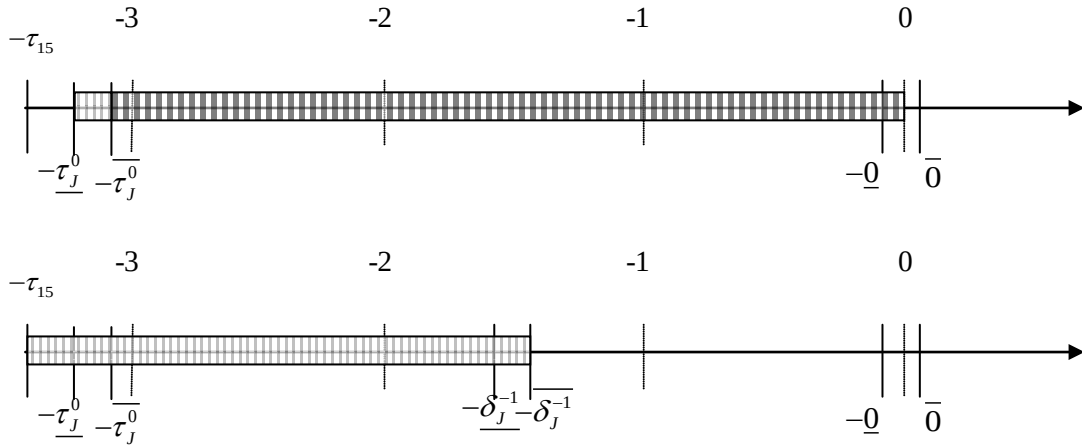
1.2.1 前職があり、前職から離職していない場合

下の図が示すように、現職の既知の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ で複数の仕事への就業が始まり、前職と現職は同一のEスペルに属することになるので、①現職（と前職）のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。

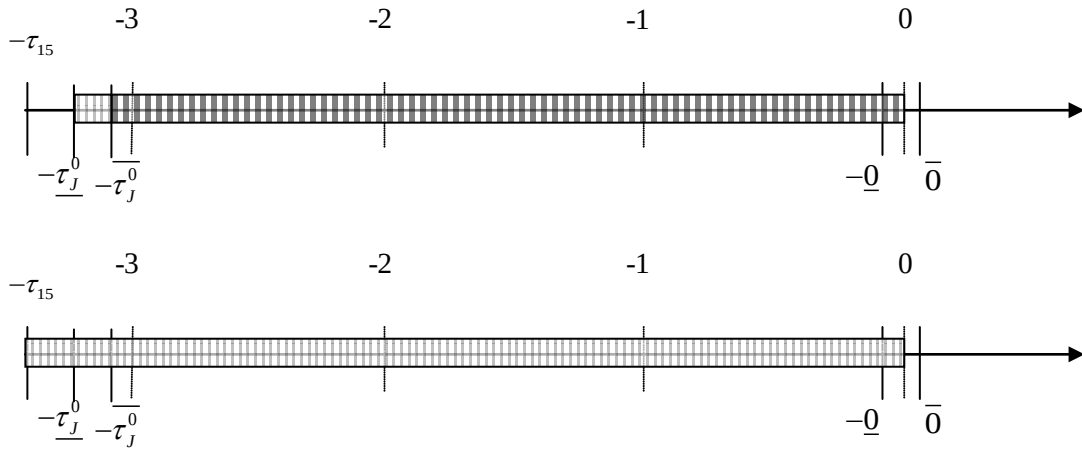


1.2.2 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より後の場合

(a)（質問項目D1から）前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ がわかる。 現職の既知の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ から前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ までの間は複数の仕事への就業の状態であったことになる。 前職の未知の開始時点 $(-\tau_J^{-1})$ の後に現職の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ が来るとは限らないので、現職の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ の直前にNスペルがあるか、前職のJスペルがあるかはわからない。①現職（と前職）のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。

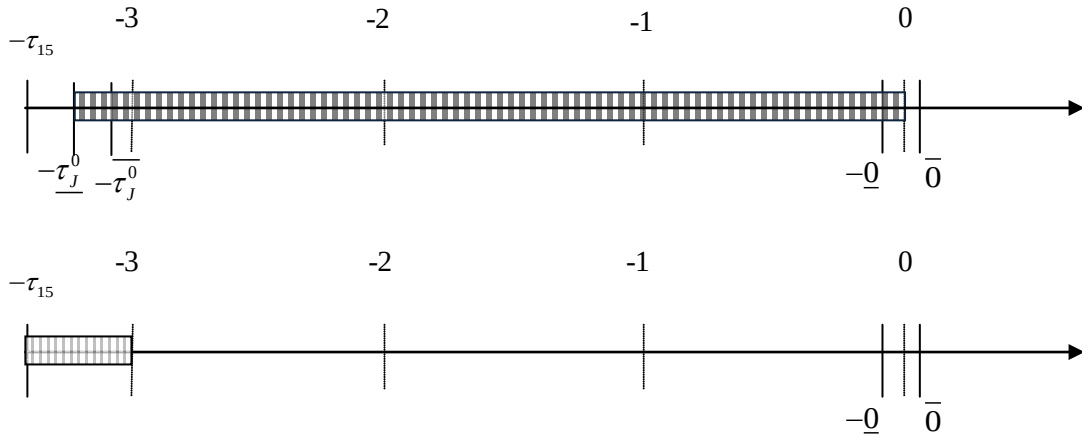


(b) 前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、現職の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ の直前に N スペルがあるか、前職の J スペルがあるかがわからないので、①現職の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



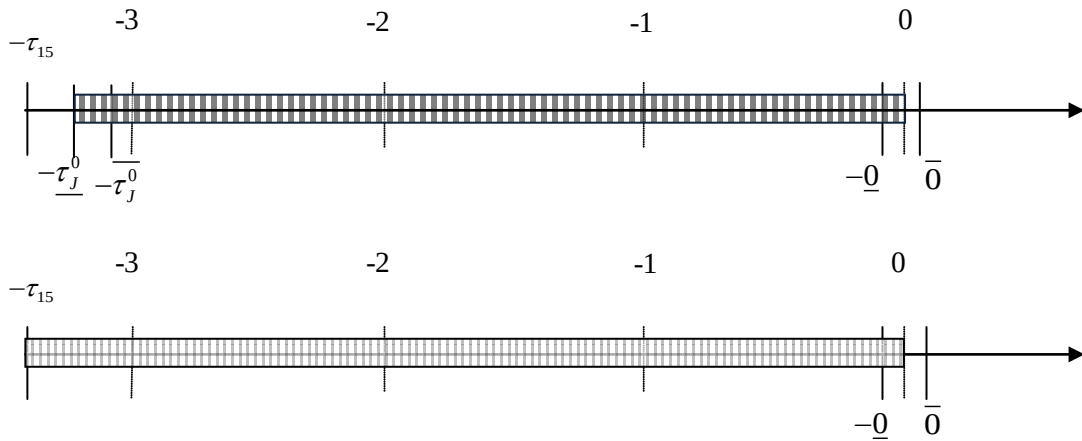
1.2.3 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より前の場合

前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ はわからない。下の図が示すように、前職のスペルと現職のスペルの間に N スペルがあるのか（従って、前職と現職が異なる E スペルに属するのか）はわからないが、①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



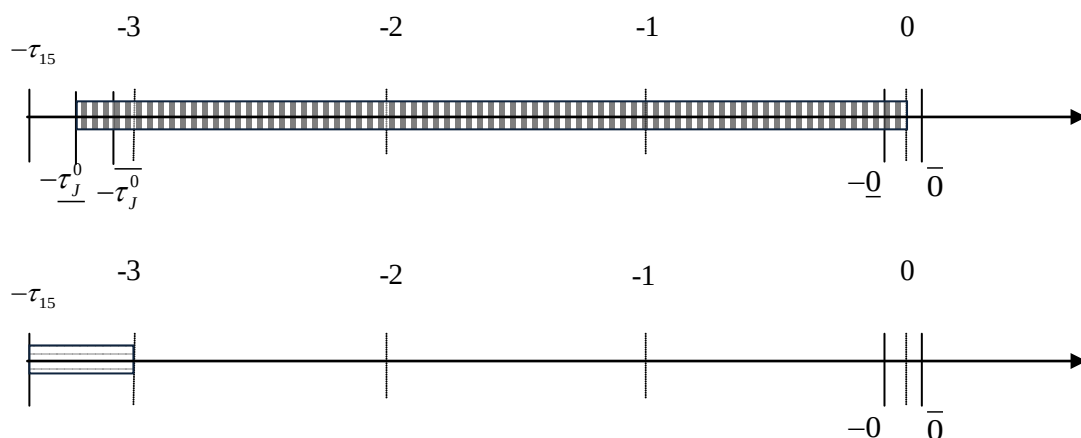
1.2.4 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前か後か不明の場合

前職の終了時点 $[-\underline{\tau}_J^{-1}, -\overline{\tau}_J^{-1}]$ が3年前より前か後かが不明の場合には、下の図が示すように、現職の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ の直前にNスペルがあるか、前職のJスペルがあるかがわからないので、
 ①現職（と前職）のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上,
 $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



1.2.5 前職がない場合

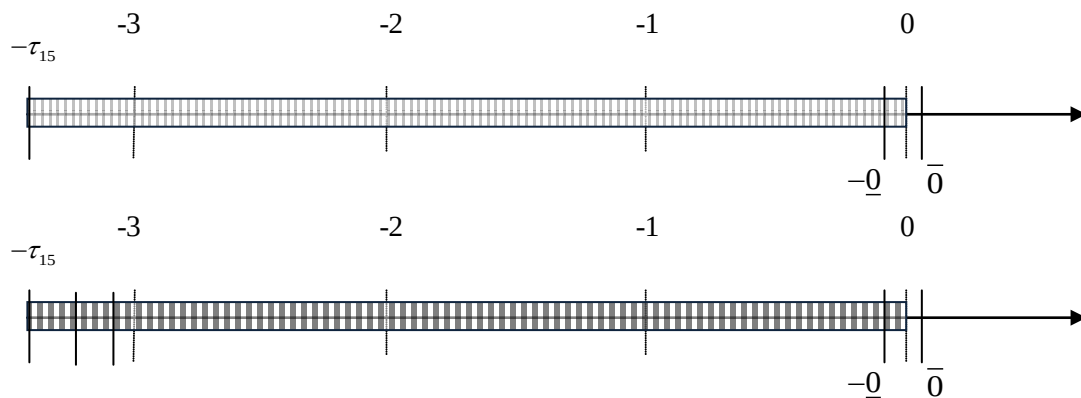
下の図が示すように、キャリア開始時点である、既知の15歳の誕生日 $(-\tau_{15})$ にNスペルが始まり、現職の既知の開始時点 $[-\underline{\tau}_J^0, -\overline{\tau}_J^0]$ まで続いていたことになるので、①現職のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は $\min[-\underline{0} - (-\overline{\tau}_J^0), -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上, $\overline{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であること、②Nスペルの長さ T_N^{-1} は $\max[-\underline{\tau}_J^0 - (-\overline{\tau}_{15}), 0]$ 以上, $\max[(-\overline{\tau}_J^0 - (-\underline{\tau}_{15})), 0]$ 以下であることがわかる。



1.3 現職への就職が不明な場合

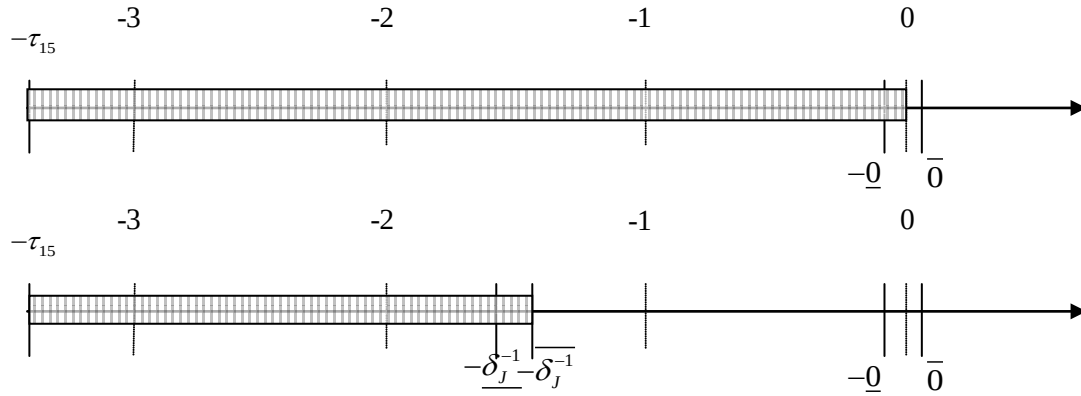
1.3.1 前職があり，前職から離職していない場合

下の図が示すように，調査時点 0 で複数の仕事への就業の状態であり，前職と現職は同一の E スペルに属することになるので，①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は 0 以上， $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

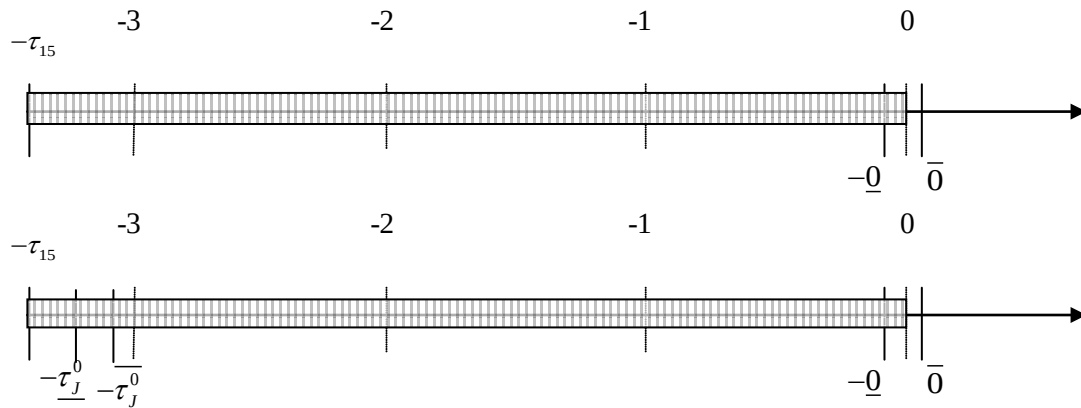


1.3.2 前職があり，前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より後の場合

(a)（質問項目 D 1 から）前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ がわかる。前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ の後に現職の未知の開始時点 $-\tau_J^0$ が来るとは限らないので，現職の未知の開始時点 $-\tau_J^0$ の直前に N スペルがあるか，前職の J スペルがあるかはわからない。①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は 0 以上， $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

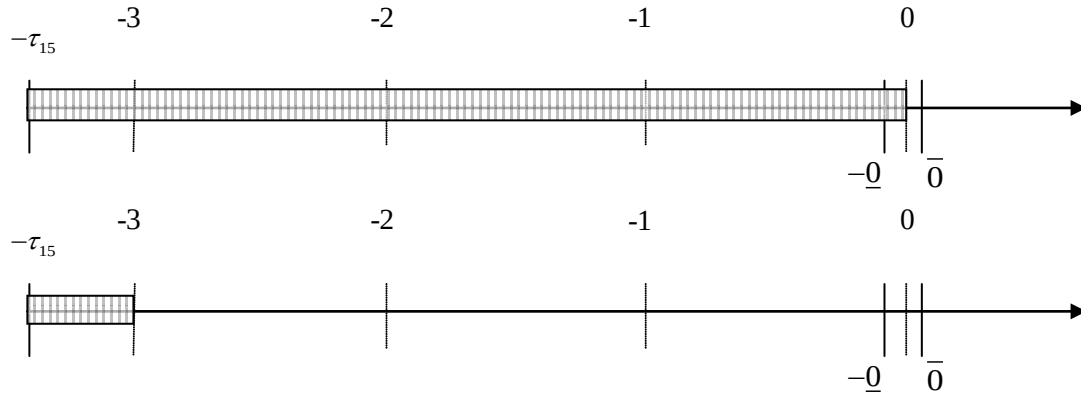


(b) 前職の終了時点 $[-\underline{\delta_J^{-1}}, -\overline{\delta_J^{-1}}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、前職の未知の終了時点 $-\delta_J^{-1}$ の後に現職の未知の開始時点 $-\tau_J^0$ が来るとは限らないので、現職の未知の開始時点 $(-\tau_J^0)$ の直前に N スペルがあるか、前職の J スペルがあるかはわからない。①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は 0 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



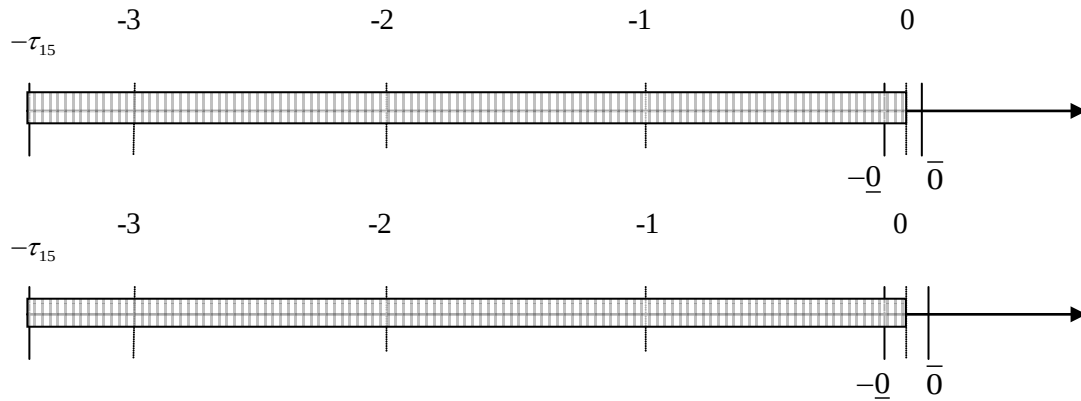
1.3.3 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前の場合

前職の終了時点 $[-\underline{\delta_J^{-1}}, -\overline{\delta_J^{-1}}]$ はわからない。下の図が示すように、前職のスペルと現職のスペルの間に N スペルがあるのか（従って、前職と現職が異なる E スペルに属するのか）はわからないが、①現職（と前職）の E スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,E}^0$ は 0 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



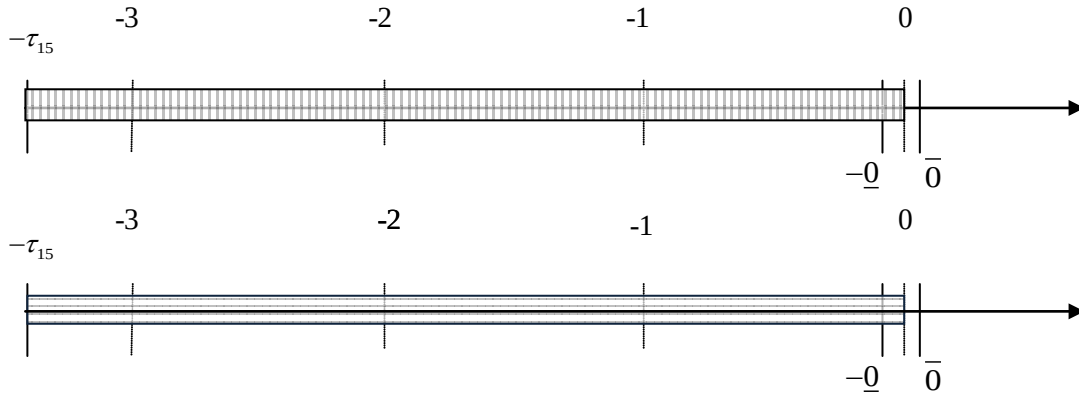
1.3.4 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前か後か不明の場合

前職の終了時点($-\delta_J^{-1}$)が3年前より前か後かが不明の場合には、下の図が示すように、現職の未知の開始時点($-\tau_J^0$)の直前にNスペルがあるか、前職のJスペルがあるかがわからないので、①現職（と前職）のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は0以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



1.3.5 前職がない場合

下の図が示すように、キャリア開始時点である、既知の15歳の誕生日($-\tau_{15}$)にNスペルが始まり、現職の未知の開始時点($-\tau_J^0$)まで続いていたことになるので、①現職のEスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,E}^0$ は0以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であること、②Nスペルの長さ T_N^{-1} は0以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



2. 調査時点で U の場合

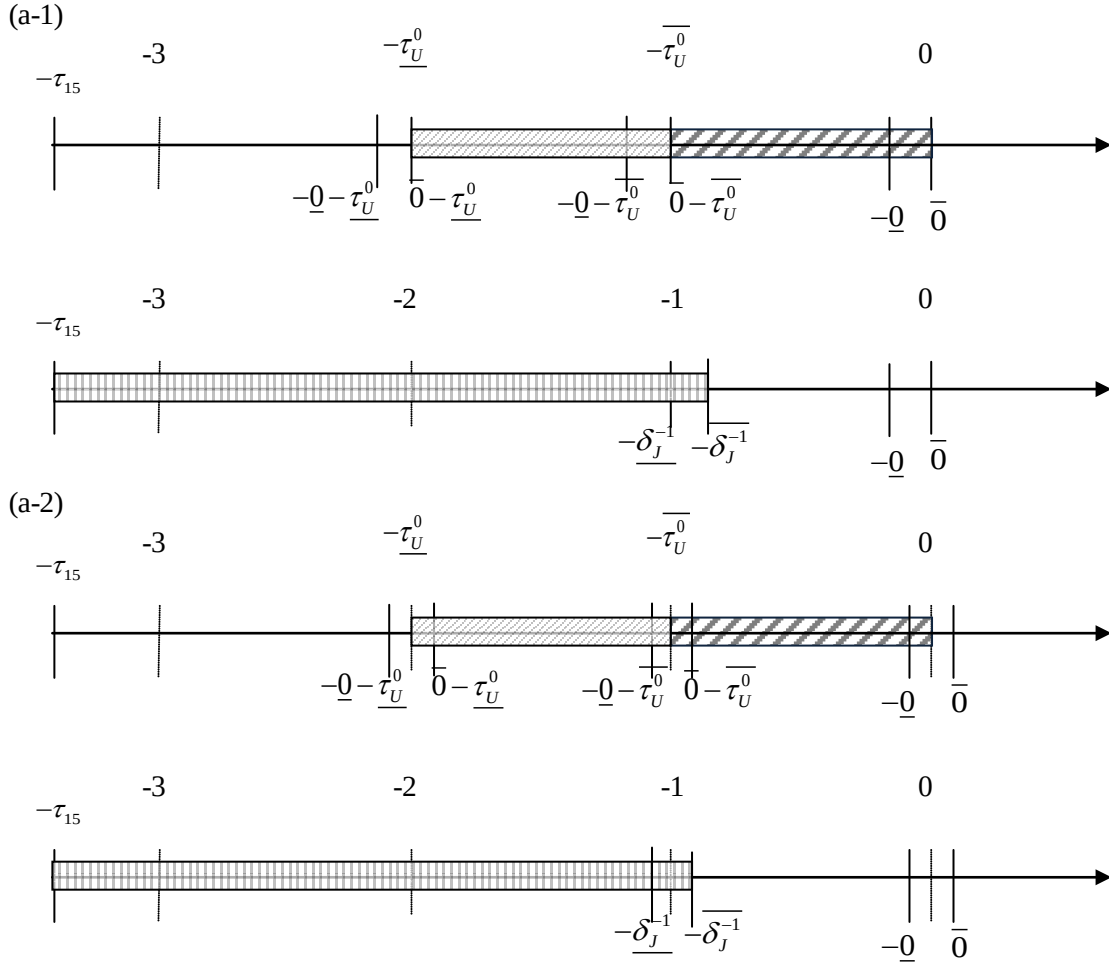
(質問項目 B2 から) 現在の U スペルの (調査時点 0 での) 長さ T_U^0 がわかる。これは, (不明の) 調査時点 0 で計測された長さである。ただし, グループ化されたデータとしてわかる。U スペルの (調査時点 0 での) 長さは, 「(0 か月～) 1 か月未満」, 「1 か月～3 か月未満」, 「3 か月～6 か月未満」, 「6 か月～1 年未満」, 「1 年から 2 年未満」, 「2 年以上」の 6 つのグループ化されたデータ (grouped duration data) となっている。例えば, U スペルの (調査時点 0 での) 長さが 「○か月以上●か月未満」 である場合には, 調査時点 0 から 「○か月前」 が 「最新の潜在的開始時点」, 「●か月前」 が 「最古の潜在的開始時点」 である。前者を $(-\tau_U^0)$ で, また, 後者を $(-\tau_U^0)$ で表すことにする。

2.1 前職があり, 前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より後の場合

(質問項目 D1 から) 前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ がわかる。

(a) 下の (a-1) 図が示すように, 前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現在の U スペルの既知の最新の開始時点 $[-\underline{0} - \tau_U^0, \bar{0} - \tau_U^0]$ が一致する (前職の最古の終了時点と最新の失業の開始時点を含む月の月末と一致する) 場合, または, (a-2) 図が示すように, 隣接する (前職の最古の終了時点の 1 か月後が最新の失業の開始時点を含む月の月末と一致する) 場合には, その時点で J-U 移行, JN 移行があったとみなす。①現在の U スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上, $\min[\bar{0} - (-\underline{0} - \tau_U^0), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下 (あるいは, 同じことであるが, $\min[\bar{0} - (-\delta_J^{-1}), \bar{0} - (-\tau_{15})]$) であること, ②現在の N スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上, $\min[\bar{0} - (-\underline{0} - \tau_U^0), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下 (あるいは, 同じことであるが, $\min[\bar{0} - (-\delta_J^{-1}), \bar{0} - (-\tau_{15})]$) であることがわかる。下の図では, U スペル (右上がり対角線) と

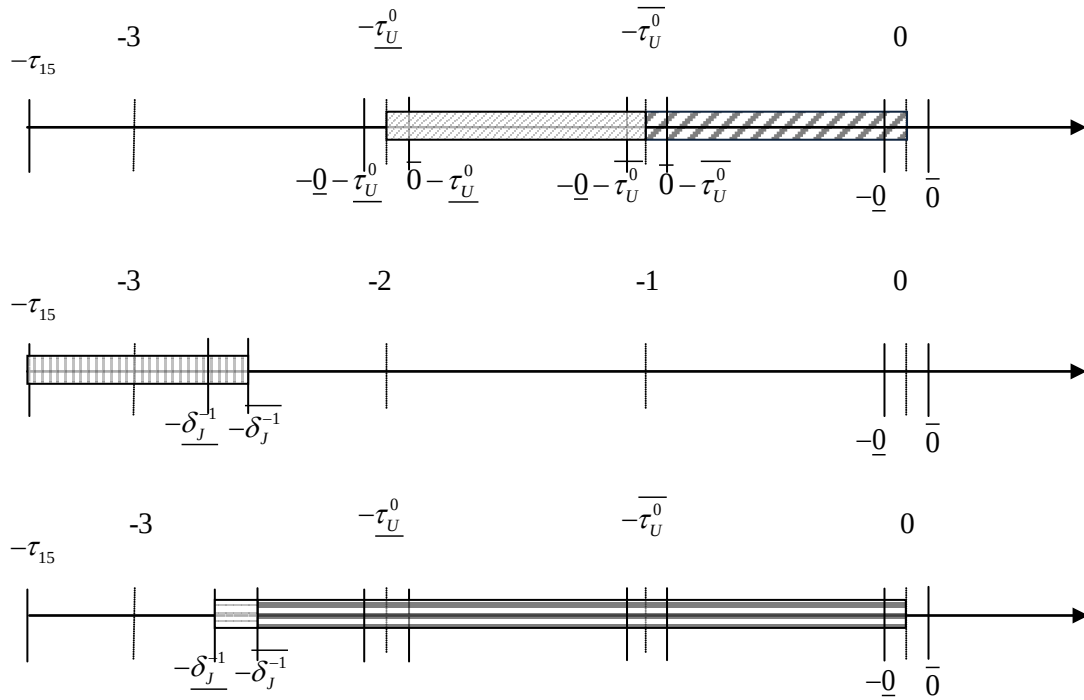
J スペル（縦線）を別々に示し、また、太線のパターンでスペルが確実に進行中である期間、細線のパターンで同じスペルが潜在的に進行中である期間を示す。



一般的には、図(a-2)のように、「最新の潜在的調査時点」は真の調査時点 0 よりも後になるが、図(a-1)のように一致することもある。U スペルの長さは、未知の真の調査時点 0 を基点に測られているのに対し、調査時点 0 に関するデータ、前職の終了時点、（現職の開始時点）に関するデータは「〇年△月」といった、カレンダータイムで測られているからである。

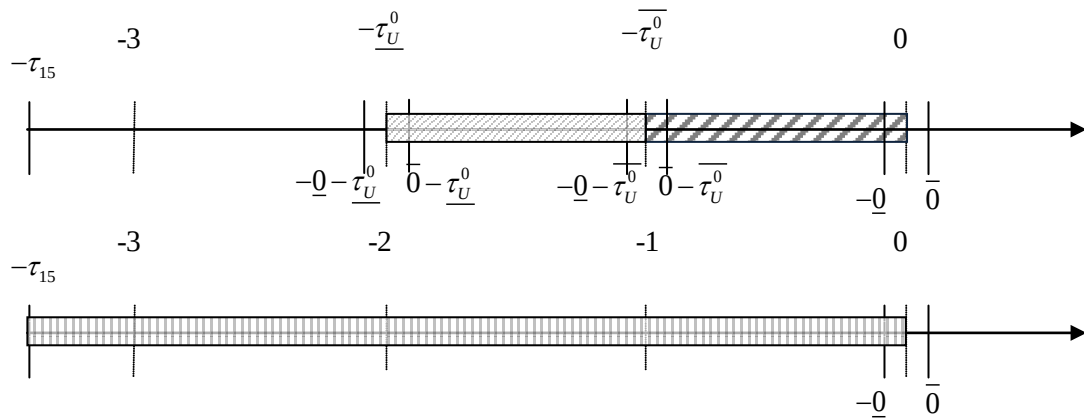
(b) 下の図が示すように、前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ の後に現在の U スペルの既知の最新の開始時点 $[-\underline{0} - \overline{\tau}_U^0, \overline{0} - \overline{\tau}_U^0]$ が来る場合には、前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり、その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが、その N スペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_U^0, \overline{0} - (-\underline{\delta}_J^{-1}), \overline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\overline{0} - (-\underline{\delta}_J^{-1}), \overline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。下の図では、U スペル（右上がり対角線）、J スペル（縦線）、N スペル（横線）

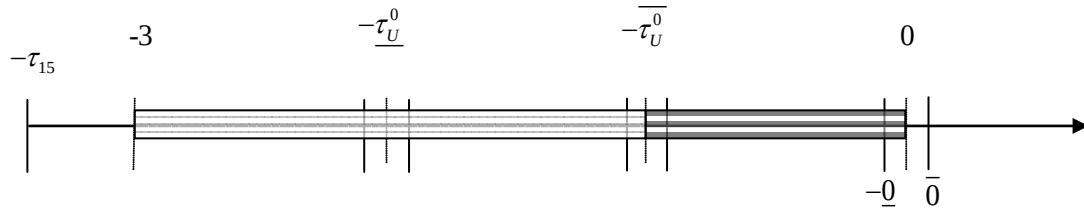
を別々に示し、また、太線のパターンでスペルが確実に進行中である期間、細線のパターンで同じスペルが潜在的に進行中である期間を示す。



この図では、U スペルの最古の開始時点($-\tau_U^0$)が前職の既知の最古の終了時点($-\delta_J^{-1}$)の後に来るように描かれているが、逆のケースもあり得る。従って、U スペルの（調査時点 0 での）長さは $\min[\tau_U^0, \underline{0} - (-\delta_J^{-1}), \underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下である。

(c) 前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、①現在の U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, \underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_U^0, 3, \underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_U^0, \underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[3, \underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。



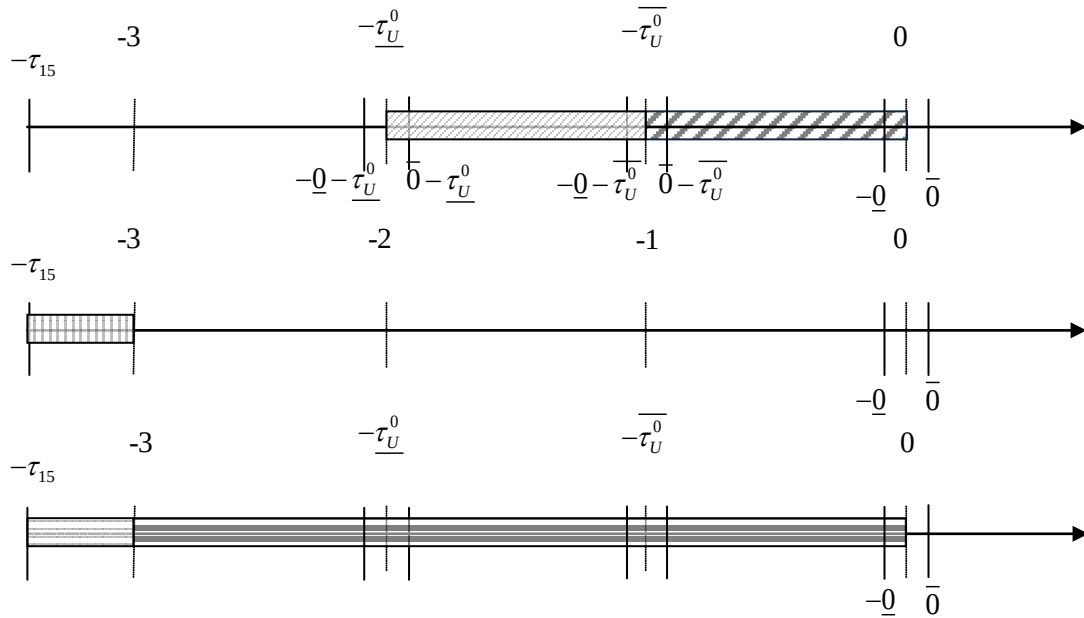


前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現在の U スペルの既知の最新の開始時点 $[-0 - \tau_U^0, \bar{0} - \tau_U^0]$ が整合的でない場合（前者が後者の後に来る場合）についても同様に扱うものとする。

2.2 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ はわからない。下の図が示すように、前職の不明の終了時点

$[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり、その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが、その N スペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, -0 - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_U^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[3, -0 - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

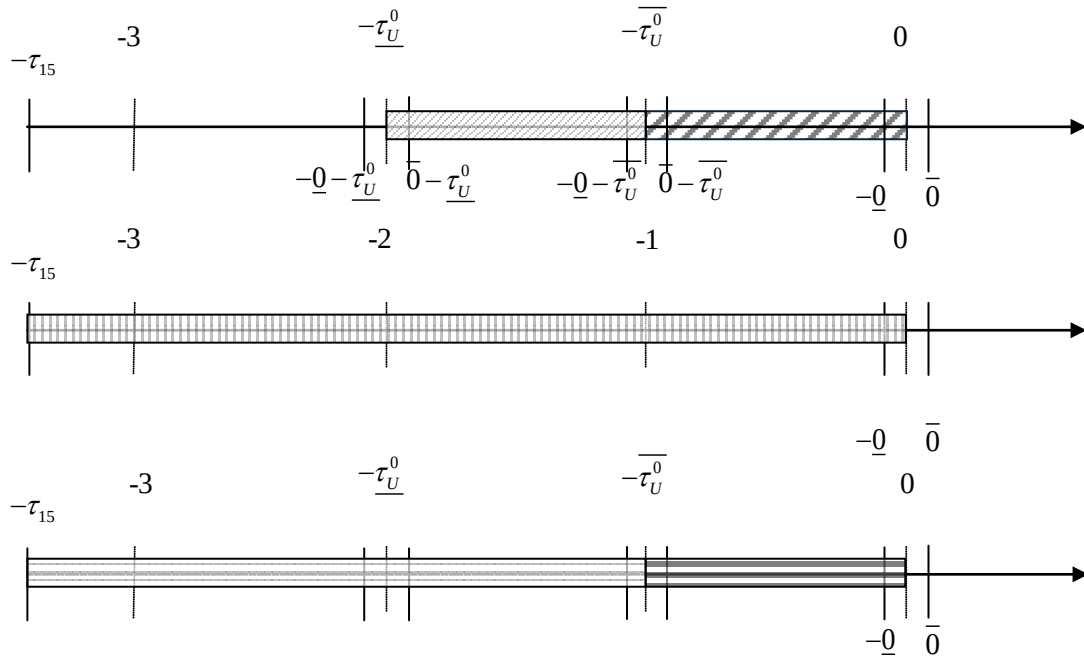


この図では、U スペルの最古の開始時点が前職の終了時点 $(-\delta_J^{-1})$ の後に来るように描かれているが、U スペルの（調査時点 0 での）長さが「2 年以上」の場合には逆のケースもあり得る。しかし、前職の終了時点 $(-\delta_J^{-1})$ は 3 年前以前であること以外はわからず、また、U スペルの開始時点は

2 年前以前であること以外はわからないので、U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ の上限 $\min[\tau_U^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下を下げることはできない。

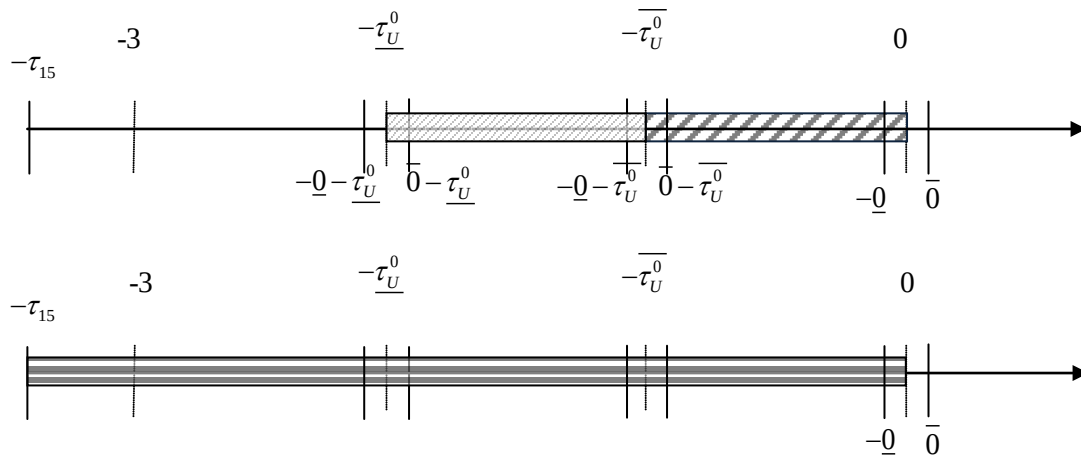
2.3 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より前か後か不明の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ が 3 年前より前か後かが不明の場合には、下の図が示すように、現在の U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_U^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



2.4 前職がない場合

下の図が示すように、キャリア開始時点である、既知の 15 歳の誕生日 $(-\tau_{15})$ に N スペルが始まり、その N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが、その N スペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の U スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,U}^0$ は $\min[\tau_U^0, -\underline{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_U^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $(-\underline{0} - (-\tau_{15}))$ 以上、 $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。



3. 調査時点で O の場合

3.1 収入を伴う仕事への就職を希望, または, 就職が決まっている場合

(質問項目 C 4 から) 求職活動終了時点($-\tau_O^0$)がわかるので, 現在の O スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,O}^0$ がわかる。これは, (不明の) 調査時点 0 で計測された長さである。ただし, グループ化されたデータとしてわかる。O スペルの (調査時点 0 での) 長さは, 「(0 か月超) 1 か月以下」, 「1 か月超, 1 年以下」, 「1 年超」の 3 つのグループ化されたデータ (grouped duration data) となっている。例えば, O スペルの (調査時点 0 での) 長さが「1 か月超 1 年以下」である場合には, 「1 か月前」が「最新の潜在的開始時点」, 「1 年前」が「最古の潜在的開始時点」である。前者を($-\tau_O^0$)で, また, 後者を($-\tau_U^0$)で表すことにする。以下の(1)は, (U と O の役割が逆になる以外は) 調査時点で U の場合と基本的に同じである。

3.1.1 前職があり, 前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より後の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ がわかる。

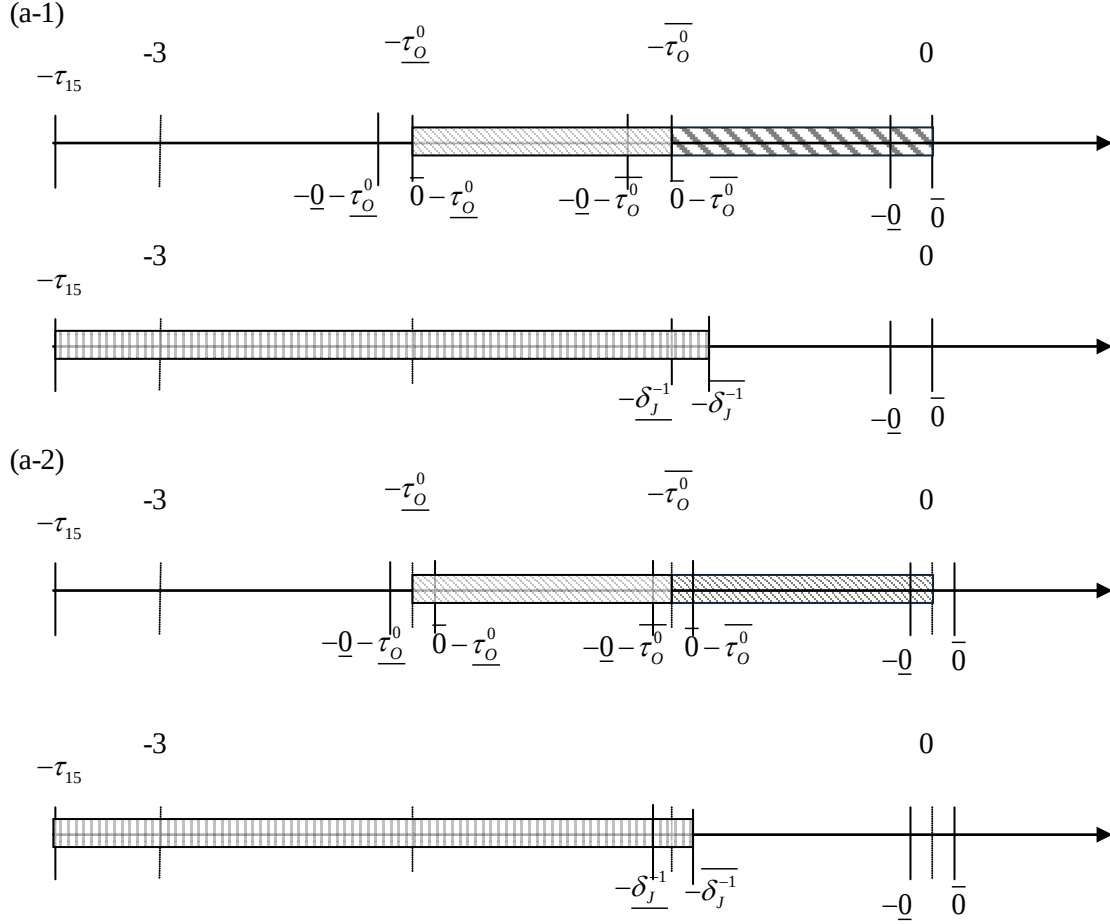
(a)下の図が示すように, J スペルの既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現在の O スペルの既知の最新の

開始時点 $[-\tau_O^0, -\tau_O^0]$ が一致する (前職の最古の終了時点と最新の非労働力の開始時点を含む月の月末と一致する) 場合, または, (a-2)図が示すように, 隣接する (前職の最古の終了時点の 1 か月後が最新の非労働力の開始時点を含む月の月末と一致する) 場合には, その時点で J-U-O 移行, JN 移行があったとみなす。なぜならば, 最後の求職活動時点が O スペルの開始時点として定義されているので, O スペルの直前のスペルは (瞬間的にでも) U スペルでなければならないからである。①現在の O スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,O}^0$ は $\min[\tau_O^0, -\tau_O^0 - (-\tau_{15})]$ 以上,

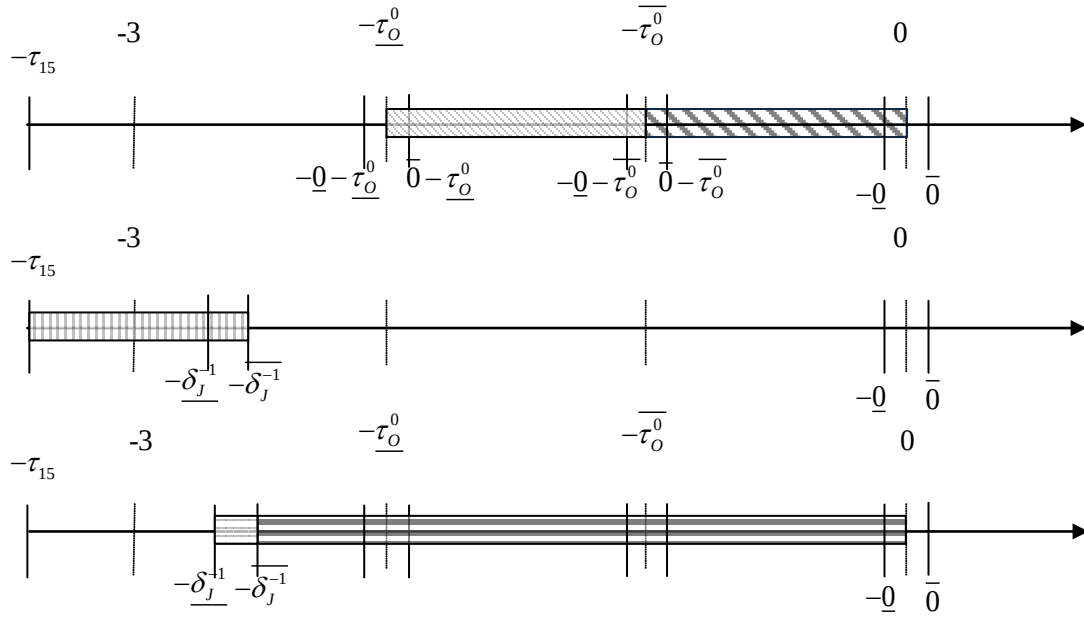
$\min[\tau_O^0 - (-\tau_O^0), \tau_O^0 - (-\tau_{15})]$ 以下 (あるいは, 同じことであるが, $\min[\tau_O^0 - (-\delta_J^{-1}), \tau_O^0 - (-\tau_{15})]$) で

あること, ②現在の N スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_O^0, -\tau_O^0 - (-\tau_{15})]$ 以上,

$\min[\bar{0} - (-\underline{0} - \bar{\tau}_O^0), \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下 (あるいは, 同じことであるが, $\min[\bar{0} - (-\underline{\delta}_J^{-1}), \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$) であることがわかる。下の図では, O スペル (右下がり対角線) と J スペル (縦線) を別々に示し, また, 太線のパターンでスペルが確実に進行中である期間, 細線のパターンで同じスペルが潜在的に進行中である期間を示す。

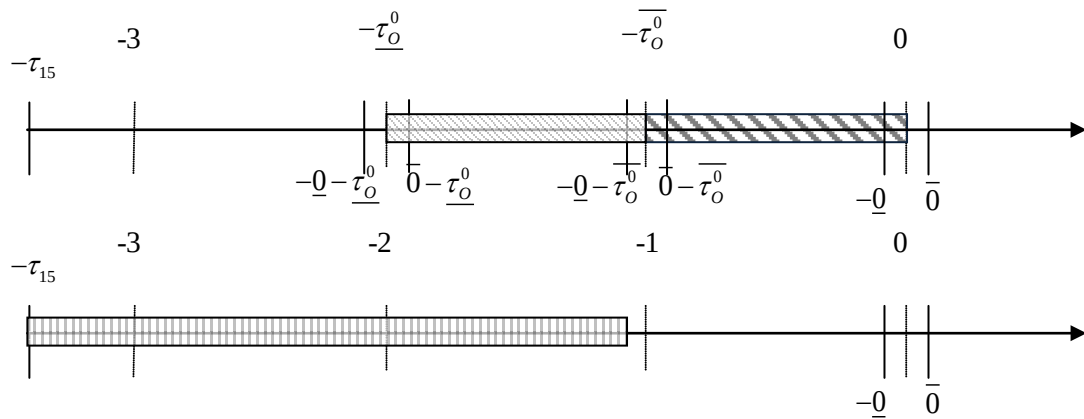


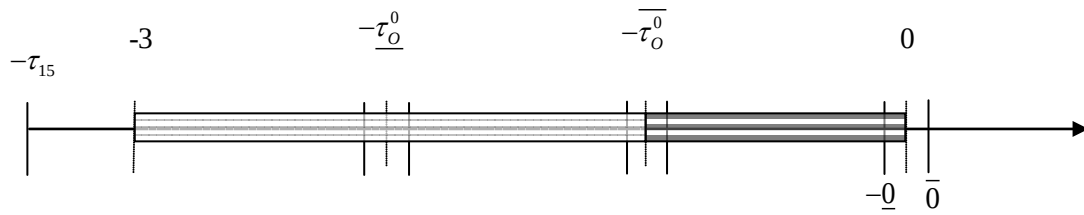
(b) 下の図が示すように, 前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\bar{\delta}_J^{-1}]$ の後に現在の O スペルの既知の最新の開始時点 $[-\underline{0} - \bar{\tau}_O^0, \bar{0} - \bar{\tau}_O^0]$ が来る場合には, 前職の既知の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\bar{\delta}_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり, その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが, その N スペルが調査時点まで続くことになるので, ①現在の O スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,O}^0$ は $\min[\bar{\tau}_O^0, -\underline{0} - (-\bar{\tau}_{15})]$ 以上, $\min[\bar{\tau}_O^0, \bar{0} - (-\underline{\delta}_J^{-1}), \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下であること, ②現在の N スペルの (調査時点 0 での) 長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\bar{\tau}_O^0, -\underline{0} - (-\bar{\tau}_{15})]$ 以上, $\min[\bar{0} - (-\underline{\delta}_J^{-1}), \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下であることがわかる。下の図では, O スペル (右下がり対角線), J スペル (縦線), N スペル (横線) を別々に示し, また, 太線のパターンでスペルが確実に進行中である期間, 細線のパターンで同じスペルが潜在的に進行中である期間を示す。



この図では、O スペルの最古の開始時点($-\tau_O^0$)が前職の既知の最古の終了時点($-\delta_J^{-1}$)の後に来るように描かれているが、逆のケースもあり得る。従って、O スペルの（調査時点 0 での）長さは $\min[\tau_O^0, \bar{0} - (-\delta_J^{-1}), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下である。現在の O スペルの直前のスペルは U スペルであるが、その長さはわからない。

(c)前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,O}^0$ は $\min[\tau_O^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_O^0, 3, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\tau_O^0, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[3, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。



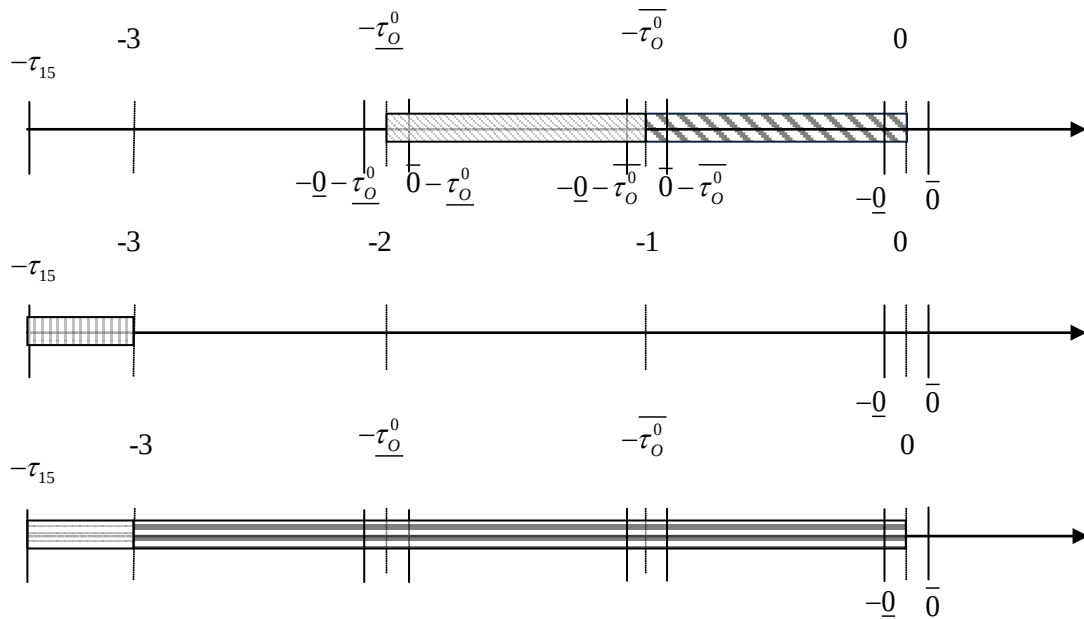


前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現在の O スペルの既知の最新の開始時点 $[-0 - \tau_o^0, 0 - \tau_o^0]$ が整合的でない場合（前者が後者の後に来る場合）についても同様に扱うものとする。

3.1.2 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ はわからない。下の図が示すように、前職の不明の終了時点

$[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり、その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが、その N スペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,o}^0$ は $\min[\tau_o^0, -0 - (-\tau_{15})]$ 以上、 $\min[\tau_o^0, 0 - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,n}^0$ は $\min[3, -0 - (-\tau_{15})]$ 以上、 $0 - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

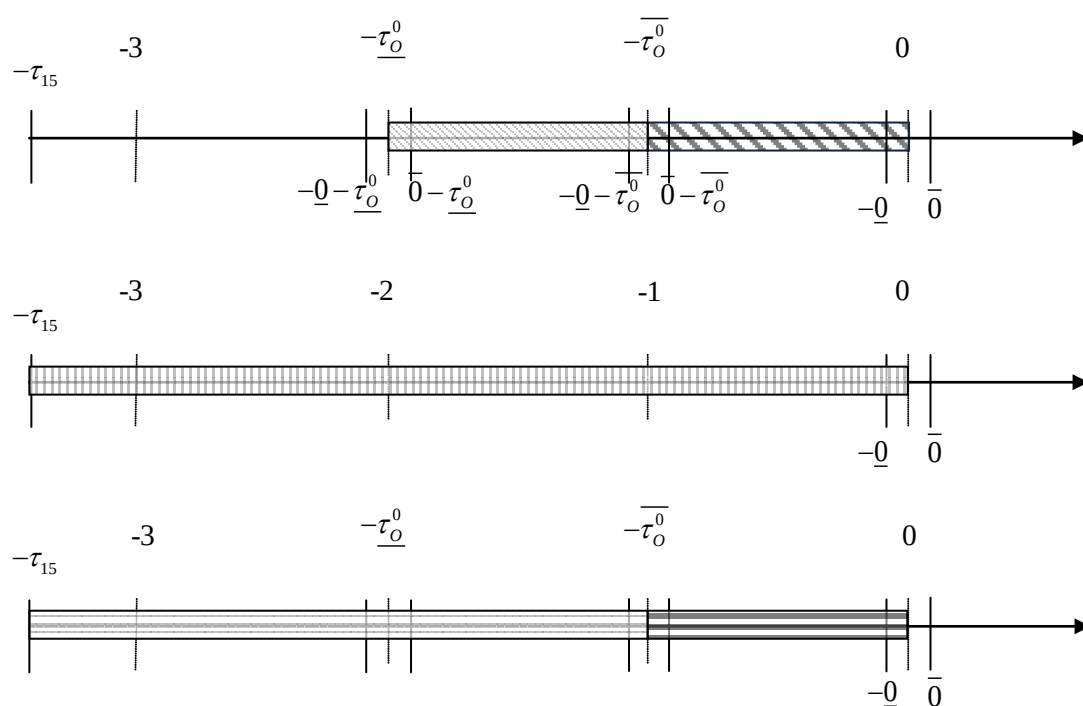


この図では、O スペルの最古の開始時点が前職の終了時点 $(-\delta_J^{-1})$ の後に来るように描かれているが、O スペルの（調査時点 0 での）長さが「1 年以上」の場合には逆のケースもあり得る。しかし、前職の終了時点 $(-\delta_J^{-1})$ は3年前以前であること以外はわからず、また、O スペルの開始時点は1 年前以前であること以外はわからないので、O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,o}^0$ の上限

$\min[\underline{\tau}_O^0, \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下を下げることはできない。

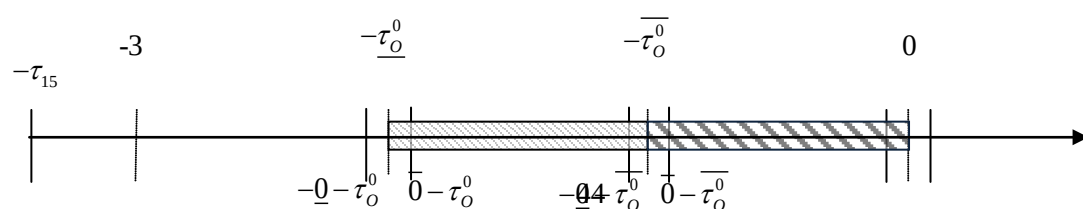
3.1.3 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より前か後か不明の場合

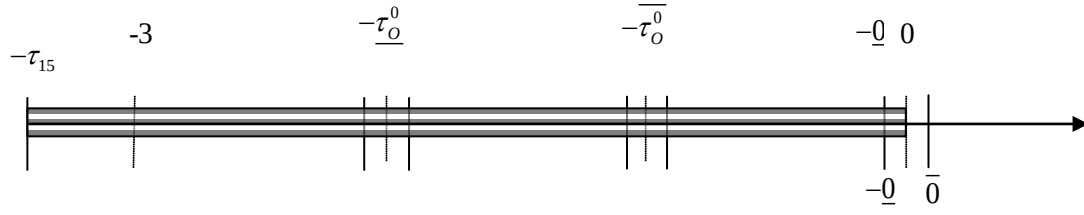
前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_J^{-1}, -\overline{\delta}_J^{-1}]$ が3年前より前か後かが不明の場合には、下の図が示すように、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,O}^0$ は $\min[\underline{\tau}_O^0, -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\min[\underline{\tau}_O^0, \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[\underline{\tau}_O^0, -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



3.1.4 前職がない場合

下の図が示すように、キャリア開始時点である、既知の15歳の誕生日 $(-\tau_{15})$ にNスペルが始まり、そのNスペルがUスペルかOスペルであるかは不明であるが、そのNスペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,O}^0$ は $\min[\underline{\tau}_O^0, -\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15})]$ 以上、 $\min[\underline{\tau}_O^0, \bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $(-\underline{0} - (-\overline{\tau}_{15}))$ 以上、 $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。





3.2 収入を伴う仕事への就職を希望していない場合

求職活動終了時点($-\tau_o^0$)がわからない。

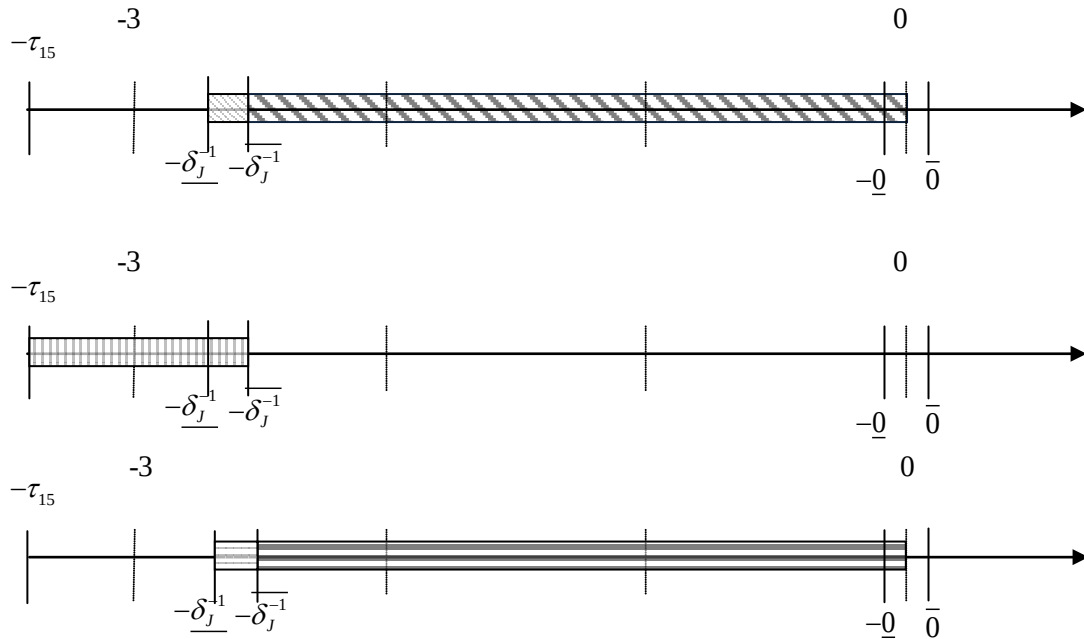
3.2.1 前職があり、前職からの離職が調査日から遡って3年前より後の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ がわかる。

(a)下の図が示すように、前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり、その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが、その N スペルが調査時点まで続くことになるので、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,o}^0$ は 0 以上、

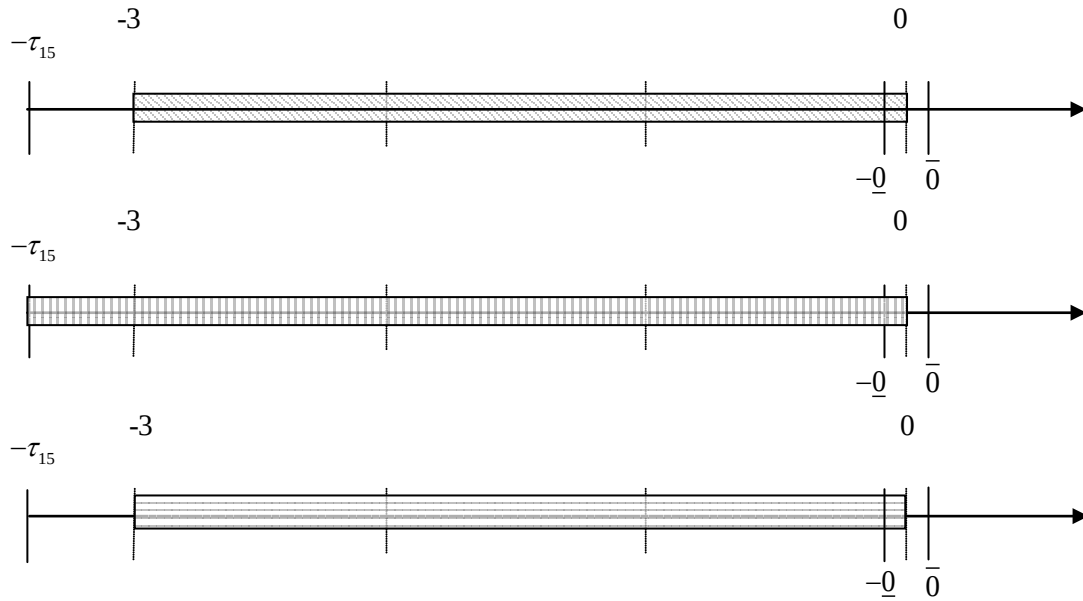
$\min[\bar{0} - (-\delta_J^{-1}), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は

0 以上、 $\min[\bar{0} - (-\delta_J^{-1}), \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。下の図では、O スペル（右下がり対角線）、J スペル（縦線）、N スペル（横線）を別々に示し、また、太線のパターンでスペルが確実に進行中である期間、細線のパターンで同じスペルが潜在的に進行中である期間を示す。



(b) 前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ が欠損値である場合には、下の図が示すように、①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,o}^0$ は 0 以上、 $\min[3, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であること、②現在の N スペル

ルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は 0 以上, $\min[3, \bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以下であることがわかる。

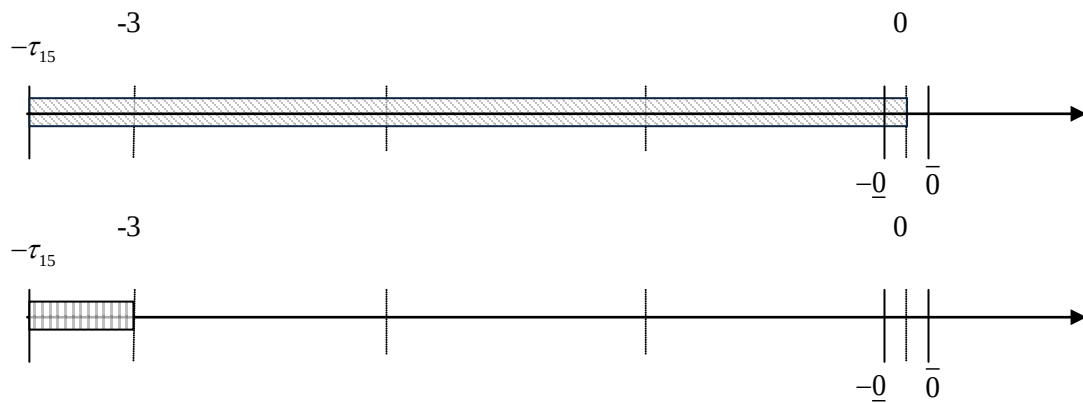


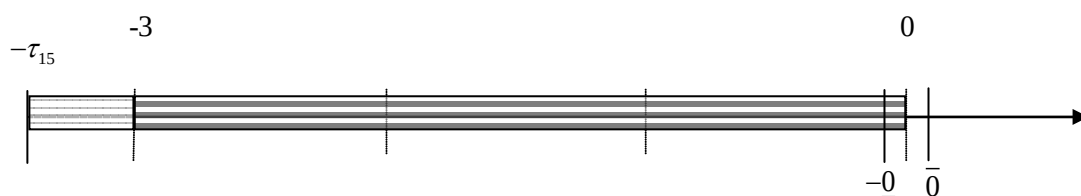
前職の既知の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ と現在の O スペルの既知の最新の開始時点 $[-\bar{0} - \tau_o^0, \bar{0} - \tau_o^0]$ が整合的でない場合（前者が後者の後に来る場合）についても同様に扱うものとする。

3.2.2 前職があり，前職からの離職が調査日から遡って 3 年前より前の場合

前職の終了時点 $[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ はわからない。下の図が示すように，前職の不明の終了時点

$[-\delta_J^{-1}, -\delta_J^{-1}]$ で JN 移行と EN 移行があり，その時点で始まった N スペルが U スペルか O スペルであるかは不明であるが，その N スペルが調査時点まで続くことになるので，①現在の O スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,O}^0$ は 0 以上, $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であること，②現在の N スペルの（調査時点 0 での）長さ $T_{b,N}^0$ は $\min[3, -\bar{0} - (-\tau_{15})]$ 以上, $\bar{0} - (-\tau_{15})$ 以下であることがわかる。

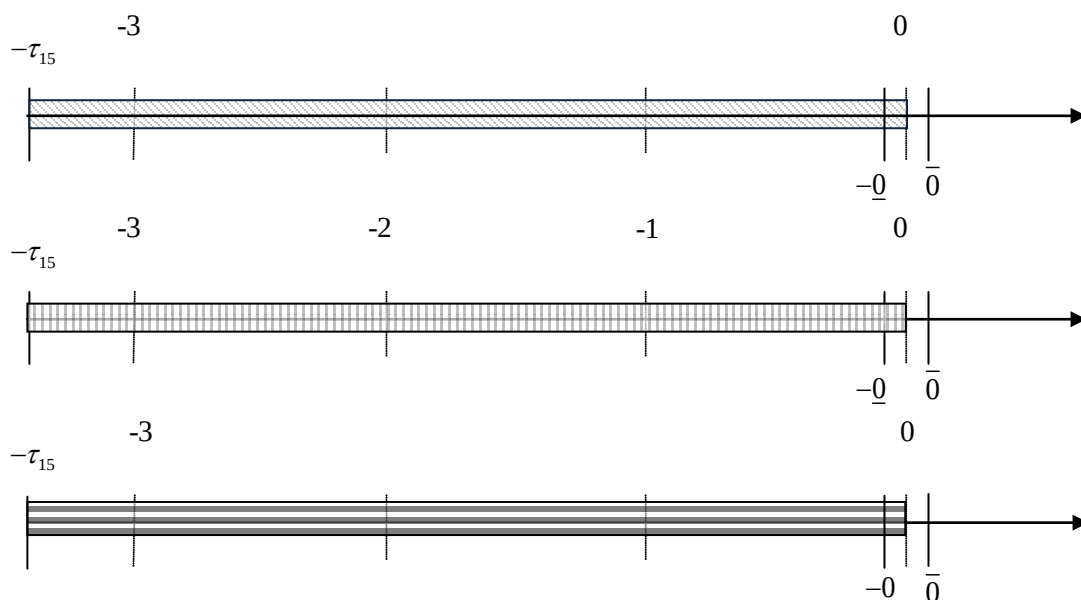




3.2.3 前職があり，前職からの離職が調査日から遡って3年前より前か後か不明の場合

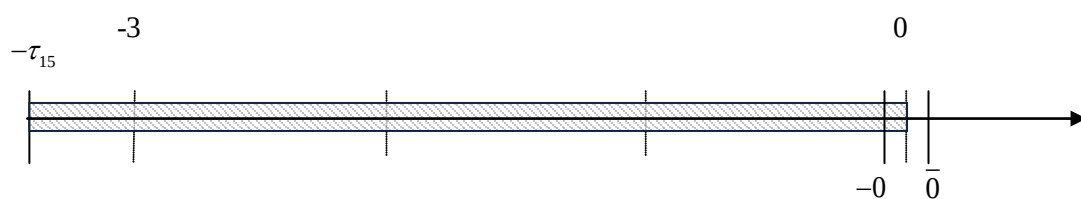
前職の終了時点 $[-\underline{\delta}_j^{-1}, \overline{\delta}_j^{-1}]$ が3年前より前か後かが不明の場合には，下の図が示すように，①

現在のOスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,O}^0$ は0以上， $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であること，②現在のNスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,N}^0$ は0以上， $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



3.2.4 前職がない場合

下の図が示すように，キャリア開始時点である，既知の15歳の誕生日 $(-\tau_{15})$ にNスペルが始まり，そのNスペルがUスペルかOスペルであるかは不明であるが，そのNスペルが調査時点まで続くことになるので，①現在のOスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,O}^0$ は0以上， $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であること，②現在のNスペルの（調査時点0での）長さ $T_{b,N}^0$ は $(-\underline{0} - (-\underline{\tau}_{15}))$ 以上， $\bar{0} - (-\underline{\tau}_{15})$ 以下であることがわかる。



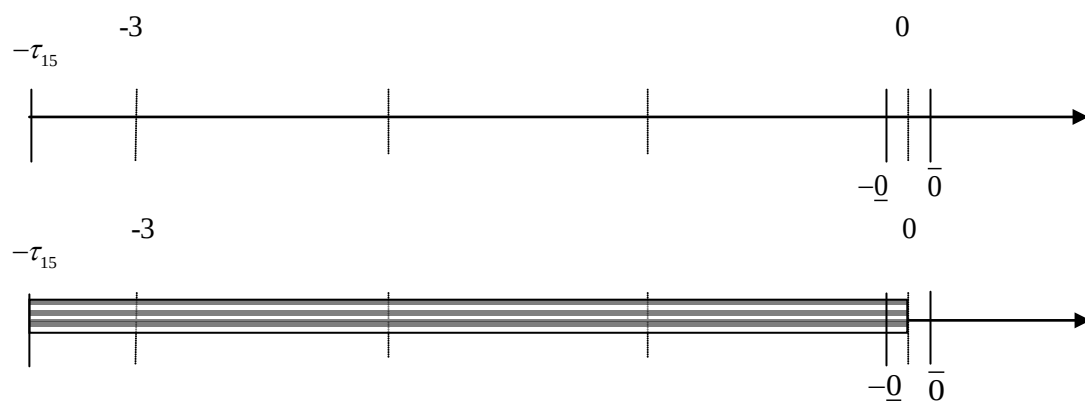


表 1：ストックサンプルサイズ（特定調査票）

誕生年代	学歴	E		J		N		U		O	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1940 年代	高卒	59,269	43,517	59,269	43,517	21,641	59,259	5,010	2,123	16,745	57,208
	短大卒	4,051	6,203	4,051	6,203	992	7,434	272	221	724	7,222
	大卒	20,035	2,719	20,035	2,719	4,039	3,196	882	54	3,170	3,145
1950 年代	高卒	63,744	55,735	63,744	55,735	7,702	30,589	3,449	2,328	4,317	28,307
	短大卒	7,396	18,958	7,396	18,958	405	9,142	222	545	190	8,612
	大卒	37,014	8,490	37,014	8,490	1,423	4,134	813	190	623	3,951
1960 年代	高卒	54,413	42,742	54,413	42,742	5,474	24,343	3,027	2,461	2,521	21,965
	短大卒	10,085	22,791	10,885	22,791	578	13,616	407	946	184	12,701
	大卒	38,025	9,448	38,025	9,448	1188	5,440	757	317	445	5,131
1970 年代	高卒	52,962	32,286	52,962	32,286	6,624	22,956	4,082	2,857	2,637	20,203
	短大卒	15,625	27,964	15,625	27,964	1,047	14,839	816	1,701	242	13,166
	大卒	35,120	15,436	35,120	15,436	2,349	6,115	1,518	810	852	5,317
1980 年代	高卒	21,975	17,106	21,975	17,106	5,306	7,592	3,088	2,145	2,350	5,539
	短大卒	4,826	11,095	4,826	11,095	670	2,021	512	728	171	1,312
	大卒	6,690	5,580	6,690	5,580	1,013	858	576	300	462	569

表 2：N スペル擬似フローサンプルサイズ（基礎調査票・特定調査票連結）

誕生年代	学歴	36 か月間		13 か月間			
		スペル数		スペル数		月数	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
1940 年代	高卒	9,453	8,816	3,523	3,534	23,565	24,006
	短大卒	595	1130	197	423	1,315	2,961
	大卒	2,586	480	884	180	5,970	1,255
1950 年代	高卒	4,087	7,431	1,464	2,986	9,131	19,051
	短大卒	328	2,126	101	835	572	5,056
	大卒	1,294	720	392	292	2,351	1,799
1960 年代	高卒	3,577	6,710	1,212	2,548	7,162	14,870
	短大卒	589	3,164	195	1158	1118	6,807
	大卒	1,222	987	339	331	1,887	2,058
1970 年代	高卒	5,116	8,271	1,599	2,423	9,059	14,778
	短大卒	1,362	6,818	385	1,830	2,201	11,536
	大卒	2,526	3,440	657	812	3,678	5,020
1980 年代	高卒	3,852	4,763	1,476	1,655	7,813	8,928
	短大卒	756	2,201	234	764	1,220	3,828
	大卒	828	936	322	343	1,664	1,560

表3：ダブルストックサンプルサイズ・11 か月間「移行」確率

		第3期の状態			
		E	U	0	計
第2期の状態	E	574,995	12,169	20,390	607,554
		94.64	2.00	3.36	100.00
		94.12	44.65	12.31	75.58
	U	12,368	10,800	5,347	28,515
		43.37	37.87	18.75	100.00
		2.02	39.63	3.23	3.55
	0	23,575	4,286	139,924	167,785
		14.05	2.55	83.39	100.00
		3.86	15.73	84.46	20.87
	計	610,938	27,255	165,661	803,854
		76.00	3.39	20.61	100.00
		100.00	100.00	100.00	100.00

注：セルの上段は観測値の数，中段は行内の相対頻度（％），下段は列内の相対頻度（％）を表わす。

表4：ダブルストックサンプルサイズ・1 か月間「移行」確率

		第2(4)期の状態			
		E	U	0	計
第1(3)期の状態	E	1,202,076	6,758	10,583	1,219,417
		98.58	0.55	0.87	100.00
		98.54	12.05	3.18	75.81
	U	6,772	43,999	5,754	56,525
		11.98	77.84	10.18	100.00
		0.56	78.48	1.73	3.51
	0	11,054	5,306	316,137	332,497
		3.32	1.60	95.08	100.00
		0.91	9.46	95.09	20.67
	計	1,219,902	56,063	332,474	1,608,439
		75.84	3.49	20.67	100.00
		100.00	100.00	100.00	100.00

注：セルの上段は観測値の数，中段は行内の相対頻度（％），下段は列内の相対頻度（％）を表わす。

表5：「生存」確率
ダブルストックサンプル

労働力状態	1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月
E	98.58	86.67	94.64
U	77.84	8.17	37.87
0	95.08	60.38	83.39
N	95.42	62.57	81.69

表 6E : E「生存」確率
ダブルストックサンプル

誕生年代	学歴	男性			女性		
		1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月	1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月
1940 年代	高卒	98.51	86.06	93.34	97.04	74.05	88.60
	短大卒	98.83	88.90	95.09	97.42	77.00	90.40
	大卒	99.14	91.73	95.00	97.77	79.81	89.69
1950 年代	高卒	99.34	93.59	97.62	98.14	82.88	93.12
	短大卒	99.49	95.05	98.58	98.49	85.89	94.38
	大卒	99.72	97.24	98.85	98.58	86.67	95.25
1960 年代	高卒	99.36	93.78	97.88	98.05	82.13	93.07
	短大卒	99.52	95.30	98.43	98.30	84.24	93.97
	大卒	99.76	97.63	99.14	98.45	85.54	94.42
1970 年代	高卒	99.08	91.17	96.78	97.47	77.39	89.86
	短大卒	99.33	93.50	97.71	98.01	81.79	90.94
	大卒	99.39	94.06	97.84	98.25	83.82	92.13
1980 年代	高卒	97.63	78.67	93.57	96.80	72.24	90.06
	短大卒	98.16	83.05	95.74	98.11	82.63	94.27
	大卒	98.19	83.30	94.24	97.90	80.88	93.89
単純平均		99.03	90.87	96.65	97.92	81.13	92.27

表 6U : U「生存」確率
ダブルストックサンプル

誕生年代	学歴	男性			女性		
		1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月	1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月
1940 年代	高卒	80.20	11.01	38.44	68.71	2.35	23.15
	短大卒	83.00	15.52	37.90	72.54	4.03	26.49
	大卒	81.42	12.80	34.90	66.28	1.64	27.78
1950 年代	高卒	83.65	16.77	46.49	69.43	2.60	24.67
	短大卒	85.44	20.73	46.51	65.72	1.50	21.86
	大卒	87.63	26.70	46.37	72.4	3.96	28.30
1960 年代	高卒	85.44	20.73	51.39	70.65	3.10	27.99
	短大卒	83.08	15.67	46.39	68.35	2.23	26.30
	大卒	85.98	22.08	50.97	70.36	2.97	25.23
1970 年代	高卒	84.02	17.53	51.28	72.84	4.20	30.75
	短大卒	83.18	15.86	47.06	69.69	2.70	21.58
	大卒	83.07	15.64	46.50	73.94	4.88	20.74
1980 年代	高卒	79.87	10.56	45.06	71.88	3.68	31.25
	短大卒	81.90	13.58	44.92	74.81	5.49	25.54
	大卒	76.82	7.16	44.34	67.09	1.85	24.23
単純平均		82.98	16.16	45.23	70.31	3.15	25.72

表 60 : 0「生存」確率
ダブルストックサンプル

誕生年代	学歴	男性			女性		
		1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月	1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月
1940 年代	高卒	94.02	53.98	86.73	97.00	73.74	92.57
	短大卒	94.27	55.25	85.00	97.49	77.55	92.95
	大卒	95.28	61.66	95.28	97.45	77.24	93.81
1950 年代	高卒	91.67	41.91	81.79	95.58	63.63	87.24
	短大卒	89.58	33.27	72.03	95.86	65.52	87.22
	大卒	89.73	33.84	77.47	95.70	64.43	88.54
1960 年代	高卒	90.30	36.05	77.10	94.96	59.62	82.41
	短大卒	86.64	23.83	61.42	95.60	63.76	83.89
	大卒	86.86	24.45	71.91	95.87	65.59	86.23
1970 年代	高卒	87.87	27.44	73.83	95.04	60.13	82.26
	短大卒	78.83	9.27	46.08	95.47	62.90	82.62
	大卒	85.18	20.11	46.11	94.42	56.31	81.61
1980 年代	高卒	86.93	24.64	39.74	90.22	35.73	53.57
	短大卒	83.88	17.24	16.64	86.26	22.81	32.78
	大卒	84.74	19.09	26.54	83.99	17.47	26.83
単純平均		88.39	32.14	63.84	94.06	57.76	76.97

表 6N : N「生存」確率
ダブルストックサンプル

誕生年代	学歴	男性			女性		
		1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月	1 か月	1 か月の 10 乗	11 か月
1940 年代	高卒	95.57	63.55	84.49	97.56	78.13	92.35
	短大卒	95.82	65.28	82.77	97.83	80.27	92.56
	大卒	96.29	68.50	84.58	97.49	77.56	93.77
1950 年代	高卒	92.16	44.19	74.53	96.21	67.94	86.13
	短大卒	91.19	39.75	66.55	96.30	68.57	86.26
	大卒	92.24	44.57	68.55	96.08	67.01	88.00
1960 年代	高卒	92.52	45.94	71.53	95.59	63.72	81.48
	短大卒	89.44	32.76	62.05	96.05	66.84	83.37
	大卒	91.58	41.51	66.91	96.22	68.02	85.33
1970 年代	高卒	90.53	37.00	69.52	95.65	64.11	81.48
	短大卒	87.94	27.67	54.48	95.52	63.23	79.97
	大卒	89.43	32.70	56.57	94.30	55.59	78.26
1980 年代	高卒	88.98	31.23	53.12	91.43	40.82	58.71
	短大卒	88.15	28.34	39.77	87.52	26.36	38.56
	大卒	87.09	78.13	42.27	85.63	21.20	32.18
単純平均		91.26	45.41	65.18	94.63	60.62	77.23

表 7E:E スペルストックサンプリングモデル推定値

	男性				女性			
	α	t -値	γ	t -値	α	t -値	γ	t -値
1940 年代生まれ								
高卒	3.619	11383.003	.000	147.923	3.794	70910.481	.000	101.595
短大卒	3.784	410.607	.000	6.766	3.744	484.345	.000	25.193
大卒	3.358	928.974	.000	38.865	3.088	443.785	.000	122.036
1950 年代生まれ								
高卒	3.784	2686.560	.000	164.646	3.226	1495.174	.000	157.266
短大卒	3.768	498.344	.000	17.468	3.928	12165.966	.000	75.261
大卒	3.423	1372.870	.000	89.200	3.866	564.487	.000	29.690
1960 年代生まれ								
高卒	3.956	1562.372	.000	85.179	3.808	927.933	.000	26.455
短大卒	3.671	784.573	.000	44.261	3.403	764.037	.000	52.394
大卒	3.681	992.905	.000	53.231	4.171	543.962	.000	27.847
1970 年代生まれ								
高卒	4.055	2349.578	.000	135.762	4.101	702.012	.000	37.586
短大卒	4.537	944.002	.000	43.691	4.205	511.090	.000	24.130
大卒	4.315	995.356	.000	52.502	3.946	411.261	.000	21.905
1980 年代生まれ								
高卒	3.806	322.593	.000	20.358	3.845	1117.244	.000	24.717
短大卒	3.768	216.704	.000	12.608	3.756	272.707	.000	19.473
大卒	3.663	52.137	.000	3.641	3.580	1494.747	.000	18.385

表 7J: J スペルストックサンプリングモデル推定値

	男性				女性			
	α	t -値	γ	t -値	α	t -値	γ	t -値
1940 年代生まれ								
高卒					3.200	571.539	.000	25.678
短大卒	3.086	711.575	.000	54.176	3.171	413.937	.000	28.445
大卒	3.606	19294.969	.000	55.249	2.789	378.972	.000	38.810
1950 年代生まれ								
高卒	3.152	1895.901	.000	425.842	3.122	1638.959	.000	174.105
短大卒	3.523	1519.793	.000	96.622	3.346	761.596	.000	50.880
大卒	3.461	1432.618	.000	84.800	3.536	3271.854	.000	38.688
1960 年代生まれ								
高卒	3.341	2744.007	.000	149.371	2.834	4874.046	.000	100.808
短大卒	3.796	500.022	.000	71.488	3.137	6732.128	.000	50.852
大卒	3.943	2787.739	.000	48.866	4.205	467.685	.000	22.620
1970 年代生まれ								
高卒	4.089	1908.923	.000	73.537	3.111	738.720	.000	66.210
短大卒	4.145	538.143	.000	29.809	3.583	950.390	.000	118.397
大卒	3.985	1124.908	.000	96.795	3.505	7372.341	.000	39.035
1980 年代生まれ								
高卒	3.577	648.174	.000	45.414	3.271	251.069	.000	22.600
短大卒	3.386	49.926	.000	3.717	3.481	90.199	.000	5.976
大卒	3.496	62.285	.000	4.711	3.433	13412.282	.000	37.747

表 7U:U スペルストックサンプリングモデル推定値

	男性				女性			
	α	t-値	γ	t-値	α	t-値	γ	t-値
1940 年代生まれ								
高卒					15.265	1526446.200	0.047	319.175
短大卒	1.414	2452.386	0.239	5.580	1.425	2088.321	0.417	5.192
大卒	16.224	2206196.000	0.100	4803.298				
1950 年代生まれ								
高卒					13.024	1485489.600	0.019	157.354
短大卒	1.381	2268.489	0.308	4.930	13.722	1596728.100	0.002	32629.288
大卒	1.404	3268.369	0.264	9.597	1.441	2145.972	0.695	4.655
1960 年代生まれ								
高卒	5.695	2449988.800	0.652	129.848	9.268	2252479.300	0.200	280.823
短大卒	1.918	59.971	0.025	289.927	9.268	2252479.300	0.200	280.823
大卒	12.916	1826561.600	0.300	3737.986	10.849	64883342.000	0.767	10473125.000
1970 年代生まれ								
高卒	1.987	186.901	0.020	198.497	2.041	119.975	0.053	87.090
短大卒	2.064	408.758	0.019	144.773	2.243	63.354	0.053	18.244
大卒	12.916	1826561.600	0.300	3737.986	2.295	62.928	0.062	65.280
1980 年代生まれ								
高卒	2.168	55.330	0.026	6.466	2.168	55.330	0.026	6.466
短大卒	2.308	20.214	0.020	2.383	2.188	293.784	0.078	7.675
大卒	1.884	394198.290	0.127	3.388	2.305	31103	0.076	3.231

表 70:0 スペルストックサンプリングモデル推定値

	男性				女性			
	α	t -値	γ	t -値	α	t -値	γ	t -値
1940 年代生まれ								
高卒	1.429	3057259.400	0.352	11.257	1.404	5612906.500	0.308	20.218
短大卒					1.424	2004601100	0.318	7.481
大卒					1.431	8742.555	0.325	21.373
1950 年代生まれ								
高卒	1.414	1543564.200	0.335	7.262	1.428	8656.658	0.347	61.893
短大卒	1.427	1745.957	0.355	4.825	1.418	13877.961	0.406	33.791
大卒	1.391	3860.076	0.409	8.293	1.429	8380.968	0.409	23.060
1960 年代生まれ								
高卒	1.431	5640.071	0.468	17.218	1.432	15998.397	0.486	49.428
短大卒					1.426	15111.050	0.499	35.402
大卒	1.430	2993.161	0.559	6.501	1.416	7292.904	0.536	21.695
1970 年代生まれ								
高卒	1.838	7248.293	0.027	11.925	2.297	399.552	0.002	32.044
短大卒	1.784	1705.637	0.072	2.644	1.755	15759.505	0.051	24.920
大卒	1.875	772823.710	0.056	4.258	1.770	7406.078	0.054	16.911
1980 年代生まれ								
高卒	2.125	34.462	0.091	3.818	2.084	1689.815	0.048	15.980
短大卒	2.001	11.771	0.189	1.368	2.072	1700.418	0.069	8.567
大卒	2.270	1543.641	0.087	5.190	2.168	685.138	0.088	5.608

表 7N:N スペルストックサンプリングモデル推定値

	男性				女性			
	α	t -値	γ	t -値	α	t -値	γ	t -値
1940 年代生まれ								
高卒	2.253	624.627	.000	23.534	3.163	5927.301	.000	388.425
短大卒	2.351	40.130	.000	3.194	3.843	754.574	.000	49.036
大卒	2.432	45.676	.000	3.752	3.438	511.092	.000	16.076
1950 年代生まれ								
高卒	2.158	89018.672	.000	802.157	3.550	781.936	.000	40.945
短大卒	2.283	1202.145	.000	44.605	3.692	451146	.000	24.242
大卒	2.258	142.549	.000	80.641	3.324	3833.036	.000	37.154
1960 年代生まれ								
高卒	2.364	5125.900	.0000	19.245	3.497	607.495	.000	35.687
短大卒	2.234	22761.402	.000	7.389	4.073	431184	.000	13.322
大卒	2.478	25.057	.000	1.897	4.108	3669.944	.000	42.512
1970 年代生まれ								
高卒	3.007	274.732	.000	15.935	3.815	569.462	.000	32.254
短大卒								
大卒	2.704	31.594	.000	2.427	4.258	1913.066	.000	47.719
1980 年代生まれ								
高卒	2.716	9272.024	.000	802.398	3.683	466.863	.000	50.434
短大卒	2.924	19.737	.000	1.708	2.922	29.810	.000	2.416
大卒	3.541	610.796	.000	9.402	3.109	21.353	.000	1.913

表 8E: E スペル生存確率(1)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
9	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
10	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
11	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
12	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
24	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
36	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
48	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)
60	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	.993 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)
72	.999 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	.998 (.000)	.998 (.000)	.994 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	.996 (.000)	.988 (.000)	.997 (.000)	.997 (.000)
84	.998 (.000)	.999 (.000)	.996 (.000)	.997 (.000)	.997 (.000)	.991 (.000)	.998 (.000)	.997 (.000)	.993 (.000)	.980 (.000)	.995 (.000)	.995 (.000)
96	.997 (.000)	.998 (.000)	.994 (.000)	.995 (.000)	.995 (.000)	.987 (.000)	.996 (.000)	.995 (.000)	.988 (.000)	.969 (.000)	.991 (.000)	.991 (.000)
108	.995 (.000)	.996 (.000)	.991 (.000)	.992 (.000)	.992 (.000)	.981 (.001)	.994 (.000)	.993 (.000)	.983 (.000)	.956 (.000)	.986 (.000)	.986 (.000)
120	.992 (.000)	.995 (.001)	.988 (.000)	.987 (.000)	.988 (.000)	.973 (.001)	.991 (.000)	.989 (.000)	.976 (.000)	.939 (.001)	.979 (.000)	.979 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8E: E スペル生存確率(2)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
9	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
10	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
11	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
12	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
24	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	.991 (.000)
36	1.00 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.997 (.000)	.991 (.000)	.993 (.000)	.991 (.000)	.958 (.001)
48	.999 (.000)	.997 (.000)	.997 (.000)	.996 (.000)	.991 (.000)	.998 (.000)	.992 (.000)	.990 (.000)	.969 (.000)	.977 (.000)	.970 (.001)	.881 (.002)
60	.998 (.000)	.994 (.000)	.993 (.000)	.990 (.000)	.980 (.000)	.995 (.000)	.980 (.000)	.974 (.001)	.922 (.001)	.945 (.001)	.927 (.001)	.754 (.004)
72	.995 (.000)	.989 (.000)	.986 (.000)	.981 (.000)	.964 (.001)	.989 (.000)	.959 (.000)	.941 (.001)	.843 (.002)	.891 (.002)	.855 (.002)	.599 (.006)
84	.991 (.000)	.980 (.000)	.975 (.000)	.966 (.001)	.941 (.001)	.979 (.001)	.927 (.000)	.889 (.002)	.734 (.002)	.812 (.003)	.755 (.003)	.449 (.006)
96	.985 (.000)	.968 (.001)	.960 (.000)	.944 (.001)	.910 (.001)	.964 (.001)	.880 (.001)	.813 (.003)	.608 (.003)	.714 (.003)	.637 (.004)	.325 (.005)
108	.976 (.000)	.951 (.001)	.939 (.001)	.915 (.002)	.872 (.002)	.942 (.001)	.820 (.001)	.719 (.005)	.482 (.003)	.607 (.004)	.517 (.004)	.232 (.004)
120	.964 (.000)	.930 (.001)	.913 (.001)	.879 (.002)	.826 (.002)	.913 (.002)	.749 (.001)	.613 (.006)	.372 (.003)	.501 (.004)	.408 (.004)	.166 (.003)

() 内の数値は標準誤差。.000 は.001 未満の数値を示す。

表 8E: E スペル生存確率(3)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)
4	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.995 (.000)
5	1.00 (.000)	.999 (.000)	.994 (.001)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.990 (.001)
6	1.00 (.000)	.999 (.000)	.989 (.002)	.999 (.000)	.998 (.000)	.980 (.001)
7	.999 (.000)	.997 (.000)	.980 (.003)	.999 (.000)	.997 (.000)	.966 (.002)
8	.999 (.000)	.996 (.000)	.968 (.005)	.998 (.000)	.995 (.000)	.947 (.003)
9	.998 (.000)	.993 (.000)	.951 (.007)	.996 (.000)	.992 (.000)	.921 (.004)
10	.997 (.000)	.990 (.000)	.930 (.009)	.995 (.000)	.987 (.000)	.889 (.005)
11	.996 (.000)	.986 (.001)	.904 (.012)	.992 (.000)	.982 (.001)	.851 (.006)
12	.995 (.000)	.980 (.001)	.872 (.015)	.989 (.000)	.975 (.001)	.806 (.008)
24	.930 (.001)	.784 (.006)	.353 (.032)	.864 (.004)	.747 (.005)	.259 (.010)
36	.738 (.004)	.441 (.009)	.110 (.016)	.572 (.007)	.391 (.006)	.076 (.003)
48	.486 (.005)	.210 (.006)	.041 (.007)	.307 (.006)	.179 (.004)	.028 (.001)
60	.288 (.005)	.103 (.003)	.019 (.003)	.158 (.004)	.086 (.002)	.013 (.001)
72	.168 (.003)	.055 (.002)	.010 (.002)	.085 (.002)	.045 (.001)	.007 (.000)
84	.101 (.002)	.031 (.001)	.006 (.001)	.049 (.001)	.026 (.001)	.004 (.000)
96	.063 (.001)	.019 (.001)	.003 (.001)	.030 (.001)	.016 (.001)	.002 (.000)
108	.041 (.001)	.012 (.000)	.002 (.000)	.019 (.001)	.010 (.000)	.002 (.000)
120	.028 (.001)	.008 (.000)	.001 (.000)	.013 (.000)	.007 (.000)	.001 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8J: J スペル生存確率(1)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
9	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
10	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
11	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
12	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
24	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)
36	.999 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.992 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)
48	.998 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	.993 (.000)	.996 (.000)	.994 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.979 (.000)	.994 (.000)	.998 (.000)
60	.996 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.985 (.000)	.993 (.000)	.988 (.000)	.996 (.000)	.998 (.000)	.997 (.000)	.960 (.000)	.987 (.000)	.995 (.000)
72	.993 (.000)	.994 (.000)	.998 (.000)	.974 (.001)	.987 (.000)	.981 (.001)	.993 (.000)	.996 (.000)	.995 (.000)	.931 (.001)	.976 (.000)	.991 (.000)
84	.989 (.000)	.990 (.000)	.996 (.000)	.958 (.001)	.979 (.001)	.971 (.001)	.988 (.000)	.994 (.000)	.992 (.000)	.893 (.001)	.960 (.001)	.984 (.000)
96	.983 (.000)	.985 (.000)	.994 (.000)	.937 (.001)	.968 (.001)	.958 (.002)	.982 (.000)	.990 (.000)	.987 (.000)	.846 (.001)	.938 (.001)	.975 (.001)
108	.975 (.000)	.979 (.000)	.991 (.000)	.910 (.002)	.954 (.001)	.943 (.002)	.974 (.000)	.984 (.000)	.981 (.000)	.792 (.001)	.911 (.001)	.963 (.001)
120	.966 (.000)	.971 (.000)	.987 (.000)	.878 (.002)	.937 (.002)	.925 (.003)	.964 (.000)	.978 (.000)	.973 (.000)	.732 (.002)	.878 (.002)	.947 (.001)

() 内の数値は標準誤差。.000 は.001 未満の数値を示す。

表 8J: J スペル生存確率(2)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
9	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
10	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
11	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)
12	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)
24	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.978 (.000)	.995 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.996 (.000)	.972 (.000)	.990 (.000)	.969 (.001)
36	.998 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.935 (.001)	.982 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.992 (.000)	.980 (.000)	.907 (.001)	.959 (.001)	.883 (.002)
48	.995 (.000)	.997 (.000)	.998 (.000)	.864 (.001)	.957 (.001)	.997 (.000)	.992 (.000)	.974 (.001)	.939 (.001)	.799 (.002)	.892 (.001)	.733 (.005)
60	.989 (.000)	.993 (.000)	.995 (.000)	.771 (.002)	.916 (.001)	.992 (.000)	.980 (.000)	.938 (.001)	.863 (.001)	.665 (.003)	.788 (.002)	.557 (.006)
72	.980 (.000)	.987 (.000)	.989 (.000)	.668 (.002)	.861 (.002)	.983 (.000)	.959 (.000)	.876 (.002)	.752 (.002)	.530 (.004)	.659 (.003)	.399 (.006)
84	.968 (.000)	.977 (.001)	.980 (.000)	.565 (.002)	.792 (.003)	.967 (.001)	.927 (.001)	.789 (.004)	.622 (.003)	.411 (.004)	.526 (.004)	.279 (.005)
96	.950 (.000)	.962 (.001)	.967 (.000)	.471 (.003)	.715 (.003)	.944 (.002)	.880 (.000)	.682 (.000)	.491 (.000)	.315 (.000)	.408 (.000)	.195 (.000)
108	.928 (.000)	.941 (.002)	.949 (.001)	.389 (.002)	.634 (.004)	.912 (.002)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)
120	.901 (.000)	.915 (.002)	.925 (.001)	.321 (.002)	.555 (.004)	.869 (.003)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8J: J スペル生存確率(3)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
3	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)
4	1.00 (.000)	.999 (.000)	.995 (.001)	.999 (.000)	.999 (.000)	.992 (.000)
5	.999 (.000)	.997 (.000)	.990 (.001)	.997 (.000)	.998 (.000)	.982 (.000)
6	.999 (.000)	.995 (.001)	.981 (.002)	.995 (.000)	.995 (.001)	.968 (.001)
7	.998 (.000)	.992 (.001)	.967 (.004)	.992 (.000)	.992 (.001)	.946 (.001)
8	.997 (.000)	.987 (.002)	.948 (.006)	.988 (.000)	.988 (.001)	.917 (.002)
9	.996 (.000)	.981 (.003)	.924 (.008)	.982 (.000)	.981 (.002)	.881 (.003)
10	.994 (.000)	.973 (.004)	.894 (.010)	.975 (.001)	.973 (.002)	.838 (.003)
11	.991 (.000)	.964 (.005)	.858 (.012)	.966 (.001)	.963 (.003)	.788 (.004)
12	.988 (.000)	.952 (.006)	.817 (.015)	.955 (.001)	.951 (.004)	.734 (.005)
24	.877 (.002)	.657 (.024)	.283 (.016)	.689 (.004)	.634 (.015)	.204 (.004)
36	.625 (.003)	.327 (.023)	.087 (.005)	.370 (.005)	.297 (.012)	.060 (.001)
48	.373 (.004)	.155 (.014)	.034 (.002)	.187 (.003)	.134 (.006)	.023 (.001)
60	.211 (.003)	.080 (.008)	.016 (.001)	.099 (.002)	.067 (.003)	.011 (.000)
72	.123 (.002)	.045 (.004)	.008 (.001)	.057 (.001)	.036 (.002)	.006 (.000)
84	.074 (.001)	.027 (.003)	.005 (.000)	.035 (.001)	.022 (.001)	.003 (.000)
96	.048 (.001)	.017 (.002)	.003 (.000)	.023 (.001)	.014 (.001)	.002 (.000)
108	.032 (.001)	.012 (.001)	.002 (.000)	.016 (.000)	.009 (.000)	.001 (.000)
120	.022 (.000)	.008 (.001)	.001 (.000)	.011 (.000)	.006 (.000)	.001 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8U: U スペル生存確率(1)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1940 年代コーホート				1950 年代コーホート			
	男性		女性		男性		女性	
	高卒	短大卒 大卒	高卒	短大卒 大卒	高卒	短大卒 大卒	高卒	短大卒 大卒
0	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00 1.00	1.00	1.00 1.00
	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000) (.000)	(.000)	(.000) (.000)
1	.812	.909	.835	.713	.984	.768 .791	.981	.998 .590
	(.025)	(.000)	(.000)	(.040)	(.002)	(.039) (.017)	(.000)	(.000) (.053)
2	.619	.000	.000	.483	.941	.561 .589	.006	.034 .349
	(.039)	(.000)	(.000)	(.050)	(.007)	(.055) (.025)	(.000)	(.000) (.051)
3	.478	.000	.000	.345	.879	.423 .448	.000	.000 .231
	(.042)	(.000)	(.000)	(.046)	(.013)	(.055) (.026)	(.000)	(.000) (.041)
4	.379	.000	.000	.260	.806	.331 .352	.000	.000 .166
	(.040)	(.000)	(.000)	(.040)	(.018)	(.051) (.024)	(.000)	(.000) (.033)
5	.308	.000	.000	.204	.729	.267 .284	.000	.000 .127
	(.036)	(.000)	(.000)	(.034)	(.021)	(.045) (.021)	(.000)	(.000) (.027)
6	.256	.000	.000	.165	.654	.220 .234	.000	.000 .100
	(.032)	(.000)	(.000)	(.029)	(.023)	(.040) (.019)	(.000)	(.000) (.022)
7	.217	.000	.000	.137	.584	.186 .199	.000	.000 .082
	(.029)	(.000)	(.000)	(.025)	(.024)	(.036) (.017)	(.000)	(.000) (.018)
8	.186	.000	.000	.116	.520	.160 .170	.000	.000 .069
	(.026)	(.000)	(.000)	(.022)	(.024)	(.032) (.015)	(.000)	(.000) (.016)
9	.162	.000	.000	.100	.463	.139 .148	.000	.000 .059
	(.023)	(.000)	(.000)	(.019)	(.023)	(.028) (.013)	(.000)	(.000) (.014)
10	.143	.000	.000	.087	.413	.123 .131	.000	.000 .051
	(.021)	(.000)	(.000)	(.017)	(.022)	(.026) (.012)	(.000)	(.000) (.012)
11	.127	.000	.000	.077	.368	.109 .116	.000	.000 .045
	(.019)	(.000)	(.000)	(.015)	(.021)	(.023) (.011)	(.000)	(.000) (.011)
12	.114	.000	.000	.069	.330	.098 .104	.000	.000 .040
	(.017)	(.000)	(.000)	(.014)	(.020)	(.021) (.010)	(.000)	(.000) (.009)
24	.046	.000	.000	.027	.113	.040 .042	.000	.000 .015
	(.008)	(.000)	(.000)	(.006)	(.007)	(.009) (.004)	(.000)	(.000) (.004)
36	.026	.000	.000	.015	.055	.023 .024	.000	.000 .008
	(.004)	(.000)	(.000)	(.003)	(.003)	(.006) (.002)	(.000)	(.000) (.002)
48	.018	.000	.000	.010	.032	.016 .016	.000	.000 .006
	(.003)	(.000)	(.000)	(.002)	(.002)	(.004) (.002)	(.000)	(.000) (.001)
60	.013	.000	.000	.007	.021	.012 .012	.000	.000 .004
	(.002)	(.000)	(.000)	(.002)	(.001)	(.003) (.001)	(.000)	(.000) (.001)
72	.010	.000	.000	.006	.015	.009 .009	.000	.000 .003
	(.002)	(.000)	(.000)	(.001)	(.001)	(.002) (.001)	(.000)	(.000) (.001)
84	.008	.000	.000	.005	.011	.007 .008	.000	.000 .002
	(.001)	(.000)	(.000)	(.001)	(.001)	(.002) (.001)	(.000)	(.000) (.001)
96	.007	.000	.000	.004	.009	.006 .006	.000	.000 .002
	(.001)	(.000)	(.000)	(.001)	(.000)	(.001) (.001)	(.000)	(.000) (.001)
108	.006	.000	.000	.003	.007	.005 .005	.000	.000 .002
	(.001)	(.000)	(.000)	(.001)	(.000)	(.001) (.001)	(.000)	(.000) (.000)
120	.005	.000	.000	.003	.006	.004 .005	.000	.000 .001
	(.001)	(.000)	(.000)	(.001)	(.000)	(.001) (.000)	(.000)	(.000) (.000)

() 内の数値は標準誤差。.000 は.001 未満の数値を示す。

表 8U: U スペル生存確率(2)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.833 (.000)	.975 (.000)	.770 (.000)	.833 (.000)	.407 (.000)	.566 (.000)	.980 (.000)	.982 (.000)	.983 (.000)	.950 (.001)	.950 (.003)	.942 (.001)
2	.008 (.000)	.913 (.002)	.000 (.000)	.008 (.000)	.018 (.000)	.001 (.000)	.927 (.001)	.928 (.000)	.931 (.001)	.821 (.000)	.801 (.005)	.767 (.003)
3	.000 (.000)	.829 (.005)	.000 (.000)	.000 (.000)	.002 (.000)	.000 (.000)	.850 (.001)	.849 (.001)	.850 (.003)	.667 (.002)	.619 (.004)	.565 (.008)
4	.000 (.000)	.736 (.009)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.761 (.003)	.756 (.001)	.754 (.005)	.527 (.003)	.459 (.002)	.401 (.010)
5	.000 (.000)	.645 (.012)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.672 (.004)	.662 (.002)	.655 (.007)	.414 (.004)	.340 (.001)	.287 (.010)
6	.000 (.000)	.562 (.014)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.588 (.004)	.573 (.002)	.563 (.009)	.328 (.004)	.255 (.002)	.209 (.009)
7	.000 (.000)	.488 (.016)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.512 (.005)	.494 (.002)	.481 (.010)	.262 (.004)	.195 (.002)	.157 (.008)
8	.000 (.000)	.425 (.016)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.446 (.005)	.426 (.002)	.411 (.010)	.213 (.004)	.152 (.002)	.120 (.007)
9	.000 (.000)	.371 (.016)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.389 (.005)	.368 (.002)	.351 (.010)	.176 (.004)	.121 (.002)	.095 (.006)
10	.000 (.000)	.325 (.016)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.341 (.005)	.319 (.002)	.302 (.010)	.147 (.003)	.098 (.002)	.076 (.005)
11	.000 (.000)	.286 (.016)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.299 (.005)	.278 (.002)	.261 (.009)	.124 (.003)	.081 (.002)	.062 (.005)
12	.000 (.000)	.254 (.015)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.264 (.005)	.243 (.002)	.227 (.009)	.106 (.003)	.067 (.002)	.051 (.004)
24	.000 (.000)	.083 (.008)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.083 (.002)	.071 (.001)	.063 (.004)	.028 (.001)	.015 (.001)	.011 (.001)
36	.000 (.000)	.040 (.004)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.039 (.001)	.032 (.001)	.027 (.002)	.012 (.001)	.006 (.000)	.004 (.001)
48	.000 (.000)	.023 (.003)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.022 (.001)	.018 (.000)	.015 (.001)	.007 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)
60	.000 (.000)	.015 (.002)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.014 (.001)	.011 (.000)	.009 (.001)	.004 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)
72	.000 (.000)	.011 (.002)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.010 (.000)	.008 (.000)	.006 (.001)	.003 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)
84	.000 (.000)	.008 (.001)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.007 (.000)	.006 (.000)	.005 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)
96	.000 (.000)	.006 (.001)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.006 (.000)	.004 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)
108	.000 (.000)	.005 (.001)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.005 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)
120	.000 (.000)	.004 (.001)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.004 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8U: U スペル生存確率(3)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.974 (.004)	.981 (.003)	.889 (.031)	.945 (.008)	.928 (.009)	.931 (.021)
2	.895 (.013)	.911 (.013)	.688 (.069)	.796 (.022)	.738 (.024)	.738 (.063)
3	.780 (.020)	.802 (.024)	.512 (.083)	.620 (.028)	.538 (.030)	.532 (.090)
4	.656 (.025)	.676 (.033)	.382 (.082)	.468 (.028)	.383 (.028)	.376 (.116)
5	.541 (.026)	.556 (.037)	.291 (.074)	.352 (.024)	.277 (.024)	.280 (.306)
6	.442 (.024)	.452 (.037)	.227 (.065)	.269 (.020)	.204 (.019)	.178 (.218)
7	.362 (.022)	.367 (.035)	.181 (.057)	.208 (.016)	.155 (.015)	.138 (.086)
8	.299 (.019)	.299 (.031)	.147 (.049)	.165 (.013)	.120 (.012)	.107 (.056)
9	.248 (.016)	.245 (.027)	.122 (.043)	.133 (.010)	.096 (.010)	.084 (.042)
10	.208 (.014)	.203 (.024)	.103 (.038)	.109 (.008)	.078 (.008)	.067 (.033)
11	.176 (.012)	.170 (.021)	.087 (.033)	.090 (.007)	.064 (.007)	.055 (.026)
12	.150 (.010)	.144 (.018)	.075 (.029)	.076 (.006)	.053 (.006)	.045 (.022)
24	.038 (.002)	.033 (.005)	.022 (.010)	.018 (.001)	.012 (.001)	.009 (.004)
36	.016 (.001)	.013 (.002)	.010 (.005)	.008 (.001)	.005 (.001)	.004 (.002)
48	.009 (.001)	.007 (.001)	.006 (.003)	.004 (.000)	.003 (.000)	.002 (.001)
60	.005 (.000)	.004 (.001)	.004 (.002)	.003 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)
72	.004 (.000)	.003 (.000)	.003 (.001)	.002 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)
84	.003 (.000)	.002 (.000)	.002 (.001)	.001 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)
96	.002 (.000)	.001 (.000)	.002 (.001)	.001 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)
108	.002 (.000)	.001 (.000)	.001 (.001)	.001 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
120	.001 (.000)	.001 (.000)	.001 (.001)	.001 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 80: 0 スペル生存確率(1)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)			1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.739 (.018)			.764 (.009)	.759 (.024)	.756 (.009)	.749 (.027)	.741 (.040)	.708 (.022)	.743 (.003)	.711 (.006)	.711 (.009)
2	.513 (.023)			.551 (.013)	.541 (.033)	.534 (.012)	.529 (.036)	.519 (.054)	.482 (.027)	.518 (.004)	.480 (.007)	.477 (.011)
3	.372 (.022)			.410 (.012)	.399 (.032)	.391 (.011)	.388 (.035)	.378 (.052)	.346 (.024)	.376 (.004)	.342 (.006)	.339 (.010)
4	.282 (.019)			.317 (.011)	.306 (.028)	.299 (.010)	.298 (.031)	.288 (.046)	.262 (.021)	.285 (.003)	.256 (.005)	.253 (.008)
5	.222 (.016)			.253 (.010)	.243 (.025)	.236 (.009)	.236 (.027)	.228 (.040)	.207 (.018)	.225 (.003)	.201 (.004)	.198 (.007)
6	.180 (.014)			.208 (.008)	.199 (.021)	.193 (.007)	.193 (.023)	.186 (.035)	.168 (.015)	.183 (.002)	.163 (.004)	.160 (.006)
7	.150 (.012)			.175 (.007)	.166 (.019)	.161 (.006)	.161 (.020)	.155 (.031)	.140 (.013)	.152 (.002)	.135 (.003)	.132 (.005)
8	.127 (.010)			.149 (.007)	.142 (.016)	.137 (.006)	.138 (.018)	.132 (.027)	.119 (.011)	.129 (.002)	.114 (.003)	.112 (.004)
9	.110 (.009)			.129 (.006)	.122 (.015)	.118 (.005)	.119 (.016)	.114 (.024)	.103 (.010)	.111 (.002)	.098 (.002)	.096 (.004)
10	.096 (.008)			.114 (.005)	.107 (.013)	.103 (.004)	.104 (.014)	.100 (.021)	.090 (.009)	.097 (.001)	.086 (.002)	.084 (.003)
11	.085 (.007)			.101 (.005)	.095 (.012)	.091 (.004)	.092 (.013)	.088 (.019)	.080 (.008)	.086 (.001)	.076 (.002)	.074 (.003)
12	.076 (.007)			.090 (.004)	.085 (.011)	.081 (.004)	.083 (.012)	.079 (.017)	.072 (.007)	.077 (.001)	.068 (.002)	.066 (.003)
24	.030 (.003)			.036 (.002)	.033 (.004)	.032 (.001)	.033 (.005)	.031 (.007)	.029 (.003)	.030 (.000)	.026 (.001)	.026 (.001)
36	.017 (.002)			.021 (.001)	.019 (.003)	.018 (.001)	.019 (.003)	.018 (.004)	.016 (.002)	.017 (.000)	.015 (.000)	.014 (.001)
48	.011 (.001)			.014 (.001)	.013 (.002)	.012 (.001)	.013 (.002)	.012 (.003)	.011 (.001)	.011 (.000)	.010 (.000)	.010 (.000)
60	.008 (.001)			.010 (.001)	.009 (.001)	.009 (.000)	.009 (.001)	.009 (.002)	.008 (.001)	.008 (.000)	.007 (.000)	.007 (.000)
72	.006 (.001)			.008 (.000)	.007 (.001)	.007 (.000)	.007 (.001)	.007 (.002)	.006 (.001)	.006 (.000)	.006 (.000)	.005 (.000)
84	.005 (.000)			.006 (.000)	.006 (.001)	.005 (.000)	.006 (.001)	.005 (.001)	.005 (.001)	.005 (.000)	.005 (.000)	.004 (.000)
96	.004 (.000)			.005 (.000)	.005 (.001)	.004 (.000)	.005 (.001)	.004 (.001)	.004 (.000)	.004 (.000)	.004 (.000)	.004 (.000)
108	.004 (.000)			.005 (.000)	.004 (.001)	.004 (.000)	.004 (.001)	.004 (.001)	.004 (.000)	.004 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)
120	.003 (.000)			.004 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.001)	.003 (.001)	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 80: 0 スペル生存確率(2)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.682 (.012)	.646 (.037)	.673 (.005)	.667 (.006)	.651 (.010)	.974 (.002)	.947 (.011)	.998 (.000)	.951 (.002)	.949 (.003)		
2	.443 (.014)	.405 (.040)	.432 (.005)	.427 (.007)	.412 (.011)	.912 (.006)	.830 (.032)	.993 (.000)	.853 (.005)	.846 (.008)		
3	.308 (.012)	.277 (.034)	.299 (.004)	.295 (.006)	.283 (.009)	.832 (.011)	.697 (.048)	.981 (.000)	.740 (.008)	.728 (.012)		
4	.228 (.010)	.203 (.028)	.220 (.004)	.217 (.005)	.208 (.007)	.745 (.015)	.575 (.057)	.965 (.001)	.632 (.010)	.617 (.014)		
5	.177 (.008)	.156 (.023)	.170 (.003)	.168 (.004)	.161 (.006)	.660 (.018)	.472 (.059)	.943 (.001)	.537 (.010)	.520 (.015)		
6	.142 (.007)	.125 (.019)	.136 (.002)	.135 (.003)	.129 (.005)	.581 (.019)	.390 (.058)	.915 (.002)	.457 (.010)	.440 (.014)		
7	.117 (.006)	.103 (.016)	.112 (.002)	.111 (.003)	.106 (.004)	.511 (.020)	.324 (.055)	.883 (.002)	.391 (.010)	.374 (.014)		
8	.099 (.005)	.087 (.014)	.095 (.002)	.094 (.002)	.089 (.004)	.450 (.020)	.273 (.050)	.848 (.002)	.337 (.009)	.321 (.013)		
9	.085 (.004)	.074 (.012)	.081 (.002)	.080 (.002)	.077 (.003)	.397 (.019)	.232 (.046)	.810 (.003)	.293 (.008)	.277 (.012)		
10	.074 (.004)	.064 (.011)	.071 (.001)	.070 (.002)	.067 (.003)	.352 (.018)	.199 (.042)	.770 (.003)	.256 (.008)	.242 (.011)		
11	.065 (.003)	.057 (.009)	.062 (.001)	.062 (.002)	.059 (.002)	.313 (.017)	.172 (.038)	.728 (.003)	.225 (.007)	.212 (.010)		
12	.058 (.003)	.050 (.008)	.055 (.001)	.055 (.001)	.052 (.002)	.280 (.016)	.150 (.035)	.687 (.004)	.200 (.007)	.187 (.009)		
24	.022 (.001)	.019 (.003)	.021 (.000)	.021 (.001)	.020 (.001)	.098 (.007)	.046 (.013)	.309 (.003)	.069 (.003)	.063 (.003)		
36	.013 (.001)	.011 (.002)	.012 (.000)	.012 (.000)	.012 (.000)	.049 (.004)	.022 (.007)	.150 (.001)	.035 (.001)	.032 (.002)		
48	.008 (.000)	.007 (.001)	.008 (.000)	.008 (.000)	.008 (.000)	.030 (.002)	.013 (.004)	.083 (.001)	.021 (.001)	.019 (.001)		
60	.006 (.000)	.005 (.001)	.006 (.000)	.006 (.000)	.006 (.000)	.020 (.002)	.009 (.003)	.052 (.000)	.015 (.001)	.013 (.001)		
72	.005 (.000)	.004 (.001)	.004 (.000)	.004 (.000)	.004 (.000)	.014 (.001)	.006 (.002)	.035 (.000)	.011 (.000)	.010 (.001)		
84	.004 (.000)	.003 (.001)	.004 (.000)	.004 (.000)	.004 (.000)	.011 (.001)	.005 (.001)	.025 (.000)	.008 (.000)	.007 (.000)		
96	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.008 (.001)	.004 (.001)	.018 (.000)	.006 (.000)	.006 (.000)		
108	.003 (.000)	.002 (.000)	.003 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)	.007 (.001)	.003 (.001)	.014 (.000)	.005 (.000)	.005 (.000)		
120	.002 (.000)	.002 (.000)	.002 (.000)	.002 (.000)	.002 (.000)	.006 (.000)	.002 (.001)	.011 (.000)	.004 (.000)	.004 (.000)		

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 80: 0 スペル生存確率(3)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.916 (.020)	.841 (.001)	.920 (.014)	.954 (.003)	.936 (.007)	.920 (.013)
2	.718 (.047)	.570 (.002)	.705 (.040)	.831 (.009)	.778 (.021)	.721 (.035)
3	.522 (.055)	.370 (.001)	.490 (.049)	.678 (.013)	.602 (.029)	.519 (.044)
4	.374 (.051)	.249 (.001)	.335 (.044)	.537 (.015)	.455 (.029)	.367 (.041)
5	.272 (.043)	.175 (.001)	.233 (.036)	.421 (.015)	.345 (.027)	.264 (.035)
6	.203 (.035)	.128 (.001)	.168 (.029)	.332 (.014)	.266 (.023)	.195 (.028)
7	.155 (.028)	.098 (.001)	.125 (.022)	.265 (.012)	.208 (.020)	.148 (.023)
8	.121 (.023)	.076 (.000)	.095 (.018)	.215 (.010)	.166 (.016)	.115 (.019)
9	.097 (.019)	.061 (.000)	.075 (.014)	.176 (.009)	.135 (.014)	.092 (.015)
10	.079 (.015)	.050 (.000)	.060 (.012)	.147 (.008)	.112 (.012)	.074 (.013)
11	.066 (.013)	.042 (.000)	.049 (.010)	.123 (.007)	.094 (.010)	.061 (.011)
12	.055 (.011)	.035 (.000)	.040 (.008)	.105 (.006)	.079 (.009)	.051 (.009)
24	.013 (.002)	.009 (.000)	.009 (.002)	.027 (.002)	.020 (.002)	.012 (.002)
36	.006 (.001)	.004 (.000)	.003 (.001)	.012 (.001)	.009 (.001)	.005 (.001)
48	.003 (.000)	.002 (.000)	.002 (.000)	.006 (.000)	.005 (.001)	.003 (.000)
60	.002 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.004 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)
72	.001 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.003 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)
84	.001 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.002 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)
96	.001 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)	.002 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)
108	.001 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)
120	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.001 (.000)	.001 (.000)	.000 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8N: N スペル生存確率(1)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	.999 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	.999 (.000)	.998 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	.997 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	.998 (.000)	.997 (.001)	.996 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.996 (.000)	.994 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	.996 (.000)	.994 (.001)	.994 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.996 (.000)	.993 (.000)	.990 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	.994 (.000)	.991 (.002)	.991 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.995 (.000)	.990 (.000)	.985 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	.991 (.000)	.988 (.003)	.986 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.993 (.000)	.986 (.000)	.979 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	.988 (.000)	.983 (.004)	.981 (.003)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.990 (.000)	.981 (.000)	.972 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
9	.985 (.001)	.978 (.005)	.975 (.004)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.987 (.000)	.975 (.000)	.964 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
10	.981 (.001)	.972 (.006)	.968 (.005)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.984 (.000)	.968 (.001)	.955 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
11	.977 (.001)	.966 (.007)	.960 (.006)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.980 (.000)	.961 (.001)	.945 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
12	.972 (.001)	.958 (.009)	.951 (.007)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.977 (.000)	.952 (.001)	.934 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
24	.878 (.003)	.820 (.030)	.786 (.022)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.903 (.000)	.804 (.003)	.747 (.010)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)
36	.743 (.006)	.639 (.048)	.579 (.029)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.795 (.000)	.619 (.004)	.542 (.014)	.999 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)
48	.602 (.007)	.476 (.055)	.407 (.029)	.998 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.676 (.000)	.458 (.004)	.382 (.015)	.998 (.000)	.997 (.000)	.995 (.000)
60	.478 (.007)	.351 (.055)	.286 (.024)	.996 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)	.564 (.000)	.336 (.004)	.272 (.013)	.995 (.000)	.994 (.000)	.989 (.000)
72	.378 (.006)	.261 (.051)	.205 (.019)	.992 (.000)	.998 (.000)	.994 (.000)	.466 (.000)	.251 (.003)	.199 (.011)	.990 (.000)	.987 (.000)	.980 (.001)
84	.300 (.005)	.198 (.045)	.150 (.015)	.987 (.000)	.997 (.000)	.990 (.001)	.384 (.000)	.190 (.002)	.149 (.009)	.983 (.000)	.978 (.001)	.967 (.001)
96	.241 (.005)	.153 (.039)	.113 (.011)	.981 (.000)	.995 (.000)	.984 (.001)	.319 (.000)	.148 (.002)	.115 (.007)	.973 (.000)	.964 (.001)	.949 (.001)
108	.196 (.004)	.121 (.034)	.088 (.009)	.972 (.000)	.992 (.000)	.976 (.001)	.266 (.000)	.117 (.002)	.090 (.006)	.959 (.001)	.946 (.002)	.927 (.002)
120	.161 (.003)	.097 (.029)	.069 (.007)	.962 (.000)	.988 (.000)	.966 (.002)	.224 (.000)	.094 (.001)	.073 (.005)	.942 (.001)	.922 (.002)	.899 (.003)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8N: N スペル生存確率(2)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	1.00 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
3	.999 (.000)	.996 (.001)	.999 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.998 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
4	.999 (.000)	.992 (.001)	.997 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.995 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
5	.998 (.000)	.988 (.002)	.995 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.992 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
6	.997 (.000)	.982 (.002)	.993 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.995 (.001)	.987 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
7	.996 (.000)	.974 (.003)	.989 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.992 (.001)	.980 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
8	.994 (.000)	.966 (.004)	.985 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.988 (.001)	.971 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
9	.993 (.000)	.956 (.006)	.980 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.983 (.002)	.961 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
10	.991 (.000)	.945 (.007)	.975 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.998 (.000)	.978 (.002)	.949 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
11	.988 (.000)	.932 (.008)	.968 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.971 (.003)	.935 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
12	.986 (.001)	.919 (.010)	.961 (.001)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.996 (.000)	.963 (.004)	.919 (.003)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)
24	.930 (.003)	.708 (.027)	.815 (.006)	.999 (.000)	.999 (.000)	.999 (.000)	.967 (.001)	.780 (.018)	.635 (.008)	.995 (.000)	.989 (.000)	.987 (.000)
36	.837 (.006)	.496 (.033)	.617 (.008)	.994 (.000)	.997 (.000)	.997 (.000)	.896 (.003)	.526 (.026)	.367 (.008)	.978 (.000)	.946 (.001)	.933 (.001)
48	.722 (.009)	.341 (.030)	.441 (.009)	.984 (.000)	.989 (.000)	.990 (.000)	.785 (.006)	.327 (.023)	.211 (.006)	.937 (.001)	.846 (.004)	.803 (.002)
60	.605 (.010)	.240 (.024)	.313 (.007)	.965 (.001)	.974 (.001)	.975 (.000)	.651 (.008)	.204 (.017)	.127 (.004)	.865 (.003)	.689 (.006)	.612 (.003)
72	.499 (.011)	.174 (.019)	.224 (.006)	.936 (.001)	.947 (.002)	.948 (.001)	.519 (.008)	.132 (.012)	.082 (.003)	.761 (.004)	.514 (.007)	.420 (.003)
84	.409 (.010)	.130 (.015)	.165 (.005)	.895 (.002)	.904 (.004)	.906 (.002)	.404 (.008)	.089 (.009)	.056 (.002)	.639 (.005)	.361 (.007)	.273 (.002)
96	.335 (.009)	.100 (.012)	.124 (.004)	.843 (.003)	.846 (.006)	.848 (.002)	.312 (.007)	.063 (.006)	.039 (.001)	.515 (.005)	.248 (.006)	.176 (.002)
108	.276 (.008)	.078 (.010)	.096 (.003)	.781 (.003)	.773 (.008)	.775 (.003)	.242 (.006)	.045 (.005)	.029 (.001)	.404 (.005)	.170 (.004)	.114 (.001)
120	.229 (.007)	.063 (.008)	.075 (.002)	.711 (.004)	.689 (.009)	.691 (.004)	.188 (.005)	.034 (.003)	.022 (.001)	.312 (.005)	.118 (.003)	.076 (.001)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 8N: N スペル生存確率(3)
ストックサンプリングモデル

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	.999 (.000)	.998 (.000)	.999 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.000)	.997 (.000)
3	.996 (.000)	.993 (.001)	.995 (.001)	1.00 (.000)	.996 (.000)	.990 (.000)
4	.991 (.000)	.984 (.002)	.985 (.001)	1.00 (.000)	.991 (.000)	.977 (.000)
5	.984 (.000)	.969 (.004)	.968 (.003)	1.00 (.000)	.983 (.000)	.954 (.000)
6	.974 (.000)	.948 (.006)	.941 (.006)	.999 (.000)	.972 (.000)	.922 (.000)
7	.961 (.000)	.921 (.010)	.902 (.009)	.998 (.000)	.957 (.000)	.880 (.000)
8	.945 (.000)	.888 (.013)	.851 (.013)	.997 (.000)	.937 (.001)	.829 (.000)
9	.926 (.000)	.849 (.017)	.791 (.017)	.996 (.000)	.914 (.001)	.771 (.001)
10	.904 (.000)	.805 (.021)	.722 (.020)	.994 (.000)	.886 (.001)	.709 (.001)
11	.879 (.000)	.757 (.024)	.650 (.023)	.992 (.000)	.855 (.001)	.644 (.001)
12	.851 (.000)	.708 (.028)	.577 (.024)	.988 (.000)	.821 (.001)	.580 (.001)
24	.466 (.000)	.243 (.025)	.105 (.009)	.869 (.003)	.376 (.002)	.138 (.000)
36	.225 (.000)	.090 (.011)	.027 (.003)	.599 (.006)	.156 (.001)	.043 (.000)
48	.117 (.000)	.041 (.005)	.010 (.001)	.341 (.006)	.074 (.001)	.018 (.000)
60	.068 (.000)	.022 (.003)	.005 (.000)	.186 (.005)	.040 (.000)	.009 (.000)
72	.042 (.000)	.013 (.002)	.002 (.000)	.104 (.003)	.024 (.000)	.005 (.000)
84	.028 (.000)	.008 (.001)	.001 (.000)	.062 (.002)	.015 (.000)	.003 (.000)
96	.020 (.000)	.006 (.001)	.001 (.000)	.039 (.001)	.010 (.000)	.002 (.000)
108	.014 (.000)	.004 (.001)	.001 (.000)	.026 (.001)	.007 (.000)	.001 (.000)
120	.011 (.000)	.003 (.000)	.000 (.000)	.017 (.001)	.005 (.000)	.001 (.000)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 9:N スペルフローサンプリングモデル 1 推定値(1)

	男性						女性					
	$\alpha 0$	$\alpha 1$	$\alpha 2$	$\alpha 3$	$\alpha 4$	$\alpha 5$	$\alpha 0$	$\alpha 1$	$\alpha 2$	$\alpha 3$	$\alpha 4$	$\alpha 5$
1940 年代生まれ												
高卒	-30.921	23.290	-7.181	1.032	-0.070	0.002	-29.869	22.337	-6.987	1.014	-0.069	0.002
	(-115.290)	(228.450)	(-510.142)	(675.574)	(-967.096)	(337.177)	(-126.653)	(170.517)	(-357.730)	(843.407)	(-181.255)	(100.577)
短大卒	-46.260	37.296	-11.634	1.654	-0.109	0.003	-29.869	27.332	-8.899	1.356	-0.097	0.003
	(-132.347)	(246.547)	(-711.641)	(2752.220)	(-1313.191)	(406.409)	(-38.078)	(63.832)	(-80.947)	(99.891)	(-134.154)	(88.439)
大卒	-30.720	23.005	-7.011	0.990	-0.066	0.002	-23.806	15.831	-4.807	0.678	-0.043	0.001
	(-89.997)	(208.011)	(-278.978)	(277.609)	(-545.256)	(372.938)	(-15.383)	(17.540)	(-24.122)	(67.697)	(-29.333)	(8.722)
1950 年代生まれ												
高卒	-33.903	27.151	-8.648	1.275	-0.088	0.002	-33.903	27.151	-8.648	1.275	-0.088	0.002
	(-128.936)	(256.010)	(-569.062)	(328.366)	(-188.180)	(125.205)	(-128.936)	(256.010)	(-569.062)	(328.366)	(-188.180)	(125.205)
短大卒	-37.405	30.019	-9.536	1.405	-0.097	0.003	-37.405	30.019	-9.536	1.405	-0.097	0.003
	(-127.046)	(328.839)	(-707.219)	(1613.078)	(-715.476)	(249.710)	(-127.046)	(328.839)	(-707.219)	(1613.078)	(-715.476)	(249.710)
大卒	-25.463	19.433	-6.031	0.877	-0.060	0.002	-33.894	27.367	-8.754	1.292	-0.089	0.002
	(-80.304)	(201.386)	(-445.056)	(593.598)	(-416.831)	(155.822)	(-53.324)	(110.702)	(-186.793)	(242.163)	(-518.417)	(188.022)
1960 年代生まれ												
高卒	-29.464	22.900	-7.076	1.020	-0.069	0.002	-33.102	26.754	-8.481	1.243	-0.085	0.002
	(-227.806)	(617.117)	(-1963.054)	(4362.105)	(-1974.573)	(817.009)	(-455.652)	(502.846)	(-272.673)	(220.173)	(-178.891)	(135.564)
短大卒	-29.433	23.101	-7.093	1.006	-0.067	0.002	-31.315	24.806	-7.757	1.122	-0.076	0.002
	(-62.860)	(291.587)	(-199.346)	(146.719)	(-235.476)	(324.210)	(-320.250)	(1153.479)	(-735.167)	(909.019)	(-228.218)	(106.007)
大卒	-35.932	29.072	-9.025	1.286	-0.086	0.002	-29.055	22.677	-7.108	1.038	-0.071	0.002
	(-65.480)	(118.767)	(-326.335)	(399.921)	(-193.994)	(133.199)	(-144.064)	(170.755)	(-315.535)	(395.790)	(-193.143)	(98.420)

() 内の数値は t 値。

表 9:N スペルフローサンプリングモデル 1 推定値(2)

	男性						女性					
	$\alpha 0$	$\alpha 1$	$\alpha 2$	$\alpha 3$	$\alpha 4$	$\alpha 5$	$\alpha 0$	$\alpha 1$	$\alpha 2$	$\alpha 3$	$\alpha 4$	$\alpha 5$
1970 年代生まれ												
高卒	25.684	-50.797	26.832	-5.931	0.578	-0.021	-32.716	26.311	-8.371	1.236	-0.086	0.002
	(1328.503)	(-11356.99)	(1.30E+07)	(-1.91D+09)	(2.11E+10)	(-1.31E+07)	(-206.700)	(486.094)	(-375.096)	(275.705)	(-202.227)	(147.598)
短大卒	-30.692	24.311	-7.557	1.095	-0.075	0.002	-31.629	25.083	-7.878	1140	-0.077	0.002
	(-93.641)	(283.389)	(-837.431)	(593.910)	(-645.662)	(138.667)	(-285.386)	(824.203)	(-1485.622)	(2403.345)	(-2626.506)	(558.927)
大卒	-24.353	19.077	-6.048	0.900	-0.063	0.002	-21.432	15.377	-4.633	0.654	-0.044	0.001
	(-55.480)	(121.345)	(-409.304)	(179.227)	(-121.315)	(96.021)	(-106.656)	(359.005)	(-327.331)	(396.310)	(-224.573)	(98.392)
1980 年代生まれ												
高卒	-13.021	8.632	-2.403	0.309	-0.019	0.000	-8.564	4.582	-1100	0.116	-0.006	0.000
	(-100.876)	(453.797)	(-144.044)	(75.490)	(-53.608)	(37.618)	(-73.632)	(108.649)	(-286.381)	(191.301)	(-76.807)	(21.031)
短大卒	-4.011	0.838	0.062	-0.053	0.006	0.000	-3.243	-0.411	0.639	-0.161	0.015	0.000
	(-7.775)	(3.478)	(1.968)	(-16.015)	(10.822)	(-5.452)	(-15.768)	(-2.070)	(11.069)	(-39.695)	(48.591)	(-16.650)
大卒	0.470	-3.987	1.667	-0.282	0.021	-0.001	1.432	-6.119	3.085	-0.630	0.056	-0.002
	(2.817)	(-67.619)	(77.226)	(-60.933)	(87.583)	(-92.744)	(4.494)	(-23.033)	(49.433)	(-152.084)	(110.901)	(-45.482)

() 内の数値は t 値。

表 10 N スペル生存確率(1)
フローサンプリングモデル 1

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	.997 (.000)	.999 (.000)	.997 (.001)	1.00 (.000)	.998 (.002)	.998 (.001)	1.00 (.000)	.991 (.003)	.990 (.002)	1.00 (.000)	.997 (.000)	.994 (.002)
3	.951 (.003)	.927 (.010)	.947 (.006)	.992 (.000)	.968 (.008)	.986 (.008)	.856 (.001)	.823 (.032)	.892 (.012)	.856 (.008)	.917 (.008)	.901 (.016)
4	.887 (.005)	.857 (.019)	.881 (.011)	.925 (.002)	.933 (.012)	.967 (.014)	.802 (.001)	.709 (.039)	.770 (.019)	.801 (.008)	.826 (.012)	.808 (.022)
5	.847 (.007)	.835 (.022)	.840 (.013)	.874 (.004)	.910 (.015)	.948 (.018)	.788 (.001)	.668 (.042)	.689 (.022)	.787 (.008)	.779 (.014)	.762 (.024)
6	.819 (.008)	.825 (.023)	.814 (.014)	.861 (.005)	.891 (.016)	.925 (.022)	.619 (.007)	.640 (.044)	.631 (.024)	.618 (.011)	.749 (.015)	.731 (.025)
7	.793 (.007)	.816 (.024)	.790 (.015)	.858 (.005)	.869 (.018)	.895 (.028)	.619 (.007)	.602 (.048)	.576 (.026)	.618 (.011)	.717 (.016)	.698 (.026)
8	.761 (.008)	.799 (.026)	.759 (.017)	.854 (.005)	.843 (.021)	.857 (.035)	.619 (.007)	.529 (.053)	.516 (.028)	.618 (.011)	.674 (.018)	.651 (.025)
9	.727 (.009)	.765 (.031)	.723 (.018)	.844 (.006)	.821 (.023)	.833 (.041)	.619 (.007)	.427 (.058)	.459 (.030)	.618 (.011)	.625 (.022)	.595 (.022)
10	.699 (.010)	.718 (.037)	.692 (.019)	.794 (.010)	.811 (.025)	.827 (.045)	.619 (.007)	.362 (.061)	.417 (.032)	.618 (.011)	.592 (.024)	.552 (.020)
11	.683 (.010)	.681 (.042)	.672 (.020)	.757 (.010)	.807 (.026)	.826 (.046)	.619 (.007)	.340 (.064)	.390 (.033)	.618 (.011)	.575 (.025)	.528 (.021)
12	.670 (.011)	.651 (.044)	.661 (.021)	.757 (.010)	.804 (.026)	.826 (.046)	.619 (.007)	.330 (.069)	.365 (.035)	.618 (.011)	.562 (.026)	.511 (.024)
13	.631 (.015)	.553 (.070)	.643 (.023)	.757 (.010)	.754 (.055)	.826 (.046)	.619 (.007)	.287 (.107)	.264 (.064)	.618 (.011)	.462 (.045)	.416 (.063)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 10: N スペル生存確率(2)
フローサンプリングモデル 1

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.974 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	.992 (.001)	.989 (.003)	.992 (.003)	.992 (.000)	.993 (.000)	.993 (.001)	.974 (.0009)	.991 (.001)	.984 (.003)	.993 (.001)	.993 (.000)	.990 (.001)
3	.877 (.006)	.838 (.024)	.815 (.021)	.865 (.004)	.879 (.004)	.898 (.013)	.945 (.001)	.837 (.013)	.855 (.012)	.884 (.006)	.895 (.005)	.920 (.008)
4	.733 (.011)	.674 (.029)	.643 (.027)	.735 (.006)	.755 (.006)	.787 (.026)	.598 (.005)	.658 (.020)	.710 (.016)	.768 (.009)	.792 (.009)	.827 (.013)
5	.649 (.012)	.591 (.027)	.576 (.030)	.672 (.008)	.692 (.008)	.721 (.033)	.496 (.005)	.562 (.023)	.616 (.018)	.708 (.009)	.739 (.010)	.760 (.015)
6	.593 (.013)	.543 (.025)	.541 (.030)	.633 (.010)	.652 (.010)	.677 (.036)	.490 (.006)	.501 (.025)	.547 (.019)	.668 (.010)	.707 (.011)	.709 (.016)
7	.540 (.014)	.499 (.023)	.509 (.030)	.594 (.013)	.615 (.012)	.636 (.037)	.490 (.006)	.445 (.026)	.481 (.020)	.629 (.010)	.674 (.012)	.663 (.017)
8	.479 (.014)	.449 (.024)	.465 (.030)	.544 (.017)	.568 (.013)	.590 (.036)	.485 (.006)	.381 (.026)	.415 (.021)	.583 (.010)	.631 (.013)	.613 (.018)
9	.416 (.015)	.390 (.028)	.406 (.031)	.490 (.020)	.516 (.014)	.547 (.035)	.336 (.008)	.317 (.025)	.359 (.022)	.538 (.012)	.580 (.015)	.563 (.020)
10	.368 (.015)	.339 (.034)	.348 (.032)	.452 (.022)	.472 (.0472)	.519 (.034)	.294 (.008)	.271 (.024)	.325 (.023)	.509 (.013)	.538 (.015)	.519 (.021)
11	.338 (.015)	.306 (.037)	.310 (.034)	.432 (.022)	.446 (.0446)	.505 (.034)	.294 (.008)	.244 (.024)	.306 (.023)	.496 (.014)	.515 (.015)	.488 (.022)
12	.313 (.015)	.281 (.039)	.283 (.036)	.418 (.022)	.425 (.0425)	.497 (.034)	.294 (.008)	.221 (.023)	.290 (.024)	.486 (.015)	.500 (.015)	.462 (.024)
13	.230 (.023)	.223 (.059)	.215 (.049)	.357 (.019)	.349 (.0349)	.472 (.031)	.294 (.008)	.126 (.040)	.205 (.035)	.435 (.018)	.465 (.019)	.413 (.036)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 10: N スペル生存確率(3)
フローサンプリングモデル 1

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.998 (.000)	.957 (.012)	.885 (.013)	.993 (.001)	.958 (.004)	.893 (.015)
2	.958 (.003)	.875 (.022)	.832 (.017)	.943 (.003)	.888 (.008)	.833 (.018)
3	.816 (.009)	.756 (.025)	.771 (.020)	.824 (.008)	.773 (.013)	.736 (.022)
4	.661 (.012)	.632 (.028)	.686 (.024)	.691 (.011)	.635 (.016)	.599 (.027)
5	.554 (.013)	.531 (.035)	.589 (.028)	.587 (.012)	.519 (.018)	.486 (.030)
6	.486 (.014)	.461 (.039)	.506 (.031)	.517 (.013)	.440 (.019)	.424 (.031)
7	.436 (.014)	.413 (.039)	.450 (.033)	.469 (.013)	.391 (.020)	.391 (.031)
8	.396 (.014)	.378 (.038)	.414 (.034)	.432 (.014)	.356 (.020)	.368 (.031)
9	.359 (.015)	.347 (.037)	.388 (.035)	.402 (.014)	.327 (.020)	.341 (.032)
10	.324 (.016)	.316 (.037)	.366 (.037)	.374 (.015)	.296 (.020)	.298 (.035)
11	.291 (.017)	.282 (.040)	.340 (.038)	.348 (.016)	.261 (.021)	.250 (.040)
12	.258 (.018)	.246 (.042)	.305 (.039)	.323 (.018)	.229 (.024)	.236 (.047)
13	.215 (.024)	.209 (.054)	.262 (.049)	.299 (.022)	.213 (.029)	.236 (.047)

() 内の数値は標準誤差。 .000 は .001 未満の数値を示す。

表 11: N スペルフローサンプリングモデル 2 推定値(1)
1940 年代コーホート

	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
年齢	.151 (3.47)	80.4 (4.15)	.680 (.416)	.105 (.496)	-.65 (-4.9)	
年齢 ²	-.00 (-4.5)	-2.0 (-4.2)	-.01 (-.48)	-.00 (-11)	.000 (.024)	
結婚	1.05 (4.14)	923 (4.31)	1.53 (2.21)	-.10 (-.63)	-4.7 (-25)	
離婚	.743 (2.62)	-1E3 (-4.3)	1.65 (2.12)	.455 (2.31)	-5.7 (-8.1)	
婚姻状態不詳	.768 (.771)	45.0 (4.27)	1.45 (1.42)	4.34 (2.87)	-23 (-12)	
配偶者年齢	.013 (.770)	22.5 (6.96)	.041 (113)	-.12 (-2.7)	-.48 (-5.0)	
配偶者年齢 ²	-.00 (-.92)	-.34 (-7.7)	-.00 (-1.0)	.002 (2.62)	.008 (5.20)	
配偶者年齢不詳	-.63 (-2.1)	-634 (-4.3)	-1.3 (-1.6)	-2.1 (-2.3)	5.79 (4.47)	
配偶者短大卒	-.06 (-.25)	152 (4.23)	-.06 (-.23)	.710 (1.54)	-20 (-12)	
配偶者大卒	.042 (.063)	-194 (-4.2)	-.34 (-11)	-.02 (-.13)	-5.1 (-7.0)	
配偶者学歴不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-.92 (-.91)	.000 (.000)	
3 歳以下子ども数	.017 (.031)	-488 (-4.4)	4.83 (4.46)	-.18 (-.19)	.000 (.000)	
4～6 歳子ども数	-11 (-1.0)	.000 (.000)	-.48 (-.43)	-.76 (-.74)	.000 (.000)	
7～9 歳子ども数	.916 (1.29)	.000 (.000)	-15 (-1.0)	-.06 (-.06)	.000 (.000)	
10～12 歳子ども数	.187 (.360)	.000 (.000)	2.21 (2.16)	-.00 (-.00)	.413 (.187)	
13～14 歳子ども数	-.02 (-.04)	.000 (.000)	-.21 (-.21)	1.64 (1.64)	.000 (.000)	
前職パート・アルバイト	.182 (1.25)	491 (4.39)	.990 (2.37)	.122 (1.03)	6.10 (9.54)	
前職派遣社員	.769 (2.13)	-475 (-4.2)	1.23 (1.45)	-.52 (-.48)	-2.9 (-2.0)	
前職その他	.232 (114)	299 (4.39)	-.36 (-.64)	.149 (.349)	7.41 (5.55)	
前職会社などの役員	.335 (113)	-254 (-4.3)	-.99 (-2.2)	1.25 (1.93)	-11 (-9.5)	
前職自営業主	-.09 (-.27)	-476 (-4.2)	1.31 (1.90)	-2.2 (-2.7)	-9.3 (-6.1)	
前職自家営業の手伝い	-.60 (-.60)	.000 (.000)	.000 (.000)	.037 (.104)	-26 (-17)	
前職内職	-3.1 (-1.5)	.000 (.000)	.000 (.000)	-4.6 (-2.3)	-31 (-8.0)	
前職勤めか自営かの別不詳	.615 (.912)	168 (4.28)	-18 (-1.0)	-3.1 (-2.3)	2.46 (2.44)	
前職産業不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	
前職農林業	-1.2	-403	-19	1.75	2.28	

	(-1.7)	(-4.3)	(-.83)	(2.23)	(2.27)
前職漁業	.310	.000	-47	-.98	.000
	(.463)	(.000)	(-.77)	(-.91)	(.000)
前職鉱業	-11	.000	-17	.352	.000
	(-11)	(.000)	(-.79)	(.324)	(.000)
前職建設業	.117	-5.1	.708	-5.4	4.61
	(.569)	(-.81)	(1.49)	(-2.9)	(2.98)
前職電気・ガス・熱供給・水道業	-.30	-726	1.08	1.78	-1.2
	(-.47)	(-4.3)	(1.45)	(1.57)	(-1.2)
前職情報通信業	.002	1115	-.99	-.63	-12
	(.007)	(4.34)	(-1.0)	(-.62)	(-11)
前職運輸業	-.00	-637	.795	.002	-23
	(-.01)	(-4.4)	(1.30)	(.010)	(-9.0)
前職卸売・小売業	.135	-697	-.30	.844	1.75
	(.739)	(-4.4)	(-.79)	(4.09)	(1.22)
前職金融・保険業	-.28	458	.609	-.67	-14
	(-.64)	(4.34)	(1.24)	(-.85)	(-11)
前職不動産業	-.09	612	.127	-5.1	11.3
	(-.18)	(4.28)	(.203)	(-2.4)	(6.66)
前職学術研究、専門・技術サービス業	-.25	359	.251	1.45	19.0
	(-.48)	(4.38)	(.416)	(2.17)	(13.0)
前職飲食店・宿泊業	.139	-270	.386	.561	14.4
	(.344)	(-4.4)	(.397)	(1.72)	(14.3)
前職生活サービス業	.243	633	-2.7	.533	7.89
	(.678)	(4.32)	(-2.7)	(1.84)	(4.70)
前職教育・学習支援業	-.22	855	-1.5	1.32	10.1
	(-.41)	(4.38)	(-2.2)	(2.40)	(7.39)
前職医療・福祉	-.22	-127	.603	1.07	6.88
	(-.43)	(-5.2)	(.922)	(3.98)	(5.13)
前職複合サービス事業	.128	-520	111	.895	-12
	(.325)	(-4.3)	(1.76)	(1.09)	(-12)
前職サービス業その他	.211	42.6	.480	.697	14.5
	(.949)	(1.85)	(1.04)	(1.94)	(11.5)
前職公務	-.99	-1E3	.492	2.18	19.2
	(-1.9)	(-4.3)	(.797)	(2.90)	(10.1)
前職分類不能の産業	-1.4	-2E3	-18	.552	-4.7
	(-1.8)	(-4.3)	(-1.2)	(.643)	(-4.6)
前職職業不詳	-3.6	74.3	.317	-2.6	-1.2
	(-1.7)	(4.29)	(.334)	(-2.3)	(-.54)
前職専門的技術職的職業従事者	.391	159	-.60	.088	8.94
	(116)	(4.24)	(-1.3)	(.124)	(13.5)
前職管理職的職業従事者	-.23	138	.240	-.48	-13
	(-.81)	(3.84)	(.548)	(-.92)	(-11)
前職事務従事者	.003	233	-.43	-.21	-.30
	(.018)	(4.66)	(-1.2)	(-.90)	(-.22)
前職販売職従事者	.114	460	-.17	.157	-1.9
	(.597)	(4.39)	(-.44)	(.500)	(-1.4)
前職サービス業従事者	.295	-888	.143	-.20	.791
	(.850)	(-4.4)	(.182)	(-.70)	(.728)
前職保安職業従事者	.637	658	-.94	-2.9	.000
	(2.14)	(4.59)	(-1.0)	(-2.2)	(.000)
前職農林漁業従事者	1.04	-398	20.7	-1.2	2.28
	(1.74)	(-4.3)	(.894)	(-1.3)	(2.27)
前職運輸通信業従事者	.255	388	-.35	-.80	38.6
	(1.27)	(4.14)	(-.39)	(-.77)	(11.2)
前職建設・採掘作業者	-.03	-135	-.63	5.26	.000

前職運搬・清掃・包装等従事者	(-.11)	(-4.3)	(-.72)	(4.00)	(.000)
	.260	530	112	-.19	-12
	(1.37)	(4.30)	(1.59)	(-.78)	(-4.8)
前職分類不能の職業	110	250	2.83	.552	-4.7
	(1.42)	(4.31)	(2.64)	(.640)	(-4.6)
前職の従業者規模1人	.416	1450	-1.6	.998	15.4
	(.985)	(4.31)	(-1.7)	(1.33)	(8.64)
前職の従業者規模2～4人	-.02	633	.171	-.81	-1.2
	(-.10)	(4.33)	(.243)	(-2.6)	(-11)
前職の従業者規模5～9人	.187	573	-.32	.614	-7.9
	(.980)	(4.37)	(-.51)	(1.98)	(-7.3)
前職の従業者規模10～29人	.358	-126	1.41	.129	2.79
	(2.31)	(-4.7)	(3.20)	(.725)	(3.05)
前職の従業者規模100～499人	.164	328	.339	-.29	.466
	(1.03)	(4.39)	(.865)	(-1.3)	(.546)
前職の従業者規模500～999人	-.50	-166	.423	.264	-11
	(-1.8)	(-4.3)	(.802)	(.749)	(-7.3)
前職の従業者規模1000人以上	-.19	-399	-.05	-1.3	-.54
	(-11)	(-4.3)	(-.11)	(-2.3)	(-.51)
前職の従業者規模官公庁	.373	970	.727	-.86	-11
	(1.02)	(4.29)	(1.24)	(-1.3)	(-9.3)
前職の従業者規模不詳	.041	168	-19	-1.4	3.77
	(.064)	(4.28)	(-.88)	(-1.2)	(3.69)
前職の離職理由会社倒産・事業所閉鎖のため	-1.4	313	-.65	-3.1	-7.9
	(-5.3)	(4.43)	(-11)	(-7.8)	(-7.6)
前職の離職理由人員整理・勧奨退職のため	-1.5	-251	-1.0	-3.4	-7.6
	(-6.3)	(-3.9)	(-2.1)	(-8.9)	(-7.3)
前職の離職理由事業不振や先行き不安のため	-.87	-347	-11	-2.7	-12
	(-3.1)	(-4.5)	(-1.9)	(-6.9)	(-7.2)
前職の離職理由定年又は雇用契約の満了	-1.8	716	-1.4	-3.9	-8.0
	(-7.6)	(4.39)	(-3.1)	(-9.6)	(-11)
前職の離職理由結婚・出産・育児のため	-2.4	.000	.000	-5.7	.000
	(-1.2)	(.000)	(.000)	(-2.6)	(.000)
前職の離職理由介護・看護のため	-2.1	-1E3	-.94	-5.0	-15
	(-3.7)	(-4.3)	(-.94)	(-11)	(-12)
前職の離職理由家事・通学・健康上の理由のため	-2.5	-469	-2.1	-4.8	-19
	(-9.2)	(-4.4)	(-3.5)	(-10)	(-17)
前職の離職理由その他	-1.4	-398	-11	-3.4	-7.3
	(-5.8)	(-4.4)	(-2.4)	(-9.2)	(-8.9)
前職の離職理由不詳	-4.5	103	.413	-.68	-2.6
	(-2.2)	(4.27)	(.412)	(-.65)	(-2.6)
3歳以下子ども数×都道府県保育所児童待機率	-.28	-7.8	-8.3	-.01	.000
	(-.12)	(-3.8)	(-.74)	(-.01)	(.000)
4～6歳子ども数×都道府県保育所児童待機率	.522	.000	-.00	.006	.000
	(.150)	(.000)	(-.00)	(.008)	(.000)
3歳以下子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-.28	-7.8	-8.3	-.01	.000
	(-.12)	(-3.8)	(-.74)	(-.01)	(.000)
4～6歳子どもあり×都道府県保育所児童待機率	.544	.000	-.00	.006	.000
	(.152)	(.000)	(-.00)	(.008)	(.000)
都道府県求人倍率	.135	-44	-.59	1.64	1.89
	(.344)	(-44)	(-1.0)	(3.50)	(2.74)
2003年	.321	-1.4	.774	-.22	.186
	(1.41)	(-.59)	(1.78)	(-.84)	(.193)
2004年	.324	-110	.482	-.85	1.05
	(1.26)	(-4.8)	(1.06)	(-2.1)	(.888)
2005年	.514	674	.424	-.59	.833

	(1. 79)	(4. 34)	(. 873)	(-1. 7)	(. 747)
2006 年	. 670	-89	1. 21	- . 98	. 608
	(2. 10)	(-3. 9)	(2. 52)	(-2. 5)	(. 506)
2007 年	. 594	50. 4	1. 25	- . 31	- . 24
	(1. 81)	(4. 90)	(2. 53)	(- . 93)	(- . 21)
2008 年	. 770	-76	. 776	. 286	2. 48
	(2. 45)	(-4. 3)	(1. 49)	(. 856)	(1. 92)
7 大都市の人口集中地域	. 249	-203	- . 16	. 065	. 479
	(1. 36)	(-4. 3)	(- . 56)	(. 244)	(. 582)
7 大都市の人口集中地域以外	- . 39	. 000	-15	- . 84	-7. 6
	(- . 40)	(. 000)	(-1. 3)	(- . 79)	(-7. 5)
7 大都市以外の市の人口集中地域以外	- . 27	-694	- . 22	- . 03	7. 96
	(-2. 0)	(-4. 3)	(- . 66)	(- . 29)	(11. 9)
郡部の人口集中地域	- . 10	-153	- . 92	. 199	-9. 6
	(- . 42)	(-4. 6)	(-1. 5)	(. 659)	(-7. 4)
郡部の人口集中地域以外	. 060	-200	- . 30	- . 07	-1. 2
	(. 484)	(-4. 2)	(- . 61)	(- . 91)	(-6. 3)
北海道	. 021	-21	- . 47	- . 16	2. 81
	(. 080)	(-2. 5)	(- . 87)	(- . 39)	(1. 84)
青森県	- . 09	213	-21	- . 20	-21
	(- . 19)	(4. 30)	(-11)	(- . 28)	(-18)
岩手県	. 319	-843	-22	- . 25	11. 3
	(. 863)	(-4. 3)	(- . 82)	(- . 51)	(7. 87)
宮城県	- . 03	-2E3	-1. 5	-1. 6	-4. 3
	(- . 08)	(-4. 3)	(-1. 5)	(-1. 8)	(-3. 5)
秋田県	- . 21	. 000	- . 72	-2. 5	-6. 8
	(- . 47)	(. 000)	(- . 71)	(-2. 3)	(-3. 6)
山形県	- . 03	-719	. 628	- . 44	-4. 9
	(- . 07)	(-4. 4)	(. 628)	(- . 58)	(-3. 6)
福島県	. 085	135	- . 78	- . 57	7. 34
	(. 260)	(4. 16)	(- . 78)	(- . 90)	(4. 90)
茨城県	. 143	658	-1. 9	-2. 3	-14
	(. 461)	(4. 46)	(-1. 9)	(-2. 3)	(-13)
栃木県	- . 68	-612	- . 47	- . 07	-12
	(-1. 5)	(-4. 3)	(- . 47)	(- . 15)	(-11)
群馬県	- . 09	270	. 675	-2. 2	4. 88
	(- . 24)	(4. 39)	(. 729)	(-1. 8)	(2. 99)
埼玉県	. 300	120	- . 19	- . 49	10. 0
	(112)	(4. 09)	(- . 40)	(-11)	(7. 86)
千葉県	- . 55	520	- . 77	- . 68	-7. 9
	(-1. 5)	(4. 38)	(-1. 3)	(-1. 4)	(-4. 4)
神奈川県	. 558	-285	. 829	- . 02	6. 06
	(2. 22)	(-4. 3)	(2. 16)	(- . 11)	(4. 74)
新潟県	- . 63	-385	. 092	- . 20	8. 33
	(-2. 0)	(-4. 3)	(. 091)	(- . 51)	(4. 63)
富山県	. 308	641	. 171	. 085	8. 27
	(. 792)	(4. 39)	(. 174)	(. 175)	(6. 15)
石川県	- . 24	312	. 558	-2. 9	7. 51
	(- . 47)	(4. 30)	(. 572)	(-2. 6)	(3. 82)
福井県	- . 14	. 000	-18	-1. 8	11. 0
	(- . 30)	(. 000)	(- . 89)	(-1. 6)	(6. 54)
山梨県	- . 45	-70	1. 24	-4. 8	. 170
	(- . 70)	(-4. 2)	(1. 22)	(-1. 8)	(. 170)
長野県	. 352	382	- . 90	- . 70	-7. 7
	(113)	(4. 23)	(- . 92)	(-1. 5)	(-4. 5)
岐阜県	. 220	-1E3	. 404	- . 61	-3. 7

	(. 603)	(-4. 3)	(. 512)	(-1. 0)	(-3. 6)
静岡県	. 021	-359	-. 16	-11	1. 60
	(. 073)	(-4. 5)	(-. 22)	(-2. 4)	(117)
愛知県	-. 22	362	. 219	-1. 8	-2. 2
	(-. 67)	(4. 27)	(. 347)	(-4. 0)	(-1. 6)
三重県	-. 08	412	-. 35	-1. 3	22. 3
	(-. 17)	(4. 40)	(-. 38)	(-1. 7)	(12. 7)
滋賀県	-. 01	-55	. 529	-. 17	13. 2
	(-. 02)	(-4. 3)	(. 538)	(-. 24)	(7. 91)
京都府	-11	95. 0	-1. 5	-. 72	4. 97
	(-1. 8)	(4. 31)	(-1. 5)	(-1. 5)	(3. 87)
大阪府	-. 30	-604	-. 68	-. 74	8. 26
	(-1. 2)	(-4. 3)	(-1. 5)	(-2. 0)	(6. 75)
兵庫県	. 197	156	. 145	-1. 3	8. 74
	(. 758)	(4. 54)	(. 244)	(-2. 9)	(6. 27)
奈良県	-. 31	338	-. 79	-5. 8	-15
	(-. 51)	(4. 14)	(-. 99)	(-2. 2)	(-12)
和歌山県	-11	128	2. 53	-. 35	-2. 2
	(-1. 5)	(4. 27)	(2. 39)	(-. 34)	(-2. 2)
鳥取県	-. 39	151	-19	-2. 0	18. 0
	(-. 40)	(3. 96)	(-. 97)	(-1. 6)	(10. 5)
島根県	-. 02	114	-18	-. 71	-7. 8
	(-. 04)	(4. 31)	(-. 90)	(-. 75)	(-7. 5)
岡山県	-. 35	-1E3	-. 98	-1. 6	-20
	(-. 93)	(-4. 4)	(-. 98)	(-2. 4)	(-18)
広島県	-. 08	441	-1. 2	-1. 3	-15
	(-. 24)	(4. 24)	(-1. 4)	(-2. 0)	(-14)
山口県	-. 03	117	. 786	-11	-14
	(-. 09)	(4. 10)	(. 904)	(-1. 6)	(-7. 8)
徳島県	-. 07	. 000	-1. 3	. 101	. 202
	(-. 14)	(. 000)	(-1. 3)	(. 144)	(. 202)
香川県	. 028	-32	-11	-11	4. 49
	(. 069)	(-4. 6)	(-11)	(-2. 0)	(3. 53)
愛媛県	-. 31	95. 5	-. 25	. 395	-18
	(-. 85)	(4. 11)	(-. 27)	(1. 02)	(-16)
高知県	. 079	911	. 317	1. 34	14. 8
	(. 155)	(4. 33)	(. 310)	(2. 97)	(7. 85)
福岡県	-. 13	-460	-. 15	-1. 5	14. 5
	(-. 45)	(-4. 3)	(-. 30)	(-2. 0)	(7. 52)
佐賀県	-. 01	83. 8	. 605	-2. 6	32. 3
	(-. 02)	(4. 18)	(. 597)	(-1. 9)	(14. 9)
長崎県	. 400	-83	. 561	-. 87	11. 7
	(. 910)	(-4. 6)	(. 569)	(-. 88)	(7. 75)
熊本県	-. 46	252	-1. 5	-. 34	-3. 8
	(-1. 0)	(4. 42)	(-1. 5)	(-. 51)	(-3. 6)
大分県	-. 22	3036	-. 43	-. 36	. 000
	(-. 40)	(4. 31)	(-. 43)	(-. 46)	(. 000)
宮崎県	-. 21	-2E3	-. 77	-. 25	. 000
	(-. 35)	(-4. 3)	(-. 76)	(-. 37)	(. 000)
鹿児島県	-. 10	. 000	-1. 4	-. 36	8. 95
	(-. 23)	(. 000)	(-1. 4)	(-. 50)	(4. 01)
沖縄県	-. 85	-105	-2. 0	-1. 9	6. 03
	(-2. 4)	(-3. 8)	(-2. 9)	(-2. 1)	(3. 87)
α_0	-13	-15	-35	7. 66	40. 8
	(-9. 6)	(-2. 1)	(-. 74)	(4. 61)	(9. 18)
α_1	4. 16	6. 06	8. 76	-29	-36

	(21.7)	(.601)	(3.69)	(-2.1)	(-21)
α_2	-.39	49.6	-1.8	21.5	20.6
	(-11)	(5.43)	(-2.2)	(2.76)	(43.2)
α_3	-.06	-11	.119	-6.4	-4.6
	(-7.3)	(-5.0)	(.938)	(-3.5)	(-121)
α_4	.012	.860	.001	.838	.457
	(10.8)	(5.03)	(.071)	(4.50)	(185)
α_5	-.00	-.02	-.00	-.04	-.02
	(-11)	(-5.1)	(-.86)	(-6.0)	(-59)

() 内の数値は t 値。

表 11: N スペルフローサンプリングモデル 2 推定値 (2)
1950 年代コーホート

	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
年齢	.673 (1.53)	-1.6 (-2.5)	-.86 (-1.7)	-.13 (-.47)	.763 (1.08)	-.77 (-3.1)
年齢 ²	-.01 (-1.7)	-.02 (-3.5)	.008 (1.60)	.001 (.213)	-.01 (-1.2)	.005 (1.74)
結婚	.738 (4.01)	30.8 (3.37)	1.83 (3.57)	-.20 (-.89)	.220 (.514)	3.95 (3.81)
離婚	.156 (.671)	-13 (-2.2)	.209 (.313)	.149 (.647)	.853 (1.80)	6.11 (5.18)
婚姻状態不詳	.147 (.148)	.000 (.000)	-23 (-11)	.249 (.251)	-7.3 (-2.1)	11.4 (6.66)
配偶者年齢	-.01 (-.44)	111 (1.62)	-.01 (-.21)	.023 (1.54)	.037 (1.06)	.035 (.564)
配偶者年齢 ²	.000 (.376)	-.03 (-1.8)	.000 (.409)	-.00 (-1.4)	-.00 (-.86)	-.00 (-.31)
配偶者年齢不詳	-.74 (-1.4)	21.4 (3.08)	1.48 (1.65)	-.60 (-1.6)	-11 (-1.2)	3.92 (3.91)
配偶者短大卒	-.13 (-.51)	8.62 (4.85)	-11 (-2.7)	-.19 (-.66)	-.69 (-1.6)	4.33 (4.19)
配偶者大卒	1.04 (1.74)	-59 (-3.0)	-.57 (-1.3)	-.36 (-2.0)	-.43 (-1.5)	.728 (1.22)
配偶者学歴不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-.67 (-.67)	-4.3 (-1.8)	1.87 (1.63)
3 歳以下子ども数	.304 (.336)	-5.6 (-1.2)	-20 (-1.7)	.909 (.902)	-7.2 (-2.1)	-14 (-5.9)
4～6 歳子ども数	1.45 (2.15)	5.63 (2.56)	-.48 (-.48)	.468 (.692)	1.77 (1.41)	.398 (.381)
7～9 歳子ども数	.110 (.362)	-29 (-2.9)	-.22 (-.38)	-.39 (-.84)	118 (1.45)	-.21 (-.24)
10～12 歳子ども数	.149 (.707)	12.9 (3.16)	-.05 (-.12)	-.32 (-1.4)	-.89 (-1.8)	110 (1.65)
13～14 歳子ども数	.242 (1.05)	-13 (-2.9)	.111 (.262)	.312 (1.56)	-.54 (-1.0)	.059 (.104)
前職パート・アルバイト	.126 (.638)	2.12 (2.11)	.309 (.512)	.237 (2.04)	.035 (.227)	-.42 (-.86)
前職派遣社員	.344 (.617)	38.5 (2.95)	.103 (.123)	.643 (1.61)	.509 (.601)	.807 (.891)
前職その他	.288 (112)	-44 (-3.1)	.270 (.283)	-.02 (-.09)	.940 (1.82)	-.25 (-.31)
前職会社などの役員	.035 (.068)	-16 (-3.3)	.279 (.350)	-1.4 (-1.4)	-11 (-4.0)	-.94 (-.69)
前職自営業主	-.03 (-.09)	30.5 (2.80)	2.79 (3.49)	.355 (.887)	.896 (1.07)	5.14 (4.75)
前職自家営業の手伝い	-13 (-3.5)	.000 (.000)	-36 (-1.0)	-.06 (-.16)	-10 (-2.5)	-8.9 (-3.6)
前職内職	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.083 (.172)	1.51 (1.51)	.796 (.791)
前職勤めか自営かの別不詳	.341 (.429)	-7.1 (-2.9)	.000 (.000)	.011 (.018)	-1.7 (-1.8)	2.41 (2.33)
前職産業不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職農林業	-1.1	.000	-34	-.39	-7.6	.000

	(-1.3)	(.000)	(-11)	(-.54)	(-2.4)	(.000)
前職漁業	.329	.000	.000	-6.6	-.73	.000
	(.373)	(.000)	(.000)	(-4.3)	(-.62)	(.000)
前職鉱業	.297	.000	1.06	.000	.000	.000
	(.301)	(.000)	(1.06)	(.000)	(.000)	(.000)
前職建設業	.231	-13	.170	-.09	-.25	4.52
	(.960)	(-2.8)	(.328)	(-.25)	(-.27)	(4.11)
前職電気・ガス・熱供給・水道業	-13	.000	-29	-11	.141	.000
	(-4.0)	(.000)	(-.96)	(-11)	(.142)	(.000)
前職情報通信業	-.50	22.1	.708	.169	-.92	4.41
	(-.74)	(2.93)	(1.07)	(.325)	(-1.0)	(3.85)
前職運輸業	.062	-7.6	.349	.270	-1.6	2.40
	(.189)	(-2.2)	(.512)	(.747)	(-1.6)	(2.42)
前職卸売・小売業	-.19	-15	-.18	.272	-.43	.526
	(-.77)	(-2.8)	(-.41)	(1.65)	(-1.3)	(.883)
前職金融・保険業	.181	62.2	-1.2	.010	.113	1.78
	(.263)	(3.45)	(-1.6)	(.043)	(.206)	(2.22)
前職不動産業	-.04	-8.6	1.06	.490	-.59	-1.3
	(-.08)	(-3.1)	(1.35)	(1.05)	(-.60)	(-1.2)
前職学術研究、専門・技術サービス業	-.79	-19	-.48	.086	-1.8	3.36
	(-1.3)	(-3.1)	(-.63)	(.209)	(-1.8)	(3.40)
前職飲食店・宿泊業	-.07	34.7	.923	.204	-.13	-2.5
	(-.17)	(2.71)	(1.23)	(.817)	(-.28)	(-2.4)
前職生活サービス業	.101	-22	-2.1	-.09	.688	4.30
	(.246)	(-3.0)	(-2.2)	(-.32)	(1.38)	(4.12)
前職教育・学習支援業	-13	12.3	-22	-.41	-1.5	-.46
	(-3.1)	(2.84)	(-1.4)	(-.76)	(-2.7)	(-.64)
前職医療・福祉	-.02	1.80	.346	-.15	-.33	.877
	(-.03)	(.611)	(.387)	(-.58)	(-.82)	(118)
前職複合サービス事業	.591	-7.1	-1.5	-.75	-.03	-5.6
	(.936)	(-2.9)	(-1.5)	(-1.2)	(-.09)	(-3.0)
前職サービス業その他	-.15	6.98	-.04	.064	-1.5	.235
	(-.48)	(1.20)	(-.07)	(.250)	(-2.6)	(.308)
前職公務	-.81	.000	-.91	.692	-11	-1.8
	(-11)	(.000)	(-.95)	(119)	(-1.6)	(-1.8)
前職分類不能の産業	-.73	-5.7	-3.3	-.05	3.42	-1.9
	(-.81)	(-3.5)	(-1.6)	(-.07)	(1.95)	(-11)
前職職業不詳	-.74	.000	.088	-1.4	.734	.710
	(-.74)	(.000)	(.084)	(-1.4)	(.787)	(.691)
前職専門的技術職的職業従事者	.463	4.55	-.67	4.07	.874	115
	(.807)	(2.85)	(-.93)	(2.32)	(1.03)	(.840)
前職管理職的職業従事者	.141	-20	1.29	-4.1	-.44	.158
	(.280)	(-3.1)	(1.90)	(-2.3)	(-.52)	(.101)
前職事務従事者	-.33	-10	-.22	-.35	.549	.733
	(-11)	(-7.5)	(-.50)	(-2.0)	(1.82)	(114)
前職販売職従事者	-.02	-13	.559	-.34	.002	2.60
	(-.09)	(-2.1)	(1.25)	(-1.8)	(.017)	(2.85)
前職サービス業従事者	.624	-27	.995	.083	.702	3.63
	(1.60)	(-3.0)	(1.28)	(.378)	(1.69)	(4.05)
前職保安職業従事者	.810	-.01	.053	-11	-4.4	.000
	(1.58)	(-.01)	(.058)	(-11)	(-1.7)	(.000)
前職農林漁業従事者	-.13	.000	34.7	.614	7.25	.000
	(-.22)	(.000)	(112)	(.845)	(2.32)	(.000)
前職運輸通信業従事者	.262	-63	-.68	.813	-8.4	.000
	(.795)	(-2.7)	(-.68)	(.823)	(-2.7)	(.000)
前職建設・採掘作業者	-.21	36.2	119	.313	-7.9	.000

前職運搬・清掃・包装等従事者	(-.82)	(3.01)	(1.52)	(.332)	(-2.5)	(.000)
	.076	11.4	.457	-.33	.984	3.55
	(.273)	(3.86)	(.591)	(-1.7)	(2.00)	(3.68)
前職分類不能の職業	-.73	-5.7	-.26	-1.3	3.48	-1.9
	(-.81)	(-3.5)	(-.12)	(-1.6)	(1.96)	(-11)
前職の従業者規模 1 人	-.05	5.51	-2.4	-11	-1.6	-5.7
	(-.09)	(2.04)	(-2.3)	(-2.6)	(-1.9)	(-4.6)
前職の従業者規模 2～4 人	.016	-10	.077	-.34	-.63	1.61
	(.061)	(-3.5)	(.136)	(-1.8)	(-1.5)	(2.23)
前職の従業者規模 5～9 人	.007	2.03	.738	-.02	.385	-.28
	(.036)	(1.87)	(112)	(-.10)	(1.02)	(-.33)
前職の従業者規模 10～29 人	-.00	36.0	-.18	-.11	-.25	-11
	(-.02)	(2.37)	(-.39)	(-.82)	(-.73)	(-1.6)
前職の従業者規模 100～499 人	-.35	25.5	-.24	.152	.523	-.27
	(-1.7)	(3.15)	(-.63)	(1.09)	(1.54)	(-.52)
前職の従業者規模 500～999 人	-.18	-8.2	-.65	-.20	.004	.551
	(-.47)	(-3.7)	(-11)	(-.75)	(.019)	(.565)
前職の従業者規模 1000 人以上	-.43	23.9	.056	.038	.397	-.06
	(-1.5)	(3.04)	(.123)	(.217)	(1.09)	(-.09)
前職の従業者規模官公庁	.451	.000	.898	-.08	.426	-.32
	(.686)	(.000)	(1.00)	(-.21)	(.844)	(-.51)
前職の従業者規模不詳	.048	-5.7	3.57	114	-5.2	.889
	(.052)	(-3.5)	(3.12)	(2.11)	(-1.8)	(.857)
前職の離職理由会社倒産・事業所閉鎖のため	-1.3	1.31	-1.8	-1.3	-.19	-3.2
	(-5.6)	(.962)	(-3.3)	(-8.0)	(-.48)	(-3.9)
前職の離職理由人員整理・勧奨退職のため	-1.4	-20	-1.8	-1.7	-11	-1.0
	(-6.5)	(-2.8)	(-4.0)	(-9.4)	(-2.7)	(-1.6)
前職の離職理由事業不振や先行き不安のため	-.59	33.4	-1.4	-.56	-.92	-2.9
	(-2.7)	(2.88)	(-3.0)	(-2.9)	(-1.7)	(-3.2)
前職の離職理由定年又は雇用契約の満了	-.81	-26	-.65	-1.6	-.24	-.80
	(-2.5)	(-2.4)	(-.94)	(-7.8)	(-.58)	(-1.3)
前職の離職理由結婚・出産・育児のため	.000	.000	.000	-2.2	-12	-1.5
	(.000)	(.000)	(.000)	(-2.5)	(-4.5)	(-1.5)
前職の離職理由介護・看護のため	-2.2	-42	-.69	-2.6	-2.9	-5.2
	(-2.9)	(-2.8)	(-.71)	(-.11)	(-6.2)	(-5.3)
前職の離職理由家事・通学・健康上の理由のため	-1.8	-27	-2.1	-2.5	-2.1	-4.1
	(-6.6)	(-3.2)	(-3.3)	(-.18)	(-6.1)	(-6.9)
前職の離職理由その他	-.76	4.48	-.99	-1.3	-.68	-3.5
	(-3.8)	(2.51)	(-2.2)	(-9.7)	(-2.2)	(-6.0)
前職の離職理由不詳	-.64	-7.1	.000	.900	-.58	.000
	(-.65)	(-2.9)	(.000)	(.904)	(-.59)	(.000)
3 歳以下子ども数×都道府県保育所児童待機率	44.8	.128	-.15	2.74	.000	-.44
	(1.29)	(.128)	(-.15)	(.948)	(.000)	(-.44)
4～6 歳子ども数×都道府県保育所児童待機率	-20	.136	-22	-7.9	-10	-.01
	(-2.0)	(.136)	(-.91)	(-1.6)	(-1.2)	(-.01)
3 歳以下子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-74	.128	-.15	2.74	.000	-.44
	(-1.7)	(.128)	(-.15)	(.948)	(.000)	(-.44)
4～6 歳子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-20	.136	-22	-4.8	-10	-.01
	(-2.0)	(.136)	(-.91)	(-1.7)	(-1.2)	(-.01)
都道府県求人倍率	-.09	-23	.398	-.49	-.07	-1.3
	(-.21)	(-3.4)	(.420)	(-1.2)	(-.18)	(-1.0)
2003 年	.298	-6.1	-.49	.416	-.39	-.41
	(110)	(-1.7)	(-.98)	(1.97)	(-1.4)	(-.72)
2004 年	.424	28.1	-.38	.605	-.48	-.53
	(1.39)	(3.39)	(-.71)	(2.48)	(-1.6)	(-.82)
2005 年	.314	46.1	-.74	.760	-.42	-.32

	(. 950)	(2. 74)	(-1. 2)	(2. 86)	(-1. 2)	(-. 49)
2006 年	. 301	63. 7	-. 06	. 870	-. 03	1. 06
	(. 852)	(2. 92)	(-. 09)	(2. 93)	(-. 11)	(1. 48)
2007 年	. 632	44. 7	-. 04	. 758	. 072	113
	(1. 76)	(2. 86)	(-. 07)	(2. 51)	(. 240)	(1. 45)
2008 年	. 712	24. 5	-. 41	. 766	. 424	. 653
	(1. 88)	(2. 69)	(-. 62)	(2. 58)	(1. 20)	(. 737)
7 大都市の人口集中地域	. 011	-73	. 099	. 003	. 147	-. 53
	(. 041)	(-3. 1)	(. 232)	(. 020)	(. 463)	(-. 88)
7 大都市の人口集中地域以外	-. 73	. 000	-4. 9	. 011	-6. 8	. 000
	(-. 76)	(. 000)	(-4. 3)	(. 013)	(-1. 9)	(. 000)
7 大都市以外の市の人口集中地域以外	. 044	29. 4	. 020	. 110	. 042	-. 14
	(. 266)	(2. 56)	(. 050)	(. 883)	(. 188)	(-. 20)
郡部の人口集中地域	. 107	-41	. 817	-. 34	-. 72	. 039
	(. 347)	(-2. 7)	(1. 25)	(-1. 5)	(-. 93)	(. 073)
郡部の人口集中地域以外	. 177	10. 5	-. 35	. 061	-. 33	-. 35
	(112)	(2. 06)	(-. 69)	(. 498)	(-1. 0)	(-. 60)
北海道	-. 21	-3. 2	-. 59	-. 96	-. 31	1. 29
	(-. 59)	(-. 48)	(-. 62)	(-3. 5)	(-. 62)	(. 809)
青森県	-1. 7	-54	1. 86	-1. 9	-1. 3	. 000
	(-2. 7)	(-3. 0)	(1. 36)	(-3. 6)	(-1. 3)	(. 000)
岩手県	. 400	29. 4	-. 99	-1. 2	-. 65	4. 03
	(. 890)	(3. 79)	(-. 75)	(-2. 9)	(-. 66)	(2. 83)
宮城県	. 268	29. 9	. 722	-. 42	-1. 3	112
	(. 649)	(2. 30)	(. 637)	(-1. 4)	(-1. 3)	(. 839)
秋田県	-. 54	24. 2	-. 30	-. 50	-. 92	-6. 8
	(-. 91)	(2. 90)	(-. 21)	(-1. 3)	(-. 96)	(-3. 9)
山形県	. 066	-20	-. 23	-. 74	. 267	-1. 8
	(. 107)	(-3. 3)	(-. 21)	(-1. 8)	(. 304)	(-1. 5)
福島県	-. 12	5. 91	-. 02	-. 87	-2. 3	115
	(-. 28)	(2. 06)	(-. 02)	(-2. 2)	(-2. 3)	(114)
茨城県	. 189	11. 1	-. 90	-. 65	-. 54	1. 30
	(. 453)	(4. 26)	(-. 78)	(-1. 8)	(-. 85)	(1. 08)
栃木県	. 698	-32	1. 54	-. 53	115	1. 34
	(1. 37)	(-2. 8)	(1. 67)	(-1. 5)	(1. 94)	(110)
群馬県	-. 99	-18	-. 54	-. 13	-. 22	. 309
	(-1. 6)	(-3. 5)	(-. 54)	(-. 31)	(-. 30)	(. 284)
埼玉県	. 340	-25	-. 74	-. 40	-. 11	. 853
	(. 846)	(-3. 6)	(-. 95)	(-1. 5)	(-. 20)	(. 753)
千葉県	. 539	-24	. 206	-. 31	. 216	-. 23
	(1. 29)	(-2. 7)	(. 224)	(-11)	(. 447)	(-. 19)
神奈川県	. 263	15. 7	. 937	-. 41	. 259	2. 53
	(. 726)	(3. 19)	(1. 37)	(-1. 4)	(. 544)	(2. 66)
新潟県	. 097	24. 6	-. 25	-. 21	. 648	3. 53
	(. 253)	(3. 32)	(-. 24)	(-. 76)	(. 874)	(2. 63)
富山県	-. 33	. 000	1. 93	-. 28	-. 14	2. 48
	(-. 54)	(. 000)	(1. 93)	(-. 77)	(-. 15)	(2. 17)
石川県	-1. 5	. 000	1. 60	. 014	-. 70	. 466
	(-1. 5)	(. 000)	(1. 50)	(. 036)	(-. 75)	(. 424)
福井県	. 199	1. 42	3. 00	-. 82	-1. 0	6. 36
	(. 357)	(1. 04)	(2. 83)	(-1. 4)	(-1. 0)	(5. 12)
山梨県	. 817	6. 32	1. 74	-1. 2	. 181	-1. 9
	(. 832)	(2. 13)	(1. 60)	(-1. 6)	(. 186)	(-1. 2)
長野県	-. 17	-2. 5	. 866	-. 12	. 578	2. 29
	(-. 40)	(-1. 6)	(. 752)	(-. 31)	(. 761)	(1. 93)
岐阜県	-. 82	-15	2. 09	. 091	. 897	. 086

	(-1. 6)	(-2. 6)	(1. 96)	(. 258)	(. 917)	(. 041)
静岡県	. 708	8. 19	1. 54	- . 20	- . 74	2. 72
	(1. 70)	(2. 40)	(1. 58)	(- . 73)	(- . 96)	(2. 39)
愛知県	. 781	16. 1	. 707	- . 49	. 730	2. 51
	(1. 81)	(3. 48)	(. 897)	(-1. 4)	(1. 53)	(2. 62)
三重県	. 154	34. 3	-30	- . 50	-2. 0	. 000
	(. 296)	(2. 49)	(-11)	(-11)	(-2. 0)	(. 000)
滋賀県	. 214	-26	-26	. 097	- . 44	4. 73
	(. 255)	(-2. 3)	(- . 98)	(. 195)	(- . 45)	(3. 77)
京都府	. 369	1. 47	- . 38	-1. 4	- . 19	- . 07
	(. 688)	(1. 45)	(- . 34)	(-2. 3)	(- . 26)	(- . 05)
大阪府	- . 20	9. 45	- . 06	- . 71	- . 39	1. 05
	(- . 51)	(2. 01)	(- . 09)	(-2. 7)	(- . 82)	(1. 36)
兵庫県	. 336	-1. 3	- . 24	- . 25	- . 13	3. 44
	(. 855)	(- . 49)	(- . 30)	(- . 85)	(- . 28)	(2. 89)
奈良県	- . 56	. 000	- . 64	- . 89	-1. 3	-7. 3
	(- . 56)	(. 000)	(- . 57)	(-1. 5)	(-1. 4)	(-2. 6)
和歌山県	- . 10	-11	-30	-1. 6	-1. 6	-3. 2
	(- . 09)	(-2. 3)	(-1. 0)	(-1. 6)	(-1. 6)	(-2. 6)
鳥取県	- . 31	12. 7	2. 28	- . 25	1. 48	-3. 2
	(- . 39)	(2. 91)	(1. 82)	(- . 46)	(1. 52)	(-1. 4)
島根県	- . 46	. 000	4. 73	- . 35	. 198	-2. 6
	(- . 72)	(. 000)	(3. 44)	(- . 76)	(. 201)	(- . 99)
岡山県	- . 38	8. 94	1. 74	- . 60	-1. 3	117
	(- . 71)	(2. 59)	(1. 69)	(-1. 4)	(-1. 4)	(110)
広島県	. 289	39. 1	- . 07	- . 57	- . 80	-9. 8
	(. 431)	(2. 97)	(- . 08)	(-1. 5)	(-1. 2)	(-4. 5)
山口県	- . 21	-63	- . 77	- . 02	- . 37	-1. 8
	(- . 35)	(-3. 1)	(- . 69)	(- . 08)	(- . 39)	(- . 79)
徳島県	-1. 3	18. 0	-9. 8	- . 61	2. 71	-2. 8
	(-1. 7)	(4. 01)	(- . 94)	(- . 95)	(2. 90)	(-1. 2)
香川県	- . 78	. 000	-1. 0	- . 84	-11	- . 04
	(-11)	(. 000)	(- . 96)	(-2. 0)	(-11)	(- . 04)
愛媛県	- . 24	62. 5	- . 70	- . 73	. 210	5. 05
	(- . 46)	(3. 02)	(- . 60)	(-2. 0)	(. 306)	(3. 81)
高知県	- . 22	-1. 4	-24	- . 99	- . 97	2. 45
	(- . 37)	(-1. 3)	(-1. 5)	(-2. 0)	(-1. 0)	(1. 36)
福岡県	. 170	35. 7	- . 85	- . 72	- . 02	- . 22
	(. 456)	(2. 96)	(- . 78)	(-2. 6)	(- . 04)	(- . 17)
佐賀県	- . 17	-14	- . 80	- . 85	. 480	-5. 6
	(- . 26)	(-2. 5)	(- . 62)	(-1. 8)	(. 519)	(-1. 9)
長崎県	. 038	. 000	. 650	-1. 4	- . 04	-3. 9
	(. 060)	(. 000)	(. 503)	(-2. 9)	(- . 06)	(-1. 4)
熊本県	- . 21	-19	. 763	- . 44	- . 19	3. 56
	(- . 50)	(-3. 0)	(. 651)	(-1. 3)	(- . 21)	(2. 48)
大分県	. 233	53. 3	2. 72	- . 59	2. 44	- . 86
	(. 374)	(2. 91)	(2. 41)	(-1. 4)	(2. 41)	(- . 85)
宮崎県	. 471	-25	2. 83	- . 58	-10	-2. 5
	(. 807)	(-3. 1)	(1. 97)	(-1. 2)	(-2. 6)	(-1. 7)
鹿児島県	- . 86	. 000	-1. 6	-1. 2	- . 14	. 000
	(-1. 6)	(. 000)	(-1. 3)	(-2. 1)	(- . 18)	(. 000)
沖縄県	- . 27	20. 9	-2. 9	- . 96	. 364	-2. 7
	(- . 75)	(2. 28)	(-2. 2)	(-3. 0)	(. 712)	(-1. 8)
α_0	-31	1. 38	6. 50	-10	-29	- . 75
	(-2. 8)	(116)	(. 542)	(-1. 5)	(-1. 6)	(- . 26)
α_1	8. 78	-23	8. 21	9. 92	5. 38	11. 2

	(7.77)	(-6.3)	(4.95)	(11.5)	(6.35)	(4.22)
α_2	-2.0	25.3	-1.7	-2.4	-.76	-2.4
	(-4.7)	(4.36)	(-2.8)	(-7.9)	(-2.8)	(-2.8)
α_3	.194	-5.9	.158	.265	-.00	.233
	(2.64)	(-4.2)	(1.55)	(5.21)	(-.10)	(1.73)
α_4	-.01	.559	-.01	-.01	.007	-.01
	(-1.2)	(4.14)	(-.76)	(-3.2)	(2.15)	(-.94)
α_5	.000	-.02	.000	.000	-.00	.000
	(.139)	(-4.0)	(.281)	(1.68)	(-3.3)	(.360)

() 内の数値は t 値。

表 11N: N スペルフローサンプリング・サンプルハザードモデル 2 推定値(3)
1960 年代コーホート

	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
年齢	-.25 (-.97)	-.44 (-.37)	-.46 (-.77)	.905 (5.06)	.659 (1.83)	-.41 (-.82)
年齢 ²	.002 (.744)	.005 (.332)	.006 (.806)	-.01 (-5.0)	-.01 (-1.9)	.006 (.929)
結婚	.892 (4.72)	.804 (1.24)	2.21 (4.69)	.284 (1.71)	.409 (1.53)	-1.4 (-1.8)
離婚	.369 (1.40)	-.11 (-.11)	-.08 (-.08)	.590 (3.52)	.347 (1.12)	1.57 (2.19)
婚姻状態不詳	2.14 (2.15)	.000 (.000)	4.89 (4.61)	-.27 (-.28)	-.05 (-.05)	.000 (.000)
配偶者年齢	-.03 (-.11)	-.23 (-2.8)	-.02 (-.30)	-.00 (-.11)	-.03 (-1.4)	.084 (1.76)
配偶者年齢 ²	.001 (1.27)	.006 (3.10)	.000 (.322)	-.00 (-.48)	.001 (1.50)	-.00 (-1.6)
配偶者年齢不詳	.321 (.637)	6.85 (3.62)	-3.7 (-3.0)	-11 (-2.9)	.559 (1.02)	-3.1 (-2.0)
配偶者短大卒	.030 (.120)	.309 (.452)	-.24 (-.52)	-.57 (-2.5)	-.08 (-.29)	2.36 (2.55)
配偶者大卒	.553 (.970)	.482 (.476)	-.75 (-1.3)	-.28 (-1.9)	-.30 (-1.5)	-11 (-1.9)
配偶者学歴不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-14 (-12)	-.38 (-.38)	-.11 (-.10)
3 歳以下子ども数	.043 (.186)	1.24 (1.64)	-.07 (-.16)	-.15 (-.58)	-.33 (-1.1)	2.66 (2.68)
4～6 歳子ども数	.142 (.732)	.047 (.035)	.241 (.571)	.216 (1.51)	.100 (.493)	1.05 (1.55)
7～9 歳子ども数	.248 (1.60)	.129 (.232)	.301 (.777)	.271 (2.51)	.271 (1.80)	.441 (.930)
10～12 歳子ども数	-.06 (-.38)	1.84 (3.43)	-.08 (-.21)	.095 (1.00)	.019 (.126)	-.15 (-.39)
13～14 歳子ども数	-.09 (-.39)	-.58 (-.70)	.797 (1.50)	.341 (2.93)	.503 (2.65)	1.07 (2.16)
前職パート・アルバイト	-.02 (-.09)	-1.4 (-1.9)	-.01 (-.02)	.310 (2.64)	-.09 (-.45)	-.05 (-.11)
前職派遣社員	.156 (.306)	-.93 (-1.1)	1.94 (2.30)	.303 (.982)	.119 (.213)	1.44 (1.77)
前職その他	.273 (.879)	2.77 (2.85)	-2.1 (-2.2)	.495 (1.71)	-.07 (-.16)	2.03 (2.79)
前職会社などの役員	.717 (1.05)	3.57 (2.82)	-2.2 (-1.6)	-8.1 (-7.0)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職自営業主	-.29 (-.60)	1.86 (.705)	-3.4 (-3.8)	.531 (.916)	-.79 (-.98)	-5.0 (-3.7)
前職自家営業の手伝い	-.06 (-.08)	-6.7 (-2.4)	-10 (-7.8)	.839 (1.70)	-.64 (-.77)	-3.0 (-2.4)
前職内職	-6.6 (-.87)	.000 (.000)	.000 (.000)	-.60 (-.89)	.168 (.183)	.000 (.000)
前職勤めか自営かの別不詳	1.76 (1.93)	.000 (.000)	-2.4 (-2.4)	-.59 (-.63)	2.22 (2.36)	1.32 (1.18)
前職産業不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職農林業	-.79	5.14	-3.9	.747	1.66	.352

	(-.93)	(2.95)	(-3.5)	(111)	(1.91)	(.351)
前職漁業	-11	.000	.000	-2.6	4.42	.000
	(-2.3)	(.000)	(.000)	(-1.7)	(4.15)	(.000)
前職鉱業	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)	(.000)
前職建設業	-.44	-2.2	-.02	.018	.423	-2.5
	(-1.5)	(-2.8)	(-.04)	(.059)	(.868)	(-2.4)
前職電気・ガス・熱供給・水道業	-.02	.000	.000	-8.4	.529	.000
	(-.02)	(.000)	(.000)	(-7.6)	(.532)	(.000)
前職情報通信業	-.46	1.30	-.90	-11	-.35	3.61
	(-.63)	(1.49)	(-1.5)	(-1.7)	(-.50)	(3.78)
前職運輸業	.089	.828	.914	.243	.693	-.58
	(.282)	(.892)	(.998)	(.779)	(.959)	(-.60)
前職卸売・小売業	.143	-1.2	-.01	-.16	.402	.533
	(.521)	(-1.5)	(-.02)	(-.83)	(1.43)	(.844)
前職金融・保険業	-.17	-7.8	-.53	-.24	.184	-.29
	(-.23)	(-1.4)	(-.76)	(-.81)	(.465)	(-.34)
前職不動産業	.890	.000	-2.4	.382	.671	-.06
	(2.01)	(.000)	(-2.4)	(.751)	(.880)	(-.05)
前職学術研究、専門・技術サービス業	.576	.324	.578	-.51	.067	-.94
	(1.21)	(.359)	(.908)	(-1.2)	(.110)	(-.97)
前職飲食店・宿泊業	.969	2.48	1.48	-.20	.889	.358
	(2.12)	(2.01)	(1.75)	(-.73)	(2.06)	(.401)
前職生活サービス業	.598	.173	-.80	-.22	-.08	.295
	(118)	(.131)	(-.83)	(-.80)	(-.16)	(.302)
前職教育・学習支援業	.871	.960	-.82	-.51	.857	.887
	(.949)	(.944)	(-.71)	(-1.0)	(1.79)	(117)
前職医療・福祉	.705	1.06	2.58	.153	.745	2.02
	(1.21)	(110)	(3.60)	(.578)	(2.27)	(2.73)
前職複合サービス事業	-.64	-10	.000	-.52	.903	-1.8
	(-.75)	(-3.7)	(.000)	(-.92)	(1.23)	(-1.7)
前職サービス業その他	-.50	.314	-.03	.187	.535	.644
	(-1.3)	(.399)	(-.04)	(.694)	(1.07)	(.880)
前職公務	-.42	-1.6	3.67	.127	.973	1.47
	(-.43)	(-.89)	(1.40)	(.234)	(1.64)	(1.59)
前職分類不能の産業	-1.9	.000	-7.1	-.41	3.22	1.51
	(-2.2)	(.000)	(-6.3)	(-.52)	(3.72)	(1.65)
前職職業不詳	-.58	.960	-1.3	-.34	-.17	-.09
	(-.58)	(.944)	(-.78)	(-.35)	(-.22)	(-.11)
前職専門的技術職的職業従事者	.051	-.12	3.90	.410	.853	.873
	(.069)	(-.16)	(1.82)	(.584)	(115)	(.817)
前職管理職的職業従事者	-1.2	-.12	-4.2	-.30	-1.0	-1.7
	(-1.7)	(-.16)	(-2.0)	(-.42)	(-1.4)	(-1.5)
前職事務従事者	-.53	-.18	-1.0	-.11	.142	.445
	(-1.7)	(-.22)	(-2.1)	(-.66)	(.466)	(.842)
前職販売職従事者	-.09	-.41	-1.4	-.06	.069	2.11
	(-.34)	(-.55)	(-2.8)	(-.29)	(.180)	(3.08)
前職サービス業従事者	-.79	.869	-1.7	.168	-.03	-.16
	(-1.9)	(.813)	(-2.1)	(.709)	(-.07)	(-.20)
前職保安職業従事者	1.04	-1.9	-8.6	.000	2.39	.732
	(1.37)	(-1.4)	(-6.4)	(.000)	(2.34)	(.729)
前職農林漁業従事者	.695	-7.2	-3.9	-2.7	-1.4	.793
	(1.01)	(-2.4)	(-3.5)	(-3.0)	(-1.5)	(.746)
前職運輸通信業従事者	.022	.468	-2.1	-.49	-9.0	.000
	(.065)	(.406)	(-2.1)	(-.52)	(-3.7)	(.000)
前職建設・採掘作業者	.104	1.63	.719	-9.0	-.30	-.31

前職運搬・清掃・包装等従事者	(.334)	(1.90)	(.921)	(-8.3)	(-.30)	(-.30)
	-.14	-.37	.401	-.57	.225	.533
	(-.50)	(-.43)	(.540)	(-2.7)	(.539)	(.557)
前職分類不能の職業	.597	.000	-7.1	.293	-2.8	1.51
	(.704)	(.000)	(-6.3)	(.379)	(-3.1)	(1.65)
前職の従業者規模1人	-11	-1.8	-1.4	-.18	-.24	.350
	(-1.2)	(-.71)	(-1.4)	(-.28)	(-.31)	(.223)
前職の従業者規模2～4人	.462	3.83	.577	-.66	.130	2.13
	(1.87)	(4.12)	(.904)	(-3.3)	(.328)	(2.79)
前職の従業者規模5～9人	-.01	3.83	.862	-.01	.565	1.32
	(-.05)	(5.63)	(1.57)	(-.06)	(1.83)	(2.08)
前職の従業者規模10～29人	.123	1.99	-.10	-.04	.361	-.42
	(.668)	(3.04)	(-.24)	(-.29)	(1.37)	(-.70)
前職の従業者規模100～499人	-.15	1.42	-.36	-.09	.680	-.29
	(-.70)	(2.23)	(-.84)	(-.65)	(2.59)	(-.48)
前職の従業者規模500～999人	-.02	3.24	.432	-.26	.438	2.17
	(-.06)	(4.01)	(.840)	(-1.0)	(1.20)	(3.40)
前職の従業者規模1000人以上	.026	1.81	.610	-.14	.820	116
	(.080)	(2.23)	(1.25)	(-.84)	(2.75)	(2.12)
前職の従業者規模官公庁	-.72	-4.6	-1.7	-.09	-.06	2.06
	(-.88)	(-2.6)	(-11)	(-.20)	(-.12)	(2.90)
前職の従業者規模不詳	1.47	.000	-1.5	-1.3	.074	-2.7
	(1.61)	(.000)	(-1.5)	(-1.5)	(.085)	(-2.6)
前職の離職理由会社倒産・事業所閉鎖のため	-.45	.148	-1.2	-.95	-.09	-3.1
	(-2.1)	(.193)	(-2.2)	(-6.0)	(-.27)	(-3.3)
前職の離職理由人員整理・勧奨退職のため	-.85	.558	-11	-.91	-.67	-3.6
	(-3.8)	(.875)	(-2.2)	(-5.1)	(-2.1)	(-4.3)
前職の離職理由事業不振や先行き不安のため	-.27	-.47	1.04	-.46	.312	-.38
	(-1.3)	(-.68)	(2.10)	(-2.4)	(.792)	(-.45)
前職の離職理由定年又は雇用契約の満了	-.18	-.82	.022	-1.0	-1.0	-1.9
	(-.57)	(-.70)	(.026)	(-5.0)	(-3.7)	(-3.5)
前職の離職理由結婚・出産・育児のため	-11	.000	.000	-3.1	-2.7	-7.3
	(-3.5)	(.000)	(.000)	(-9.7)	(-7.5)	(-7.2)
前職の離職理由介護・看護のため	-11	5.98	-5.8	-2.5	-1.7	-3.7
	(-1.8)	(4.25)	(-3.2)	(-8.0)	(-3.7)	(-4.0)
前職の離職理由家事・通学・健康上の理由のため	-1.3	-2.0	-1.6	-1.9	-1.8	-2.9
	(-4.8)	(-2.1)	(-2.4)	(-14)	(-8.3)	(-4.8)
前職の離職理由その他	-.35	-1.6	-.28	-.95	-.82	-1.5
	(-1.9)	(-2.6)	(-.67)	(-8.0)	(-4.1)	(-3.3)
前職の離職理由不詳	-2.8	.000	.000	-7.2	-.61	2.42
	(-2.7)	(.000)	(.000)	(-5.8)	(-.61)	(2.16)
3歳以下子ども数×都道府県保育所児童待機率	-3.5	-21	8.70	3.35	42.2	-54
	(-.45)	(-11)	(1.62)	(1.59)	(2.13)	(-1.9)
4～6歳子ども数×都道府県保育所児童待機率	12.4	13.7	13.1	-6.9	22.1	19.5
	(.499)	(.591)	(1.62)	(-.60)	(1.26)	(1.96)
3歳以下子どもあり×都道府県保育所児童待機率	4.11	-11	8.89	8.31	-16	-60
	(.666)	(-11)	(1.61)	(1.35)	(-.64)	(-1.9)
4～6歳子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-33	13.7	9.06	10.3	-27	-32
	(-11)	(.591)	(116)	(.828)	(-1.4)	(-1.9)
都道府県求人倍率	.395	8.09	-.62	.914	.236	-3.2
	(.826)	(6.62)	(-.70)	(2.33)	(.535)	(-2.3)
2003年	.527	-.40	.594	.020	.456	2.20
	(2.11)	(-.58)	(119)	(.097)	(1.20)	(3.40)
2004年	.514	-2.3	-.30	-.12	.559	3.16
	(1.79)	(-2.8)	(-.56)	(-.47)	(1.43)	(4.04)
2005年	.567	-1.7	-.31	-.26	.874	3.21

	(1.75)	(-2.1)	(-.57)	(-.95)	(2.20)	(3.67)
2006 年	.836	-3.1	-.82	-.46	.340	3.53
	(2.37)	(-3.8)	(-1.3)	(-1.5)	(.800)	(3.66)
2007 年	.741	-2.9	-.14	-.15	.744	3.31
	(2.04)	(-3.6)	(-.23)	(-.50)	(1.70)	(3.52)
2008 年	.729	-2.2	1.36	-.13	.804	3.36
	(2.00)	(-2.6)	(2.03)	(-.44)	(1.77)	(3.84)
7 大都市の人口集中地域	.102	.799	.379	.058	-.40	-.09
	(.411)	(.995)	(.911)	(.320)	(-1.6)	(-.19)
7 大都市の人口集中地域以外	.080	.772	.000	.193	-.80	.429
	(.080)	(.683)	(.000)	(.198)	(-.80)	(.422)
7 大都市以外の市の人口集中地域以外	.359	.063	-1.0	-.01	.178	.914
	(2.02)	(.099)	(-2.1)	(-.04)	(.849)	(1.30)
郡部の人口集中地域	.348	2.66	-.15	-.03	-.10	2.34
	(1.09)	(2.80)	(-.16)	(-.12)	(-.30)	(2.72)
郡部の人口集中地域以外	.207	.136	-2.6	.116	-.21	-.19
	(118)	(.206)	(-4.4)	(.969)	(-.92)	(-.32)
北海道	.321	4.15	-1.5	.650	-.97	-4.2
	(.774)	(3.50)	(-1.3)	(2.32)	(-2.6)	(-2.6)
青森県	.581	4.91	-2.4	.591	.289	-2.3
	(1.03)	(3.68)	(-1.9)	(1.35)	(.388)	(-1.4)
岩手県	.541	6.98	-1.9	1.54	-11	-3.2
	(.905)	(5.53)	(-1.6)	(4.67)	(-1.4)	(-2.0)
宮城県	.455	3.54	2.25	.779	.088	-3.8
	(.892)	(3.12)	(1.71)	(2.39)	(.092)	(-2.8)
秋田県	.380	7.98	.000	.313	-.85	-1.6
	(.594)	(6.33)	(.000)	(.717)	(-.87)	(-1.3)
山形県	.870	-.62	-.87	.755	-1.0	.000
	(1.64)	(-.36)	(-.80)	(1.81)	(-1.0)	(.000)
福島県	1.51	2.33	-2.5	.864	-2.1	6.80
	(3.28)	(1.77)	(-2.0)	(2.63)	(-2.5)	(3.36)
茨城県	.645	4.00	1.82	.692	-1.5	.032
	(1.38)	(3.36)	(1.83)	(2.26)	(-1.9)	(.028)
栃木県	.911	4.52	.822	.251	-.98	-3.2
	(1.98)	(4.16)	(.760)	(.630)	(-1.6)	(-3.0)
群馬県	.666	2.06	2.39	-.02	-.58	.520
	(1.22)	(1.89)	(2.41)	(-.05)	(-.93)	(.496)
埼玉県	.642	2.52	-.06	.260	.050	-2.6
	(1.51)	(2.51)	(-.07)	(1.02)	(.142)	(-2.6)
千葉県	1.01	4.62	117	.250	-.25	-2.3
	(2.11)	(4.08)	(1.32)	(.743)	(-.59)	(-2.1)
神奈川県	.463	1.58	-.05	.817	-.89	-1.5
	(116)	(1.48)	(-.08)	(3.12)	(-2.1)	(-1.8)
新潟県	.784	5.17	.356	1.08	-.19	-20
	(1.75)	(4.83)	(.345)	(3.70)	(-.34)	(-3.7)
富山県	1.81	4.28	2.65	-.05	.555	-3.4
	(3.15)	(2.74)	(2.45)	(-.13)	(111)	(-2.4)
石川県	1.42	.140	1.41	.465	.482	3.41
	(1.81)	(.127)	(1.33)	(1.08)	(.776)	(2.95)
福井県	.952	.000	-.05	.860	-.81	-17
	(1.45)	(.000)	(-.04)	(1.71)	(-.82)	(-2.6)
山梨県	.286	115	.287	.590	-2.9	-26
	(.455)	(.828)	(.262)	(114)	(-2.8)	(-2.0)
長野県	.240	-.71	.942	.144	.289	-1.6
	(.454)	(-.56)	(.861)	(.413)	(.560)	(-1.3)
岐阜県	.861	4.06	-.54	.377	-.42	-22

	(1. 38)	(3. 46)	(-. 53)	(1. 01)	(-. 77)	(-5. 4)
静岡県	1. 05	-19	-1. 4	. 310	-. 25	-11
	(2. 38)	(-7. 6)	(-1. 5)	(1. 09)	(-. 51)	(-11)
愛知県	. 326	-5. 8	. 466	. 038	-. 13	-. 78
	(. 748)	(-5. 0)	(. 615)	(. 116)	(-. 31)	(-. 91)
三重県	1. 09	-4. 8	-9. 6	-. 04	. 176	-16
	(1. 70)	(-1. 4)	(-6. 9)	(-. 09)	(. 261)	(-3. 9)
滋賀県	-. 34	4. 68	1. 02	-. 05	. 024	-16
	(-. 35)	(3. 44)	(1. 01)	(-. 09)	(. 033)	(-3. 0)
京都府	. 965	3. 42	-1. 7	. 470	-. 97	-. 96
	(1. 71)	(2. 80)	(-1. 9)	(1. 20)	(-1. 5)	(-. 84)
大阪府	. 568	2. 10	. 011	. 182	-. 43	-4. 7
	(1. 62)	(1. 95)	(. 019)	(. 692)	(-1. 3)	(-4. 3)
兵庫県	. 368	2. 14	-. 53	. 471	-. 82	-1. 7
	(. 743)	(1. 91)	(-. 70)	(1. 67)	(-2. 0)	(-1. 7)
奈良県	-. 30	. 000	2. 73	111	-11	-4. 7
	(-. 29)	(. 000)	(2. 34)	(1. 61)	(-1. 4)	(-3. 6)
和歌山県	. 666	. 000	. 000	. 014	-. 87	-. 90
	(. 856)	(. 000)	(. 000)	(. 020)	(-. 87)	(-. 85)
鳥取県	-. 81	6. 61	. 419	. 382	-. 67	. 000
	(-. 81)	(4. 48)	(. 362)	(. 507)	(-. 67)	(. 000)
島根県	. 362	. 111	-9. 6	1. 48	1. 28	2. 44
	(. 362)	(. 109)	(-7. 1)	(3. 11)	(1. 34)	(1. 48)
岡山県	. 096	-9. 1	. 215	. 532	-. 63	-11
	(. 167)	(-4. 0)	(. 207)	(1. 44)	(-11)	(-11)
広島県	-. 25	-2. 8	-. 56	. 575	-11	-2. 4
	(-. 49)	(-1. 8)	(-. 55)	(1. 91)	(-2. 2)	(-2. 5)
山口県	. 584	6. 62	2. 35	. 396	-. 54	-19
	(. 966)	(4. 33)	(2. 23)	(. 782)	(-. 84)	(-3. 2)
徳島県	-. 07	. 000	-5. 1	-. 10	. 820	-. 76
	(-. 09)	(. 000)	(-1. 8)	(-. 20)	(. 827)	(-. 49)
香川県	-1. 5	-. 24	. 392	-. 85	. 212	. 333
	(-1. 8)	(-. 18)	(. 348)	(-1. 3)	(. 358)	(. 318)
愛媛県	-. 04	4. 25	1. 94	. 331	-. 20	-. 78
	(-. 07)	(3. 62)	(1. 82)	(. 969)	(-. 40)	(-. 60)
高知県	. 483	8. 84	. 000	113	-1. 6	-46
	(. 755)	(5. 95)	(. 000)	(2. 45)	(-1. 6)	(-2. 1)
福岡県	. 634	4. 01	-. 14	. 503	-. 51	-4. 2
	(1. 58)	(2. 79)	(-. 13)	(1. 65)	(-1. 4)	(-3. 3)
佐賀県	2. 16	. 000	-. 51	. 616	-1. 2	. 000
	(2. 91)	(. 000)	(-. 51)	(118)	(-1. 2)	(. 000)
長崎県	-. 34	-4. 7	-4. 6	. 774	-. 87	. 000
	(-. 49)	(-4. 0)	(-1. 9)	(1. 79)	(-. 92)	(. 000)
熊本県	-. 96	2. 82	. 683	. 964	-. 50	-35
	(-11)	(2. 09)	(. 567)	(2. 64)	(-. 84)	(-2. 2)
大分県	1. 79	. 000	1. 37	115	-. 87	-30
	(2. 84)	(. 000)	(1. 33)	(2. 37)	(-1. 3)	(-2. 1)
宮崎県	. 515	. 000	-6. 6	. 478	-. 17	. 000
	(. 643)	(. 000)	(-3. 2)	(. 983)	(-. 26)	(. 000)
鹿児島県	. 229	-3. 9	-. 93	-. 05	-1. 2	-5. 0
	(. 417)	(-3. 7)	(-. 71)	(-. 09)	(-1. 9)	(-3. 2)
沖縄県	. 082	7. 29	-. 47	. 585	-. 24	-3. 3
	(. 186)	(5. 85)	(-. 50)	(1. 87)	(-. 62)	(-2. 0)
α_0	-11	-26	-18	-38	-29	-17
	(-2. 2)	(-11)	(-1. 5)	(-11)	(-4. 0)	(-1. 7)
α_1	8. 31	14. 0	16. 9	11. 8	8. 44	16. 3

	(7.06)	(4.81)	(7.57)	(11.9)	(7.15)	(5.45)
α_2	-1.8	-3.0	-4.1	-3.0	-1.8	-4.3
	(-4.1)	(-3.1)	(-5.3)	(-8.1)	(-4.0)	(-4.3)
α_3	.167	.285	.450	.350	.150	.540
	(2.23)	(1.83)	(3.59)	(5.47)	(1.99)	(3.43)
α_4	-.01	-.01	-.02	-.02	-.00	-.03
	(-1.0)	(-.91)	(-2.2)	(-3.7)	(-.60)	(-2.8)
α_5	.000	.000	.000	.000	-.00	.001
	(.159)	(.250)	(1.23)	(2.35)	(-.39)	(2.23)

() 内の数値は t 値。

表 11: N スペルフローサンプリングモデル 2 推定値 (4)
1970 年代コーホート

	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
年齢	-.25 (-11)	.012 (.021)	-.11 (-.29)	.196 (1.23)	-.22 (-1.5)	-.08 (-.28)
年齢 ²	.004 (1.04)	-.00 (-.15)	.002 (.239)	-.00 (-1.6)	.003 (1.35)	.002 (.381)
結婚	.553 (3.04)	.648 (1.38)	.512 (1.00)	.210 (1.25)	.343 (1.31)	-.87 (-1.5)
離婚	1.07 (3.71)	-.91 (-1.2)	.249 (.250)	.762 (4.69)	.036 (.096)	.167 (.243)
婚姻状態不詳	-1.7 (-1.7)	.000 (.000)	.850 (.862)	1.58 (1.59)	.337 (.340)	-13 (-2.1)
配偶者年齢	.002 (.071)	.080 (.988)	-.05 (-.65)	-.03 (-1.4)	-.02 (-.78)	.038 (.754)
配偶者年齢 ²	.000 (.093)	-.00 (-.88)	.001 (.447)	.000 (.672)	.000 (.144)	-.00 (-.05)
配偶者年齢不詳	.106 (.232)	-1.6 (-1.5)	-.71 (-.78)	-.75 (-1.7)	-.56 (-11)	2.33 (2.49)
配偶者短大卒	.330 (1.35)	-11 (-1.7)	.878 (1.81)	-.59 (-1.9)	-.25 (-.90)	-.26 (-.32)
配偶者大卒	.307 (.656)	-.88 (-.95)	.044 (.084)	.108 (.484)	-.25 (-11)	-1.3 (-2.9)
配偶者学歴不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-1.3 (-1.3)	.013 (.013)	-.50 (-.47)
3 歳以下子ども数	.341 (2.11)	.519 (1.23)	111 (2.86)	.412 (2.83)	.049 (.254)	-.93 (-1.6)
4~6 歳子ども数	-.20 (-11)	1.65 (2.94)	-.90 (-1.5)	.482 (3.41)	.334 (1.62)	1.62 (3.15)
7~9 歳子ども数	.277 (1.31)	-.52 (-.93)	.345 (.511)	.289 (2.10)	.127 (.576)	-.63 (-.77)
10~12 歳子ども数	.082 (.210)	2.88 (1.89)	.563 (.609)	.262 (1.44)	.253 (.767)	.123 (.138)
13~14 歳子ども数	.814 (1.20)	-1.7 (-.96)	.000 (.000)	.523 (1.64)	.475 (.490)	.000 (.000)
前職パート・アルバイト	-.32 (-2.5)	-.15 (-.43)	.006 (.025)	.233 (1.90)	-.01 (-.09)	.171 (.745)
前職派遣社員	.033 (.093)	.560 (.805)	-.32 (-.63)	.402 (1.29)	.618 (1.70)	.111 (.198)
前職その他	.466 (1.71)	.884 (114)	.017 (.042)	.405 (119)	.646 (2.17)	.962 (2.42)
前職会社などの役員	-.42 (-.44)	1.22 (.942)	-1.3 (-1.3)	-6.2 (-2.2)	-5.7 (-3.7)	-15 (-3.2)
前職自営業主	.016 (.027)	-.01 (-.01)	-1.7 (-1.6)	-.03 (-.05)	-1.9 (-2.2)	-11 (-1.9)
前職自家営業の手伝い	-.65 (-11)	-11 (-1.0)	-.13 (-.13)	.314 (.505)	.017 (.019)	-.08 (-.08)
前職内職	-8.2 (-1.5)	.000 (.000)	.000 (.000)	.287 (.412)	-.73 (-.77)	-2.5 (-1.8)
前職勤めか自営かの別不詳	-.63 (-.95)	-.93 (-.91)	.026 (.026)	.537 (.565)	-.64 (-.69)	-1.2 (-1.3)
前職産業不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職農林業	.768	-2.0	2.54	.422	-.56	.000

	(1. 02)	(-. 81)	(2. 04)	(. 541)	(-. 58)	(. 000)
前職漁業	-9. 9	. 000	-5. 9	. 674	. 000	-2. 2
	(-4. 6)	(. 000)	(-3. 3)	(. 675)	(. 000)	(-1. 6)
前職鉱業	2. 07	-11	. 000	-7. 5	. 000	. 000
	(2. 07)	(-2. 7)	(. 000)	(-1. 8)	(. 000)	(. 000)
前職建設業	-. 26	1. 39	. 081	. 068	. 071	. 438
	(-. 98)	(1. 90)	(. 154)	(. 194)	(. 172)	(. 724)
前職電気・ガス・熱供給・水道業	-. 08	. 000	. 000	-. 83	1. 84	. 760
	(-. 08)	(. 000)	(. 000)	(-. 84)	(1. 84)	(. 756)
前職情報通信業	. 191	-. 94	. 027	. 145	. 330	-. 06
	(. 447)	(-1. 3)	(. 064)	(. 353)	(. 859)	(-. 14)
前職運輸業	. 102	115	-. 22	. 144	. 028	-11
	(. 335)	(1. 63)	(-. 39)	(. 379)	(. 073)	(-11)
前職卸売・小売業	. 208	-. 12	-. 22	. 315	-. 01	. 065
	(. 864)	(-. 25)	(-. 73)	(1. 53)	(-. 08)	(. 172)
前職金融・保険業	. 933	-14	-. 94	. 222	. 401	. 210
	(1. 35)	(-3. 3)	(-1. 3)	(. 696)	(116)	(. 416)
前職不動産業	. 747	1. 34	. 020	. 042	. 548	. 735
	(1. 40)	(1. 55)	(. 032)	(. 091)	(118)	(. 976)
前職学術研究、専門・技術サービス業	. 263	. 080	. 114	. 207	. 066	. 018
	(. 536)	(. 118)	(. 278)	(. 490)	(. 167)	(. 041)
前職飲食店・宿泊業	. 201	. 126	. 393	. 168	112	. 567
	(. 444)	(. 203)	(. 719)	(. 785)	(3. 58)	(. 912)
前職生活サービス業	. 661	. 379	. 288	. 063	. 705	. 768
	(1. 46)	(. 626)	(. 499)	(. 247)	(2. 24)	(1. 03)
前職教育・学習支援業	-. 57	-2. 5	-. 36	-. 41	. 355	-. 26
	(-. 61)	(-2. 0)	(-. 65)	(-. 72)	(1. 01)	(-. 58)
前職医療・福祉	. 017	1. 36	. 370	. 130	. 394	. 474
	(. 030)	(2. 32)	(. 736)	(. 537)	(1. 61)	(116)
前職複合サービス事業	-. 44	-. 95	-2. 1	-. 21	-. 05	1. 50
	(-. 65)	(-. 65)	(-2. 1)	(-. 29)	(-. 05)	(1. 91)
前職サービス業その他	. 062	. 218	-. 02	. 211	. 078	. 186
	(. 219)	(. 374)	(-. 07)	(. 722)	(. 223)	(. 362)
前職公務	. 018	-. 09	. 420	-. 04	1. 21	. 440
	(. 020)	(-. 07)	(. 502)	(-. 06)	(2. 15)	(. 579)
前職分類不能の産業	-8. 2	-. 28	-3. 9	-. 05	1. 92	. 701
	(-. 91)	(-. 28)	(-3. 1)	(-. 07)	(2. 51)	(. 843)
前職職業不詳	. 846	. 990	. 057	1. 44	-2. 1	. 279
	(. 854)	(. 766)	(. 077)	(1. 50)	(-2. 3)	(. 431)
前職専門的技術職的職業従事者	. 627	. 804	. 613	. 862	. 780	-14
	(. 892)	(. 594)	(. 814)	(1. 22)	(1. 08)	(-2. 3)
前職管理職的職業従事者	-. 20	-. 42	-. 60	-. 87	-1. 2	14. 8
	(-. 27)	(-. 32)	(-. 79)	(-1. 2)	(-1. 7)	(2. 38)
前職事務従事者	. 110	. 062	-. 23	-. 05	-. 62	. 369
	(. 410)	(. 112)	(-. 70)	(-. 32)	(-2. 4)	(. 829)
前職販売職従事者	. 227	. 264	-. 12	. 022	-. 69	. 351
	(. 978)	(. 579)	(-. 38)	(. 102)	(-2. 4)	(. 694)
前職サービス業従事者	. 122	. 798	-. 38	-. 00	-. 77	-. 73
	(. 291)	(1. 43)	(-. 73)	(-. 01)	(-2. 3)	(-11)
前職保安職業従事者	. 184	-1. 7	-. 65	. 661	-. 55	. 000
	(. 375)	(-1. 7)	(-. 85)	(. 671)	(-. 55)	(. 000)
前職農林漁業従事者	-. 07	6. 00	-3. 4	. 186	-. 56	-11
	(-. 09)	(2. 65)	(-2. 7)	(. 233)	(-. 58)	(-1. 8)
前職運輸通信業従事者	. 134	. 307	-. 49	. 909	-7. 6	. 000
	(. 394)	(. 354)	(-. 50)	(. 978)	(-5. 5)	(. 000)
前職建設・採掘作業者	. 509	-. 96	-. 69	1. 42	2. 45	. 000

前職運搬・清掃・包装等従事者	(1.85)	(-1.2)	(-.86)	(1.43)	(2.43)	(.000)
	.125	-.89	-.19	.035	-.37	-.12
	(.520)	(-1.5)	(-.40)	(.141)	(-.72)	(-2.1)
前職分類不能の職業	8.87	-.28	2.14	-1.3	-1.5	1.57
	(.985)	(-.28)	(1.71)	(-1.5)	(-1.8)	(1.70)
前職の従業者規模 1 人	-.45	.881	3.44	-.12	.731	-.13
	(-.58)	(.922)	(2.70)	(-.18)	(1.03)	(-2.5)
前職の従業者規模 2～4 人	.169	-1.2	.753	.042	-.18	.680
	(.777)	(-2.5)	(1.55)	(.212)	(-.55)	(1.30)
前職の従業者規模 5～9 人	.041	-.58	-.23	-.08	.111	-.30
	(.227)	(-1.3)	(-.64)	(-.46)	(.506)	(-.73)
前職の従業者規模 10～29 人	.239	-.52	.221	.016	.092	.038
	(1.51)	(-1.5)	(.774)	(.107)	(.466)	(.108)
前職の従業者規模 100～499 人	.274	-.36	-.15	.193	-.15	-.20
	(1.53)	(-1.0)	(-.58)	(1.30)	(-.80)	(-.60)
前職の従業者規模 500～999 人	.033	-.72	.270	.405	-.30	-.31
	(.122)	(-11)	(.670)	(1.79)	(-11)	(-.69)
前職の従業者規模 1000 人以上	-.25	-.55	-.09	-.11	-.05	.327
	(-11)	(-1.2)	(-.29)	(-.58)	(-.23)	(.978)
前職の従業者規模官公庁	.192	-.77	-.11	.245	-.82	-.73
	(.282)	(-.84)	(-.18)	(.409)	(-1.8)	(-1.3)
前職の従業者規模不詳	.044	-3.6	1.54	.450	.654	-1.7
	(.052)	(-3.5)	(1.63)	(.727)	(.920)	(-1.7)
前職の離職理由会社倒産・事業所閉鎖のため	-.25	-.18	.295	-.54	-.09	-.52
	(-1.3)	(-.28)	(.765)	(-2.7)	(-.37)	(-.84)
前職の離職理由人員整理・勧奨退職のため	-.89	-.27	-.54	-.85	-.71	-11
	(-4.4)	(-.56)	(-1.5)	(-3.8)	(-2.5)	(-2.2)
前職の離職理由事業不振や先行き不安のため	-.08	1.37	-.20	-.30	-.28	.698
	(-.47)	(3.44)	(-.64)	(-1.3)	(-.92)	(1.39)
前職の離職理由定年又は雇用契約の満了	-.46	-.22	-.48	-.73	-.33	-.27
	(-1.5)	(-.31)	(-1.2)	(-3.2)	(-1.5)	(-.83)
前職の離職理由結婚・出産・育児のため	-9.2	.000	-.01	-3.4	-3.3	-2.8
	(-3.1)	(.000)	(-.01)	(-18)	(-15)	(-6.9)
前職の離職理由介護・看護のため	-9.0	.000	-6.0	-1.4	-2.1	-.73
	(-4.1)	(.000)	(-3.1)	(-3.3)	(-2.8)	(-.70)
前職の離職理由家事・通学・健康上の理由のため	-1.3	-.72	-.98	-1.7	-1.3	-1.4
	(-5.9)	(-1.4)	(-2.6)	(-10)	(-7.2)	(-4.2)
前職の離職理由その他	-.37	.998	-.13	-.45	-.53	-.62
	(-2.8)	(3.53)	(-.57)	(-3.7)	(-3.4)	(-2.5)
前職の離職理由不詳	-1.6	.000	-11	-8.1	-.73	.000
	(-1.6)	(.000)	(-3.8)	(-2.9)	(-.73)	(.000)
3 歳以下子ども数×都道府県保育所児童待機率	4.58	75.8	-34	13.0	4.20	48.8
	(.833)	(2.59)	(-2.4)	(2.43)	(2.88)	(1.32)
4～6 歳子ども数×都道府県保育所児童待機率	18.2	-46	32.7	10.9	-10	-37
	(.917)	(-2.8)	(2.11)	(.906)	(-1.0)	(-1.7)
3 歳以下子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-5.0	-105	-20	-5.4	5.29	-49
	(-.71)	(-2.7)	(-2.2)	(-.96)	(1.59)	(-11)
4～6 歳子どもあり×都道府県保育所児童待機率	-10	29.9	32.7	-38	-.60	14.4
	(-.47)	(2.50)	(2.11)	(-2.2)	(-.06)	(.640)
都道府県求人倍率	.776	.677	-.65	-.23	-.84	1.44
	(2.04)	(.805)	(-1.2)	(-.56)	(-2.0)	(2.59)
2003 年	.225	.118	.357	.291	.488	.183
	(.966)	(.265)	(.970)	(1.31)	(1.68)	(.476)
2004 年	-.05	.511	.355	.430	.736	-.36
	(-.18)	(1.05)	(.869)	(1.66)	(2.24)	(-.87)
2005 年	-.02	.228	.259	.225	.623	-.54

	(-.09)	(.420)	(.574)	(.774)	(1.77)	(-1.2)
2006 年	.044	.921	.309	.528	.941	-.19
	(.145)	(1.56)	(.629)	(1.64)	(2.47)	(-.40)
2007 年	.114	.338	.783	.381	.689	-11
	(.359)	(.555)	(1.54)	(115)	(1.74)	(-2.1)
2008 年	.018	110	.384	.545	.860	-.73
	(.055)	(1.86)	(.735)	(1.68)	(2.17)	(-1.4)
7 大都市の人口集中地域	-.39	-.28	-.18	-.23	-.17	-.13
	(-1.9)	(-.58)	(-.62)	(-1.2)	(-.82)	(-.48)
7 大都市の人口集中地域以外	.764	1.45	1.52	.293	-8.5	-.13
	(.806)	(1.25)	(1.56)	(.296)	(-7.3)	(-.14)
7 大都市以外の市の人口集中地域以外	.103	.087	.112	.128	-.02	-.47
	(.707)	(.256)	(.423)	(.986)	(-.12)	(-1.4)
郡部の人口集中地域	.118	.700	.113	.148	.010	.299
	(.458)	(.897)	(.256)	(.627)	(.041)	(.608)
郡部の人口集中地域以外	.176	-.05	-.11	-.12	.012	1.05
	(1.26)	(-.13)	(-.36)	(-.89)	(.071)	(2.87)
北海道	-.19	-.77	-.55	-.42	-.98	.856
	(-.57)	(-.74)	(-1.0)	(-1.4)	(-2.8)	(1.29)
青森県	-.27	.344	-.33	-.50	.248	.842
	(-.54)	(.251)	(-.31)	(-1.2)	(.451)	(.839)
岩手県	.032	-13	.561	-.27	-.94	1.65
	(.073)	(-5.3)	(.554)	(-.66)	(-1.2)	(1.60)
宮城県	-.39	-2.0	.291	-.54	-.45	-11
	(-11)	(-1.6)	(.422)	(-1.5)	(-.99)	(-11)
秋田県	-.74	-2.6	1.23	-.74	.201	-.07
	(-1.5)	(-2.0)	(117)	(-1.5)	(.204)	(-.07)
山形県	.098	-1.3	1.06	-.31	-.14	-13
	(.206)	(-11)	(1.05)	(-.73)	(-.21)	(-2.2)
福島県	-.17	.204	.816	-.06	-1.5	.660
	(-.46)	(.173)	(.853)	(-.15)	(-2.3)	(.729)
茨城県	-.26	-.33	-.44	-.14	-.64	.512
	(-.78)	(-.31)	(-.64)	(-.45)	(-1.5)	(.569)
栃木県	-.47	-1.4	-.04	-.62	.321	.398
	(-11)	(-1.3)	(-.06)	(-1.4)	(.749)	(.549)
群馬県	.411	.041	-.91	-.42	.374	-1.9
	(.847)	(.044)	(-.91)	(-.85)	(.769)	(-1.9)
埼玉県	.390	.004	.185	-.48	-.11	.540
	(1.30)	(.005)	(.432)	(-1.6)	(-.39)	(119)
千葉県	-.07	-.05	.231	-.10	-.48	.358
	(-.20)	(-.05)	(.442)	(-.33)	(-1.4)	(.755)
神奈川県	-.18	-.54	.385	.259	-.92	.706
	(-.55)	(-.75)	(.977)	(.934)	(-2.8)	(1.80)
新潟県	.310	-1.2	-.02	-.26	-.47	110
	(1.01)	(-1.3)	(-.04)	(-.78)	(-.88)	(1.24)
富山県	-.20	-.72	.981	.548	-1.5	.658
	(-.34)	(-.64)	(1.40)	(1.23)	(-2.0)	(.679)
石川県	-.14	.479	111	-.32	-.90	-1.3
	(-.31)	(.477)	(1.55)	(-.88)	(-1.7)	(-1.3)
福井県	.132	-13	2.42	-.01	.758	-16
	(.196)	(-4.5)	(2.44)	(-.02)	(1.08)	(-2.6)
山梨県	.335	.318	-8.9	-.91	.681	-15
	(.386)	(.271)	(-3.3)	(-1.3)	(.938)	(-2.5)
長野県	.108	.013	.406	-.66	-.43	-.34
	(.280)	(.011)	(.439)	(-1.2)	(-11)	(-.38)
岐阜県	-.04	-.25	.617	-.61	.728	-.35

	(-.09)	(-.24)	(.622)	(-1.5)	(1.78)	(-.42)
静岡県	-.01	.286	-11	.045	-.08	-1.6
	(-.03)	(.357)	(-1.4)	(.135)	(-.20)	(-1.6)
愛知県	-.43	-1.2	.332	.381	.717	-.71
	(-1.2)	(-1.4)	(.738)	(1.09)	(1.96)	(-1.5)
三重県	-.13	-13	-.25	.519	-.62	.186
	(-.25)	(-5.1)	(-.25)	(1.31)	(-.64)	(.203)
滋賀県	-.87	1.80	-.14	-.17	-.34	-.88
	(-.91)	(1.40)	(-.14)	(-.22)	(-.42)	(-.87)
京都府	-.30	-1.2	-.68	-.32	-.57	-.06
	(-.62)	(-1.2)	(-1.0)	(-.60)	(-1.3)	(-.10)
大阪府	-.34	-.34	.419	-.25	-.51	.391
	(-1.3)	(-.44)	(1.07)	(-.99)	(-2.0)	(1.01)
兵庫県	-.06	-.57	-.46	-.81	-.50	.733
	(-.19)	(-.62)	(-.85)	(-2.5)	(-1.5)	(1.60)
奈良県	-.18	-.79	.533	-1.4	.146	-.76
	(-.31)	(-.61)	(.787)	(-1.4)	(.269)	(-.76)
和歌山県	-.11	.838	3.00	-1.5	-1.3	111
	(-.15)	(.654)	(2.69)	(-1.6)	(-1.3)	(1.07)
鳥取県	-.46	-.03	.758	-.76	-2.6	-1.3
	(-.84)	(-.02)	(.738)	(-11)	(-2.5)	(-1.2)
島根県	-.68	.000	-9.8	-.11	-11	-15
	(-1.0)	(.000)	(-4.1)	(-.20)	(-11)	(-2.6)
岡山県	.123	-1.3	-.79	.736	-.08	-.82
	(.335)	(-1.2)	(-.80)	(2.16)	(-.16)	(-11)
広島県	-.67	.726	.056	-.22	-.40	.761
	(-1.8)	(.776)	(.092)	(-.63)	(-1.0)	(1.59)
山口県	.069	-.05	.344	-.54	-.53	-1.4
	(.163)	(-.05)	(.450)	(-1.2)	(-.86)	(-1.5)
徳島県	-.32	-.86	-11	-.58	-.89	.295
	(-.37)	(-.70)	(-11)	(-.91)	(-1.2)	(.363)
香川県	.334	.297	1.42	.115	.799	-1.0
	(.718)	(.314)	(1.47)	(.272)	(1.88)	(-1.0)
愛媛県	-1.2	.537	.118	.144	-.17	-.55
	(-2.3)	(.517)	(.169)	(.390)	(-.25)	(-.58)
高知県	-.26	-1.5	-.51	-.58	-1.7	.845
	(-.47)	(-1.0)	(-.48)	(-11)	(-2.6)	(.817)
福岡県	.000	-1.8	-.85	-.37	-.28	.650
	(.001)	(-1.4)	(-1.2)	(-1.3)	(-.83)	(1.32)
佐賀県	.085	-.35	.690	-.34	-.79	-13
	(.162)	(-.27)	(.669)	(-.59)	(-11)	(-2.0)
長崎県	-.40	1.32	.608	-.85	-1.2	-.39
	(-.58)	(1.05)	(.632)	(-1.7)	(-1.3)	(-.37)
熊本県	-.43	-.98	.641	-.16	.056	-14
	(-.81)	(-.76)	(.827)	(-.42)	(.124)	(-2.4)
大分県	-.68	.010	-.43	-.57	-.80	-13
	(-1.2)	(.008)	(-.42)	(-.99)	(-.83)	(-2.2)
宮崎県	.011	-2.1	-.62	-.48	.099	.114
	(.020)	(-.91)	(-.59)	(-.94)	(.106)	(.156)
鹿児島県	-.70	-.36	-.07	-.31	-.29	.955
	(-1.0)	(-.28)	(-.06)	(-.67)	(-.38)	(.949)
沖縄県	-.38	-.57	-.85	-.41	-.57	-.16
	(-1.2)	(-.54)	(-1.4)	(-1.2)	(-1.7)	(-.27)
α_0	-17	-22	-11	-18	-13	-12
	(-4.3)	(-2.5)	(-1.9)	(-7.3)	(-5.4)	(-2.7)
α_1	12.6	13.3	7.16	9.50	11.0	4.72

	(10.4)	(6.03)	(5.29)	(10.3)	(9.49)	(3.99)
α_2	-3.3	-3.3	-1.6	-2.2	-2.7	-.63
	(-7.4)	(-4.3)	(-3.1)	(-6.5)	(-6.4)	(-1.5)
α_3	.384	.385	.158	.232	.295	-.01
	(5.25)	(3.05)	(1.80)	(3.99)	(4.16)	(-.12)
α_4	-.02	-.02	-.01	-.01	-.01	.007
	(-3.7)	(-2.1)	(-1.0)	(-2.2)	(-2.5)	(.117)
α_5	.000	.000	.000	.000	.000	-.00
	(2.60)	(1.47)	(.513)	(1.04)	(.114)	(-1.9)

() 内の数値は t 値。

表 11: N スペルフローサンプリングモデル 2 推定値 (5)
1980 年代コーホート

	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
年齢	-.24 (-.66)	-.44 (-.19)	-20 (-5.8)	-.47 (-3.8)	-5.1 (-5.1)	-11 (-4.2)
年齢 ²	.005 (.584)	.009 (.181)	.398 (5.63)	.009 (3.12)	.104 (4.90)	.221 (4.03)
結婚	.662 (1.77)	3.42 (1.23)	-2.4 (-.82)	-.35 (-.90)	-.27 (-.37)	.050 (.042)
離婚	1.92 (1.99)	.000 (.000)	.000 (.000)	.778 (1.84)	-.77 (-.78)	5.67 (4.27)
婚姻状態不詳	2.42 (2.84)	2.79 (1.86)	-89 (-5.6)	-.05 (-.05)	-20 (-3.4)	-1.4 (-1.4)
配偶者年齢	.033 (.336)	-7.1 (-.68)	-15 (-2.0)	-.01 (-.42)	-.15 (-.92)	.040 (.147)
配偶者年齢 ²	-.00 (-.36)	.114 (.593)	.557 (1.74)	.001 (.751)	.003 (.614)	-.01 (-.61)
配偶者年齢不詳	-.09 (-.09)	-68 (-.75)	50.2 (1.80)	.394 (.419)	-.26 (-.16)	-2.9 (-.87)
配偶者短大卒	.223 (.284)	101 (.725)	-103 (-3.1)	.747 (.958)	117 (.892)	3.88 (1.55)
配偶者大卒	2.13 (2.05)	105 (.772)	36.6 (3.00)	.441 (.445)	.349 (.246)	1.20 (.545)
配偶者学歴不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-11 (-3.1)	5.57 (2.68)	.000 (.000)
3 歳以下子ども数	-.14 (-.30)	1.69 (.413)	53.6 (6.49)	-.06 (-.16)	.568 (.662)	.157 (.145)
4～6 歳子ども数	-.31 (-.42)	4.48 (1.91)	-46 (-1.6)	.606 (1.04)	-12 (-1.0)	-3.7 (-2.8)
7～9 歳子ども数	-.68 (-.68)	.000 (.000)	.000 (.000)	.593 (.597)	.000 (.000)	.000 (.000)
10～12 歳子ども数	1.01 (1.05)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
13～14 歳子ども数	-32 (-1.5)	.000 (.000)	.000 (.000)	3.26 (2.97)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職パート・アルバイト	-.15 (-1.2)	1.53 (3.97)	1.85 (5.77)	-.02 (-.20)	.466 (2.51)	1.39 (4.20)
前職派遣社員	.480 (1.26)	-1.8 (-1.8)	.494 (.664)	.182 (.424)	-.17 (-.23)	2.14 (2.41)
前職その他	-.00 (-.01)	1.50 (1.58)	3.07 (3.39)	-.24 (-.54)	.431 (1.04)	.548 (.904)
前職会社などの役員	1.08 (1.08)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職自営業主	-.27 (-.26)	.000 (.000)	4.72 (3.63)	3.34 (2.42)	-11 (-3.3)	-.58 (-.34)
前職自家営業の手伝い	-2.1 (-2.2)	.000 (.000)	-38 (-5.5)	-1.0 (-1.0)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職内職	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	-6.8 (-2.8)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職勤めか自営かの別不詳	-.07 (-.11)	2.43 (1.78)	15.0 (3.03)	-.10 (-.10)	1.49 (1.75)	3.41 (3.00)
前職産業不詳	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)	.000 (.000)
前職農林業	.187	5.15	-31	1.01	1.31	-1.4

	(. 223)	(2. 35)	(-5. 5)	(. 987)	(1. 32)	(-1. 4)
前職漁業	-. 24	. 000	. 000	. 000	. 000	. 000
	(-. 23)	(. 000)	(. 000)	(. 000)	(. 000)	(. 000)
前職鉱業	. 000	. 000	. 000	. 000	. 000	. 000
	(. 000)	(. 000)	(. 000)	(. 000)	(. 000)	(. 000)
前職建設業	-. 02	3. 77	. 186	-. 40	. 361	. 441
	(-. 08)	(3. 90)	(. 247)	(-. 85)	(. 548)	(. 429)
前職電気・ガス・熱供給・水道業	-. 40	. 000	-122	-. 58	. 000	. 000
	(-. 40)	(. 000)	(-5. 6)	(-. 58)	(. 000)	(. 000)
前職情報通信業	-. 21	2. 24	-1. 0	-. 75	. 119	-. 65
	(-. 29)	(2. 03)	(-1. 4)	(-1. 2)	(. 213)	(-. 86)
前職運輸業	. 350	1. 80	-. 10	. 161	-. 13	-1. 5
	(1. 06)	(1. 45)	(-. 14)	(. 300)	(-. 16)	(-1. 5)
前職卸売・小売業	. 360	1. 26	. 376	-. 33	. 444	-. 11
	(1. 43)	(1. 74)	(. 905)	(-1. 3)	(1. 40)	(-. 22)
前職金融・保険業	-67	. 000	. 355	-1. 2	-1. 3	-. 90
	(-1. 6)	(. 000)	(. 385)	(-2. 4)	(-1. 9)	(-1. 3)
前職不動産業	. 168	. 811	. 524	. 124	1. 23	-1. 4
	(. 316)	(. 577)	(. 612)	(. 223)	(1. 37)	(-1. 5)
前職学術研究、専門・技術サービス業	. 158	-35	-. 70	. 003	-. 11	-1. 5
	(. 205)	(-. 69)	(-. 49)	(. 005)	(-. 19)	(-2. 0)
前職飲食店・宿泊業	. 428	. 609	. 222	. 267	. 444	. 277
	(111)	(. 633)	(. 352)	(. 842)	(. 997)	(. 450)
前職生活サービス業	-. 48	. 547	1. 99	. 024	. 715	-. 73
	(-1. 2)	(. 518)	(2. 67)	(. 072)	(1. 70)	(-. 97)
前職教育・学習支援業	-68	-27	-1. 9	. 361	-. 21	-1. 9
	(-1. 6)	(-. 69)	(-1. 5)	(. 652)	(-. 43)	(-2. 5)
前職医療・福祉	. 353	2. 75	. 730	. 557	. 112	-1. 2
	(. 651)	(2. 60)	(. 787)	(1. 74)	(. 313)	(-2. 0)
前職複合サービス事業	-. 04	17. 6	-. 33	. 993	2. 19	-2. 1
	(-. 05)	(. 671)	(-. 18)	(1. 30)	(2. 08)	(-1. 6)
前職サービス業その他	-. 37	2. 93	-. 13	-. 15	. 832	-2. 2
	(-1. 0)	(3. 97)	(-. 25)	(-. 38)	(118)	(-2. 5)
前職公務	. 349	20. 6	-3. 1	. 062	. 150	-3. 6
	(. 398)	(. 792)	(-1. 4)	(. 078)	(. 188)	(-3. 7)
前職分類不能の産業	. 377	-. 56	-64	. 058	-. 75	-9. 7
	(. 499)	(-. 56)	(-6. 2)	(. 073)	(-. 84)	(-4. 7)
前職職業不詳	1. 39	29. 2	-1. 4	-11	-1. 9	5. 75
	(1. 38)	(. 746)	(-1. 2)	(-11)	(-1. 8)	(3. 64)
前職専門的技術職的職業従事者	. 098	-1. 9	-2. 1	-8. 5	-1. 7	47. 4
	(. 137)	(-2. 1)	(-2. 5)	(-2. 4)	(-. 51)	(5. 22)
前職管理職的職業従事者	. 599	-1. 9	1. 27	8. 57	1. 78	-45
	(. 783)	(-2. 1)	(1. 54)	(2. 40)	(. 531)	(-4. 9)
前職事務従事者	. 147	-. 69	-. 76	. 189	-. 23	2. 02
	(. 505)	(-. 94)	(-1. 4)	(. 847)	(-. 67)	(2. 05)
前職販売職従事者	-. 13	. 346	-. 80	. 409	. 091	1. 89
	(-. 52)	(. 511)	(-1. 6)	(1. 65)	(. 242)	(1. 91)
前職サービス業従事者	. 058	. 764	-1. 4	-. 23	-. 20	1. 80
	(. 164)	(. 811)	(-2. 1)	(-. 81)	(-. 48)	(1. 63)
前職保安職業従事者	. 613	-6. 3	-3. 1	-. 07	. 015	2. 56
	(1. 08)	(-3. 7)	(-2. 8)	(-. 08)	(. 016)	(1. 77)
前職農林漁業従事者	-. 28	-5. 9	-153	-14	. 618	-18
	(-. 37)	(-2. 0)	(-5. 5)	(-3. 0)	(. 614)	(-5. 3)
前職運輸通信業従事者	. 076	-59	2. 05	-1. 0	. 000	. 000
	(. 181)	(-. 72)	(2. 07)	(-1. 0)	(. 000)	(. 000)
前職建設・採掘作業	. 155	-2. 6	. 666	2. 09	. 000	. 000

前職運搬・清掃・包装等従事者	(. 515)	(-2. 4)	(. 645)	(2. 10)	(. 000)	(. 000)
	. 024	-2. 7	-. 64	. 099	-. 27	2. 98
前職分類不能の職業	(. 102)	(-2. 6)	(-11)	(. 261)	(-. 28)	(2. 28)
	-. 34	-. 56	-64	-. 43	. 558	-9. 7
前職の従業者規模 1 人	(-. 43)	(-. 56)	(-6. 2)	(-. 52)	(. 666)	(-4. 7)
	-. 90	. 000	-4. 6	-3. 5	-11	3. 63
前職の従業者規模 2～4 人	(-. 88)	(. 000)	(-2. 4)	(-2. 2)	(-3. 3)	(2. 91)
	. 357	1. 49	-3. 3	. 197	-. 62	-1. 2
前職の従業者規模 5～9 人	(1. 44)	(1. 86)	(-3. 4)	(. 867)	(-1. 6)	(-1. 5)
	-. 05	. 681	-1. 6	-. 00	-. 34	-. 66
前職の従業者規模 10～29 人	(-. 26)	(112)	(-3. 3)	(-. 01)	(-1. 3)	(-11)
	. 317	. 934	-1. 3	-. 17	-. 13	. 196
前職の従業者規模 100～499 人	(1. 99)	(1. 64)	(-2. 7)	(-1. 0)	(-. 53)	(. 374)
	. 221	1. 67	-. 65	. 049	-. 03	. 814
前職の従業者規模 500～999 人	(1. 32)	(2. 91)	(-1. 6)	(. 292)	(-. 11)	(1. 92)
	. 216	1. 07	-. 78	. 030	. 202	. 477
前職の従業者規模 1000 人以上	(. 794)	(1. 34)	(-1. 4)	(. 116)	(. 546)	(. 879)
	. 089	3. 40	-. 74	. 284	-. 11	1. 44
前職の従業者規模官公庁	(. 377)	(4. 52)	(-1. 7)	(1. 37)	(-. 37)	(3. 44)
	-. 53	-18	-1. 7	-. 64	-. 44	2. 98
前職の従業者規模不詳	(-. 76)	(-. 69)	(-1. 0)	(-11)	(-. 72)	(3. 60)
	-. 42	-. 77	-. 58	1. 06	-. 06	. 361
前職の離職理由会社倒産・事業所閉鎖のため	(-. 67)	(-. 72)	(-. 71)	(1. 86)	(-. 07)	(. 346)
	-. 36	-2. 3	. 306	. 384	-1. 2	. 452
前職の離職理由人員整理・勧奨退職のため	(-1. 3)	(-2. 3)	(. 330)	(1. 69)	(-2. 4)	(. 510)
	-. 65	-11	-. 49	. 201	-1. 2	111
前職の離職理由事業不振や先行き不安のため	(-2. 3)	(-1. 4)	(-. 47)	(. 678)	(-1. 9)	(119)
	-. 37	112	-. 26	-. 12	-. 14	-1. 6
前職の離職理由定年又は雇用契約の満了	(-1. 8)	(1. 81)	(-. 38)	(-. 45)	(-. 31)	(-1. 8)
	-. 64	-. 44	-. 57	-. 69	-. 52	-1. 4
前職の離職理由結婚・出産・育児のため	(-2. 4)	(-. 34)	(-. 87)	(-2. 3)	(-1. 4)	(-2. 6)
	1. 08	. 000	. 000	-3. 2	-1. 7	-4. 9
前職の離職理由介護・看護のため	(1. 08)	(. 000)	(. 000)	(-9. 8)	(-3. 1)	(-3. 8)
	-76	. 000	. 000	-. 26	. 933	13. 4
前職の離職理由家事・通学・健康上の理由のため	(-1. 6)	(. 000)	(. 000)	(-. 29)	(. 898)	(4. 69)
	-. 88	-1. 8	-2. 8	-11	-. 74	-2. 2
前職の離職理由その他	(-4. 6)	(-3. 1)	(-5. 6)	(-6. 4)	(-3. 0)	(-5. 0)
	-. 13	. 142	-. 11	-. 15	. 085	. 005
前職の離職理由不詳	(-1. 0)	(. 357)	(-. 37)	(-1. 3)	(. 476)	(. 014)
	1. 05	. 000	113	-3. 0	-25	. 000
3 歳以下子ども数×都道府県保育所児童待機率	(110)	(. 000)	(5. 20)	(-3. 1)	(-3. 4)	(. 000)
	-152	-88	5. 97	37. 8	-158	. 711
4～6 歳子ども数×都道府県保育所児童待機率	(-1. 4)	(-. 70)	(1. 59)	(1. 69)	(-1. 2)	(. 686)
	82. 1	. 028	. 581	-20	123	-. 05
3 歳以下子どもあり×都道府県保育所児童待機率	(1. 46)	(. 028)	(. 582)	(-1. 0)	(115)	(-. 05)
	166	-88	5. 97	-24	-143	. 711
4～6 歳子どもあり×都道府県保育所児童待機率	(1. 39)	(-. 70)	(1. 60)	(-. 67)	(-1. 2)	(. 686)
	74. 7	. 014	. 581	18. 8	123	-. 05
都道府県求人倍率	(1. 43)	(. 014)	(. 582)	(. 714)	(115)	(-. 05)
	-. 87	-4. 5	. 234	-. 58	. 062	-2. 5
2003 年	(-2. 1)	(-3. 8)	(. 401)	(-1. 4)	(. 093)	(-2. 4)
	. 159	1. 31	36. 4	. 812	. 655	52. 8
2004 年	(. 529)	(1. 47)	(5. 60)	(2. 86)	(1. 40)	(4. 54)
	. 397	. 578	36. 7	. 988	. 946	53. 9
2005 年	(1. 22)	(. 628)	(5. 62)	(3. 18)	(1. 92)	(4. 62)
	. 395	2. 49	36. 5	1. 05	. 557	54. 7

	(116)	(2.55)	(5.57)	(3.15)	(1.05)	(4.66)
2006 年	.551	2.93	36.4	118	.750	54.0
	(1.55)	(2.84)	(5.59)	(3.34)	(1.33)	(4.61)
2007 年	.705	3.02	36.8	1.01	.372	53.9
	(1.98)	(2.78)	(5.66)	(2.82)	(.657)	(4.60)
2008 年	.509	3.17	36.1	.822	.423	54.1
	(1.41)	(2.84)	(5.63)	(2.35)	(.773)	(4.65)
7 大都市の人口集中地域	-.18	.325	-.43	.082	-.42	-.47
	(-.76)	(.400)	(-.90)	(.426)	(-1.5)	(-11)
7 大都市の人口集中地域以外	2.40	.000	-6.0	-11	1.20	.000
	(2.39)	(.000)	(-4.7)	(-1.2)	(1.24)	(.000)
7 大都市以外の市の人口集中地域以外	.399	.965	-.47	-.09	.398	.987
	(2.88)	(2.13)	(-1.2)	(-.60)	(1.79)	(2.02)
郡部の人口集中地域	.010	-.09	-.05	-.07	-.20	.070
	(.037)	(-.12)	(-.12)	(-.30)	(-.54)	(.134)
郡部の人口集中地域以外	.135	-1.2	.236	.042	.464	1.74
	(.909)	(-2.6)	(.534)	(.318)	(1.79)	(3.34)
北海道	-.82	-3.6	-.99	-.43	-1.3	-3.2
	(-2.5)	(-2.6)	(-.96)	(-1.4)	(-1.9)	(-2.7)
青森県	-.62	-4.7	-.81	.421	-1.9	.000
	(-1.2)	(-2.7)	(-5.5)	(.856)	(-1.6)	(.000)
岩手県	-.90	.920	.126	-.31	.867	-2.5
	(-1.7)	(.574)	(.108)	(-.64)	(.786)	(-1.9)
宮城県	-.68	-4.3	-.82	-.10	-1.5	-.82
	(-1.8)	(-1.8)	(-5.8)	(-.35)	(-2.1)	(-.73)
秋田県	-.19	1.26	-.96	-.24	-.02	-4.4
	(-.39)	(.686)	(-5.5)	(-.41)	(-.02)	(-3.2)
山形県	-.54	-.08	-.62	-.22	-31	-1.4
	(-.83)	(-.05)	(-5.5)	(-.45)	(-3.7)	(-1.4)
福島県	-.08	-4.4	-.91	-.21	-1.5	-5.2
	(-.25)	(-3.1)	(-5.6)	(-.52)	(-1.5)	(-3.8)
茨城県	-.73	-.84	.290	.002	-1.4	-.73
	(-2.0)	(-.64)	(.266)	(.007)	(-2.2)	(-.73)
栃木県	-.20	1.68	4.05	.759	-2.1	-1.9
	(-.47)	(115)	(3.72)	(2.06)	(-2.1)	(-1.7)
群馬県	.463	.217	-.80	.251	-1.0	-1.5
	(113)	(.133)	(-.75)	(.499)	(-1.7)	(-1.3)
埼玉県	-.71	-.41	1.39	-.49	-.82	-1.9
	(-2.2)	(-.34)	(2.05)	(-1.5)	(-1.6)	(-2.5)
千葉県	-.77	-2.0	.412	-.66	-1.3	-1.9
	(-2.4)	(-1.4)	(.500)	(-1.9)	(-2.1)	(-2.4)
神奈川県	.228	-1.2	.795	.270	-11	-1.4
	(.729)	(-11)	(1.05)	(.968)	(-2.3)	(-1.9)
新潟県	-.23	-1.3	2.23	-.41	-1.8	.010
	(-.63)	(-1.2)	(2.00)	(-1.2)	(-3.1)	(.009)
富山県	-.01	1.66	-.74	-.67	-.89	-29
	(-.02)	(1.42)	(-5.6)	(-1.2)	(-1.2)	(-5.1)
石川県	-.65	.438	-.29	-.81	-1.4	-5.8
	(-11)	(.369)	(-.29)	(-1.0)	(-1.4)	(-5.1)
福井県	-.06	-.81	.883	.546	-.77	2.06
	(-.08)	(-.74)	(.838)	(.856)	(-.90)	(1.85)
山梨県	-.00	-2.4	-104	.514	.565	-1.3
	(-.00)	(-1.9)	(-5.6)	(1.07)	(.647)	(-.86)
長野県	-11	-.47	-90	.049	.349	-.54
	(-2.1)	(-.36)	(-5.7)	(.109)	(.543)	(-.47)
岐阜県	.138	.903	.348	-.38	-.49	-26

	(. 303)	(. 768)	(. 460)	(-. 74)	(-. 67)	(-5. 1)
静岡県	. 391	-. 86	. 785	-. 44	-. 39	-1. 8
	(114)	(-. 69)	(. 741)	(-1. 3)	(-. 72)	(-1. 7)
愛知県	. 291	2. 15	1. 01	. 615	-. 60	-. 67
	(. 749)	(2. 18)	(1. 69)	(1. 68)	(-1. 3)	(-. 96)
三重県	-. 20	1. 31	. 651	. 501	-. 23	-1. 0
	(-. 30)	(110)	(. 758)	(. 636)	(-. 32)	(-1. 0)
滋賀県	-. 74	-. 99	-. 84	. 073	-1. 9	1. 01
	(-1. 2)	(-. 71)	(-. 94)	(. 117)	(-1. 9)	(. 970)
京都府	-. 51	. 000	-1. 2	-. 84	-11	-. 88
	(-11)	(. 000)	(-1. 2)	(-1. 6)	(-1. 5)	(-. 90)
大阪府	-. 26	-3. 7	113	. 183	-. 65	-2. 3
	(-. 87)	(-3. 3)	(1. 71)	(. 744)	(-1. 5)	(-3. 4)
兵庫県	-. 49	1. 90	1. 45	-. 53	-11	-. 58
	(-1. 4)	(1. 42)	(2. 06)	(-1. 6)	(-1. 9)	(-. 73)
奈良県	-. 18	. 000	1. 71	. 898	-. 27	-2. 3
	(-. 18)	(. 000)	(1. 92)	(1. 25)	(-. 34)	(-1. 8)
和歌山県	-. 59	. 391	. 000	. 320	-. 24	. 000
	(-. 92)	(. 256)	(. 000)	(. 486)	(-. 23)	(. 000)
鳥取県	-. 25	1. 68	. 000	. 215	-1. 4	. 544
	(-. 39)	(114)	(. 000)	(. 334)	(-1. 3)	(. 376)
島根県	-. 25	. 663	. 000	. 007	23. 7	. 000
	(-. 33)	(. 378)	(. 000)	(. 008)	(3. 68)	(. 000)
岡山県	. 365	-. 72	-1. 3	-. 67	-1. 5	-1. 2
	(. 806)	(-. 56)	(-1. 2)	(-1. 5)	(-1. 8)	(-1. 2)
広島県	. 013	1. 24	1. 90	. 161	-. 47	-1. 8
	(. 034)	(111)	(2. 03)	(. 330)	(-. 85)	(-2. 6)
山口県	. 047	-. 48	. 217	-. 69	-. 61	-5. 7
	(. 105)	(-. 34)	(. 207)	(-1. 3)	(-. 57)	(-4. 6)
徳島県	-. 42	-. 70	. 999	-1. 5	. 152	-28
	(-. 42)	(-. 53)	(. 793)	(-2. 0)	(. 141)	(-4. 5)
香川県	. 568	-1. 2	. 000	-. 29	-1. 2	-28
	(1. 00)	(-. 96)	(. 000)	(-. 57)	(-1. 7)	(-5. 2)
愛媛県	-. 84	-76	1. 42	-. 11	-. 22	-3. 8
	(-1. 8)	(-. 81)	(118)	(-. 24)	(-. 37)	(-2. 8)
高知県	-1. 3	. 000	. 000	-1. 3	-27	-58
	(-2. 3)	(. 000)	(. 000)	(-1. 3)	(-3. 6)	(-5. 1)
福岡県	-. 33	-3. 6	1. 39	-. 13	-2. 0	-2. 1
	(-. 98)	(-2. 6)	(1. 71)	(-. 45)	(-3. 5)	(-2. 2)
佐賀県	-. 80	. 000	-84	-1. 2	-39	-26
	(-1. 2)	(. 000)	(-5. 7)	(-1. 2)	(-3. 4)	(-4. 2)
長崎県	-. 55	-3. 5	4. 72	-. 30	-3. 9	1. 81
	(-1. 2)	(-2. 0)	(3. 62)	(-. 55)	(-3. 4)	(110)
熊本県	-. 68	41. 9	1. 35	-. 51	-. 64	-1. 9
	(-1. 5)	(. 809)	(1. 25)	(-1. 2)	(-. 74)	(-1. 5)
大分県	-. 78	. 835	. 708	-. 41	-. 81	-2. 8
	(-1. 5)	(. 545)	(. 573)	(-. 68)	(-. 76)	(-1. 7)
宮崎県	-1. 4	-4. 5	1. 66	-11	-1. 0	. 000
	(-2. 3)	(-2. 6)	(1. 27)	(-1. 6)	(-11)	(. 000)
鹿児島県	-11	-3. 7	-. 14	-. 51	-1. 8	-2. 1
	(-2. 3)	(-2. 0)	(-. 11)	(-11)	(-1. 6)	(-1. 5)
沖縄県	-11	-5. 6	. 286	-. 67	-. 98	-4. 0
	(-3. 3)	(-3. 5)	(. 319)	(-2. 0)	(-1. 3)	(-3. 3)
α_0	-5. 7	2. 35	215	-. 44	59. 1	91. 8
	(-1. 4)	(. 086)	(5. 95)	(-. 41)	(5. 08)	(4. 21)
α_1	3. 18	-2. 8	-5. 6	. 822	-2. 2	-6. 9

	(3.62)	(-2.5)	(-5.3)	(1.02)	(-2.6)	(-5.3)
α_2	-.12	2.00	2.77	.592	1.67	3.94
	(-.36)	(3.89)	(5.83)	(1.78)	(4.41)	(6.47)
α_3	-.09	-.42	-.51	-.19	-.36	-.83
	(-1.6)	(-4.3)	(-5.6)	(-3.2)	(-5.1)	(-6.8)
α_4	.013	.035	.040	.020	.032	.074
	(2.69)	(4.29)	(5.13)	(3.90)	(5.33)	(6.84)
α_5	-.00	-.00	-.00	-.00	-.00	-.00
	(-3.4)	(-4.2)	(-4.7)	(-4.3)	(-5.4)	(-6.8)

() 内の数値は t 値。

表 12: N スペル生存確率(1)
フローサンプリングモデル 2

経過月数	1940 年代コーホート						1950 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)		1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.988 (.005)	1.00 (.000)		1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.001)	1.00 (.000)
2	.994 (.003)	1.00 (.000)	.999 (.002)	.890 (.065)	1.00 (.000)		.991 (.004)	1.00 (.000)	.996 (.004)	.977 (.008)	.986 (.010)	1.00 (.000)
3	.968 (.015)	1.00 (.000)	.988 (.015)	.200 (.179)	.999 (.007)		.932 (.029)	1.00 (.000)	.964 (.036)	.831 (.056)	.904 (.063)	1.00 (.000)
4	.914 (.040)	1.00 (.000)	.963 (.042)	.104 (.145)	.965 (.116)		.830 (.065)	1.00 (.000)	.876 (.100)	.623 (.105)	.743 (.144)	.999 (.002)
5	.858 (.062)	1.00 (.000)	.939 (.066)	.082 (.125)	.920 (.190)		.744 (.091)	1.00 (.000)	.769 (.157)	.480 (.123)	.602 (.190)	.999 (.004)
6	.818 (.077)	1.00 (.000)	.922 (.082)	.033 (.059)	.906 (.209)		.685 (.107)	1.00 (.000)	.676 (.192)	.396 (.127)	.513 (.207)	.998 (.006)
7	.790 (.087)	1.00 (.000)	.909 (.093)	.005 (.017)	.895 (.221)		.639 (.117)	1.00 (.000)	.601 (.214)	.338 (.127)	.458 (.212)	.997 (.007)
8	.767 (.094)	1.00 (.000)	.896 (.104)	.005 (.017)	.850 (.262)		.594 (.125)	1.00 (.000)	.534 (.227)	.289 (.123)	.415 (.214)	.997 (.009)
9	.742 (.102)	1.00 (.000)	.879 (.118)	.005 (.017)	.718 (.342)		.539 (.133)	1.00 (.000)	.466 (.233)	.237 (.117)	.371 (.212)	.995 (.012)
10	.706 (.113)	1.00 (.000)	.853 (.137)	.005 (.017)	.716 (.343)		.464 (.141)	1.00 (.000)	.389 (.232)	.184 (.107)	.312 (.206)	.993 (.018)
11	.657 (.125)	1.00 (.000)	.824 (.157)	.005 (.017)	.716 (.343)		.381 (.144)	1.00 (.000)	.305 (.220)	.139 (.094)	.232 (.188)	.988 (.029)
12	.620 (.133)	1.00 (.000)	.810 (.165)	.005 (.017)	.716 (.343)		.326 (.143)	1.00 (.000)	.226 (.201)	.114 (.086)	.161 (.162)	.981 (.045)
13	.612 (.135)	1.00 (.000)	.809 (.165)	.005 (.017)	.716 (.343)		.311 (.142)	1.00 (.000)	.167 (.186)	.107 (.083)	.132 (.147)	.975 (.060)

() 内の数値は標準誤差。.000 は.001 未満の数値を示す。

表 12: N スペル生存確率(2)
フローサンプリングモデル 2

経過月数	1960 年代コーホート						1970 年代コーホート					
	男性			女性			男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	.999 (.001)
2	.998 (.001)	1.00 (.000)	.997 (.002)	.985 (.006)	.994 (.005)	.999 (.001)	.993 (.002)	.996 (.003)	.989 (.007)	.990 (.004)	.985 (.007)	.988 (.009)
3	.981 (.009)	.998 (.003)	.923 (.063)	.863 (.048)	.949 (.036)	.988 (.014)	.926 (.023)	.939 (.048)	.924 (.043)	.914 (.030)	.869 (.055)	.927 (.050)
4	.943 (.026)	.989 (.018)	.737 (.169)	.671 (.098)	.862 (.087)	.950 (.052)	.800 (.058)	.802 (.132)	.799 (.101)	.779 (.069)	.688 (.111)	.799 (.121)
5	.902 (.043)	.974 (.038)	.604 (.215)	.537 (.119)	.784 (.123)	.904 (.094)	.697 (.082)	.673 (.184)	.672 (.144)	.666 (.095)	.556 (.136)	.662 (.173)
6	.869 (.056)	.961 (.054)	.532 (.231)	.455 (.126)	.732 (.144)	.861 (.130)	.626 (.096)	.580 (.208)	.572 (.166)	.590 (.108)	.474 (.144)	.555 (.199)
7	.841 (.066)	.949 (.067)	.482 (.237)	.397 (.128)	.695 (.156)	.817 (.161)	.570 (.104)	.509 (.219)	.496 (.177)	.536 (.115)	.411 (.147)	.476 (.209)
8	.814 (.076)	.936 (.081)	.431 (.240)	.343 (.127)	.661 (.167)	.767 (.191)	.514 (.111)	.443 (.224)	.432 (.181)	.487 (.119)	.349 (.146)	.409 (.212)
9	.780 (.087)	.916 (.099)	.359 (.237)	.283 (.122)	.620 (.177)	.709 (.219)	.448 (.116)	.374 (.224)	.371 (.181)	.434 (.122)	.275 (.140)	.338 (.207)
10	.732 (.102)	.882 (.130)	.254 (.218)	.218 (.113)	.562 (.189)	.647 (.241)	.369 (.118)	.304 (.218)	.309 (.176)	.370 (.123)	.191 (.123)	.258 (.192)
11	.667 (.119)	.828 (.174)	.149 (.178)	.159 (.100)	.486 (.199)	.596 (.256)	.290 (.116)	.245 (.207)	.248 (.166)	.301 (.122)	.126 (.102)	.181 (.166)
12	.602 (.135)	.780 (.209)	.095 (.146)	.124 (.089)	.422 (.202)	.556 (.265)	.233 (.111)	.205 (.195)	.195 (.152)	.251 (.118)	.100 (.090)	.135 (.144)
13	.568 (.142)	.755 (.227)	.079 (.136)	.110 (.084)	.398 (.201)	.509 (.279)	.203 (.106)	.178 (.186)	.155 (.138)	0.229 (.115)	.095 (.088)	.124 (.137)

() 内の数値は標準誤差。.000 は.001 未満の数値を示す。

表 12: N スペル生存確率(3)
フローサンプリングモデル 2

経過月数	1980 年代コーホート					
	男性			女性		
	高卒	短大卒	大卒	高卒	短大卒	大卒
0	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
1	.998 (.001)	.999 (.002)	1.00 (.000)	.996 (.002)	1.00 (.000)	1.00 (.000)
2	.980 (.007)	.997 (.006)	1.00 (.000)	.980 (.009)	.980 (.014)	1.00 (.000)
3	.902 (.034)	.989 (.022)	1.00 (.000)	.925 (.030)	.827 (.101)	1.00 (.000)
4	.761 (.074)	.967 (.060)	1.00 (.000)	.823 (.065)	.615 (.175)	1.00 (.000)
5	.630 (.102)	.931 (.110)	1.00 (.000)	.715 (.096)	.479 (.195)	1.00 (.000)
6	.544 (.116)	.897 (.149)	1.00 (.000)	.635 (.114)	.399 (.196)	1.00 (.000)
7	.489 (.122)	.871 (.174)	1.00 (.000)	.582 (.124)	.342 (.193)	1.00 (.000)
8	.446 (.126)	.850 (.192)	1.00 (.000)	.542 (.130)	.287 (.185)	1.00 (.000)
9	.402 (.128)	.828 (.210)	1.00 (.000)	.501 (.135)	.224 (.169)	1.00 (.000)
10	.342 (.128)	.794 (.232)	1.00 (.000)	.450 (.140)	.156 (.144)	1.00 (.000)
11	.264 (.123)	.739 (.262)	1.00 (.000)	.386 (.143)	.106 (.117)	1.00 (.000)
12	.203 (.115)	.689 (.284)	1.00 (.000)	.338 (.143)	.085 (.104)	1.00 (.000)
13	.187 (.112)	.677 (.288)	1.00 (.000)	.328 (.143)	.081 (.101)	1.00 (.000)

表 13: N スペル生存確率のモデル間比較(1)

	ダブルストック サンプリング		ストックサンプリング			フローサンプリング 1			フローサンプリング 2			フローサンプリング 1A		
	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月
1940 年代生まれ														
高卒男性	0.844	0.955	0.972	0.977	1.000	0.670	0.683	1.000	0.620	0.657	1.000	0.711	0.726	0.995
短大卒男性	0.827	0.958	0.958	0.966	1.000	0.651	0.681	1.000	1.000	1.000	1.000	0.712	0.729	0.995
大卒男性	0.845	0.962	0.951	0.960	1.000	0.661	0.672	1.000	0.810	0.824	1.000	1.000	1.000	1.000
高卒女性	0.923	0.975	1.000	1.000	1.000	0.757	0.757	1.000	0.005	0.005	0.988	0.790	0.801	0.996
短大卒女性	0.925	0.978	1.000	1.000	1.000	0.804	0.807	1.000	0.716	0.716	1.000	0.821	0.830	0.997
大卒女性	0.937	0.974	1.000	1.000	1.000	0.826	0.826	1.000				0.856	0.866	0.996
1950 年代生まれ														
高卒男性	0.745	0.921	0.977	0.980	1.000	0.619	0.619	1.000	0.326	0.381	1.000	0.485	0.507	0.989
短大卒男性	0.665	0.991	0.952	0.961	1.000	0.330	0.340	1.000	1.000	1.000	1.000	0.468	0.493	0.986
大卒男性	0.685	0.922	0.934	0.945	1.000	0.365	0.390	1.000	0.226	0.305	1.000	0.428	0.453	0.990
高卒女性	0.861	0.962	1.000	1.000	1.000	0.618	0.618	1.000	0.114	0.139	1.000	0.577	0.595	0.993
短大卒女性	0.862	0.962	1.000	1.000	1.000	0.562	0.575	1.000	0.161	0.232	0.999	0.586	0.604	0.993
大卒女性	0.879	0.960	1.000	1.000	1.000	0.511	0.528	1.000	0.981	0.988	1.000	0.592	0.608	0.992
1960 年代生まれ														
高卒男性	0.715	0.925	0.986	0.988	1.000	0.313	0.338	1.000	0.602	0.667	1.000	0.313	0.338	1.000
短大卒男性	0.620	0.894	0.919	0.932	1.000	0.281	0.306	1.000	0.780	0.828	1.000	0.283	0.308	1.000
大卒男性	0.669	0.913	0.961	0.968	1.000	0.283	0.310	1.000	0.095	0.149	1.000	0.357	0.375	0.986
高卒女性	0.814	0.955	1.000	1.000	1.000	0.418	0.432	1.000	0.124	0.159	1.000	0.484	0.500	0.991
短大卒女性	0.833	0.960	1.000	1.000	1.000	0.425	0.446	1.000	0.422	0.486	1.000	0.528	0.545	0.991
大卒女性	0.853	0.962	1.000	1.000	1.000	0.497	0.505	1.000	0.556	0.596	1.000	0.605	0.619	0.992

表 13: N スペル生存確率のモデル間比較(2)

	ダブルストック サンプリング		ストックサンプリング			フローサンプリング 1			フローサンプリング 2			フローサンプリング 1A		
	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月	12 か月	11 か月	1 か月
1970 年代生まれ														
高卒男性	0.695	0.905	0.996	0.997	1.000	0.294	0.294	1.000	0.233	0.290	1.000	0.350	0.366	0.989
短大卒男性	0.544	0.879	0.963	0.971	1.000	0.221	0.244	1.000	0.205	0.245	1.000	0.312	0.329	0.988
大卒男性	0.565	0.894	0.919	0.935	1.000	0.290	0.306	1.000	0.195	0.248	1.000	0.330	0.350	0.987
高卒女性	0.814	0.956	1.000	1.000	1.000	0.486	0.496	1.000	0.251	0.301	1.000	0.605	0.619	0.992
短大卒女性	0.799	0.955	0.999	1.000	1.000	0.500	0.515	1.000	0.100	0.126	1.000	0.626	0.641	0.993
大卒女性	0.782	0.942	0.999	1.000	1.000	0.462	0.488	1.000	0.135	0.181	0.999	0.599	0.616	0.993
1980 年代生まれ														
高卒男性	0.531	0.889	0.851	0.879	1.000	0.258	0.291	0.998	0.203	0.264	0.998	0.330	0.345	0.986
短大卒男性	0.384	0.881	0.708	0.757	1.000	0.246	0.282	0.957	0.689	0.739	0.999	0.305	0.323	0.986
大卒男性	0.422	0.870	0.577	0.650	1.000	0.305	0.340	0.885	1.000	1.000	1.000	0.316	0.340	0.941
高卒女性	0.587	0.914	0.988	0.992	1.000	0.323	0.348	0.993	0.338	0.386	0.996	0.480	0.493	0.987
短大卒女性	0.385	0.875	0.821	0.855	1.000	0.229	0.261	0.958	0.085	0.106	1.000	0.008	0.008	0.911
大卒女性	0.321	0.856	0.580	0.644	1.000	0.236	0.250	0.893	1.000	1.000	1.000	0.005	0.005	0.814

図1-E Eスぺル生存確率（男性）
ストックサンプリングモデル

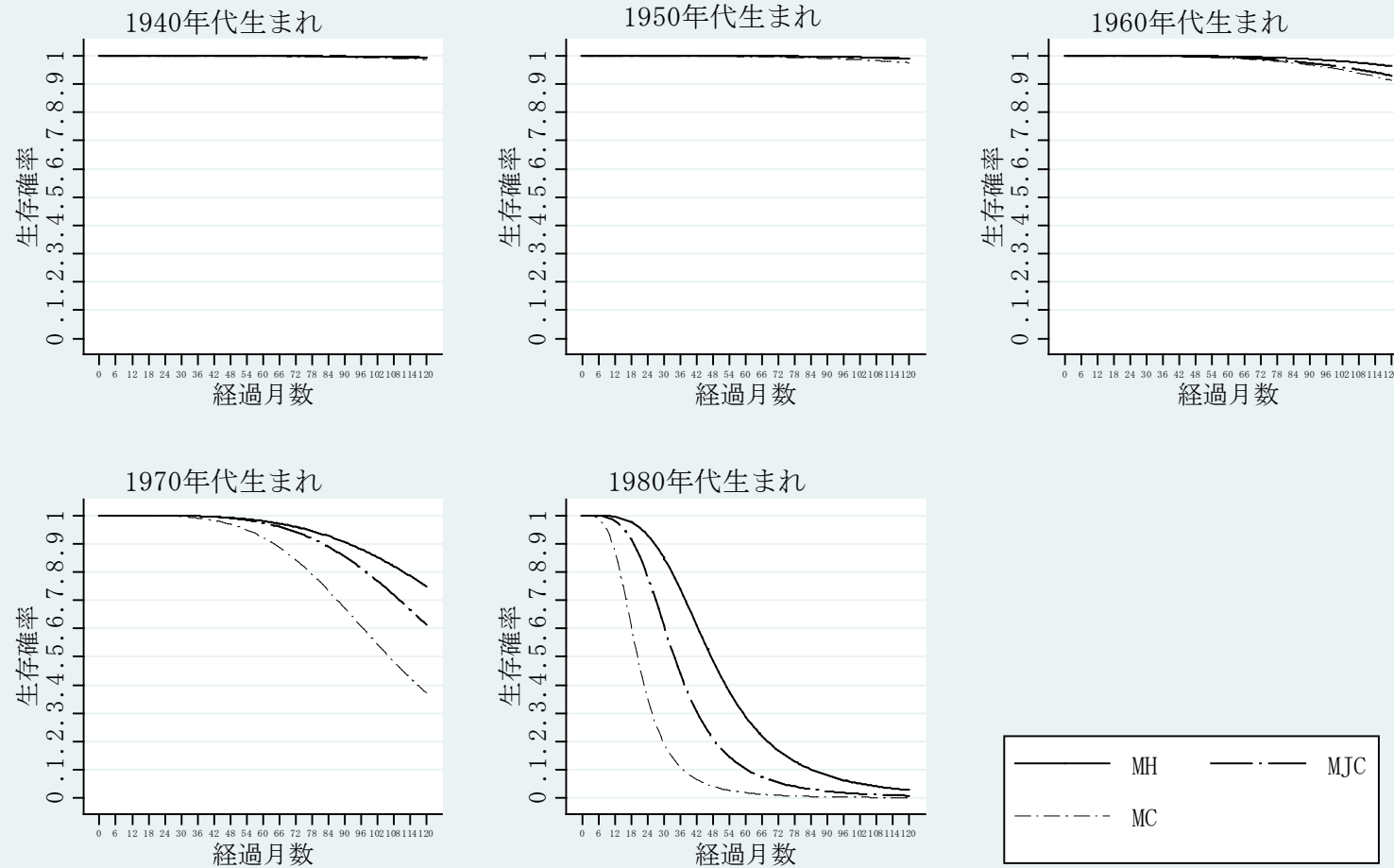


図1-E Eスぺル生存確率（女性）
ストックサンプリングモデル

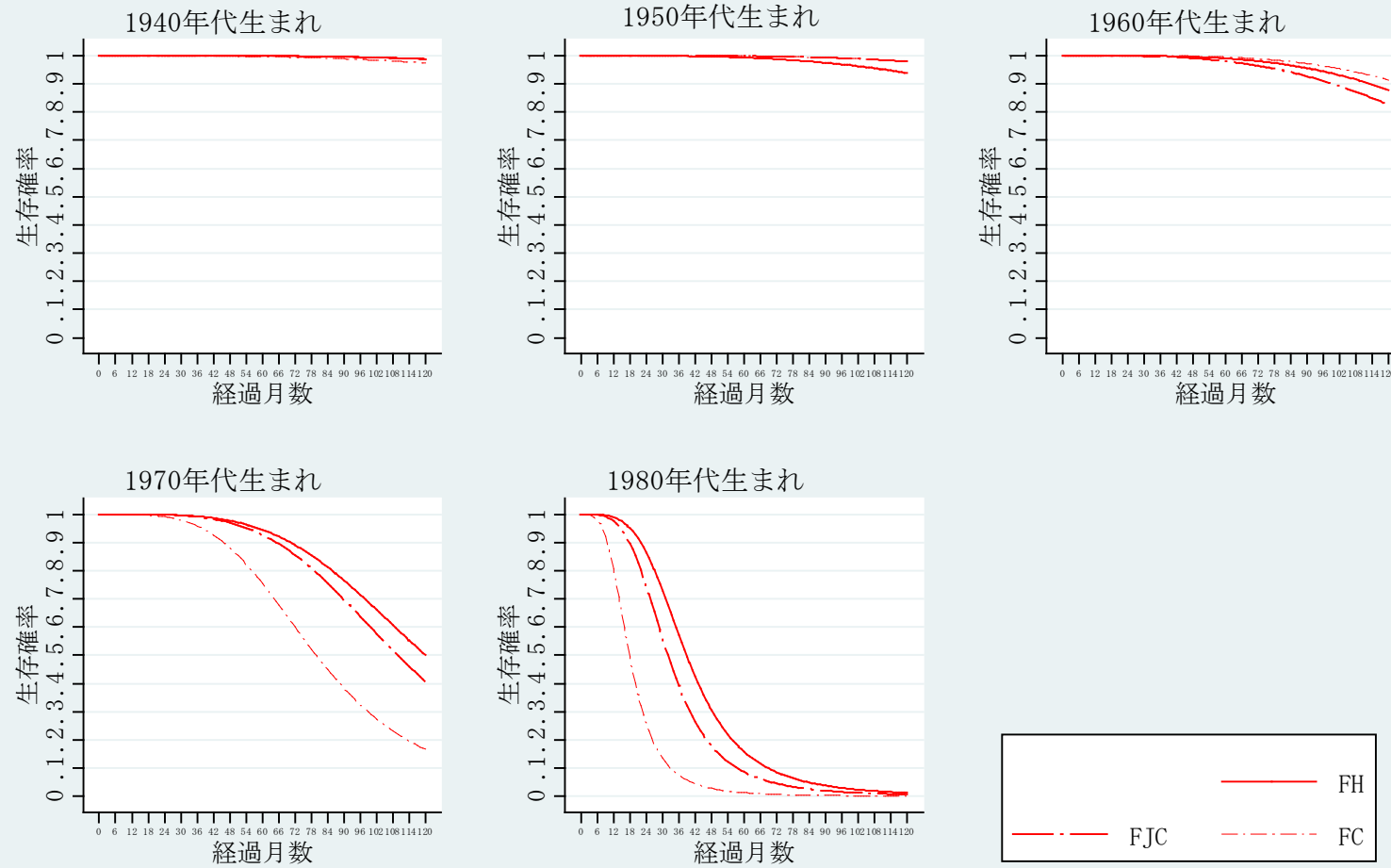


図1-J J スペル生存確率（男性）
ストックサンプリングモデル

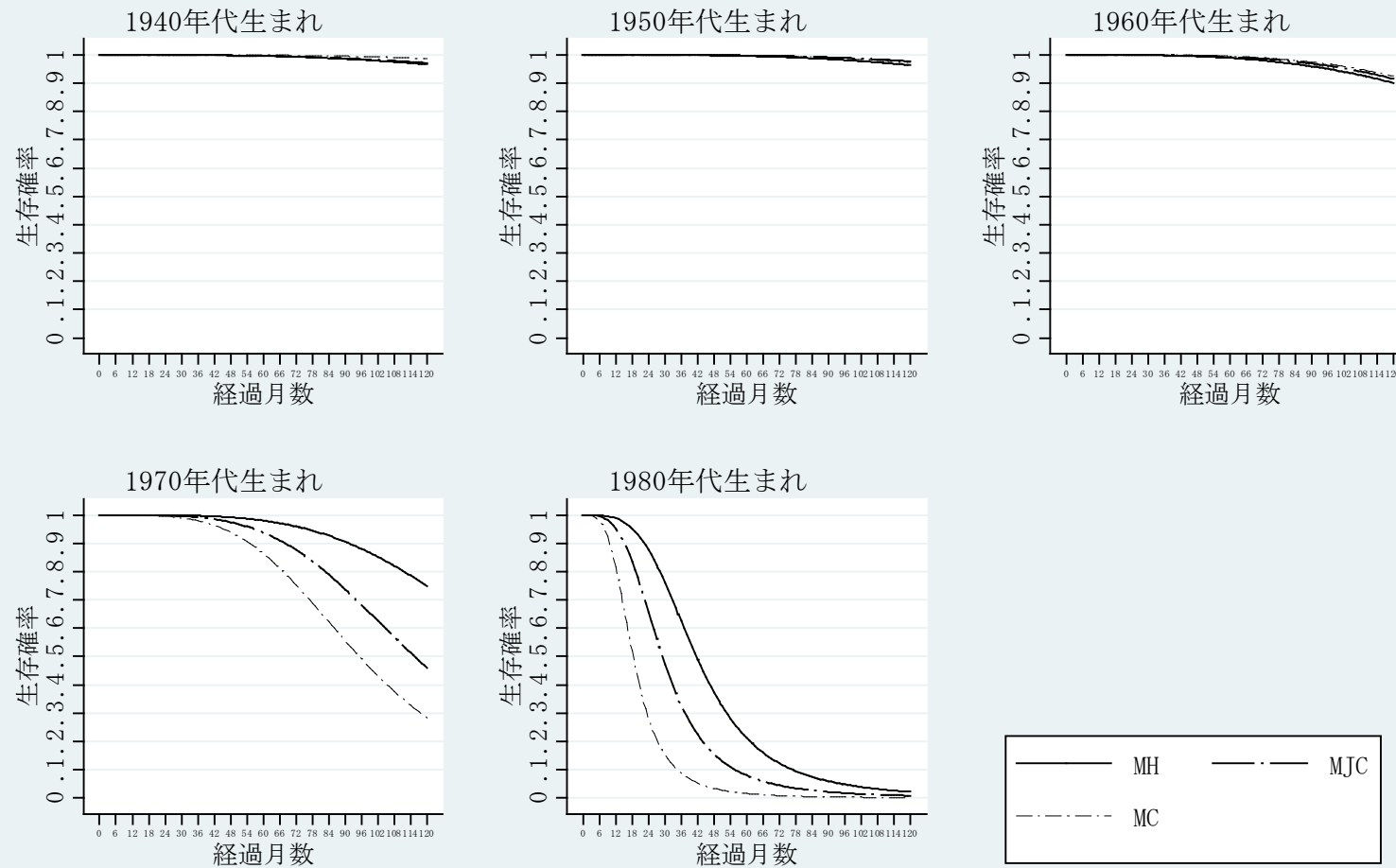


図1-J J スペル生存確率（女性）
ストックサンプリングモデル

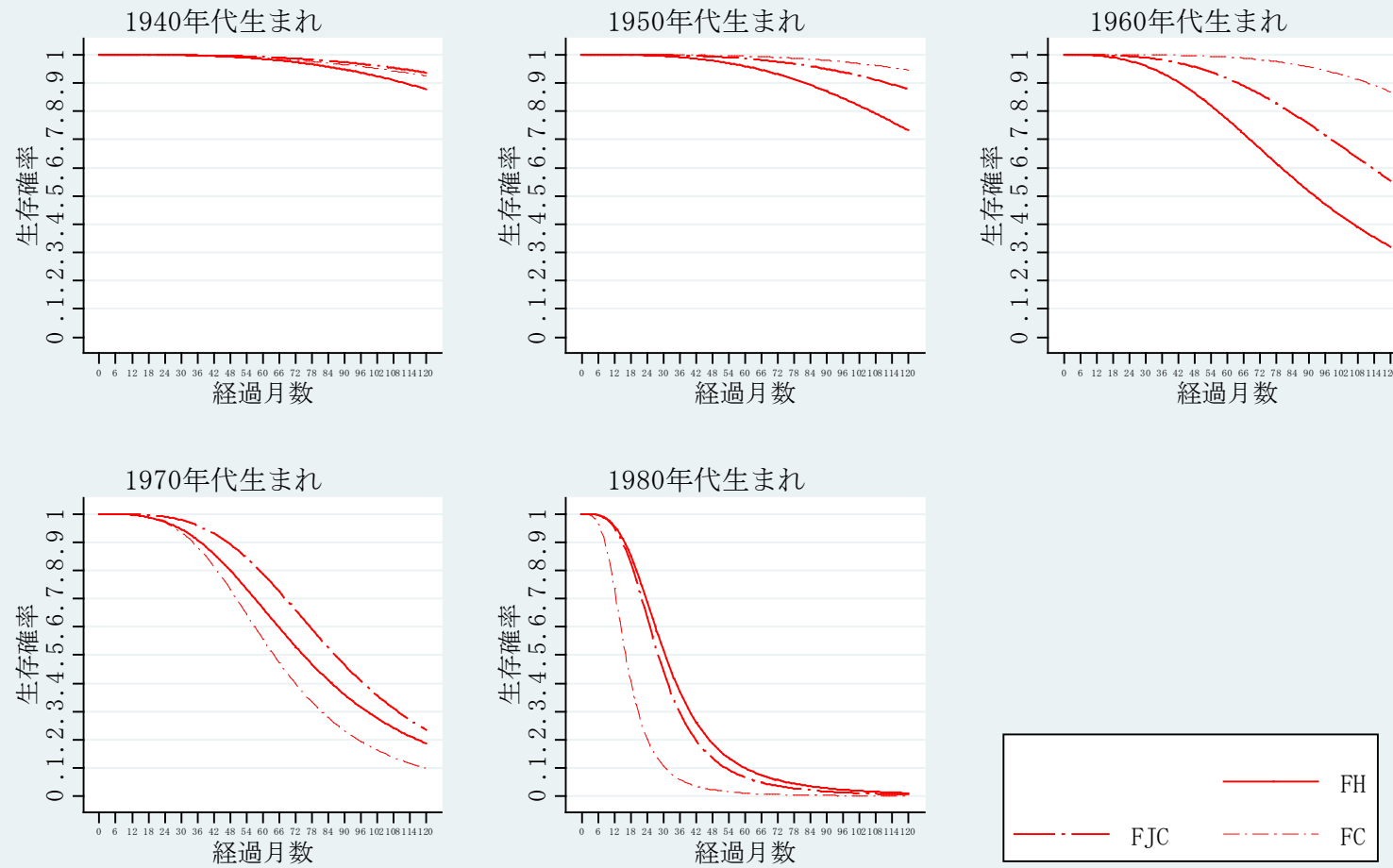


図1-U Uスぺル生存確率（男性）
ストックサンプリングモデル

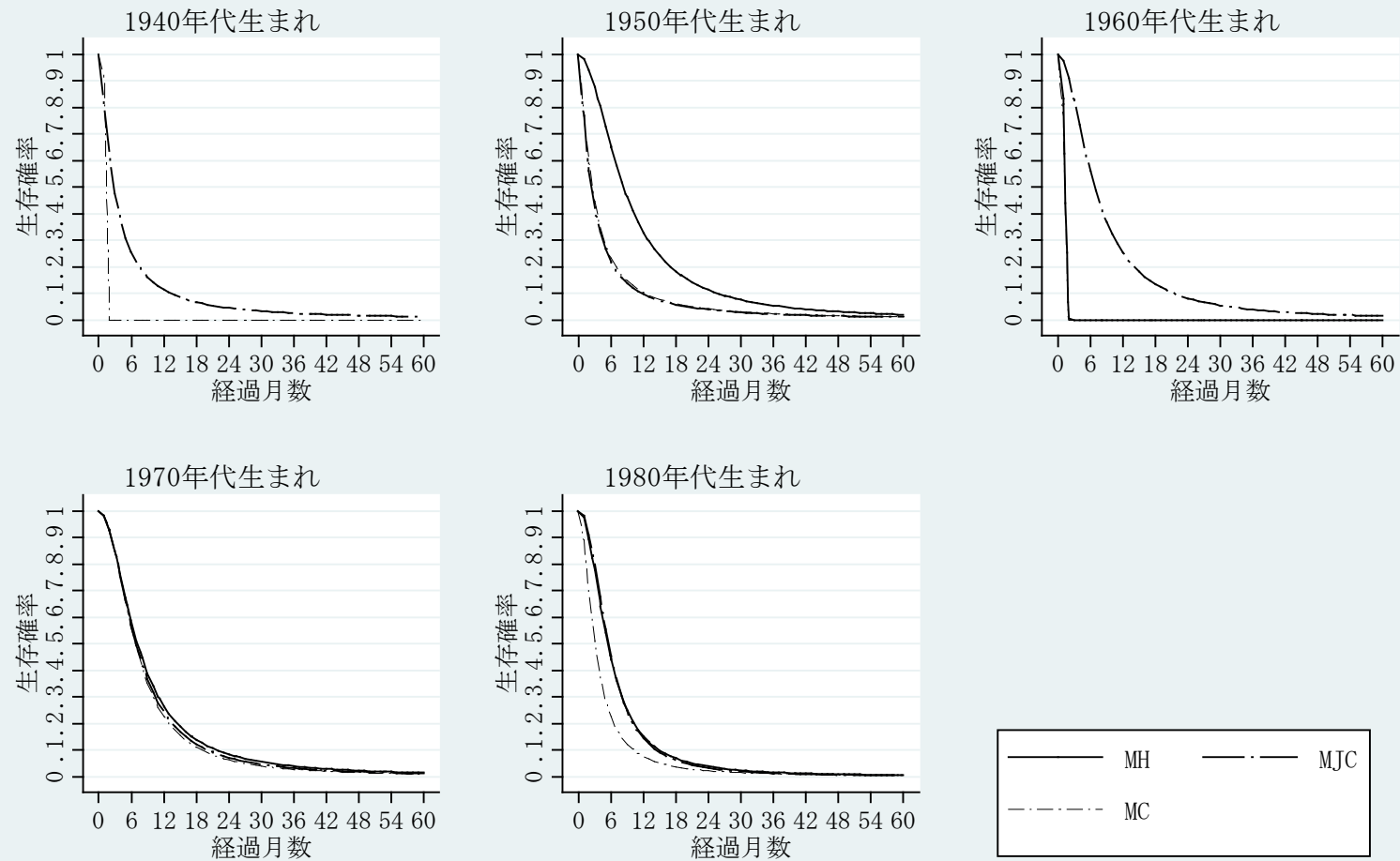


図1-U Uスぺル生存確率（女性）
ストックサンプリングモデル

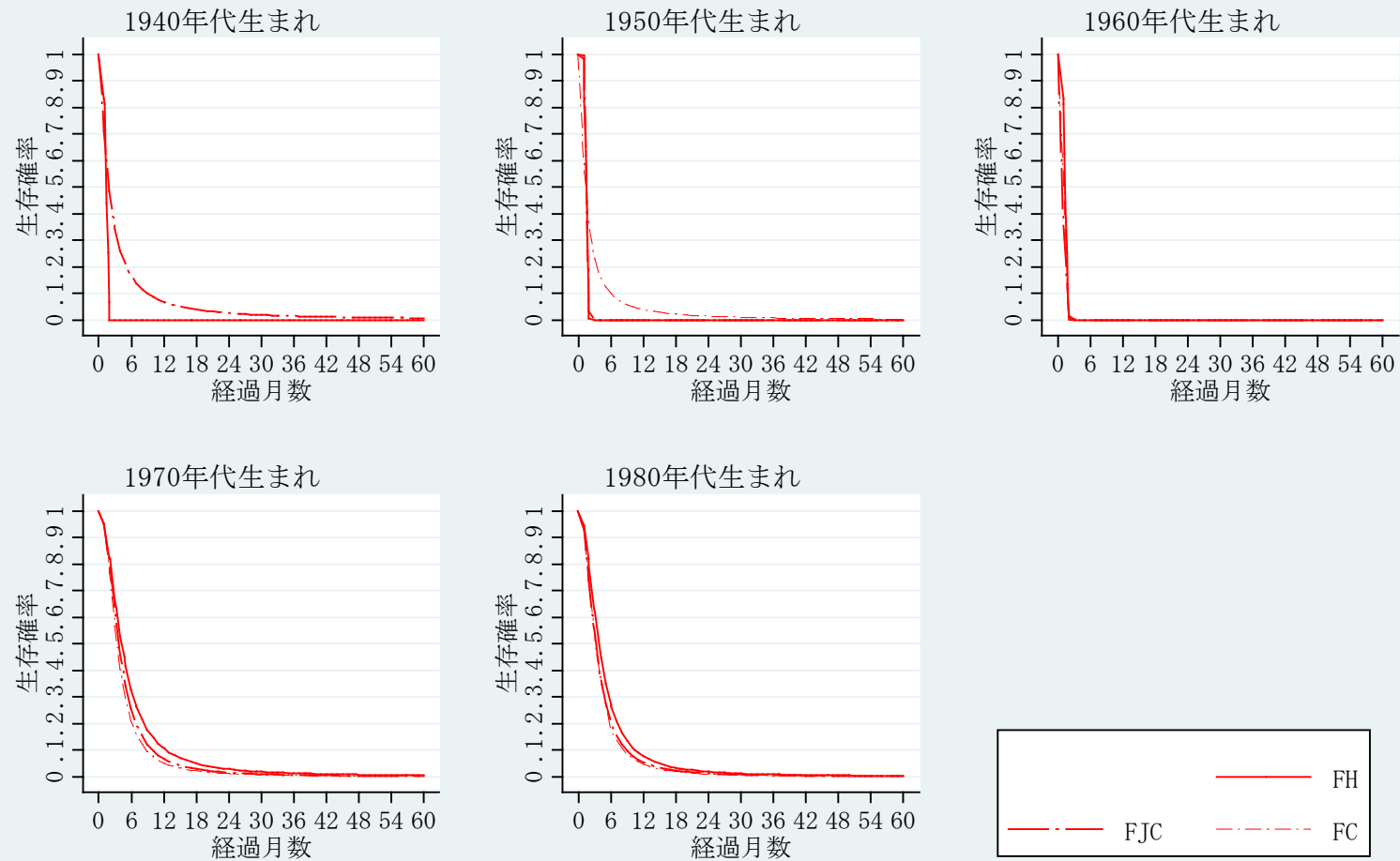


図1-0 0スぺル生存確率（男性）
ストックサンプリングモデル

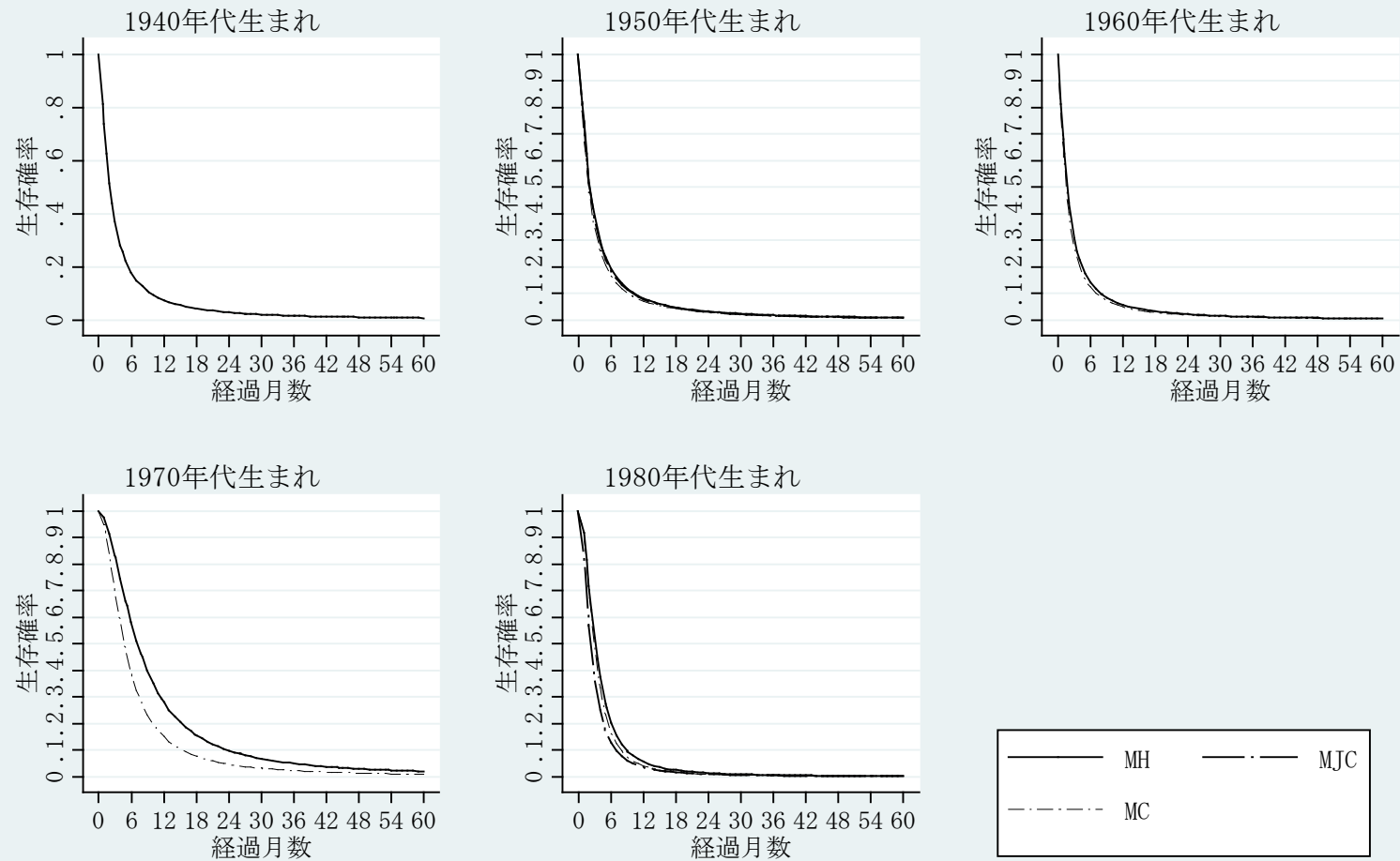


図1-0 0スぺル生存確率（女性）
ストックサンプリングモデル

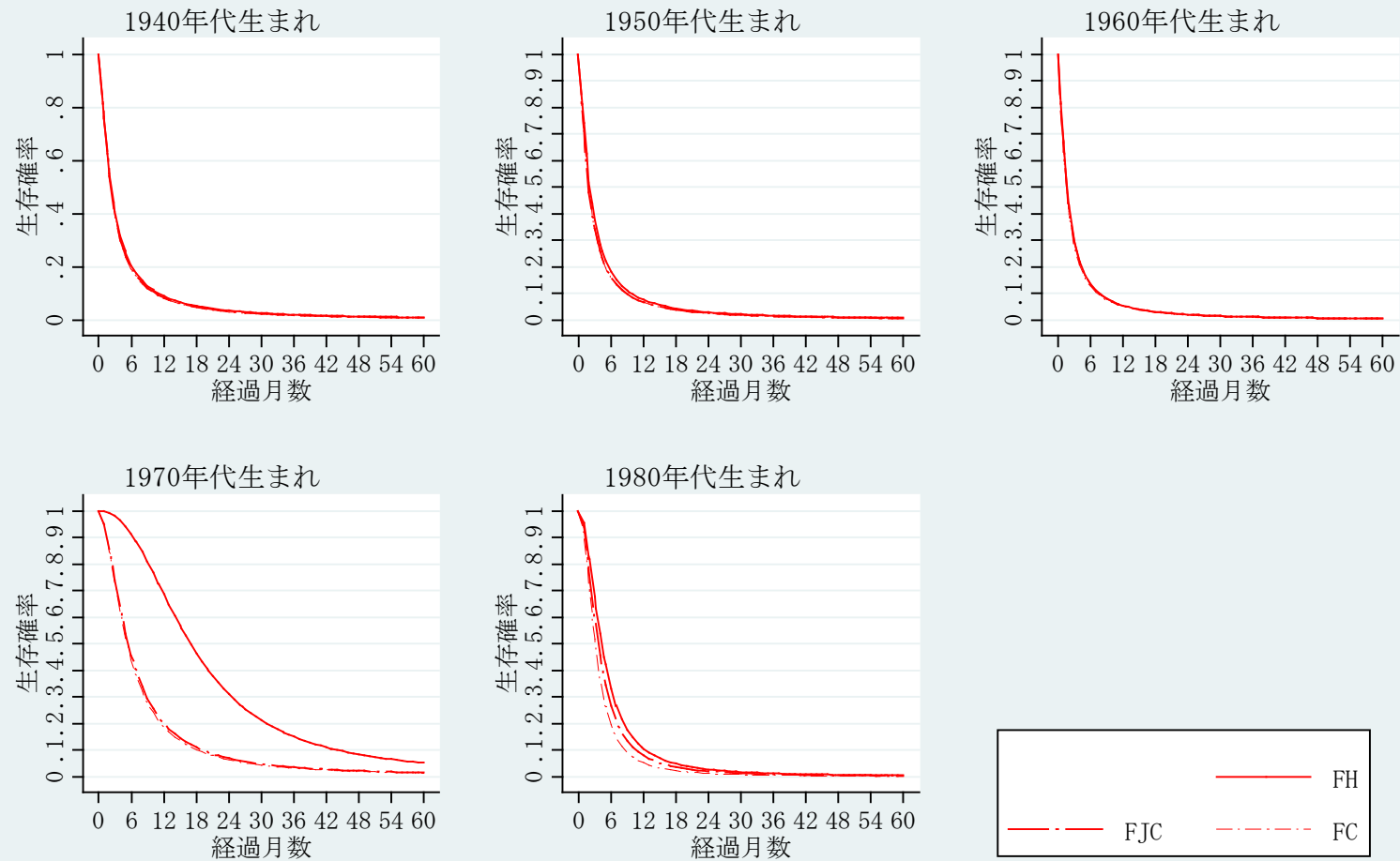


図1-N N スペル生存確率（男性）
ストックサンプリングモデル

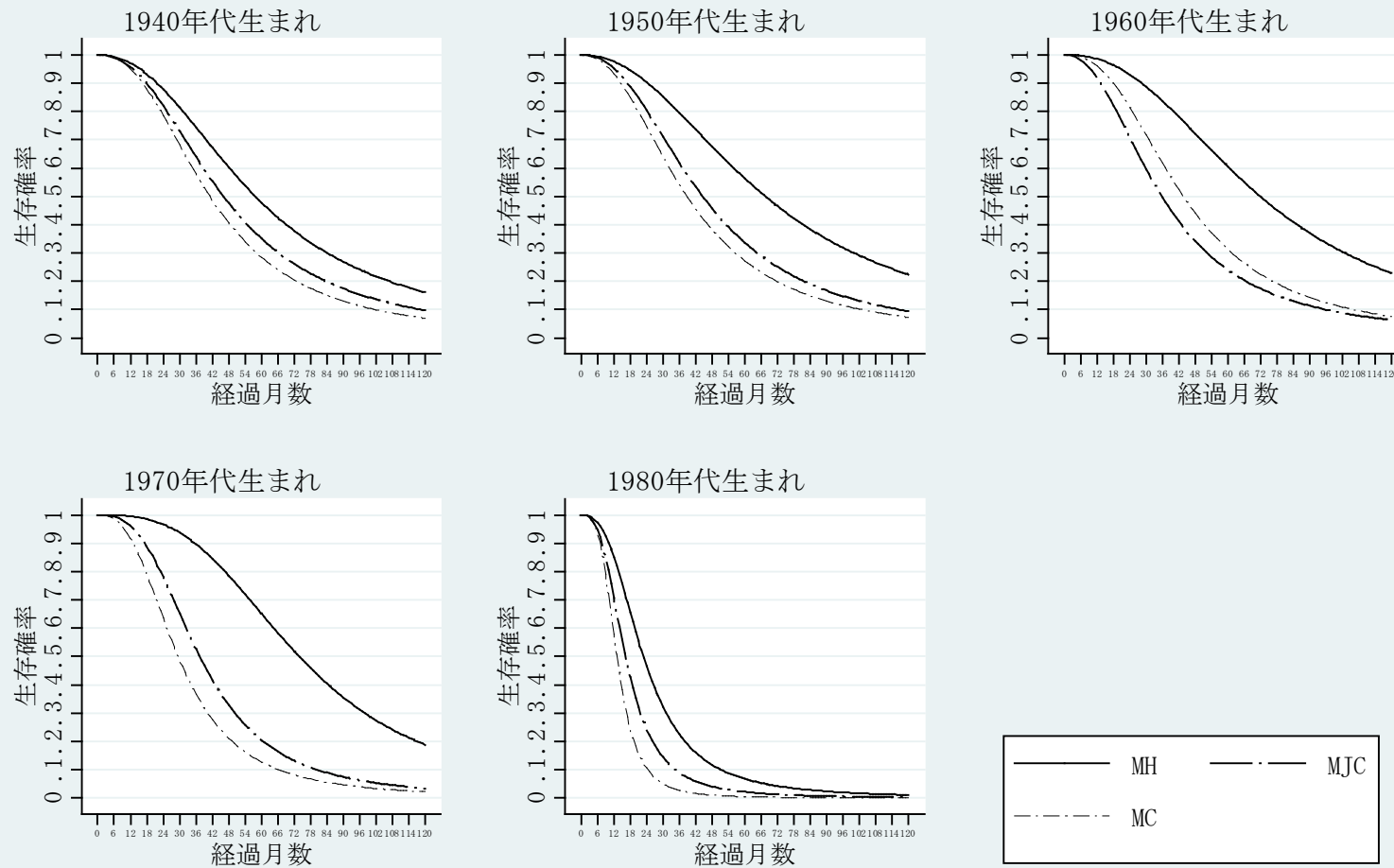


図1-N N スペル生存確率（女性）
ストックサンプリングモデル

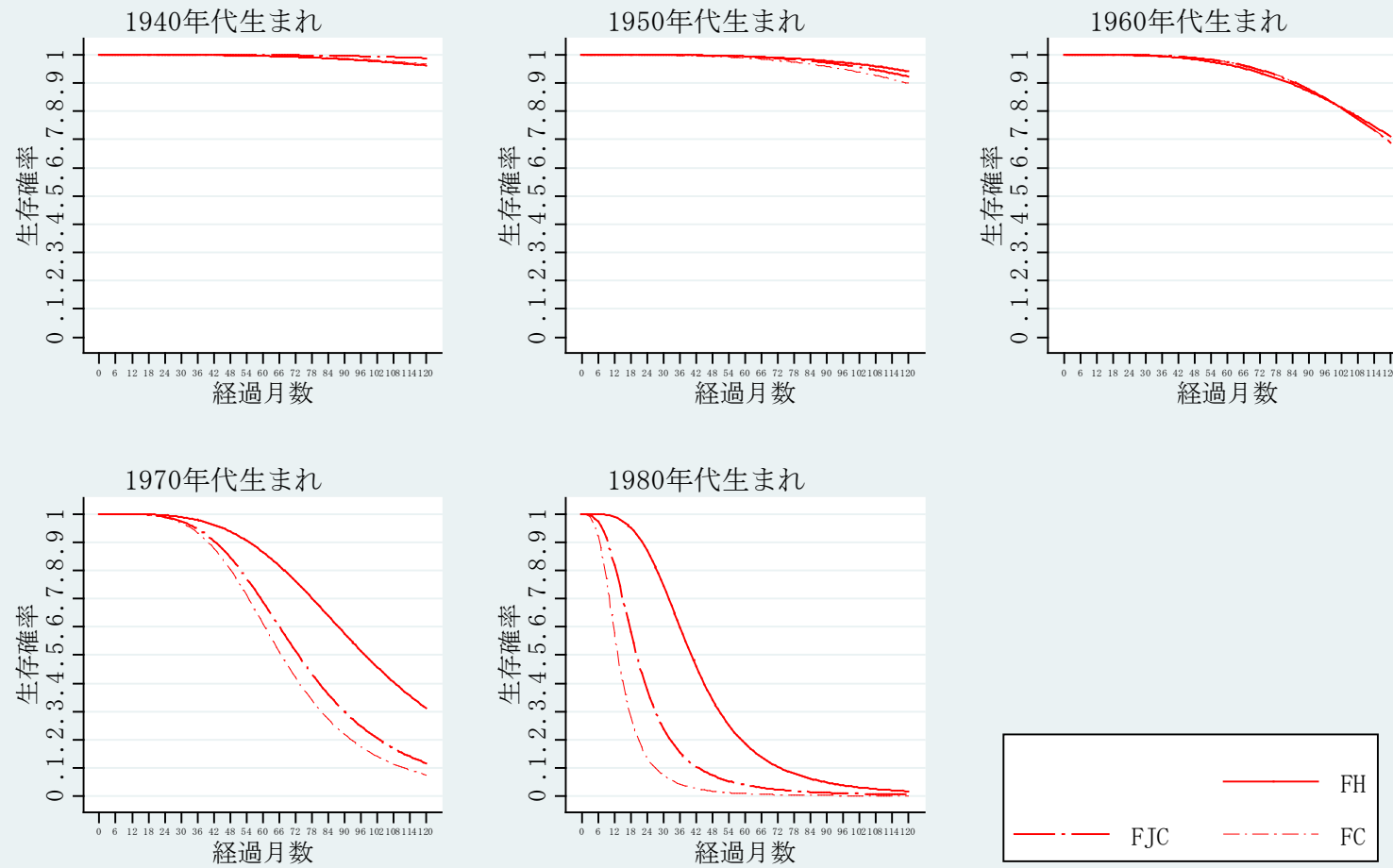


図2-E Eスペル月間ハザード率（男性）
ストックサンプリングモデル

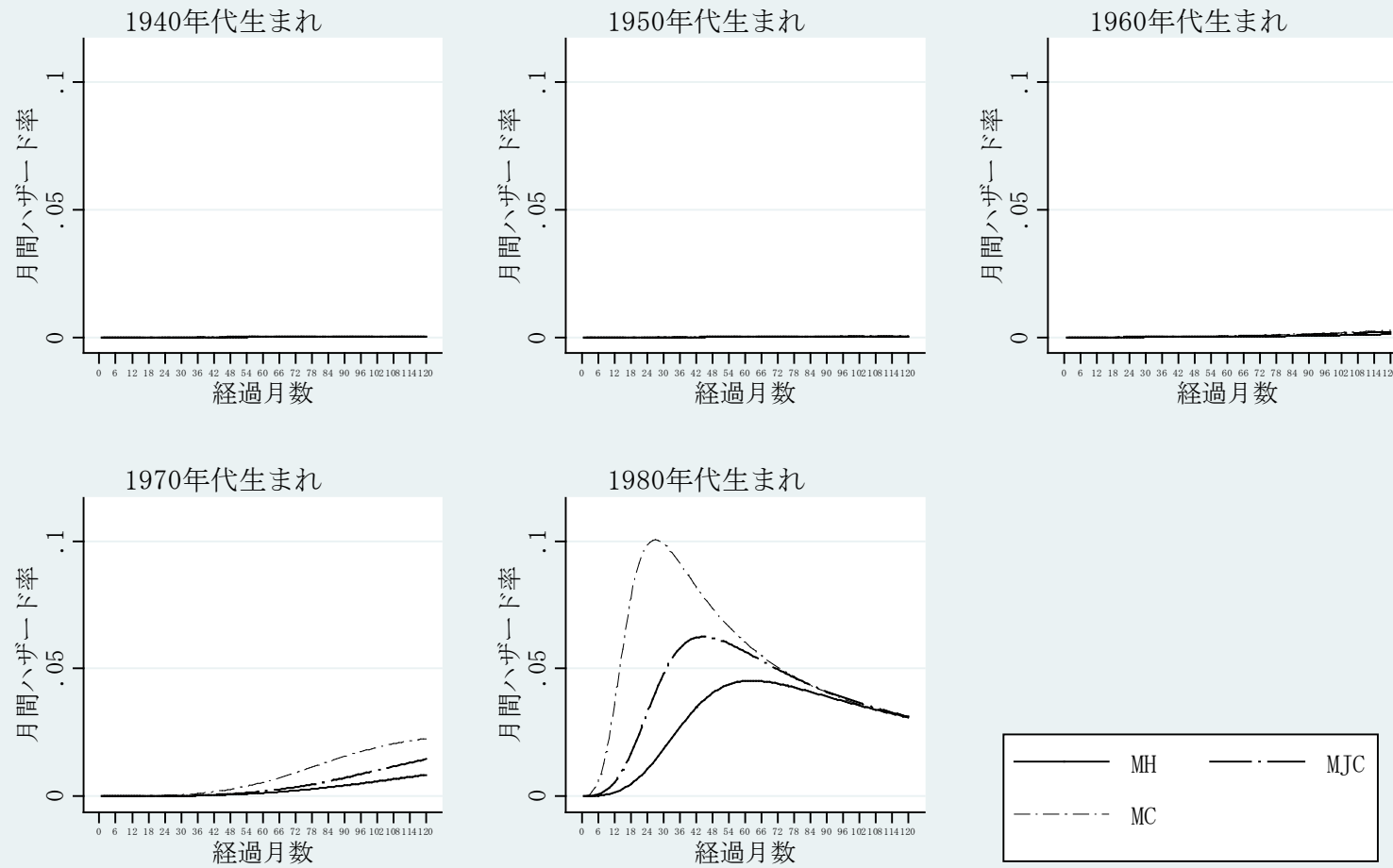


図2-E Eスペル月間ハザード率（女性）
ストックサンプリングモデル

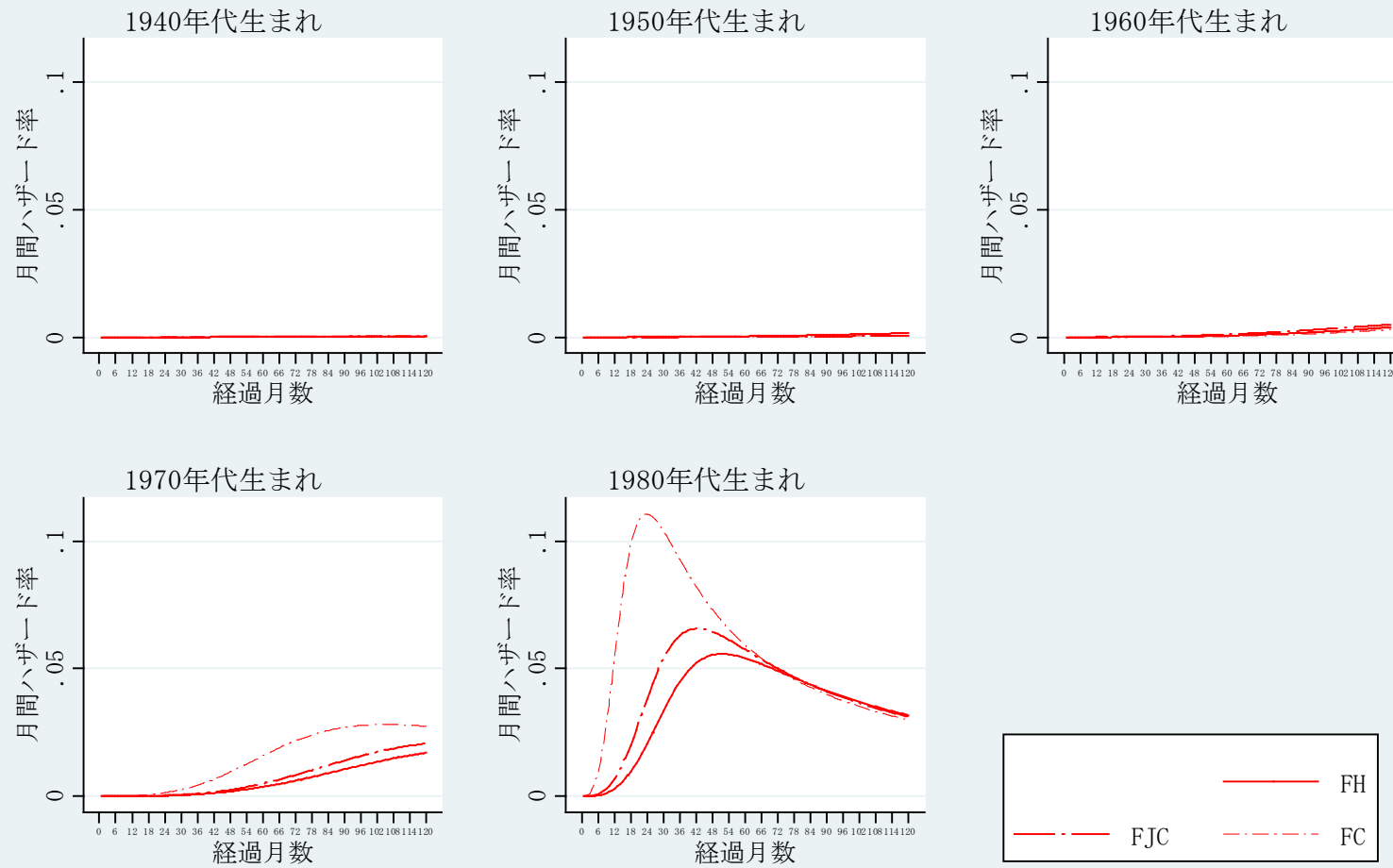


図2-J Jスぺル月間ハザード率（男性）
ストックサンプリングモデル

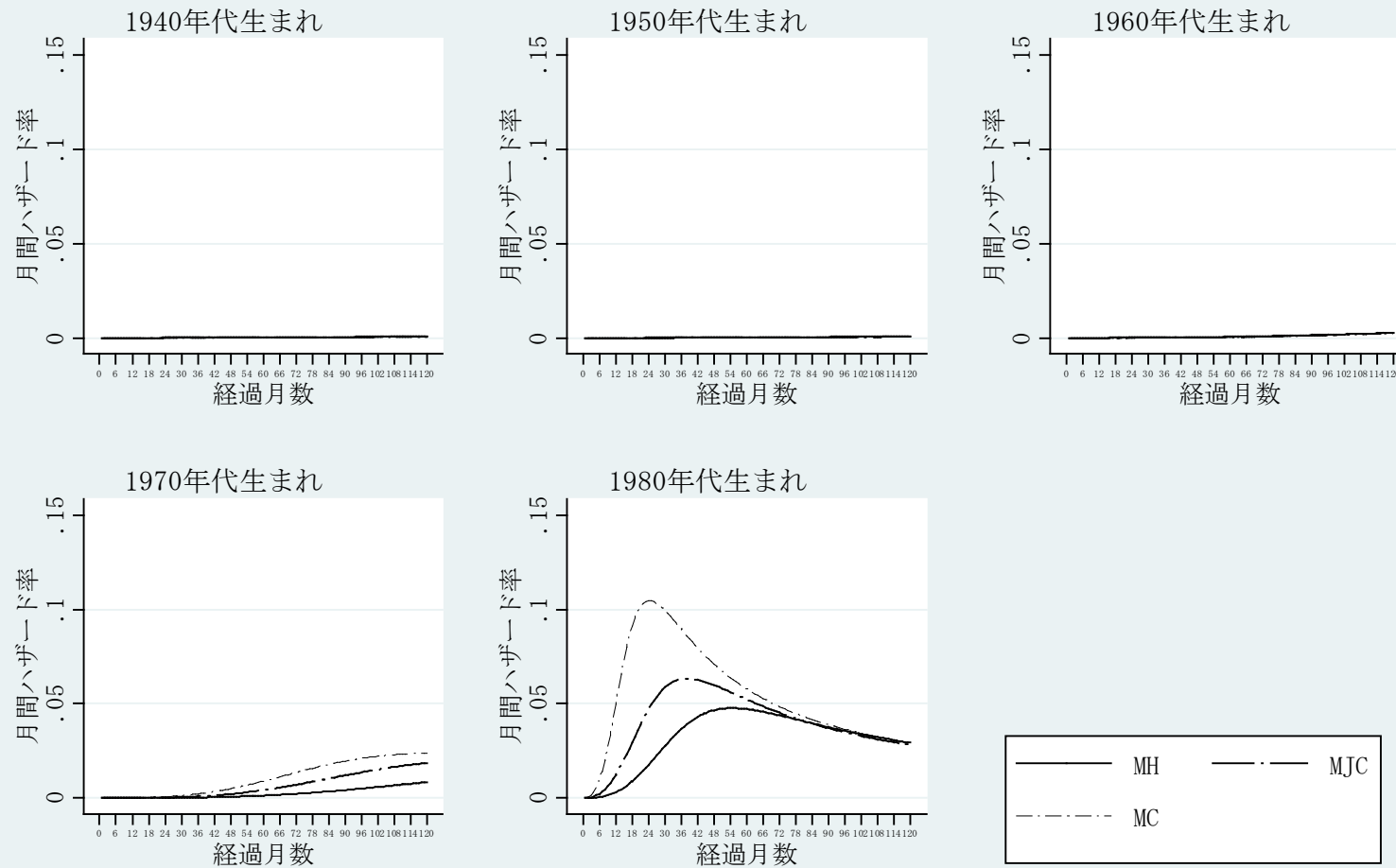


図2-J Jスペル月間ハザード率（女性）
ストックサンプリングモデル

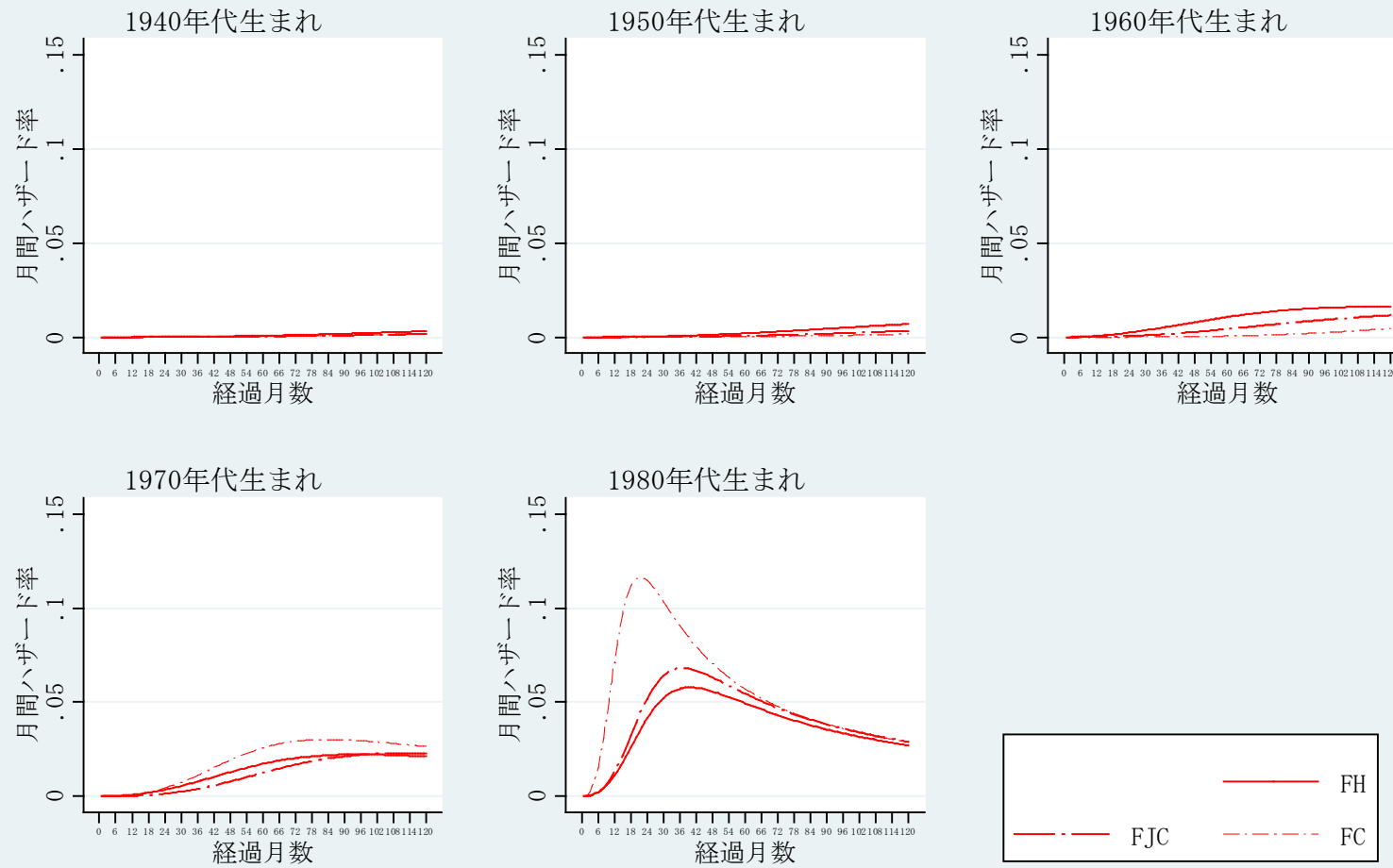


図2-U Uスぺル月間ハザード率（男性）
ストックサンプリングモデル

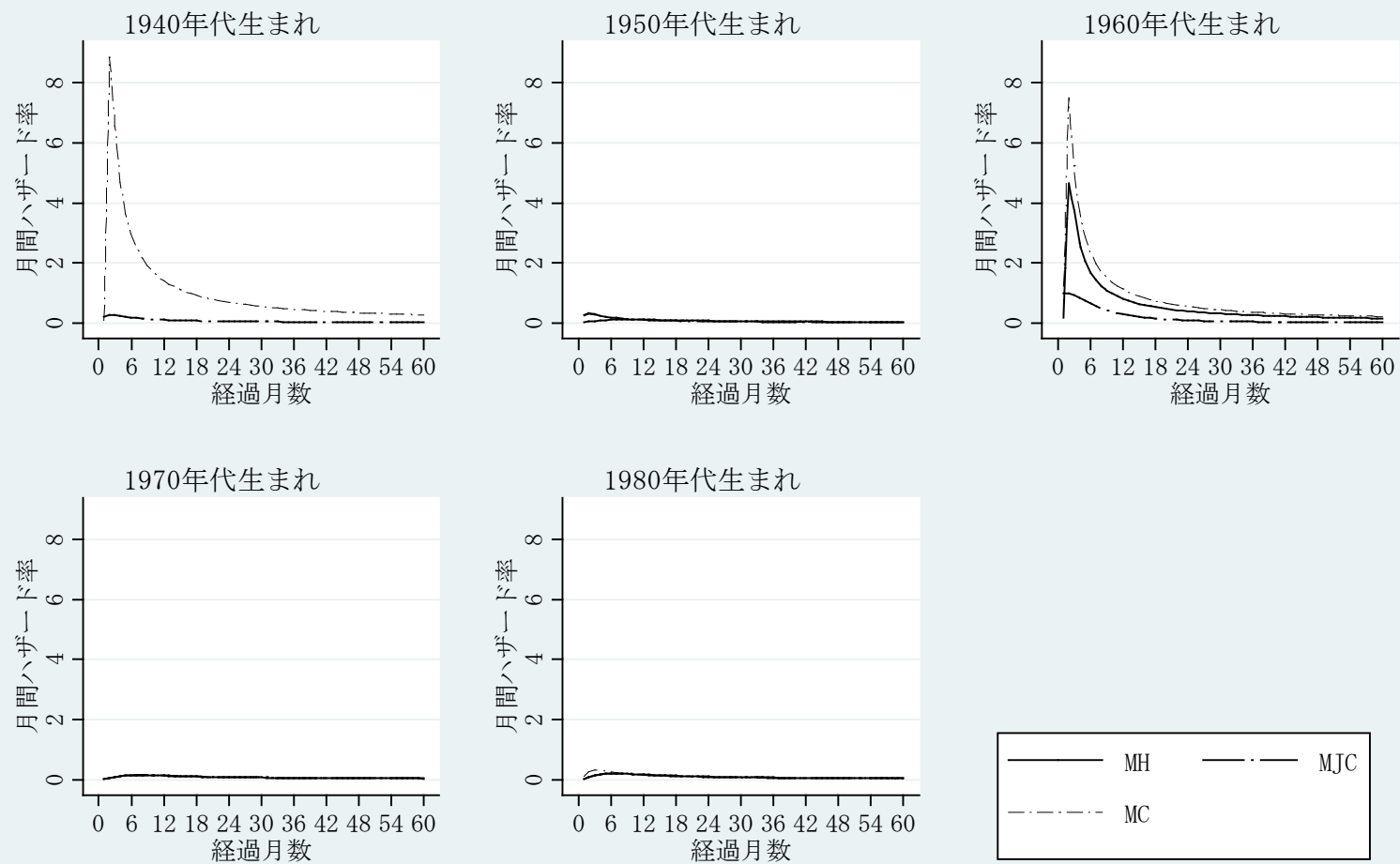


図2-U Uスぺル月間ハザード率（女性）
ストックサンプリングモデル

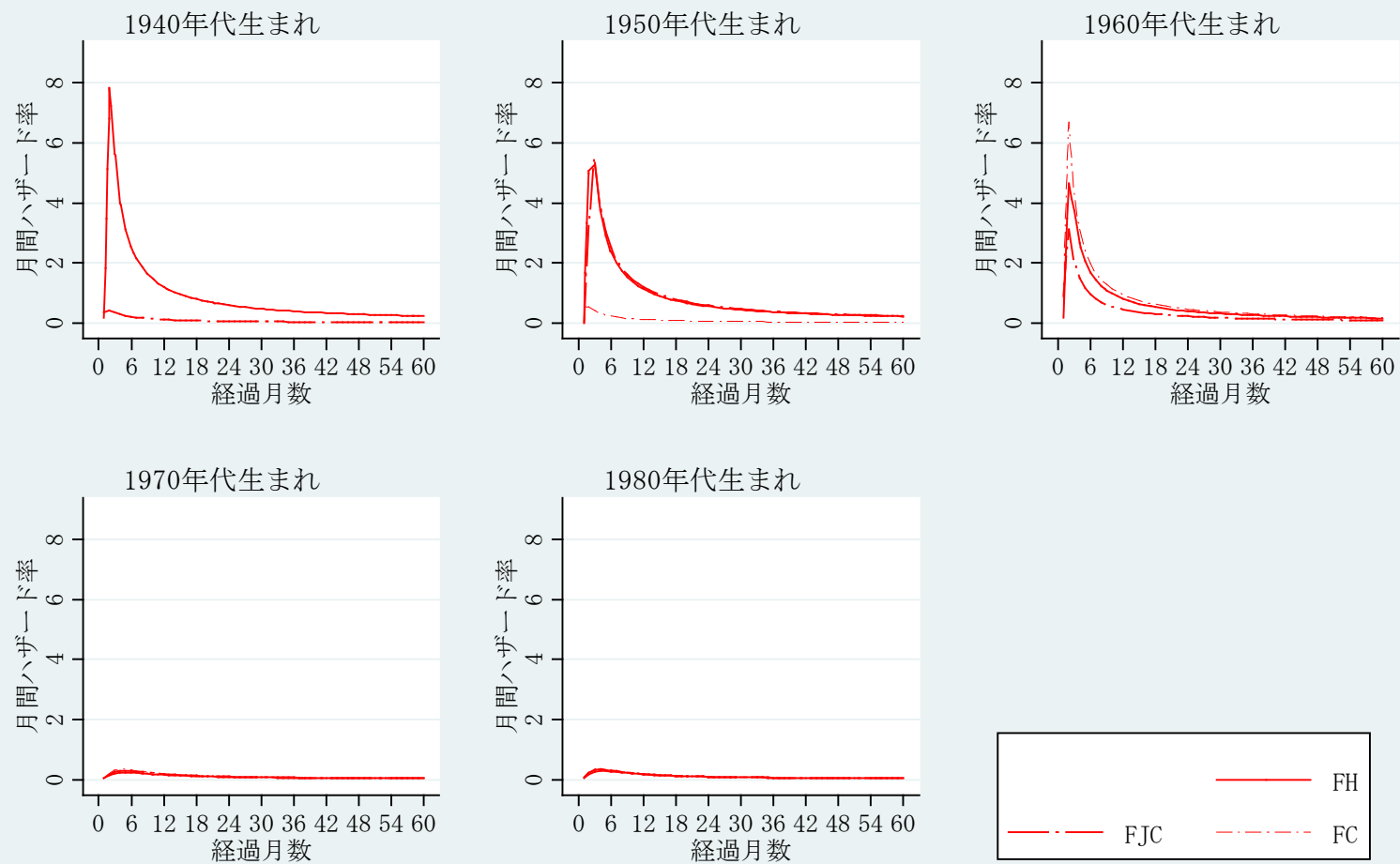


図2-0 0スペル月間ハザード率（男性）
ストックサンプリングモデル

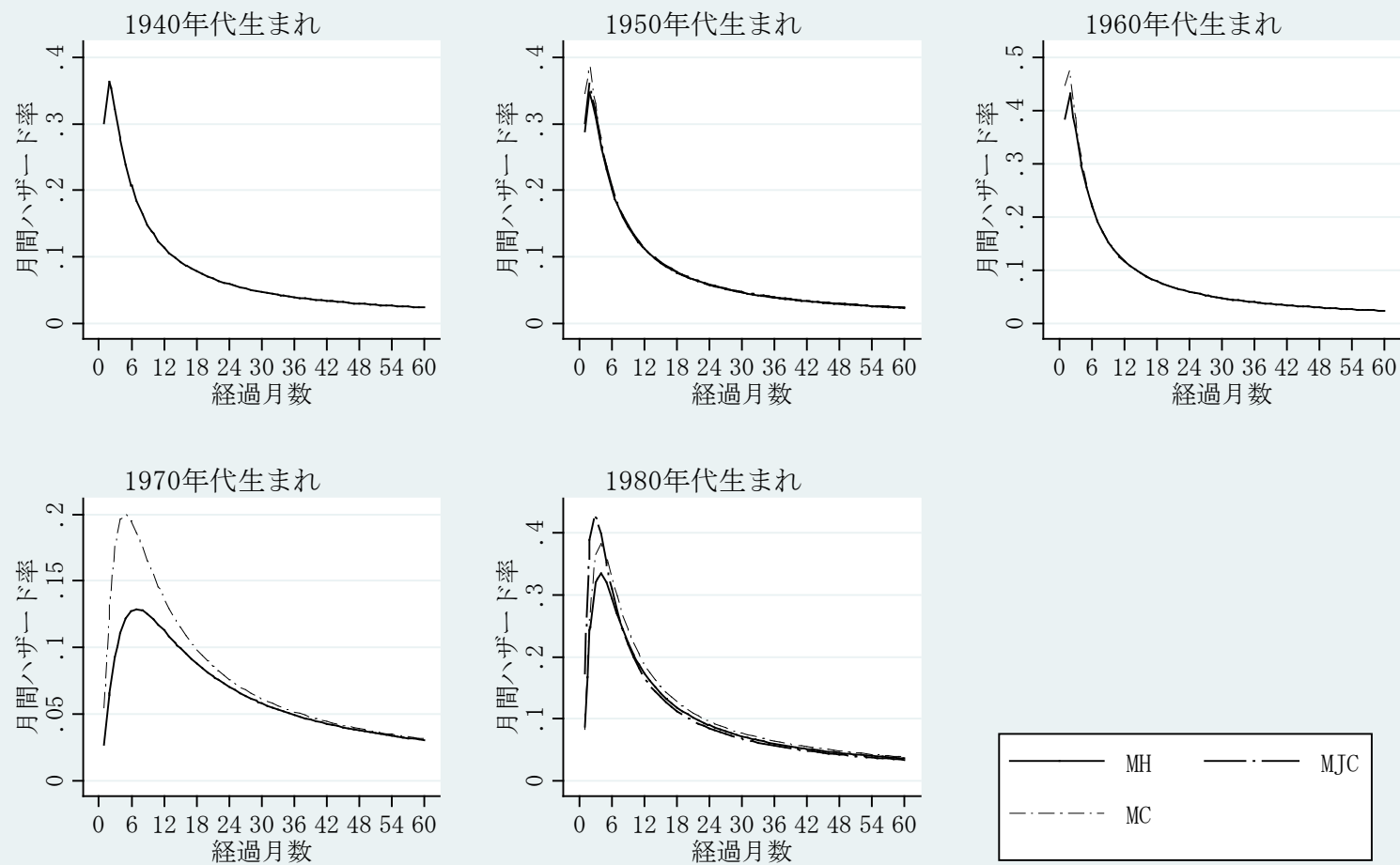


図2-0 0スぺル月間ハザード率（女性）
ストックサンプリングモデル

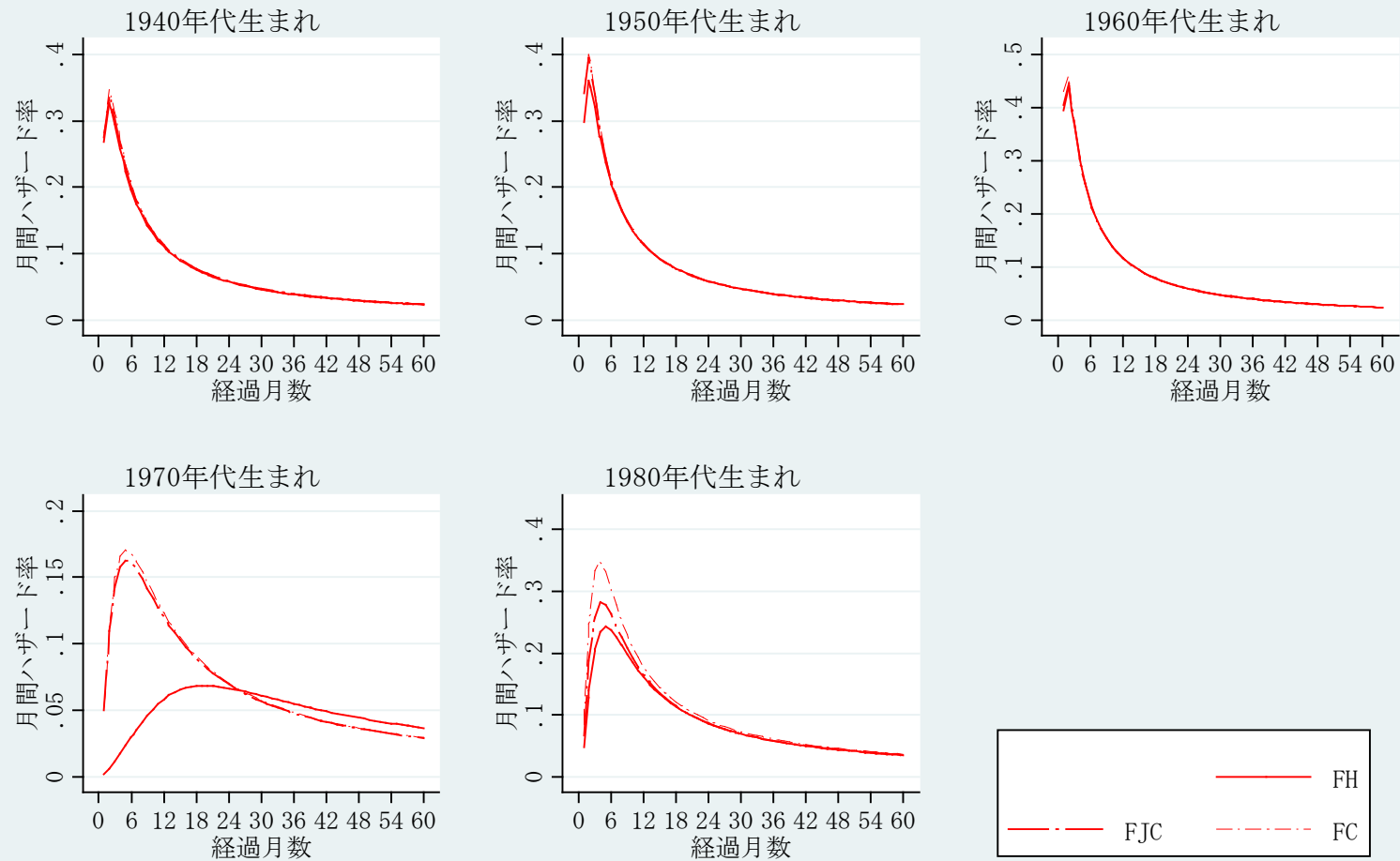


図2-N Nスペル月間ハザード率（男性）
ストックサンプリングモデル

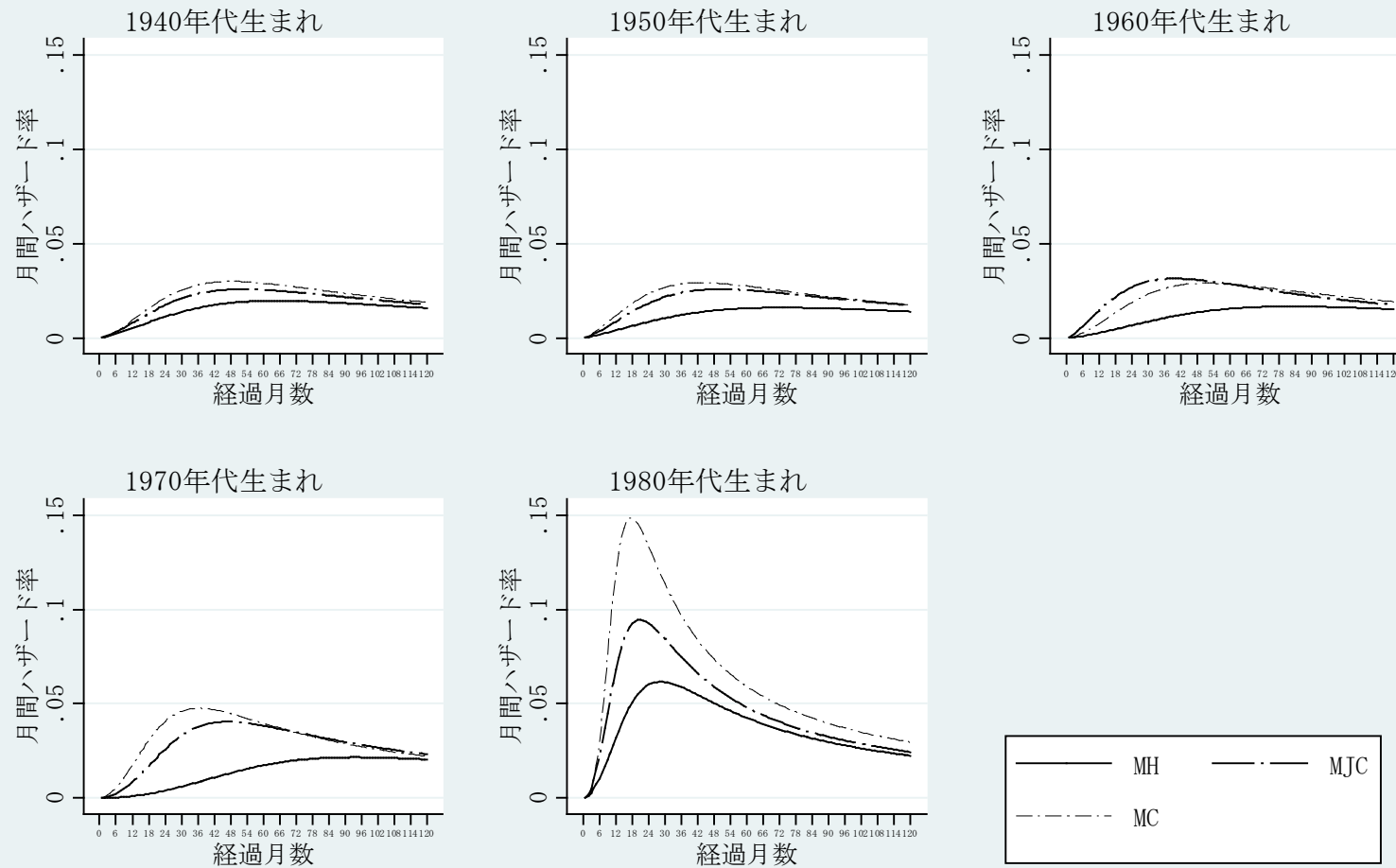


図2-N Nスペル月間ハザード率（女性）
ストックサンプリングモデル

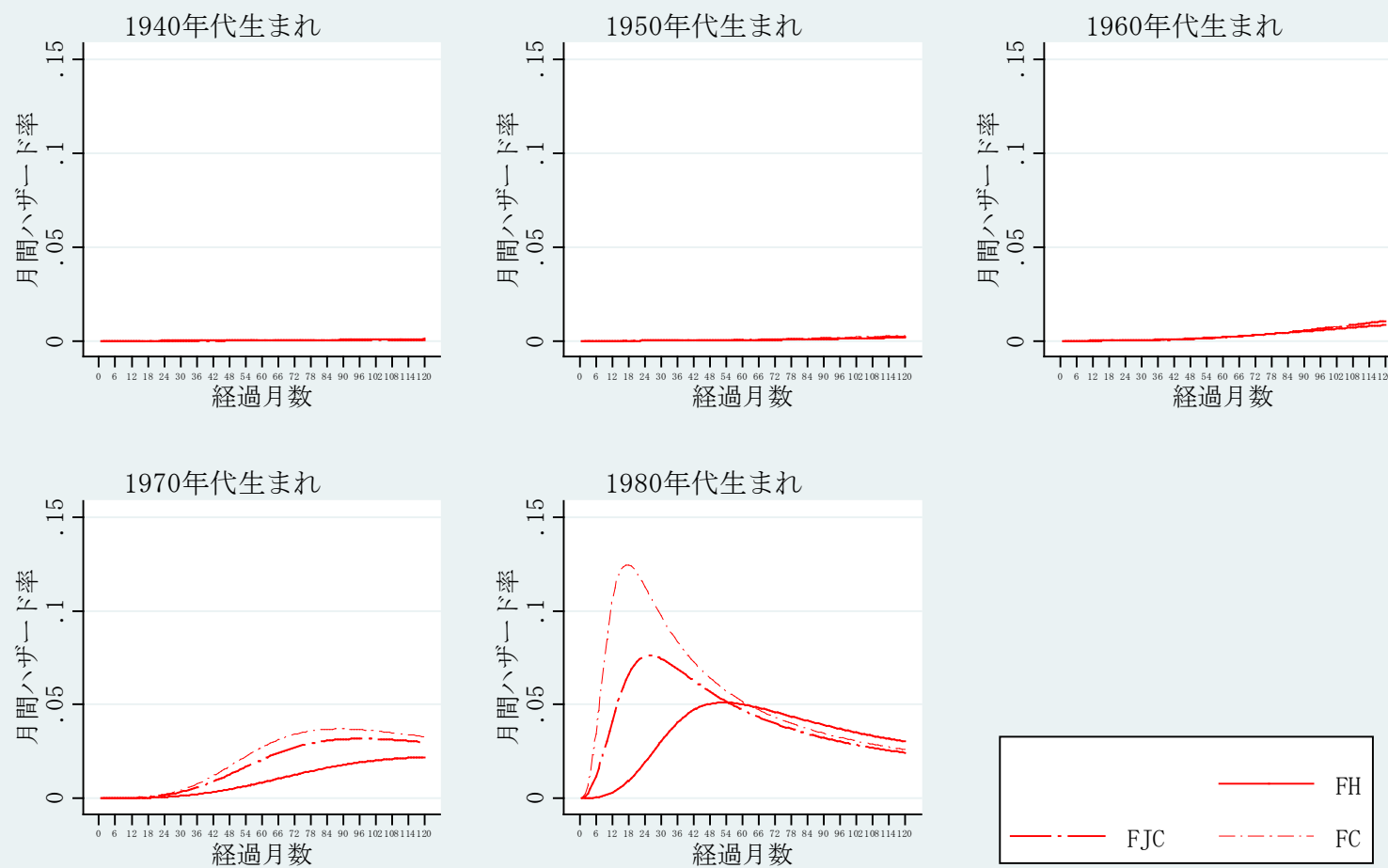


図3-N Nスペル生存確率（男性）
フローサンプリングモデル1

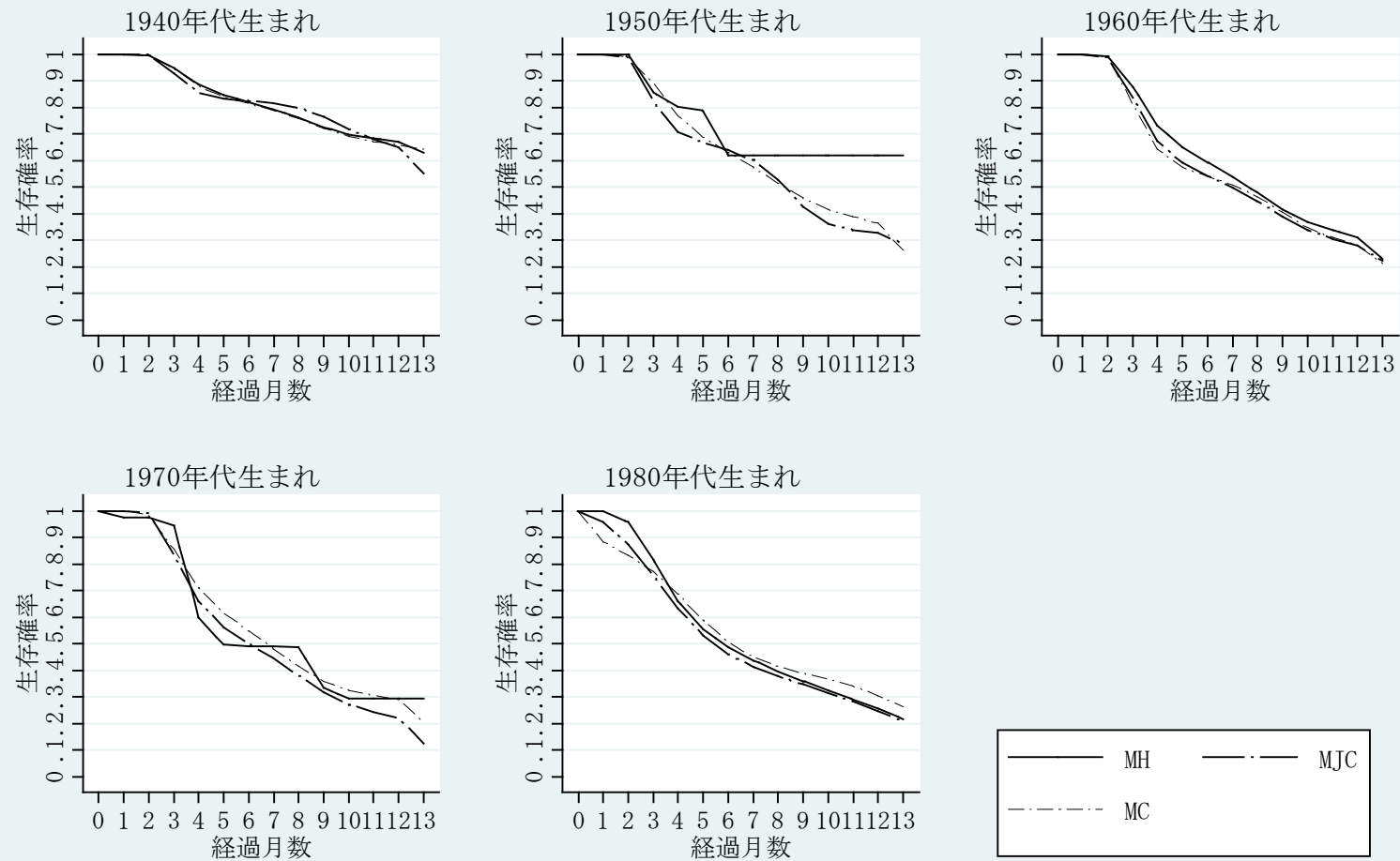


図3-N Nスペル生存確率（女性）
フローサンプリングモデル1

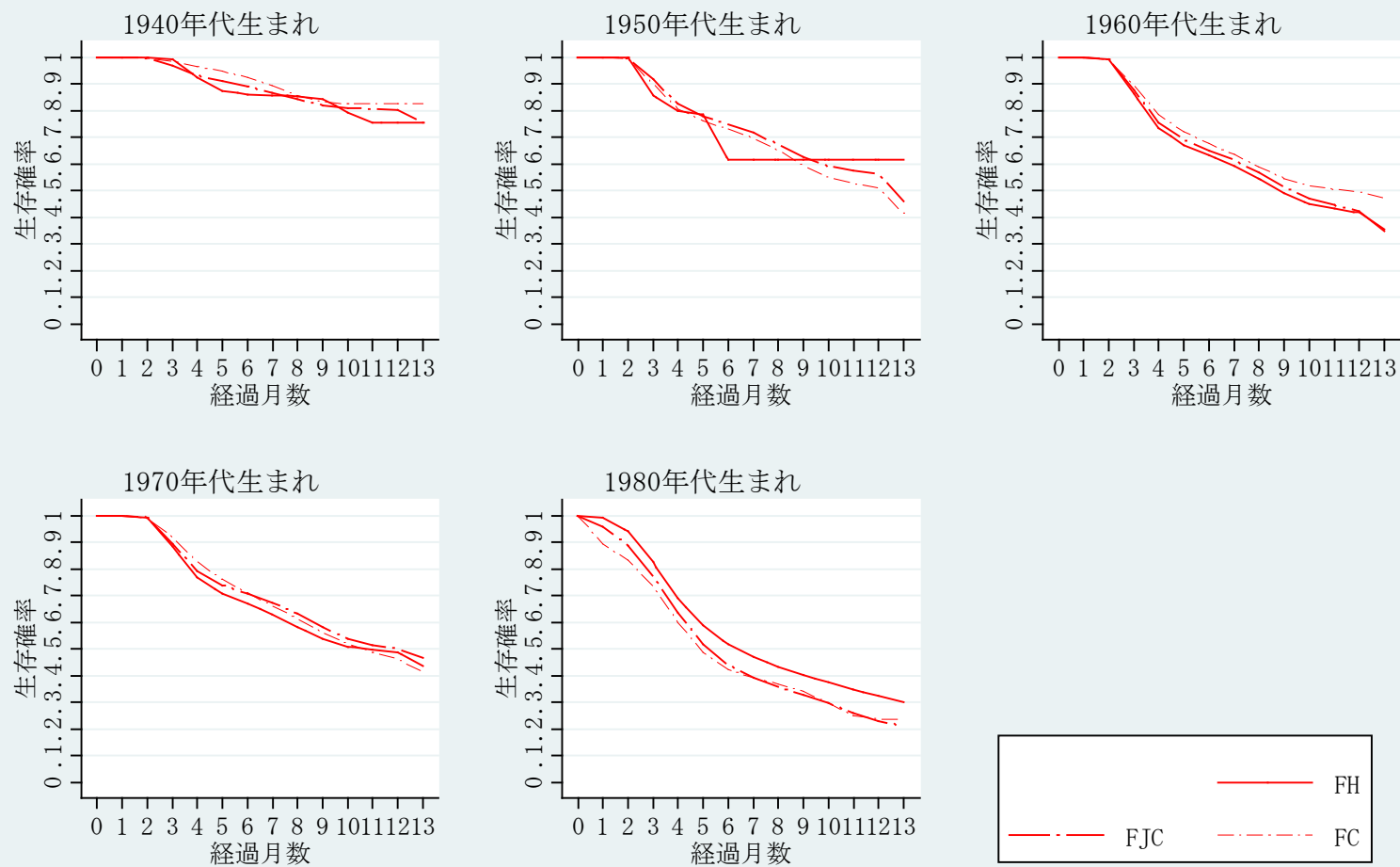


図4-N Nスペル月間ハザード率（男性）

フローサンプリングモデル1

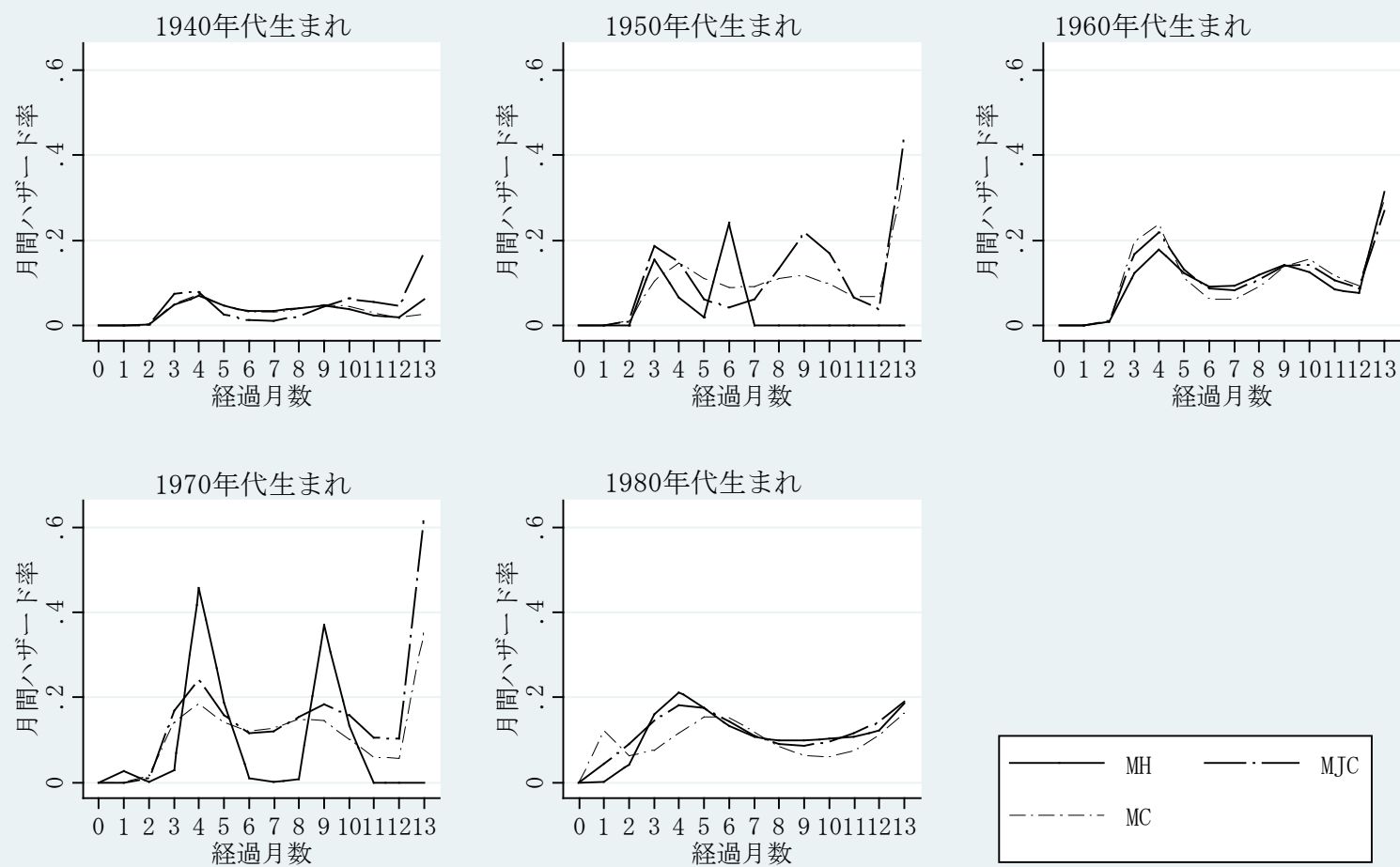


図4-N Nスペル月間ハザード率（女性）

フローサンプリングモデル1

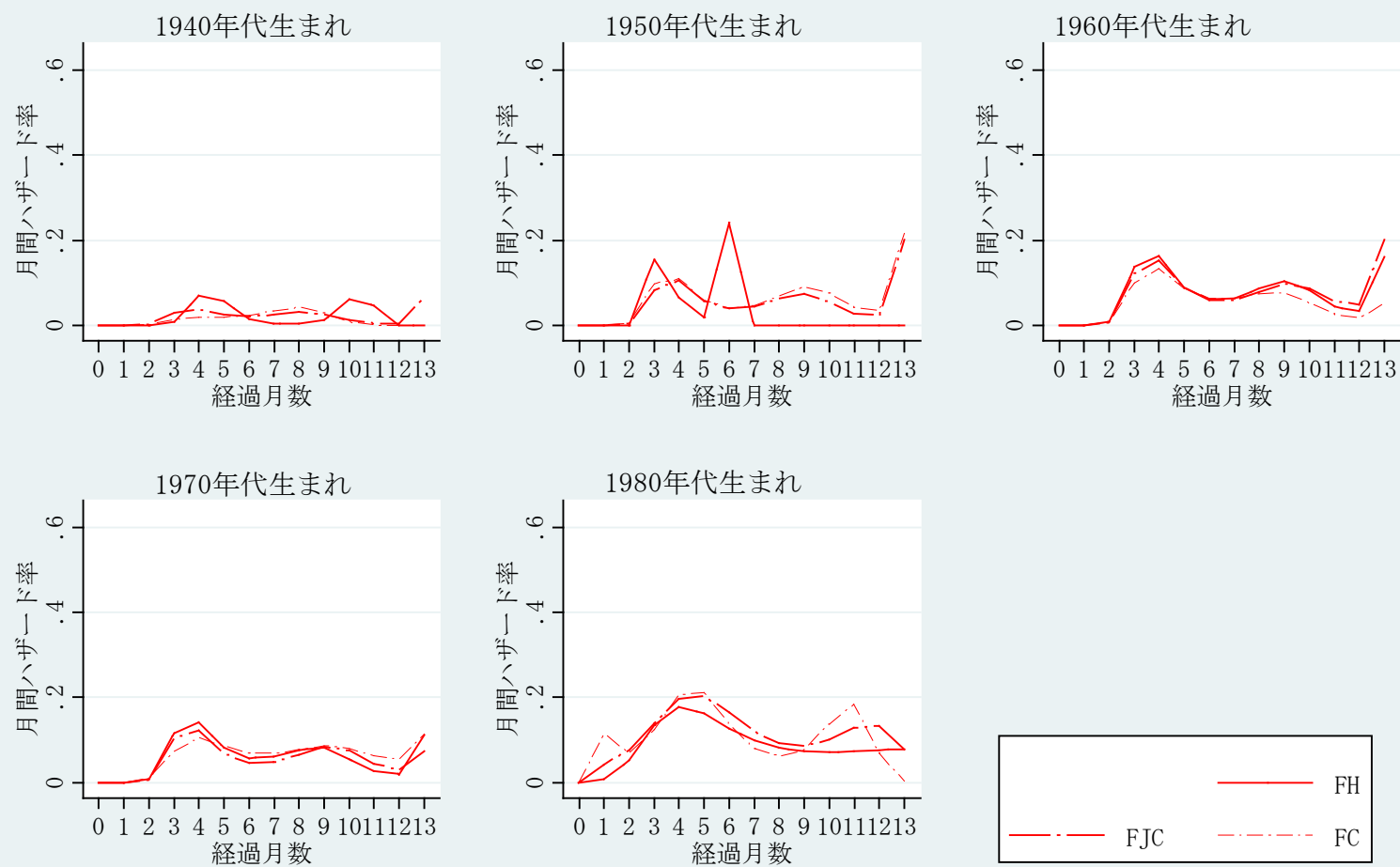


図3A-N Nスペル生存確率（男性）
フローサンプリングモデル1

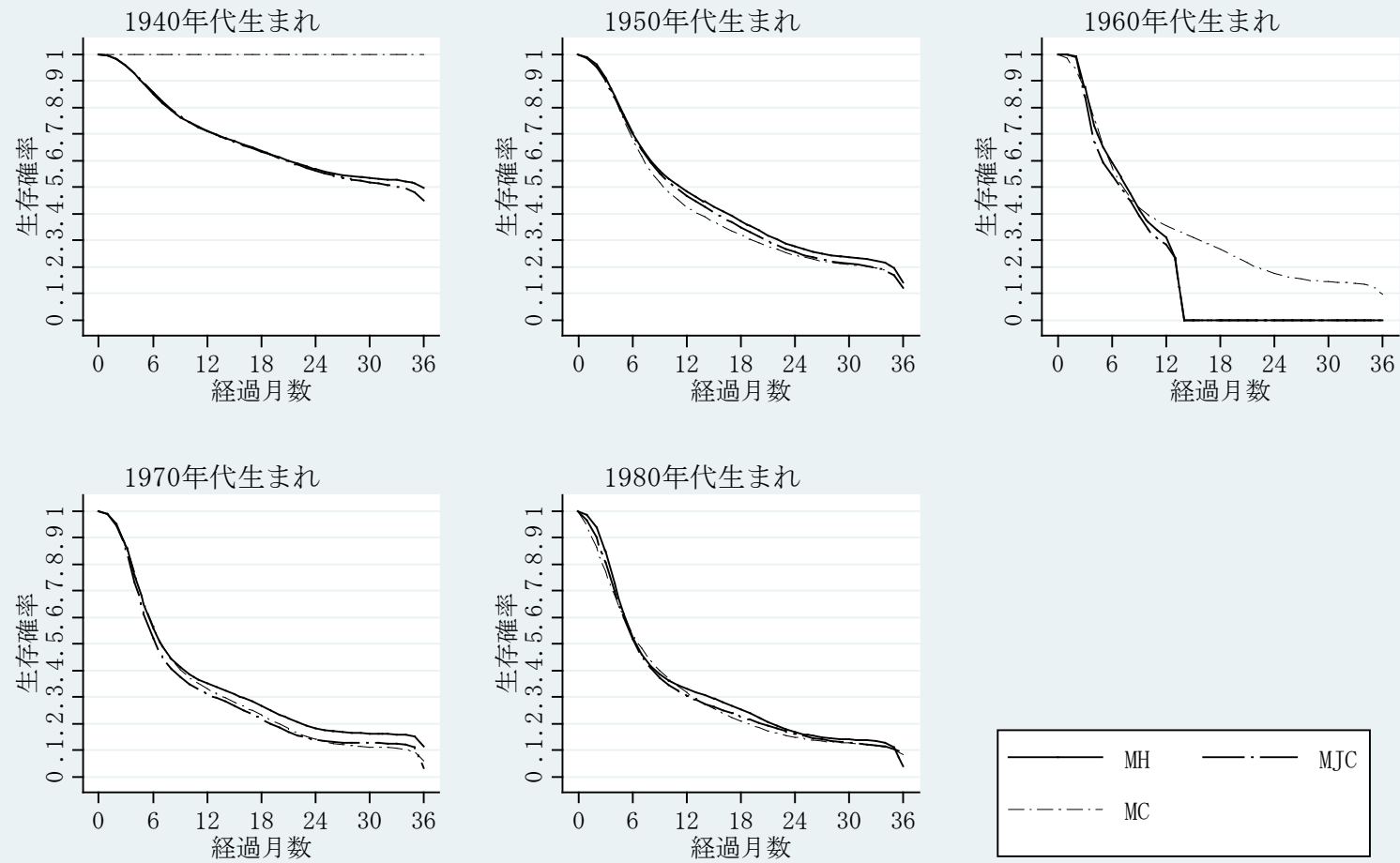


図3A-N Nスペル生存確率（女性）
フローサンプリングモデル1

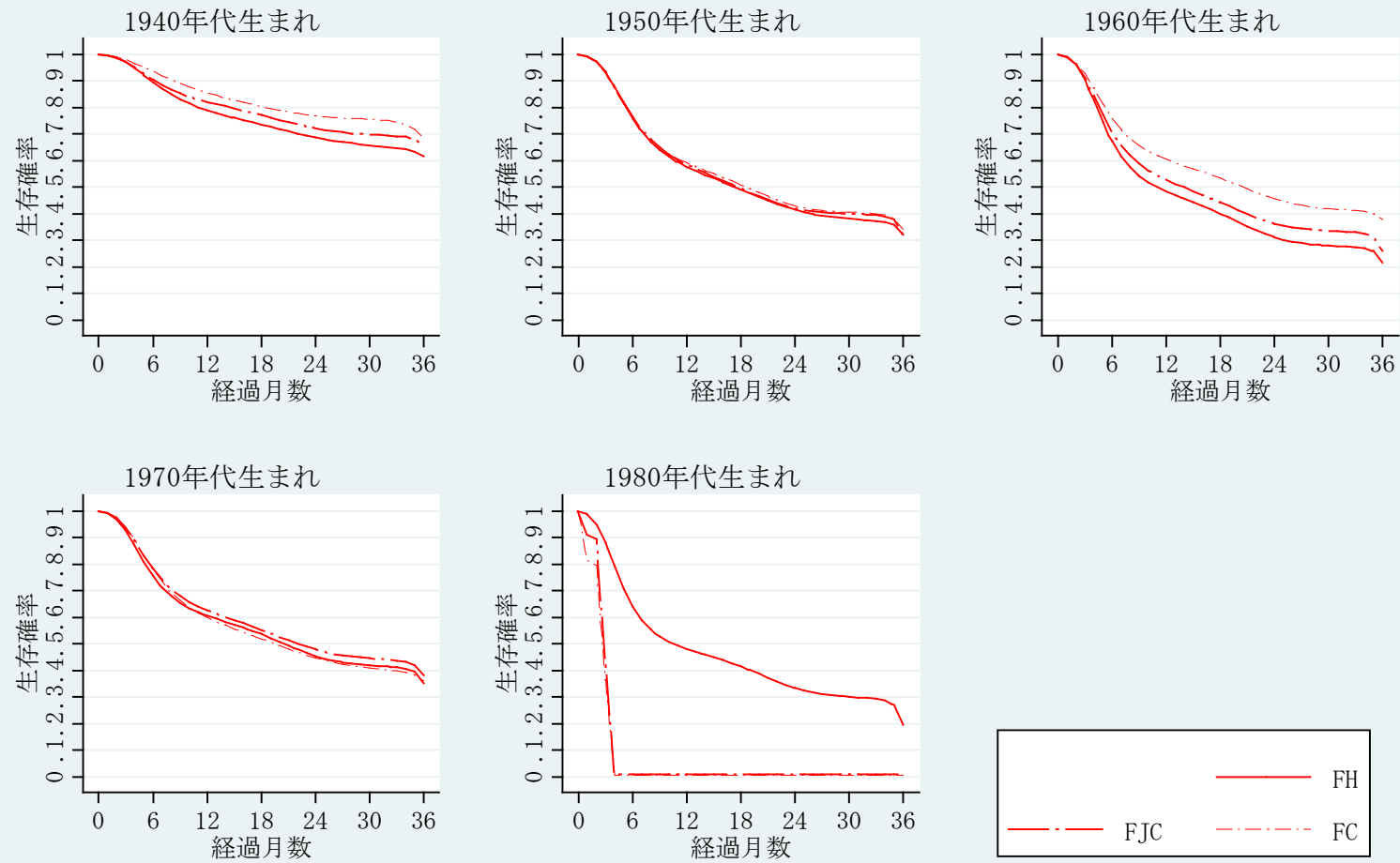


図4A-N Nスペル月間ハザード率（男性）
フローサンプリングモデル1

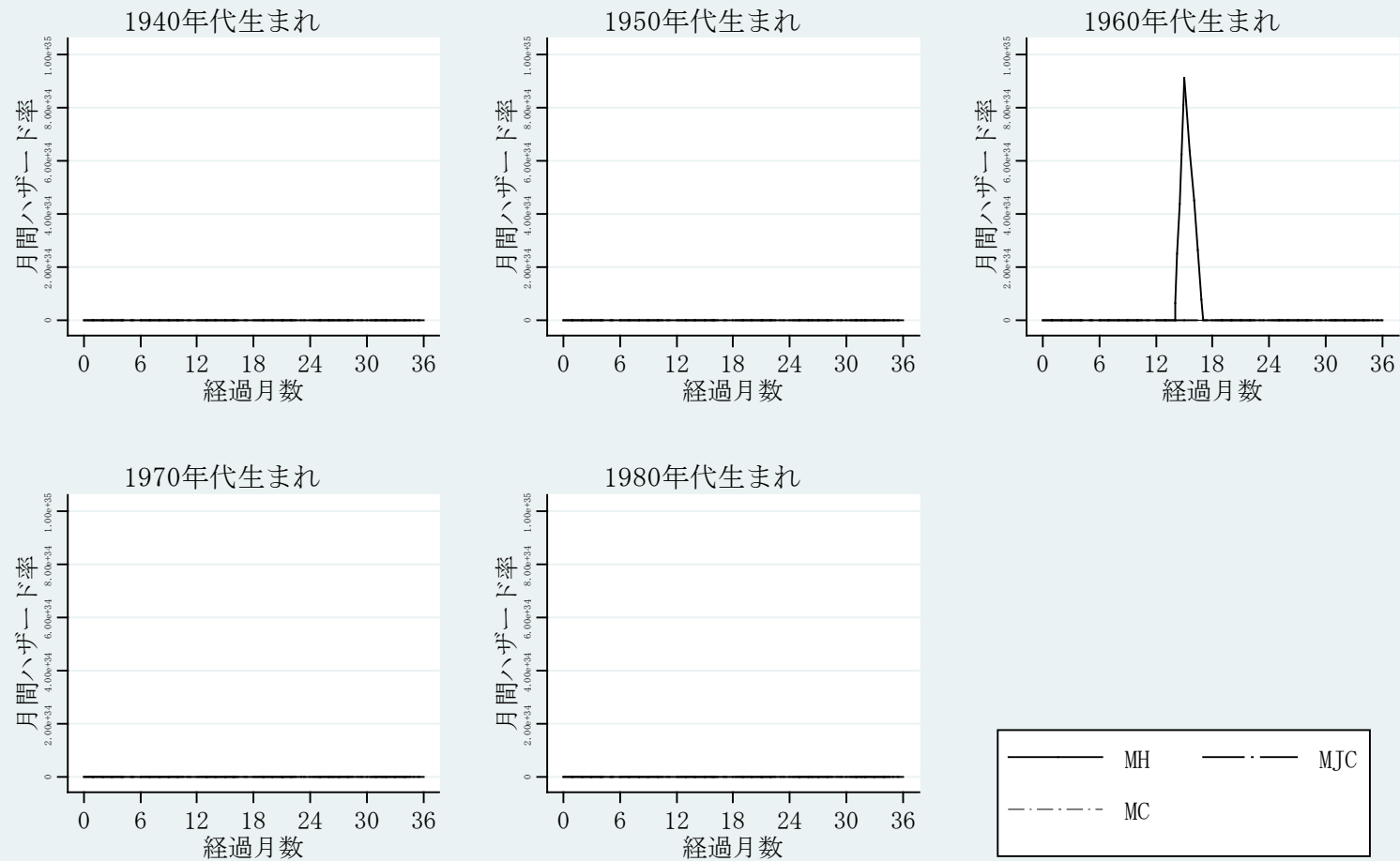


図4A-N Nスペル月間ハザード率（女性）
フローサンプリングモデル1

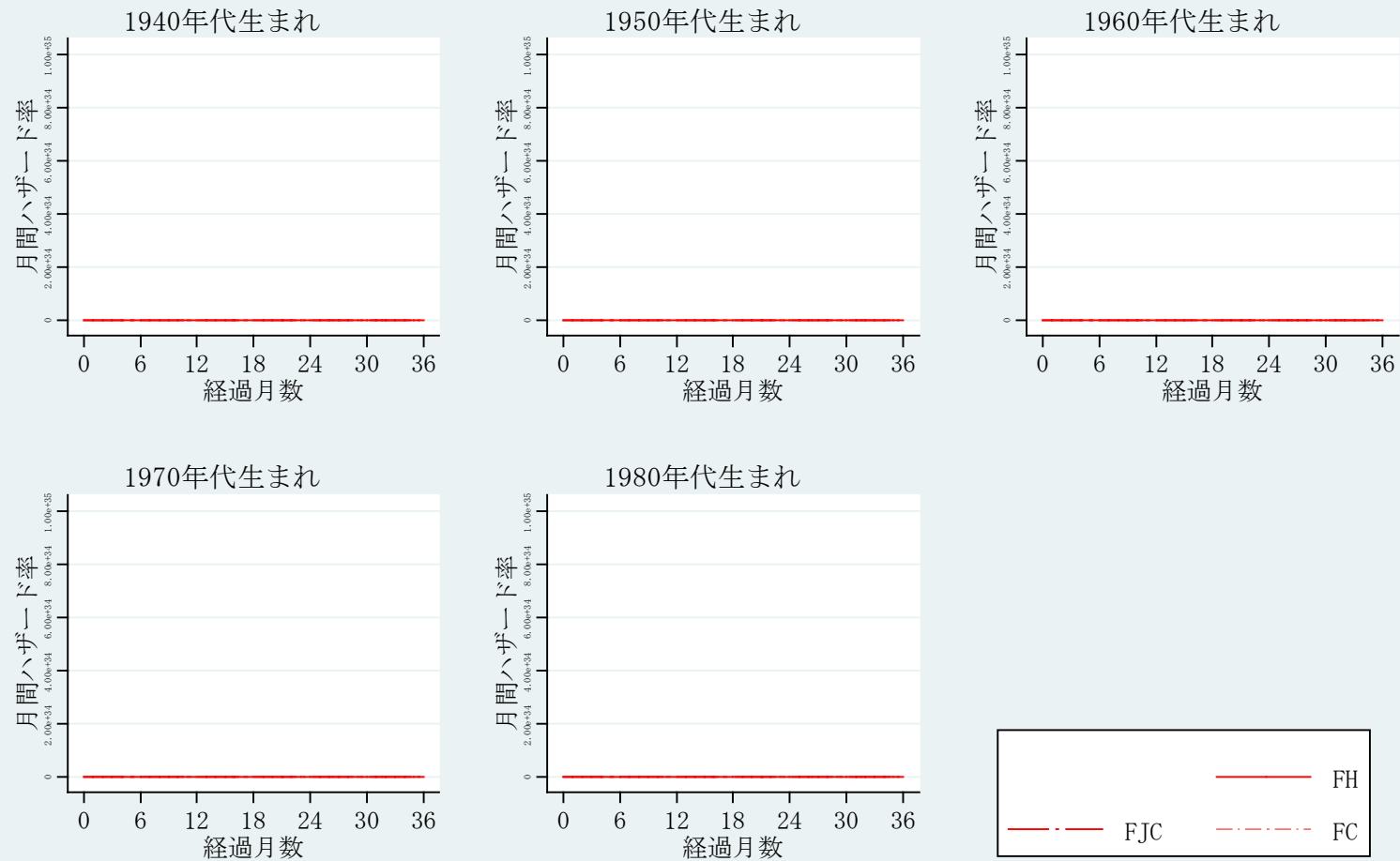


図5-N Nスペル生存確率（男性）
フローサンプリングモデル2

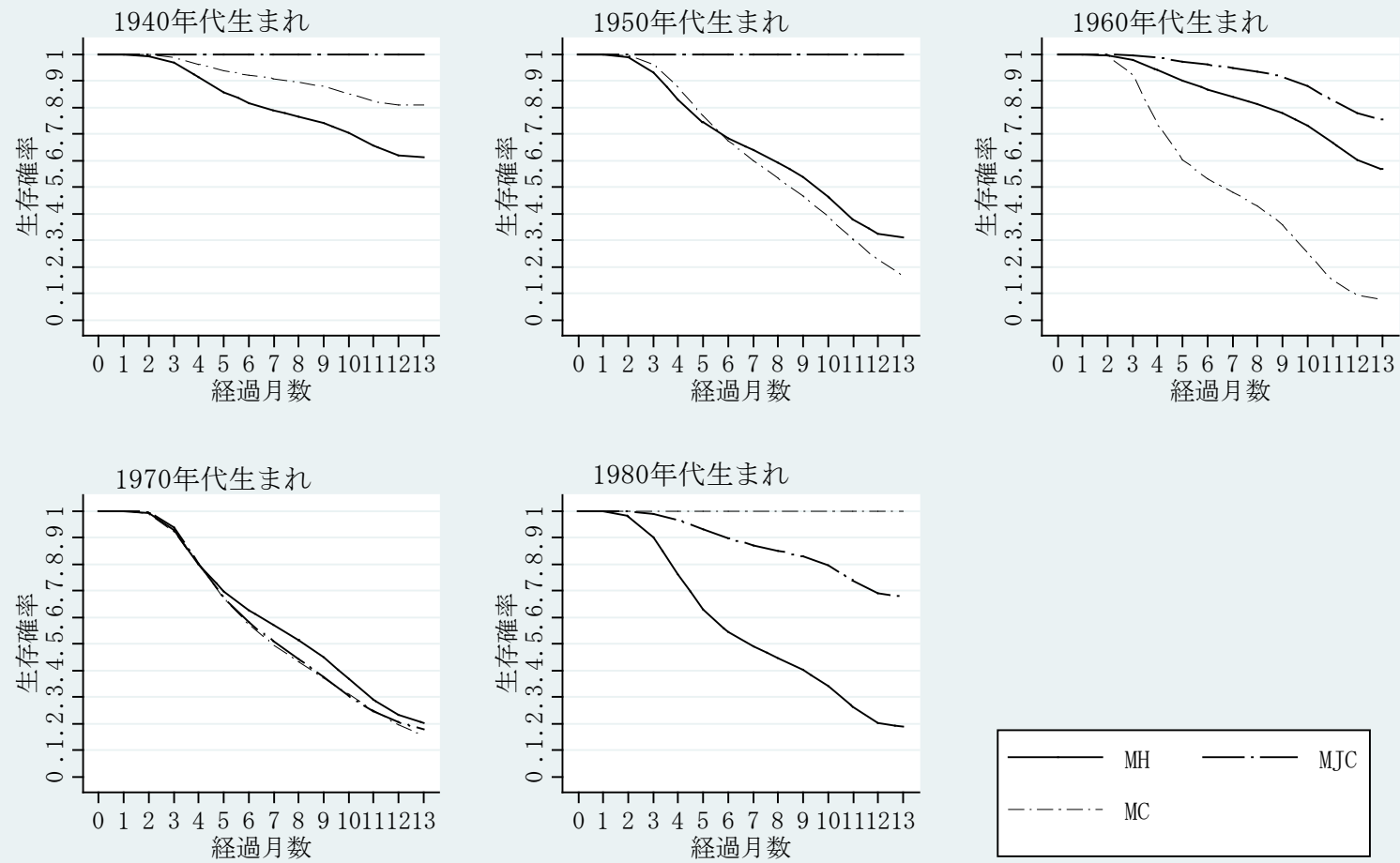


図5-N Nスペル生存確率（女性）
フローサンプリングモデル2

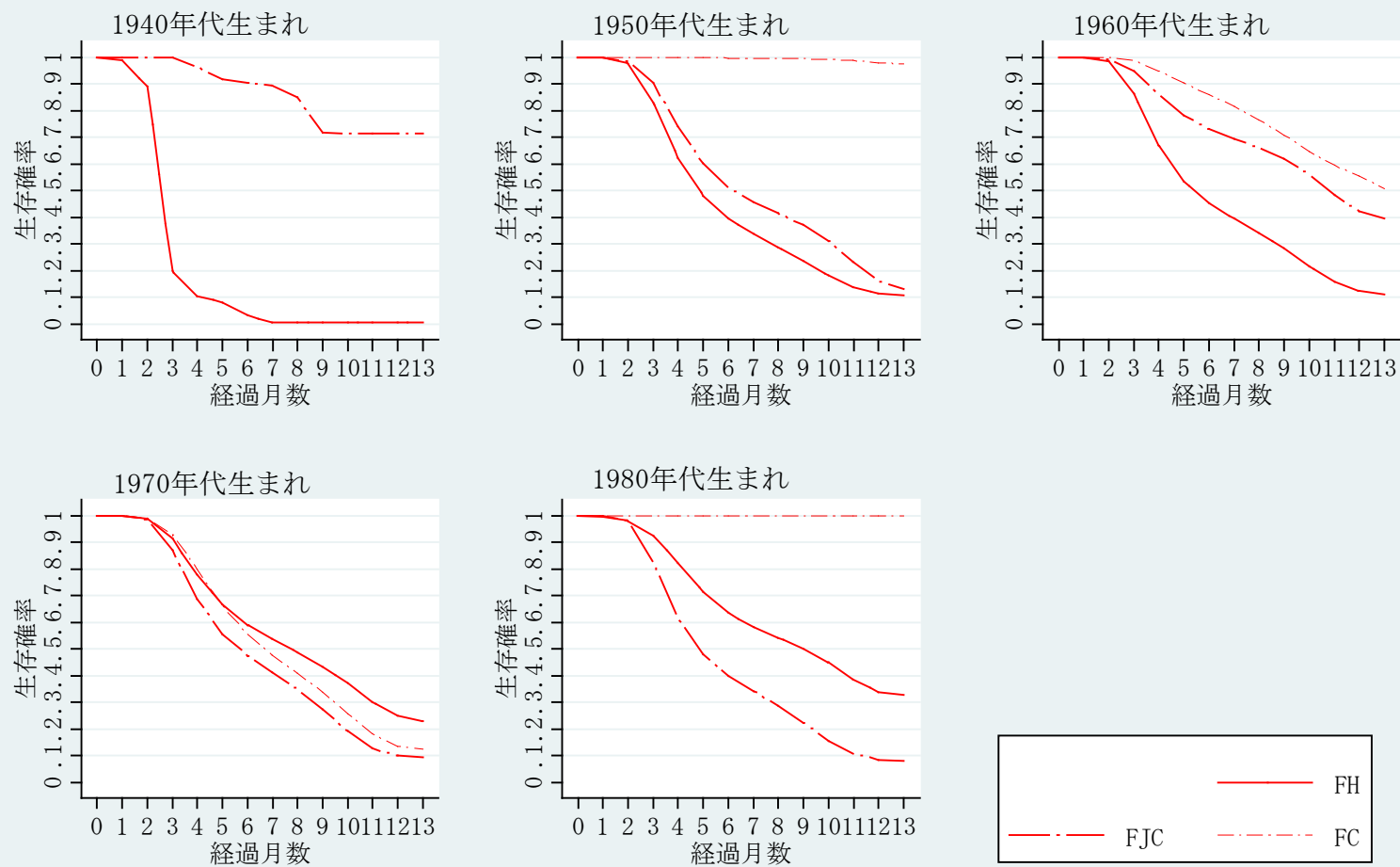


図6-N Nスペル月間ハザード率（男性）
フローサンプリングモデル2

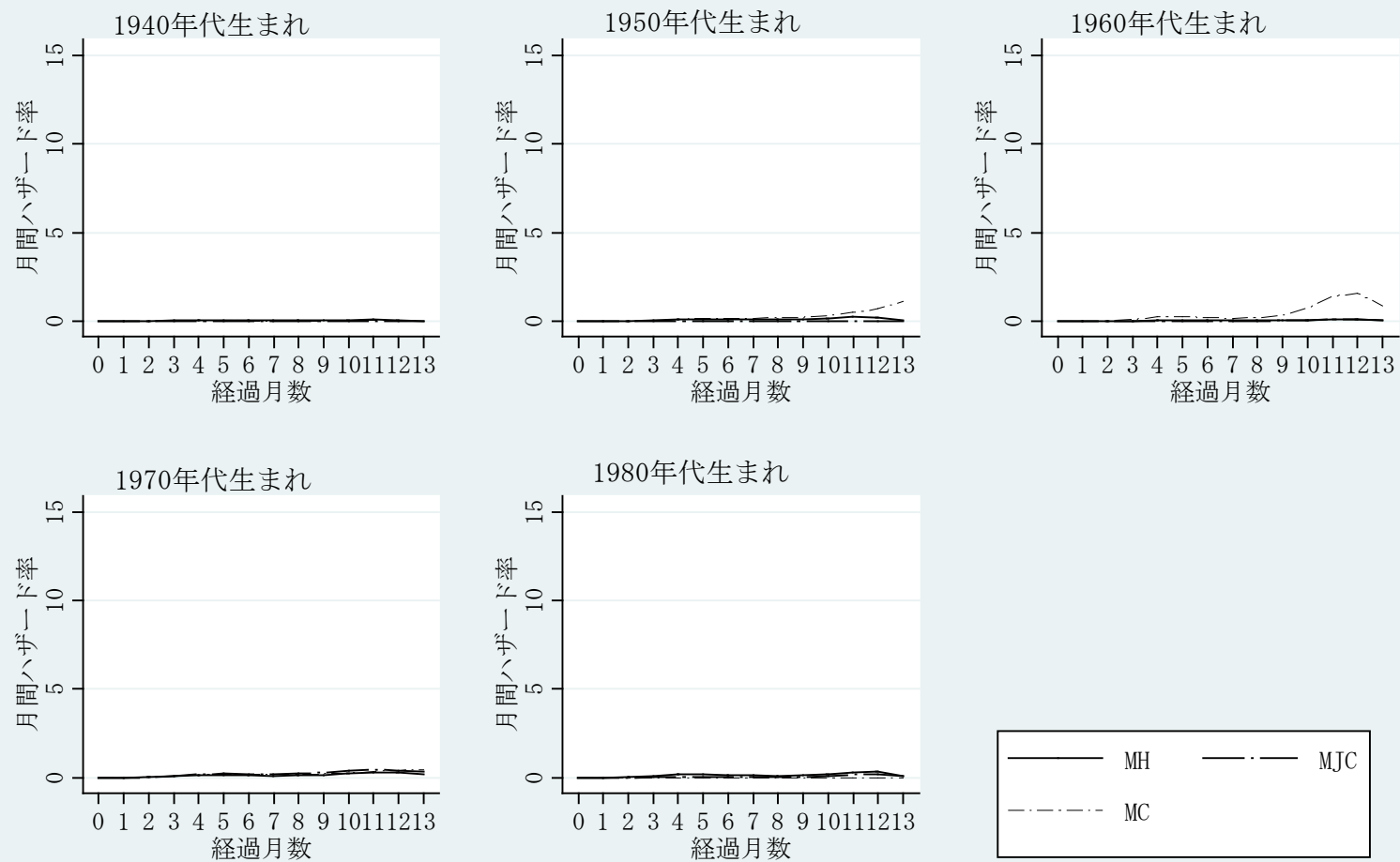
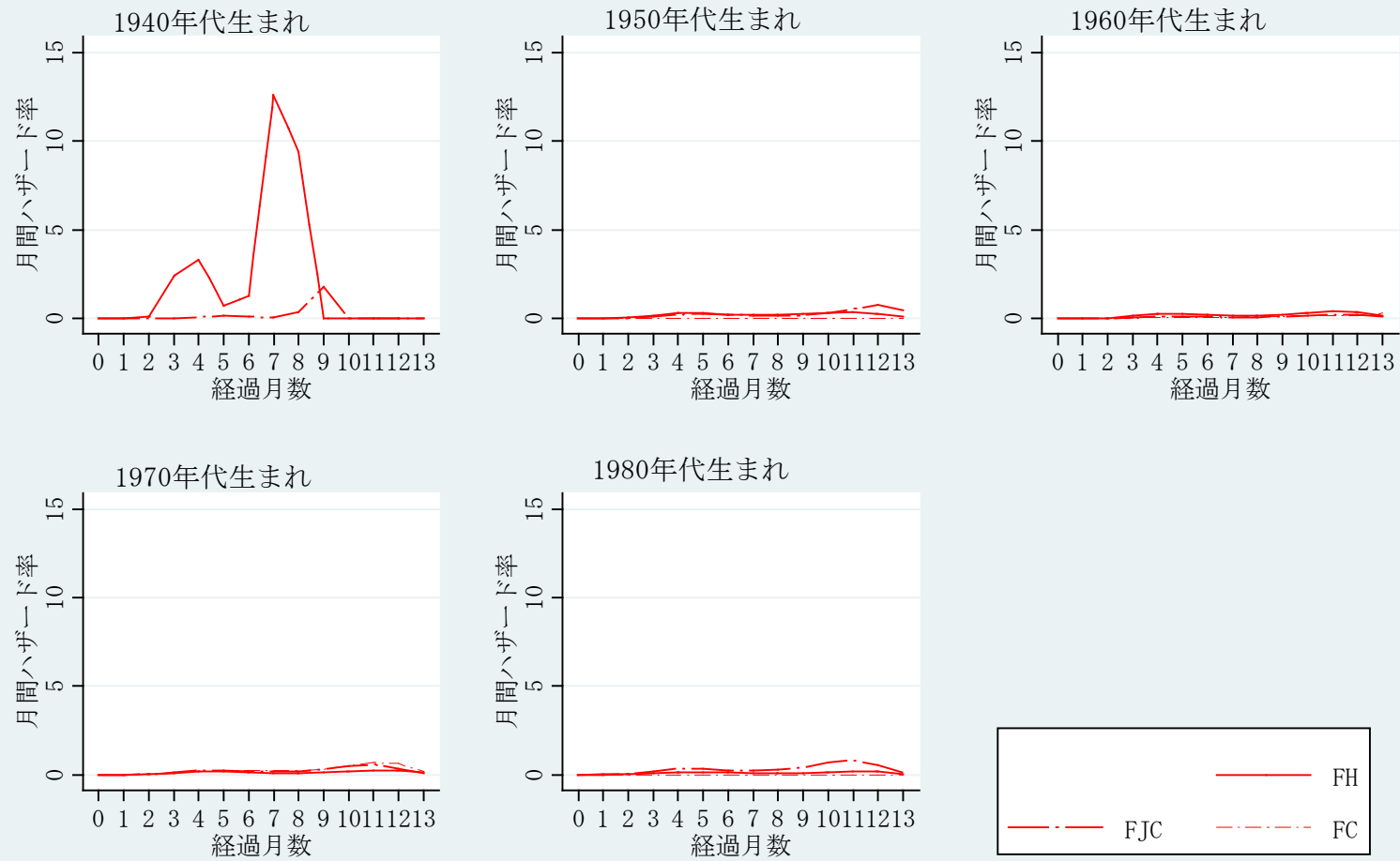


図6-N Nスペル月間ハザード率（女性）
フローサンプリングモデル2



Abstract

Existing studies on individuals' labor market transitions with the Labor Force Surveys treat differences in the individual's labor market status between periods as transitions. Unlike the existing studies, this study does not treat the differences in individual's labor market status as transitions and estimates two types of duration models with duration data on individual's labor market status available in the LFS Special Surveys. First, it estimates stock-sampling models with data on durations of right-censored spells in progress at the survey date, accounting for the stock-sampling of the spells and grouping of the duration data. Second, it estimates flow-sampling models with data on durations for nonemployment spells, available for individuals who left the last job after thirteen months prior to the survey date, accounting for time-varying covariates and spell-specific unobserved heterogeneity. The estimates indicate that the survival probability differs considerably by sampling methods used and assumptions made.

Key Words: Labor Force Surveys, labor market transitions, duration models